

基本情報

科目名	文学
時間割コード	1000010101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義で日本文学においては、日本近代文学の巨匠夏目漱石が切り開いた近代小説の世界とは何か、彼の文学の人生についてアプローチし彼の心を理解する。中国文学から受けた影響、そして西洋文学から受けた影響を学ぶことで漱石についての理解を深める。
履修上の注意事項	夏目漱石の作品を読んでいくが、講義の時間だけでは限りがあるので、事前予習、事後復讐など積極して頂ければ、よりスムーズに講義が進むことができる。
評価方法	授業内に課す小レポート(40点) + 学期末試験(もしくは学期末レポート)(60点)
テキスト	『夏目漱石 東洋と西洋の狭間で』 高 継芬著 梓書院 及び講義時プリント配布。
参考文献	課題図書は授業時に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス明治時代の日本文学について説明する。		
2	夏目漱石という人物について、人生歴、交友、側面からアプローチする。		
3	『草枕』を始め、『虞美人草』『三四郎』『門』等の作品から文学観の変化をとらえる。		
4	熊本小天温泉を舞台にした『草枕』の背景について初期の文学観について学ぶ。		
5	『草枕』を読みながら作者の西欧文化に対する考えを理解する。		
6	夏目漱石のイギリス留学について説明する。		
7	『永日小品』を読みながら夏目漱石がイギリスに対する印象を理解する。		
8	『永日小品』の「下宿」を解読する。		
9	『永日小品』の「印象」を解読する。		
10	『永日小品』の「昔」を解読する。		
11	『永日小品』の「過去の匂い」を解読する。		
12	『永日小品』の「暖かい夢」を解読する。		
13	夏目漱石の作品を読みながら中国文学から受けた影響を理解する。		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	『草枕』を読みながら作者の東洋文化に対する考えを理解する。		
15	夏目漱石の作品を学んだ総まとめ。		

基本情報

科目名	心理学
時間割コード	1000020101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	山住 賢司
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
山住 賢司

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、心の働き・仕組みを科学的に探究していく学問である心理学の基礎について学んでゆく。 人の心の基本的な仕組みと機能、発達段階における心理的課題、日常生活と心の健康との関係、心理学理論を基礎とするアセスメントの方法と支援、等について理解することを目的とする。 本講義を通じて受講者は、心理学の基本知識について自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。 テキストは毎回必ず持参すること。 理解度を確保するための確認課題を各回の講義で実施する。
評価方法	定期試験の得点100%で成績を評価する。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	「最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座2 心理学と心理的支援」 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編） 中央法規 2021
参考文献	「心理学概論[第2版]」 岡市廣成・鈴木直人（監修） ナカニシヤ出版 2014
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス：「心理学」について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
2	心理学の歴史と方法について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
3	心の生物学的基礎の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	感情・動機づけ・欲求の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
5	感覚と知覚の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
6	学習・行動の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
7	認知：記憶・注意・言語・思考の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
8	知能・パーソナリティの心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
9	社会のなかでの心理：自己概念・対人認知・集団の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
10	心の発達の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
11	心の健康：ストレス理論と対処行動の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
12	心理アセスメントの理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	心理療法と介入技法の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
14	心理的支援の基本的技法の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
15	まとめ：振り返り・心理学と対人援助職との交点	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

基本情報

科目名	教育学
時間割コード	1000030101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業では、教育というひとが育ちゆくうえでかかすことのできないいとなみについての基礎的なことがらについて学ぶとともに、この社会においてひとが育ち生きていくということがどのようなことであるのかという問いについて考察をおこなっていくことを目的とします。授業では、ひとの生涯にわたる生のありようや育ちおよびそれと教育とのかかわりについて学んでいきます。そのため、この授業では、以下のことを目標とします。 (1) 教育の基礎的なことがらについて理解し、説明することができる。 (2) ひとの生涯にわたる発達や育ちについて理解し、説明することができる。 (3) ひとが育ちゆくうえでの教育の意義や役割について理解し、説明することができる。
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	授業後の小レポート(30%)および学期末試験(70%)の総合成績で評価する。基礎的なことがらへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。 なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用使用する資料を配布する。
参考文献	参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習・復習については、毎時の授業で指示します(各回につき、事前学習:2時間、事後学習:2時間)。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス/授業全体の概要をしめす。		
2	ひとの生涯にわたる育ちと教育		
3	赤ちゃんはどこまで人間か		
4	ことばの発達と教育		
5	子どもにとって遊びとはなにか		
6	保育・幼児教育をめぐる現代の課題		
7	社会性の発達と教育		
8	10歳の壁とはなにか		
9	学校とはなにか		
10	青年期の課題と教育		
11	社会における教育の諸相		
12	職業・労働と教育		
13	老いることと学ぶこと		
14	発達と喪失		
15	授業のまとめと現代教育の諸問題		

基本情報

科目名	哲学
時間割コード	1000050101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	田畑 博敏
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目「哲学」は、古代ギリシャに始まり、中世・近代のヨーロッパを通じて発達し、現代では世界中の多くの国で研究され学ばれている科目です。日本では、自然科学と同様に、明治時代にヨーロッパから輸入され、現在、多くの大学で教えられています。哲学の特徴は、常に物事の根源にさかのぼって、探究することです。探究の対象は森羅万象、探究手段は理性とことばによる論証です。本講義では、先行の哲学者の考えを参考にして、徹底的に考え抜き、自分なりの意見を表現できる力を養うこと、を目標にします。
履修上の注意事項	講義終了後、本講義で「コミュニケーション・カード」と名づける小ペーパーを提出してもらいます。これには、予習の結果（重要と思われた3つのキーワードを書く）、講義を受けての感想、講義で学んだこと、講義についての注文など、を書いてください。
評価方法	コミュニケーション・カードの提出により「意欲的な受講態度」を評価し（20%）、中間レポートで「基本的理解」の度合いを評価し 30%、最終レポートで「総合的理解と独自の思考力」を確認する（50%）、というやり方で、総合的・全体的に評価します。
テキスト	倉田剛「現代存在論講義：ファンダメンタルズ」新曜社（2017年）¥2200+税
参考文献	講義の進行に応じて、適宜、指示します。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	哲学とは何か、何が存在するのか、存在論を概観する：教科書序文および第一講義・第1.1-1.2節		
2	存在のあり方、性質と関係、物とプロセス、部分と集まり：教科書第一講義・第1.3-1.4節		
3	種と普遍者、可能的対象と虚構の対象：教科書第一講義・第1.5 - 1.6節		
4	存在論の諸区分、領域的VS形式的、応用的VS理論的：教科書第一講義・第2.1-2.2節		
5	形式的VS形式化された存在論、存在論の道具としての論理学：教科書第一講義・第2.3-2.4節		
6	メタ存在論、道具としての論理学（続）：教科書第一講義・第2.5節および「まとめ」、プリント		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	世界についてどう語るか、思考と表現、存在への関わり：教科書第二講義・第1.1-1.2節		
8	パラフレーズ、修正的VS解釈的：教科書第二講義・第1.3節		
9	すぐれた理論の条件、単純性と説明力：教科書第二講義・第2.1-2.2節		
10	非クワイン的メタ存在論：教科書第二講義・第2.3-3.1節		
11	非クワイン的メタ存在論：教科書第二講義・第3.3節および「まとめ」		
12	存在者をどのように分類するか？カテゴリーと形式的因子：教科書第三講義・第1.1-1.2節		
13	4 カテゴリー存在論における形式的関係：教科書第三講義・第2.1-2.2節および「まとめ」		
14	ものが性質を持つということ：教科書第四講義・第1.1-1.3節		
15	実在論の擁護：教科書第四講義・第2.1-2.3節		

基本情報

科目名	法学
時間割コード	1000060101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	今日の社会で要求される法感覚、さらに私たちが日常生活を送る上で必要な法知識を身につけることを目標とする。具体的には、以下の事項についての理解を目指す。 社会生活における法の作用および役割、民法の財産法および家族法の基本的な考え方、医療・福祉サービス利用者の権利とその救済方法、成年後見制度および日常生活自立支援事業、医療・福祉職の専門性と法的責任
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	野崎和義著『医療・福祉のための法学入門』2013年、ミネルヴァ書房。 野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房。
参考文献	各回の講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（適宜）について調べ、作成・提出する（2時間）。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	法と日常生活 講義計画の紹介、何をどこまで学ぶか、法というものの考え方		
2	家庭生活と法（1） 親族の範囲・効果		
3	家庭生活と法（2） 婚姻・離婚とその効果		
4	家庭生活と法（3） 相続の一般原則、法定相続と遺言相続、相続をめぐる諸問題		
5	消費生活と人権（1） 悪質商法の法的問題点、物権と債権の基本的異同		
6	消費生活と人権（2） クレジット取引の仕組み、契約の拘束力・相対性		
7	刑事手続きと人権（1） 法的責任、犯罪と刑罰、刑務所と前科		
8	刑事手続きと人権（2） 不法行為責任と刑事責任の異同、行政上の処分の独自性		
9	医療・福祉サービスに関わる法（成年後見制度と日常生活自立支援事業、行政行為と行政争訟）		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（適宜）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	医療・福祉専門職の根拠法（医療・福祉職の専門性および資格、社会福祉各法の適用対象者）		
11	医療・福祉職の連携（看護・介護事故、看護と介護の関係、職務の専門性と就業問題）		
12	病院・施設の設置基準と法律問題（医療・福祉サービスの公共性、設置基準の法的拘束力）		
13	障害者の雇用・就労支援（障害者雇用促進法、法定雇用率、勤労の権利と義務）		
14	ふたたび人権を考える（雇用対策と差別の禁止、労働市場における公正、人権の普遍性）		
15	医療・福祉職と法（高齢社会における課題と役割分担、行為準則としての法）		

基本情報

科目名	日本国憲法
時間割コード	1000070101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>医療・福祉さらには教育の実践にあたって必要な憲法感覚を身につけることを目標とする。具体的には、以下の事項についての理解を目指す。</p> <p>日本国憲法の基本原理、 基本的人権の意義および機能、 基本的人権を保障するための仕組み（国および地方公共団体の組織・権能、財政）、 行政情報へのアクセス（情報公開）、 行政の役割と法治国家原理（行政行為、行政手続き、行政不服審査・行政訴訟）</p>
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	・定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・野崎和義著『医療・福祉のための法学入門』2013年、ミネルヴァ書房。 ・野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房。
参考文献	・各回の講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。</p>	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	取引社会と医療・福祉の権利（取引社会のルール、契約原理の修正、国家と個人）		
2	日本国憲法の考え方（人権規定の私人間効力、裁判例の分析、人権という思想）		
3	日本国憲法の構成（三つの基本原理、基本的人権のカatalog、人権保障の仕組み、特別条項）		
4	基本的人権と公共の福祉、基本的人権の主体（内在的制約と外在的制約、外国人・法人の人権）		
5	プライバシーの権利と個人情報の保護、情報公開制度（行政情報へのアクセス）		
6	自己決定権の尊重と医療・介護（インフォームドコンセント、身体拘束の禁止）		
7	自由権（とくに人身の自由、少年の刑事手続き、資格制限と社会復帰）		
8	法の下での平等と合理的差別（男女共同参画、セクハラと男女雇用機会均等法）		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	家族生活における平等（介護と扶養、介護保険制度導入の背景）		
10	社会権の思想（平等権から社会権へ、生活保護法の基本原理と裁判例）		
11	高齢社会における社会保障（社会保障の法体系、高齢者と住居、看護・福祉の労働）		
12	その他の基本権 参政权、受益権（施設入所高齢者・障害者の参政权保障、国家賠償請求権）		
13	国家の機構（三権の抑制と均衡、裁判所の仕組み）		
14	財政、地方自治（財政の基本原則、自治体の行政権・立法権、行政争訟）		
15	医療・福祉と日本国憲法（民主主義と少数者の人権、統治機構の役割）		

基本情報

科目名	社会学
時間割コード	1000080101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	安藤 学
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
安藤 学

詳細情報

授業の目的・到達目標	ディプロマ・ポリシーにある「基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養する」ために、社会理論による現代社会の捉え方について、生活の理解について、人と社会の関係について、社会問題について学び、それらを分析し解決する能力を修得することができる。
履修上の注意事項	ノートを毎回きちんと取る。 授業前にその単元を一度読み自分なりにまとめておき、授業後は教科書とノートを照らし合わせて復習をしておくこと
評価方法	定期試験 80%、授業への取り組む姿勢 20%
テキスト	『社会学入門』秋元他3名 有斐閣新書
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	社会学の歴史と対象	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
2	社会システム	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
3	組織と集団	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
4	人口	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
5	グローバル化	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
6	社会変動・社会変動の概念	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
7	地域	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
8	環境・気候変動	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
9	社会的格差・社会政策と社会問題	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
10	差別と偏見	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
11	災害と復興	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
12	家族とジェンダー	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
13	健康・労働	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	世代	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
15	自己と他者・社会化・相互行為	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	

基本情報

科目名	社会学
時間割コード	1000090101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	安藤 学
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
安藤 学

詳細情報

授業の目的・到達目標	ディプロマ・ポリシーにある「基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養する」ための科目として位置付ける。、社会学 を基礎に、社会学の具体的な理論と研究について、私たちの日常生活の中からテーマを設定して学習することができ、また社会福祉士養成や精神福祉士養成に求められる社会学的事項についても修得することができる。
履修上の注意事項	授業前にテキストを読み自分でまとめてから授業に臨む、授業後は自分のまとめと授業内容を比較して復習をする。
評価方法	レポート試験80%、授業への取り組み20%
テキスト	『社会学入門』秋元他3名 有斐閣新書
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
事前学修：毎回授業内容について調べておく(2時間) 事後学修：毎回授業で学修したことを復習する(2時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	現代社会とは		
2	国民の生活と意識の変化について		
3	科学技術の展開について		
4	現代社会と科学技術について		
5	情報化社会と国民生活について		
6	現代社会における専門職について		
7	家族の構造と形態について		
8	家族の機能について		
9	家族の変化について		
10	家族と地域社会について		
11	都市化と地域社会について		
12	過疎化と地域社会について		
13	地域社会の社会集団・組織について		
14	現代社会における社会問題について		
15	社会学の総まとめ		

基本情報

科目名	コミュニケーション論
時間割コード	1000100101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	佐藤 嘉倫
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
佐藤 嘉倫

詳細情報

授業の目的・到達目標	コミュニケーションについての基礎的な概念やモデルについて学ぶとともに、言語・非言語などのコミュニケーション手段、様々な状況におけるコミュニケーション行動や人間関係の特徴などについて主に心理学の立場から考え理解を深める。また対人援助場面における人間関係の特徴について学び、理解できるようになる。
履修上の注意事項	・講義前に参考文献や配布資料をもとに事前学習を行って下さい。(2時間) ・講義後の振り返りを各自行うようにして下さい。(2時間)
評価方法	授業態度60%、レポート40%
テキスト	なし(講義中に資料を配付)
参考文献	講義中にその都度紹介
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回講義前に参考文献や配布資料をもとに事前学習を行って下さい。(2時間) ・毎回講義後の振り返りを各自行うようにして下さい。(2時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	コミュニケーション論とは		
2	対人コミュニケーションの特徴		
3	コミュニケーションの障害		
4	対人交流パターンの分析(自らのコミュニケーションのあり方を見つめる)		
5	コミュニケーションの様々な形1(インターネット)		
6	コミュニケーションの様々な形2(SNS等)		
7	コミュニケーションの様々な形3(マス・コミ)		
8	援助技術としてのコミュニケーション		
9	援助技術としてのコミュニケーション2		
10	ストレスとコミュニケーション		
11	人間関係とコミュニケーション		
12	コミュニケーション・スキル1(言語的コミュニケーションの活用)		
13	コミュニケーション・スキル2(非言語的コミュニケーションの活用)		
14	自己分析		
15	まとめ		

基本情報

科目名	カウンセリング論
時間割コード	1000110101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	忽那 かずみ
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>他者援助において基本となる代表的なカウンセリング理論を理解し、それぞれのカウンセリングの実践における本質的な考え方や方法上の相違点を理解できる。また、それぞれのカウンセリング理論および密接に関係する心理検査の学修やワークを通じて自己理解を深めることができる。</p>
履修上の注意事項	<p>第1回目の講義にて出席に関する重要な説明をします。テキストで事前学習して下さい。講義時間内に心理検査の実施をします。毎回振り返りを行い、理解を深めてください。講義では実際のケースを取り上げたり、具体例を話すことがあります。また、演習・グループワークの中で個人的な話が出されることもありますので、個人情報の扱いには細心の注意を払い、絶対に口外してはいけません。演習・グループワークでは、他の人の意見を否定・批判をしない、違う意見も尊重する、発言は最後まで聴く、そして全員が発言することをルールとします。</p>
評価方法	<p>定期試験50%、演習（ディスカッション、グループワーク、授業態度等を含む）20%、振り返りシート（レポートを含む）30%</p>
テキスト	<p>山蔦圭介著、宮城まり子監修『基礎から学ぶ カウンセリングの理論』、産業能率大学出版部</p>
参考文献	<p>必要の都度、指示します。</p>
実務経験のある教員による授業	<p>有</p>
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	<p>米国にて臨床心理学者としての勤務経験、日本では臨床心理士、公認心理師として病院、学校、私設（開業）などでの勤務経験あり。</p>

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーションと序論		
2	カウンセリングの基礎		
3	カウンセリングの実際		
4	精神分析療法の理論と実際		
5	来談者中心療法の理論と実際		
6	行動療法の理論と実際		
7	論理療法の理論と実際		
8	認知療法の理論と実際		
9	認知行動療法の理論と実際		
10	ゲシュタルト療法の理論と実際		
11	交流分析療法の理論と実際		
12	交流分析療法の理論と実際		
13	箱庭療法とコラージュ療法（切り抜いてもよい雑誌2～3冊、はさみ、のりを持参すること）		
14	日本の心理療法の理論と実際		
15	カウンセリングと心理検査、カウンセリングと精神疾患		

基本情報

科目名	体育
時間割コード	1000120101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	本田 沙織
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名	
本田 沙織	

詳細情報

授業の目的・到達目標	心身の健全な発達の促進、運動やスポーツに内在する楽しみや技能、健康、体力の保持・向上・増進のための運動処方などを総合的・実践的に自ら把握できるようになる。
履修上の注意事項	演習授業は体育着で行うこと。
評価方法	演習レポート30%、自主的学習態度10% 課題レポート20% 体育ノート作成40%による総合評価
テキスト	使用しない
参考文献	使用しない
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	本田沙織：フィリピンにて体育教員、熊本学園大学にて非常勤講師として実務経験

授業計画

授業計画	
1. 運動行動と身体とのかかわりを説明できる	
2. 運動しないと身体へどのような影響が考えられるか説明できる	
3. 身体組成から見た運動行動の大切さについて説明できる	
4. 無酸素運動について説明できる	
5. 有酸素運動について説明できる	
6. 筋肉の種類から見た運動の適正について説明できる	
7. 運動の強度と運動時間について説明できる	
8. 運動とエネルギー供給の関係について説明できる	
9. 運動の種類と循環器の関係について説明できる	
10. メタボリック理解とその対策について説明できる	
11. 運動と栄養・休養との関係について説明できる	
12. 運動によって引き起こされる運動障害について説明できる	
13. トレーニングの種類とその効果について説明できる	
14. 運動を行うに時に注意すべき事項について説明できる	
15. 健康維持のための運動について説明できる	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			

授業計画

1. 運動行動と身体とのかかわりを説明できる
2. 運動しないと身体へどのような影響が考えられるか説明できる
3. 身体組成から見た運動行動の大切さについて説明できる
4. 無酸素運動について説明できる
5. 有酸素運動について説明できる
6. 筋肉の種類から見た運動の適正について説明できる
7. 運動の強度と運動時間について説明できる
8. 運動とエネルギー供給の関係について説明できる
9. 運動の種類と循環器の関係について説明できる
10. メタボリック理解とその対策について説明できる
11. 運動と栄養・休養との関係について説明できる
12. 運動によって引き起こされる運動障害について説明できる
13. トレーニングの種類とその効果について説明できる
14. 運動を行うに時に注意すべき事項について説明できる
15. 健康維持のための運動について説明できる

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15			

基本情報

科目名	体育
時間割コード	1000120103
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	陶山 三千也
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
陶山 三千也

詳細情報

授業の目的・到達目標	心身の健全な発達の促進、運動やスポーツに内在する楽しみや技能、健康、体力の保持・向上・増進のための運動処方などを、総合的・実践的に「生涯スポーツ」として、スポーツや身体運動を定期的に行う習慣を身に付けさせ、自ら把握できるようになる。
履修上の注意事項	現代社会における「スポーツ・身体運動」の役割が、いかに重要で大切かを理解し、積極的に楽しく実技科目（身体運動や各種スポーツ種目）に参加して、その必要性を実感していただきたい。実技授業は、運動のできる体育服・運動靴を着用し参加すること、普段着での参加は認めない。体育服は、クラブサークルのユニホームや高校時使用のもので構いません。運動靴は、外履き用と体育館シューズを準備してください。
評価方法	2 / 3 以上の出席者に対して ・ 自主的学習態度及び出席状況 80% ・ 課題レポートや運動技能等 20% 総合評価します。
テキスト	使用しない
参考文献	特に、ありません。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
九州看護福祉大学において、実技授業実施可能な種目として3つの型の球技種目を実施いたします。 ・ ベースボール型種目：ソフトボール・フットベースボール ・ ネット型種目：バレーボール・バドミントン ・ ゴール型種目：バスケットボール

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	1. 教科ガイダンス		

授業計画

九州看護福祉大学において、実技授業実施可能な種目として3つの型の球技種目を実施いたします。

- ・ベースボール型種目：ソフトボール・フットベースボール
- ・ネット型種目：バレーボール・バドミントン
- ・ゴール型種目：バスケットボール

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
2	2．体力テスト/ソフトボール・フットベースボール ボールの投げ方・捕球の仕方		雨天時の場合は、体育館で体力測定を実施します 反復横跳び、握力、長座体前屈の測定
3	3．体力テスト/ソフトボール・フットベースボール 守りの連係プレーができるようになる		雨天時の場合は、体育館で体力測定を実施します 上体起こし、立ち幅跳びの測定、測定種目の評価
4	4．バレーボール 対人でのパスとレシーブができるようになる		
5	5．バレーボール グループでのパスとレシーブ・サーブができるようになる		
6	6．バレーボール 攻め・守りのフォーメーションができるようになる		
7	7．バレーボール 3段攻撃を使っでのゲームができるようになる		
8	8．バドミントン 各種フライトを対人で連続して打ち合えるようになる		
9	9．バドミントン サービスとリターンで2つ以上のストロークができるようになる		
10	10. バドミントン ドロップ ヘアピン クリアーを連続してできるようになる		
11	11. バドミントン グループ別リーグ選ができるようになる		
12	12．バスケットボール 対人でのパスとグループでのパスワークが出来るようになる		
13	13．バスケットボール ドリブルと各種シュートができるよ		
14	14．バスケットボール チームプレー。コンビニプレーができるようになる		
15	15．バスケットボール ゲームと審判が出来るようになる		

基本情報

科目名	比較文化論
時間割コード	1000130101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、アジア諸国の文化・社会・価値観・人々の考え方を、具体的な事例に基づいて日本と比較し、異文化理解を図ると共に、人間と文化の総合的な関係を理解する。
履修上の注意事項	授業前に資料（プリント）などを読み、キーワードについて調べてくること。 授業後に復習しておくこと。
評価方法	レポート80%、発表20%で評価する。
テキスト	毎回、資料（プリント）などを用意し、配布する。
参考文献	授業の中で、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション。中国あるいは東南アジアの文化について（安藤・高）		
2	日韓文化の遠近1（金）		
3	日韓文化の遠近2（金）		
4	日韓文化の遠近3（金）		
5	医療と福祉・日本と韓国（金）		
6	障害者福祉の基本・国際比較（金）		
7	日中文化の違い1（高）		
8	日中文化の違い2（高）		
9	日中文化の違い3（高）		
10	中国人の人間愛について（高）		
11	中国人の結婚文化について（高）		
12	日本と中国の教育政策について（安藤・高）		
13	中国料理の由来について（高）		
14	中国茶の文化について（高）		
15	中国の孫子兵法と日本の太平洋戦争（安藤・高）		

基本情報

科目名	英語
時間割コード	1000140101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	後藤 隆昭
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
後藤 隆昭

詳細情報

授業の目的・到達目標	4年制の大卒者として最低限求められる英語力の養成を目的とし、英語による情報の受信と発信が可能となることを目指す。これから必要となる医療英語を扱うテキストを使用し、英語の読解、語彙、作文を包括した学習を行い、会話、聞き取り練習も取り入れ、コミュニケーション能力の基礎を向上させる。更に、語学が教養・全人教育の一部であることから、英語圏の国々の文化への知識と関心を深める。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・講義は予習が行われていることを前提として行います。 ・辞書（紙または電子）は必携です。 ・授業計画等は一部変更することがあります。
評価方法	授業態度 15%、授業における課題 25%、定期試験 60%
テキスト	Vivian Morooka (他) 著「Vital Signs -revised edition-」(株)南雲堂
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
学則に基づき、事前・事後学修として、予習（2時間）と復習（2時間）が必要となります。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、Unit 1: Hospital Departments		
2	Unit 1: Hospital Departments		
3	Unit 2: Application Forms		
4	Unit 3: Parts of the Body		
5	Unit 3: Parts of the Body		
6	Unit 4: Illness		
7	Unit 4: Illness		
8	Unit 5: Daily Routine		
9	Unit 6: Hospital Objects		
10	Unit 7: Locations of Hospital Objects		
11	Unit 8: Hospital Directions and Instructions		
12	Unit 9: Directions (Outside the Hospital)		
13	Unit 10: Chatting with a Patient		
14	Unit 11: Taking a Medical History		
15	Unit 12: Hospital Procedures		

基本情報

科目名	英語
時間割コード	1000150101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	角田 俊治
科目区分	共通科目 ことばと文化

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p><本シラバスの内容は前年度と変わらないが、講義中に取り扱う設問は同一ではない。> ねらい：主として情報発信能力の向上を目指す。可能な限りの基本的な英語による、福祉や医療に関わるベーシックなライティングができるようにする。併せて英語圏の国々の社会や文化への関心を深める。 到達目標：基礎的な英語による作文力を身につけ、福祉や医療に関わる一定の情報発信ができる。高水準の語学力を必要とせずとも、それなりの英文が読める。</p>
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の展開計画は進捗の状況に応じて一部変更することがあります。（その際は適宜連絡します） ・総て、講義は予習が行われていることを前提として行います。 ・辞書は必携。
評価方法	試験 70%・発表 20%・その他（受講の積極性等）10%。
テキスト	教員自作プリント <プリント中の設問は前年度のものと同じではない。>
参考文献	随時配布
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、英語学習の意義説明等	基本5文型などの文法事項や基本語彙などを確認しておく。90分	
2	ごく簡単な英語を利用したの、自己紹介等のライティング演習	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する90分	
3	ライティングのための基本5文型の説明等	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する90分	
4	3を応用したの基本的なライティング演習	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する。90分	
5	福祉や医療に関わる初歩的なライティング演習	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する。90分	
6	5よりも幾分か専門性の高い福祉や医療に関わる英語表現を演習	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する。90分	
7	リーディング：一流作家の書いた平易な英文の短編小説を原文で読む	英文プリントの単語を調べ自分なりに大意を把握しておく。90分	
8	リーディング：7に同じ、小説のモチーフについて考える	英文プリントの単語を調べ自分なりに大意を把握しておく。90分	
9	リーディング：福祉・医療等に関わるやや程度の高い英文を原文で読む	英文プリントの単語を調べ自分なりに大意を把握しておく。90分	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	リーディング： 9 に同じ．高度な英語力がなくとも、原文が読めることを知る．	英文プリントの単語を調べ自分なりに大意を把握しておく．90分	
11	福祉、医療、科学一般に関わる最も重要で使用頻度の高い動詞（15個前後）について解説、演習	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する．90分	
12	1 1 に関わる基本的なライティング演習	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する．90分	
13	1 1、1 2 に関わる幾分高度なライティング演習	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する．90分	
14	1 3 に続き、福祉や医療に関わる幾分高度なライティング演習	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する．90分	
15	1 4 までの講義の補足と総括	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する．90分	

基本情報

科目名	英会話
時間割コード	1000160101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	後藤 隆昭
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
後藤 隆昭

詳細情報

授業の目的・到達目標	Through your active participation and effort, 1. you can improve your vocabulary and speaking skills. 2. you can improve your listening and pronunciation skills. 3. you can improve your personal confidence and communication skills in both everyday and professional situations.
履修上の注意事項	A paper or an electronic dictionary is needed. The schedule and contents are subject to change.
評価方法	Learning attitude 15%, Intermediate test 30%, Report 15%, Final test 40%
テキスト	Interchange 1 (Fifth edition) Students Book (ISBN 9781316620311)
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
On the basis of the school regulation, students are required to dedicate two hours each to review and prepare for the class.

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	Introduction & Unit 1: Where are you from?		
2	Unit 1: Where are you from?		
3	Unit 2: What do you do?		
4	Unit 3: How much are these?		
5	Unit 4: Do you play the guitar?		
6	Unit 5: What an interesting family!		
7	Unit 6: How often do you run?		
8	Unit 7: We went dancing!		
9	Unit 8: How 's the neighborhood?		
10	Unit 9: What does she look like?		
11	Unit 10: Have you ever been there?		
12	Unit 11: It 's a really nice city.		
13	Unit 12: It 's important to get rest.		
14	Unit 13: What would you like?		
15	Unit 14: It 's the coldest city!		

基本情報

科目名	英会話
時間割コード	1000170101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	未定
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	
履修上の注意事項	
評価方法	
テキスト	
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	中国語会話
時間割コード	1000180101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義のねらいは、受講者が半期の中国語の学習期間において、あいさつや自己紹介などの基本的な表現を習得し、基礎的な日常会話ができる。
履修上の注意事項	予習と復習を必ずすること。 受講の際は、辞典を必ず持参すること。
評価方法	小テスト 20% レポート 20% 試験 60%
テキスト	教科書： 『LOVE 上海－初級中国語－』朝日出版社 辞典： 相原茂『はじめての中国語学習辞典』朝日出版社 最新版
参考文献	適宜紹介
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	中国について学ぼう 中国語の発音 声調・単母音の学習		
2	複合母音・子音の学習		
3	人称代名詞、否定、疑問など 浦東空港にて		
4	名詞、副詞の用法 タクシーに乗って		
5	所在を表す動詞「在」 ホテルでお茶を		
6	「的」の省力 場所を表わす代名詞、存在を表わす「有」について学ぶ 私の家族		
7	“喜歡” + 同市の使い方について学ぶ 趣味は映画です		
8	願望を表す助動詞“想” 大学の図書館へ		
9	数詞、量詞について学ぶ 放課後		
10	前置詞、完了の「了」について学ぶ 上海の交通		
11	連動文 地下鉄付近にて		
12	助動詞、経験を表わす表現について学ぶ		
13	主文述語文、比較の表現 変化を表す表現など ちょっとおなが空いた		
14	結果補語、方向補語について学ぶ 突然の雨		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	これまでの学習内容を確認		

基本情報

科目名	中国語会話
時間割コード	1000190101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義は、受講者が前期の中国語会話 で修得基礎知識をもとに、より豊かな中国語の表現力および会話力を身につけることができる。
履修上の注意事項	予習と復習を必ずすること。 受講の際は、辞典を必ず持参すること。
評価方法	レポート 20% 小テスト 20% 試験 60%
テキスト	教科書： 『LOVE 上海 初級中国語』 朝日出版社 辞典： 相原茂 『はじめての中国語学習辞典』朝日出版社 最新版
参考文献	適宜紹介
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	前期の学習内容を復習		
2	自分について中国語で表現してみよう		
3	家族について中国語で表現してみよう		
4	日常生活について中国語で表現してみよう 上海料理を食べる		
5	日常生活について中国語で表現してみよう おなががいっぱいです		
6	にちじょう生活について中国語で表現してみよう 外たんの夜景		
7	日常生活について中国語で表現してみよう 上海語はおもしろい		
8	日常生活について中国語で表現してみよう ホテルの部屋から		
9	これまでの学習内容をふりかえって		
10	日常生活について中国語で表現してみよう どうしたの		
11	日常生活について中国語で表現してみよう 上海は魅力的		
12	日常生活について中国語で表現してみよう またあいましょう		
13	大学生のアルバイトを表現しよう		
14	留学について中国語を表現してみよう		
15	これまでの学習内容を確認		

基本情報

科目名	韓国語会話
時間割コード	1000200101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	李 玄玉
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
李 玄玉

詳細情報

授業の目的・到達目標	「ハングル」という文字についての理解と日本語と韓国語との比較をしながら、韓国語の基礎文法を理解する。 また、韓国への観光・旅行や文化体験などの場合、簡単な会話が応用できる。
履修上の注意事項	授業後には繰り返し復習する。
評価方法	授業参加への態度及び発表 50点 授業中のミニテスト 50点
テキスト	やさしい韓国語（初級）梁礼先・権点淑・曹恩美 朝日出版社
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	1. オリエンテーション		
2	2. 「ハングル」文字の関する歴史的背景、文字の構成、文字の書き順について		
3	3. 韓国語の特性についての日本語との比較説明及び子音・母音について		
4	4. 「パッチム」とパッチムの連音化		
5	5. 基本的な挨拶に関連する会話		
6	6. 自己紹介などの簡単な会話		
7	7. 小グループに分け、挨拶・自己紹介などを韓国語で行う（復習と練習）		
8	8. 韓国の文化に関する理解（ビデオ鑑賞）		
9	9. 韓国での観光・旅行を想定した場面での会話 1		
10	10. 韓国での観光・旅行を想定した場面での会話 2		
11	11. 韓国での観光・旅行を想定した場面での会話 3		
12	12. 日本と韓国との文化の差について		
13	13. 日常生活での基本的な会話 1		
14	14. 日常生活での基本的な会話 2		
15	15. 日常生活での基本的な会話 3		

基本情報

科目名	韓国語会話
時間割コード	1000210101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	李 玄玉
科目区分	共通科目 ことばと文化

詳細情報

授業の目的・到達目標	韓国語会話 に続けて韓国の文化・歴史への理解・関心を深めながら、普段の生活のなかで、韓国語が応用できる。さらに、今後、韓国への留学や就職を希望する場合、必要な基本的知識やその内容についても紹介する。
履修上の注意事項	韓国語会話 の授業内容を復習しておく。 韓国語会話 を履修していない方も可能です。
評価方法	1. 授業参加への意欲・態度及び発表 50点 2. 授業中のミニテスト 50点
テキスト	資料を配布する。
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1. オリエンテーション		
2	2. 「韓流ブーム」に関する日本の若者の見解について		
3	3. 韓国語会話 の復習－挨拶・自己紹介など		
4	4. 具体的な場面を想定した日常会話(1)		
5	5. 具体的な場面を想定した日常会話(2)		
6	6. 具体的な場面を想定した日常会話(3)		
7	7. 日本・韓国の大学との違い、大学生交流の重要性及びその役割などについて		
8	8. 日常場面で応用できる会話(1)		
9	9. 日常場面で応用できる会話(2)		
10	10. 日常場面で応用できる会話(3)		
11	11. 韓国の映画鑑賞		
12	12. 韓国語での日記・作文の練習(1)		
13	13. 韓国語での日記・作文の練習(2)		
14	14. 韓国の文化・医療・福祉の動向について		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
15	15 . 韓国への留学・就職に関する情報や諸大学の紹介		

基本情報

科目名	統計学
時間割コード	1000220101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会調査やアンケートなどで得られたデータは、そのままでは役に立たない。データを客観的、論理的に分析することが必要になってくる。本講義では、確率論の基礎知識を踏まえた上で、データを分析する手法や手順、得られた結果の評価方法等を、なるべく多くの事例に関する演習を通して実践的に理解し、得られたデータから適切な分析手法を選択し、データ分析ができるようになることを目標とする。
履修上の注意事項	テキストはなく、配布プリントを配布するだけなので、事前の予習、事後の復習が要求される。特に、わからないことは、わからないまま済ませずに、遠慮なく質問に来るようにしてもらいたい。
評価方法	筆記試験の結果のみで判断する。再試験は行なう。
テキスト	テキストは用いず、適宜、プリント資料を配布する。
参考文献	講義中に、適宜、紹介するが、図書館にも「統計学」で学内蔵書検索をすると、多くの蔵書が見つかる。実際に手に取ってみて、自分に合う参考図書を見つけてみるのもよいだろう。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	質的データと度数分布表・ヒストグラム		
2	量的データと代表値, 分散		
3	正規分布, t 分布, χ^2 乗分布とその性質		
4	母平均・母分散・母比率の推定		
5	検定の考え方, 第1種・第2種の過誤		
6	母平均の検定, 対応のある2つの母平均の差の検定		
7	対応のない2つの母平均の差の検定		
8	ノンパラメトリック検定(順位和検定)		
9	ノンパラメトリック検定(符号検定)		
10	ノンパラメトリック検定(符号付き順位和検定)		
11	母比率の検定(対応のある場合, ない場合)		
12	適合度の検定		
13	独立性の検定, マクネマー検定		
14	相関関係と相関係数		
15	回帰分析		

基本情報

科目名	情報リテラシー
時間割コード	1000230101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	高校における「情報」の履修を踏まえ、大学生として、また社会にでてからも必要となっていく「情報活用力（情報リテラシー能力）」を高めていくことがねらいである。これにより、これからの高度情報化社会に対応した、身の回りのパソコンやネットワークなどの情報環境を、自ら積極的に、活用できるようになることを目指す。
履修上の注意事項	基本操作が充分理解できていない場合は、事前に予習をしておくこと。また、講義中はノートをしている時間はないので、復習する中で自分の理解を確かめながら、手順や注意事項をメモするように。
評価方法	課題レポートと、筆記・実技試験の結果を総合的に判断する。配点は、レポート30%、試験70%。再試験は行なう。
テキスト	「2021年度版 情報倫理ハンドブック」noa出版
参考文献	講義中に、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	情報教育システムの利用について（森），教務システムLiveCampusの説明（教務課）		
2	E-mailの利活用（森）		
3	Wordの基本操作 日本語入力，段落設定，段組み等（森）		
4	Wordの基本操作 罫線，図の挿入等（森）		
5	Wordの基本操作 図形描画，曲線とフリーフォーム（森）		
6	文献検索（福本/図書館），インターネットの利活用（森）		
7	情報モラル，情報セキュリティについて（森）		
8	Excelの基本操作 データ入力，表作成等（森）		
9	Excelの基本操作 グラフ作成（森）		
10	Excelの基本操作 コピーと移動，絶対参照と相対参照等（森）		
11	Excelによるデータ処理 様々な関数の利用（森）		
12	Excelによるデータ処理 並べ替え，フィルター等（森）		
13	Excelによるデータ処理 ピボットテーブル（森）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	Powerpointの基本操作 入力, テーマ等（森）		
15	Powerpointの基本操作 画面切り替え, アニメーション等（森）		

基本情報

科目名	環境科学
時間割コード	0124130701
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
檜枝 洋記

詳細情報

授業の目的・到達目標	人類や個人を取り巻く自然、社会、生活の環境を知り、人間活動が環境そして人間自身に与える影響を理解する。また、自分が生きている現代の環境問題や自分の子孫が生きる時代の環境問題への対処や解決方法を考察する。
履修上の注意事項	読書やレポート提出を数回、求める。
評価方法	授業中の取り組み（50％）レポート提出（50％）
テキスト	特に指定しない。
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	環境科学オリエンテーション		
2	環境とは何か		
3	自然環境と人間		
4	地域の自然		
5	公害		
6	地球・生物圏・生態系		
7	水と生活環境		
8	都市環境と自然		
9	大気汚染		
10	人工化学物質と環境		
11	放射性物質		
12	循環型社会		
13	汚染者負担の原則		
14	今後の環境問題		
15	環境問題の解決策		

基本情報

科目名	ライフサイエンス
時間割コード	1000260101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	この講義では、数学と物理学の基礎を理解し、問題演習を通して「数学的思考」や「科学的思考」ができるようになることを目指します。 また、医療・福祉分野において必要となるであろう項目を取上げますが、その学修により、観察事実に基づく科学的思考、分析的思考を身に付けます。
履修上の注意事項	黒板に書かれたことをただ写すだけでなく、講義を聞いて、なぜそうなのかを考えながら、要点をまとめてノートするようにしてください。自分の頭で考えることなしに、物理学や科学的思考を理解することはできないからです。 また毎回、前の週の確認テストを行なうので、復習をして、特に授業中の演習問題は、もう一度解いてみて、その考え方のプロセスを学ぶように。
評価方法	課題レポートと、筆記・実技試験の結果を総合的に判断します。配点は、レポート30%、試験70%と考えています。再試験は行ないます。
テキスト	テキストは使わず、必要に応じてプリントを配布します。
参考文献	講義中に、適宜、指示します。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	質的データと度数分布表・ヒストグラム数と演算		
2	算術平均，加重平均；幾何平均		
3	比・連比，比率（静的・動的）		
4	指数関数とその性質		
5	対数関数とその性質		
6	経験的確率と理論的確率		
7	2項分布とポアソン分布		
8	条件付き確率，期待値		
9	力とベクトル、力の合成・分解、作用反作用、力のつり合い		
10	力のモーメント、挺子(てこ)の原理、モーメントのつり合い		
11	身体の構造と挺子、重心と安定性		
12	速度、加速度、ニュートンの運動の法則		
13	重力と重力加速度、一様重力による運動		
14	等速円運動、単振動、波		
15	運動量と運動量保存則、はね返り係数		

基本情報

科目名	ライフサイエンス
時間割コード	1000270101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名	
檜枝 洋記	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、化学および生物学の基礎的な内容について学ぶ。専門科目（解剖学、生理学、生化学など）の理解に役立てる。
履修上の注意事項	高校で化学や生物学を履修していない学生には受講を強く勧める。
評価方法	中間試験 50%、単位修得試験 50%
テキスト	特になし。プリントを配布。
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	人体を構成する元素と原子	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
2	物質の質量とモル	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
3	水溶液の%濃度とモル濃度	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
4	浸透圧	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
5	酸と塩基	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
6	pHと緩衝液	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
7	有機化合物	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
8	中間試験	これまでの内容をしっかりと復習しておくこと	
9	生物の多様性と共通性	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
10	細胞の構造とはたらき	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
11	組織と器官	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
12	DNA・遺伝子・染色体	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
13	細胞分裂	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
14	生殖と発生	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
15	代謝と酵素	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	

基本情報

科目名	アカデミックスキルズ
時間割コード	1000280101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
安藤 学、野崎 和義、森 信之、檜枝 洋記、高 継芬、後藤 隆昭

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、自分の頭で考え、問題・課題を見つけて解決する能力、また、物事を論理的に、思考し、読み解き、伝える能力を養う。
履修上の注意事項	「教えてもらう」ではなく、「積極的に学びとる」気持ちを持って授業に臨んでください。
評価方法	課題レポート70%、発表30%。 課題レポート等に対して、授業の中で担当教員および履修生からコメントする。
テキスト	なし
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(檜枝)		
2	要するに言いたいことは何か(檜枝)		
3	言いたいことが伝わる表現か(檜枝)		
4	誤解していないか(檜枝)		
5	文章の構成(安藤)		
6	文章の展開(安藤)		
7	「話す」と「書く」の違い(高)		
8	伝える相手を意識する(高)		
9	表現の質を高める(後藤)		
10	読み書きの実践(後藤)		
11	論理的思考・表現の基礎(森)		
12	論理的に考える(森)		
13	発想を広げる(森)		
14	自由とは何か(野崎)		
15	自然科学と人文・社会科学(野崎)		

基本情報

科目名	臨床心理学
時間割コード	0124200101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	未定
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業は、現代の心理学の全体的な動向をコンセプトにした「心理学・臨床講義」というスタンスに立って、必要な基礎的な知識の習得を目指す。とかく従来の臨床心理学は単なる学派の羅列的理解が中心であることが多いが、この授業では、正常との連続変数及び心理学的援助対象のケアシステムの一部として、現代の代表的な心理病理現象をどのように診立て、また、援助を行う必要があるかについての基本知識の習得と心理的援助の勘所に焦点を当てながら理解を深めていく。
履修上の注意事項	シラバス内容について事前に学習し、事後はテキストおよびノートにより知識を深めておく。特に用語とその内容について、理解をしておくこと。
評価方法	期末試験100%で評価
テキスト	臨床心理学への招待[第2版] (2020) 野島一彦(編集) ミネルヴァ書房
参考文献	DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引(2014) 医学書院
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	臨床心理学とは何か		
2	面接と検査 アセスメント		
3	観察と行動 データ収集技法		
4	正常と異常 DSMを中心に		
5	乳幼児期の課題と問題		
6	児童期の課題と問題		
7	青年期の課題と問題		
8	老年期の課題と問題		
9	不適応と環境調整		
10	臨床心理学的援助法ー認知行動療法など		
11	臨床心理学的援助法ー遊戯療法など		
12	臨床心理学的援助法ー動作法など		
13	臨床心理学的援助法ーイメージ療法など		
14	家族療法		
15	医療・福祉領域の臨床心理学		

基本情報

科目名	看護学概論
時間割コード	1000290101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、上妻 尚子、赤峰 隆元

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護専門職としての自己の健康観、看護観を追及するために必要となる知識、概念を理解する。看護の対象および看護の提供、歴史・制度および将来の専門職の展望に関する知識から看護学について理解する。保健・医療・福祉専門職者として相応しい高い知識と優れた技術を身につける必要性を知る。
履修上の注意事項	課題について考え、レポートを提出する。第1回目のオリエンテーション時に授業前・後の学習（各2時間）について説明をするので、具体的な学習方法を考え実践すること。課題レポートは授業前の事前学習であり、講義期間中の小テストはそれまでの学習の復習を兼ねた事後学習である。教科書の精読、レポート作成に要する時間は60分である。
評価方法	定期試験（筆記）：60%、学習態度・状況（小テスト、レポート提出、グループ活動の参加と発表）：40%。 フィードバックとして小テストは問題を確認することで学習に役立て、レポートは返却する。
テキスト	『系統看護学講座 基礎看護学（1）』茂野香おる 他（医学書院）
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者は病院、施設等における看護師、保健師、学校における養護教諭の実務経験者である。

授業計画

授業計画
看護学概論は看護に関する幅広い知識を学ぶことで、保健医療福祉の専門職者としての自身の考えを明らかにすることを目指した学習である。ここでの学びは、今後の授業内容にもつながることである。また、専門職者として活動する上で、必要不可欠な知識の習得の場である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、看護学概論とは（柴田）	オリエンテーション時に事前・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。	
2	人間の欲求と健康、健康のとらえ方（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
3	国民の健康状態（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
4	看護の対象の理解（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
5	サービスとしての看護・看護サービス提供の場（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
6	災害時における看護（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
7	小テスト1、ナイチンゲールについて（柴田）	事前学習はこれまでの学習を復習する。事後学習はナイチンゲールについて学習したことをまとめる。	

授業計画

看護学概論は看護に関する幅広い知識を学ぶことで、保健医療福祉の専門職者としての自身の考えを明らかにすることを目指した学習である。ここでの学びは、今後の授業内容にもつながることである。また、専門職者として活動する上で、必要不可欠な知識の習得の場である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	医療安全と医療の質保証（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
9	看護職者の教育とキャリア開発、看護職の養成制度の課題（赤峰）	事前学習は該当部分の教科書を読む。事後学習は養成制度の特徴を確認する。	
10	看護における倫理（柴田）	事前学習は該当部分の教科書を読む。事後学習は看護倫理からの学びを基に自己の課題を明らかにする。	
11	国際化と看護（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
12	看護とはなにか（柴田）	事前学習は該当部分の教科書を読む。事後学習は看護の定義をまとめる。	
13	小テスト2、看護の理論家について学習（柴田）	事前学習はこれまでの学習を復習する。	
14	職業としての看護・看護職者の養成制度と就業状況（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
15	グループワーク：医療職者における専門性、学習のまとめ（柴田）	事前学習は医療職者の専門性について調べる。事後学習は専門性を高めるための自己の課題を明らかにする。	

基本情報

科目名	社会福祉の原理と政策
時間割コード	1000300101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	村本 浄司
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
未定、村本 浄司

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 社会福祉の固有の視点である政策の実践の歴史、相互作用の変遷について説明できる。</p> <p>2. 社会福祉の思想と哲学及び理論の基本事項について説明できる。</p> <p>3. 現代の社会問題と社会構造の概要について説明できる。</p> <p>4. 福祉政策の基本的な視点や概念、理念について、説明できる。</p> <p>5. ニーズという言葉の意味や必要原則、貢献原則、資源の性質や種類について説明できる。</p>
履修上の注意事項	本講義は5名の教員によるオムニバスによって実施する。講義にあたっては、各先生の指示に従い、積極的に参加することを望む。
評価方法	定期試験60%、課題レポート40%で評価する。
テキスト	最新・社会福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編、中央法規、2021年
参考文献	適宜資料を配布する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	研究員として障害者支援施設に勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、社会福祉の原理とは何かについて理解する(村本)	(事前)教科書P2-P5を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の原理についてノートにまとめる(2時間)。	
2	社会福祉の原理と様々な理論について理解する(村本)	(事前)教科書P6-P13を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の様々な理論についてノートにまとめる(2時間)。	
3	社会福祉の歴史を学ぶ意義と英国と米国における福祉の歴史的展開について理解する(村本)	(事前)教科書P16-P33を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)英国と米国の福祉の歴史についてノートにまとめる(2時間)。	
4	日本の社会福祉の歴史的天下について理解する(村本)	(事前)教科書P34-P45を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)日本における社会福祉の歩みについてノートにまとめる(2時間)。	
5	自由主義イデオロギーとフェミニズムについて理解する(増田)	(事前)教科書P48-P59を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)イデオロギー、自由主義、新自由主義についてノートにまとめる(2時間)。	
6	社会福祉の理論について理解する(増田)	(事前)教科書P60-P69を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の理論についてノートにまとめる(2時間)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	社会福祉の論点を把握し、公私関係、普遍主義と選別主義について理解する（増田）	（事前）教科書P70-P79を読み、わからない語句について調べておく。 （事後）様々な社会福祉論点について、ノートにまとめる（2時間）。	
8	社会福祉の対象とニーズについて理解する（増田）	（事前）教科書P80-P88を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）社会福祉における対象の捉え方についてノートにまとめる（2時間）。	
9	現代における社会問題について理解する（阿部）	（事前）教科書P90-P99を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）現代の様々な社会問題についてノートにまとめる（2時間）。	
10	社会問題が生じている構造的背景について理解する（阿部）	（事前）教科書P100-P108を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）社会問題の構造的背景について、ノートにまとめる（2時間）。	
11	福祉政策とニーズの概念について理解する（橋本）	（事前）教科書P110-118を読み、わからない語句について調べる（2時間）。 （事後）福祉政策とニーズについてノートにまとめる（2時間）。	
12	自由と平等、自由主義と新自由主義が福祉に与える影響について理解する（橋本）	（事前）教科書P119-P131を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）新自由主義が福祉政策に与える影響についてノートにまとめる（2時間）。	
13	福祉におけるニーズの概念について学ぶ（ニーズの使われ方、ニーズとデマンド）（平川）	（事前）教科書P134-P143を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）ニーズとデマンドの関係についてノートにまとめる（2時間）。	
14	福祉におけるニーズの概念について学ぶ（行政需要と行政ニーズ、ニーズの把握、ニーズの種類）（平川）	（事前）教科書P143 - P151を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）公正の原理としての必要原則についてノートにまとめる（2時間）。	
15	ニーズを充足するものとしての資源について理解する（村本）	（事前）教科書P152-163を読み、わからない語句について調べる（2時間）。 （事後）福祉政策における資源についてノートにまとめる（2時間）。	

基本情報

科目名	地域保健論
時間割コード	1000310101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 地域保健の位置づけやその構造を理解し、具体的な活動や医療制度について理解する。 2 地域保健が目指す新しい健康の概念や地域集団としての健康づくりへの取り組みの例に着目し、今後の地域医療の在り方について考えることができる。
履修上の注意事項	1 ペアによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。 2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。
評価方法	ディスカッションへの参加40%、課題提出20%、期末試験40%で評価する。 再試験は実施しない。
テキスト	使用しない。
参考文献	毎回、資料を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	地域保健とその構造		
2	保健・医療・福祉の組織と活動		
3	保健・医療・福祉の組織と活動		
4	医療計画と医療制度		
5	救急・災害医療		
6	救急・災害医療		
7	へき地医療		
8	在宅医療		
9	在宅医療		
10	地域と健康づくり		
11	地域と健康づくり		
12	チーム医療（保健・医療・福祉の連携）		
13	健康と環境		
14	健康と環境		
15	健康と環境		

基本情報

科目名	在宅療養支援チーム協働論
時間割コード	0124201501
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	福本 久美子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保健医療福祉の対象者「在宅療養者」を、疾病や障害を抱えながら在宅生活を継続する生活者としてとらえることができる。 ・保健医療福祉職の対象者「在宅療養者」に対し、個別的・包括的な支援が提供できるよう、関係者や関係機関の連携や協働の在り方について理解することができる。 ・本科目は、学びの最終学年として、地域包括ケアシステムの構築のために、在宅療養支援チームの一員として協働の在り方を考え、その役割について具体的なイメージを抱くことができる。
履修上の注意事項	・本科目の履修によって、卒業後の実践イメージができるよう、予習復習を行い、講義に積極的に参加すること(90分以上)。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート100% ・提出先：Campas Square。フィードバックは質問者に対応。
テキスト	特になし。
参考文献	その都度、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	福本久美子：保健師・看護師としての実務経験 生野繁子：看護師としての実務経験 大池貴行：理学療法士としての実務経験 上田智之：看護師としての実務経験 田口太郎：鍼灸師としての実務経験 中川武子：看護師・保健師としての実務経験 田中康子：看護師としての実務経験 十時彩：歯科衛生士としての実務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	「在宅療養支援チーム協働論」の目的・展開方法について（福本）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
2	「地域包括ケアシステム」の構築に対する住民の期待と専門職（生野）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
3	在宅療養の対象者の人権について（野崎）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
4	社会で起こっている出来ごと「在宅療養生活者の健康格差」（中川）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
5	在宅療養を送る当事者からのメッセージ（福本：特別講師）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	外部特別講師として、在宅療養を行っている当事者
6	在宅療養を送る当事者家族からのメッセージ（福本：特別講師）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	外部特別講師として、在宅療養を行っている当事者家族

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	在宅療養支援を行う各専門職とその協働（田中）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
8	在宅療養支援を行う専門職の役割「看護職」（上田）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
9	在宅療養支援を行う専門職の役割「福祉職」（橋本）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
10	在宅療養支援を行う専門職の役割「理学療法士」（大池）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
11	在宅療養支援を行う専門職の役割「鍼灸師」（田口）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
12	在宅療養支援を行う専門職の役割「歯科衛生士」（十時）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
13	在宅療養支援を行う専門職の役割「保健師」（未定）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
14	在宅療養支援を行う専門職の役割「医師」（福本：特別講師）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	外部特別講師として、地域包括ケアの提供リーダーとしての医師
15	まとめ：「地域包括支援システムにおける在宅療養支援チーム協働」の在り方について（福本、他）	14コマまでの振り返りと事前学習（2時間）、事後は全体を振り返り、自身の考えをまとめること（2時間）	

基本情報

科目名	行動療法論
時間割コード	1000320101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	李 玄玉
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
李 玄玉

詳細情報

授業の目的・到達目標	行動療法は、治療の期間も短く、治療の効果もはっきりしている。治療の組み立て方、方針の立て方、その基本となる行動の見方を基礎からしっかりと捉えれば、無限の可能性が開かれる。本講義では、行動療法の基礎理論や技法を理解するとともに、行動療法の目指している地点を探求することを目標とする。
履修上の注意事項	授業後の復習。理解できなかった部分について調べること。
評価方法	授業態度及び発表 40点、レポート 10点、テスト 50点、合計 100点
テキスト	プリント資料を配布する。
参考文献	行動療法の理論と技術」内山喜久雄、日本文化科学社
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1.オリエンテーション		
2	2.行動療法について		
3	3.行動療法の特徴		
4	4.行動療法の動向および 認知行動療法について		
5	5.行動療法の知識の概要		
6	6.行動療法と他の心理療法 との相違点		
7	7.行動療法に必要な条件 づけに関する基礎知識		
8	8.行動療法の諸技法		
9	9.行動形成法の理論と 具体的事例		
10	10.トークンエコノミク 法と行動の改善		
11	11.臨床の場面での行動 療法		
12	12.発達障害児の行動改善 における行動療法		
13	13.行動療法の具体的な 事例のビデオ鑑賞		
14	14.具体的な事例と行動 療法の適用		
15	15.具体的な事例と行動 療法の適用		

基本情報

科目名	解剖生理学
時間割コード	1000330101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	二科 安三
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
二科 安三

詳細情報

授業の目的・到達目標	人体各部の構造と機能を勉強する。本講義で中心となるのは消化器系、血液および循環器系、呼吸器系、泌尿器系であり、その周辺（たとえば神経系等）にも注意を払いつつ勉強する。適切な教科書を指定するので、その7割程度は理解して他人に解説できるようになること。
履修上の注意事項	教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。（毎講義2時間ずつ）
評価方法	期末試験（100％）で判定する。
テキスト	解剖生理学（人体の構造と機能[1]）、坂井建雄、岡田隆夫 医学書院
参考文献	なし。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。（毎講義2時間ずつ）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	はじめに 解剖学・生理学		
2	栄養の消化と吸収1 口・咽頭・食道・胃の構造と機能		
3	栄養の消化と吸収2 小腸・大腸の構造と機能		
4	栄養の消化と吸収3 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能		
5	呼吸と血液の働き1 呼吸器の構造と呼吸運動		
6	呼吸と血液の働き2 ガス交換とガスの運搬		
7	呼吸と血液の働き3 呼吸運動の調節		
8	呼吸と血液の働き4 血液の組成と機能		
9	血液の循環とその調節1 心臓の構造、心臓の興奮とその伝播		
10	血液の循環とその調節2 心臓の収縮、心周期		
11	血液の循環とその調節3 血圧・血流量の調節		
12	血液の循環とその調節4 微小循環、リンパの循環		
13	体液の調節と尿の生成1 腎臓の構造、糸球体・尿管・傍糸球体装置		
14	体液の調節と尿の生成2 糸球体濾過、クリアランス、排尿の機序		
15	体液の調節と尿の生成3 体液の調節		

基本情報

科目名	解剖生理学
時間割コード	1000340101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	二科 安三
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

詳細情報

授業の目的・到達目標	人体各部の構造と機能を勉強する。本講義で中心となるのは自律神経系、内分泌系、骨と筋肉、生殖器官系、生体防御免疫系が中心となる。適切な教科書を指定するので、その7割程度は理解して他人に解説できるようになること。
履修上の注意事項	教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。(毎講義2時間ずつ)
評価方法	期末試験(100%)で判定する。
テキスト	解剖生理学 と同じ教科書を使用する。 解剖生理学 人体の構造と機能1、坂井建雄、岡田隆夫、医学書院
参考文献	なし。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。(毎講義2時間ずつ)	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	神経系の構造と機能 神経系の構造、興奮の伝導と伝達内臓機能の調節		
2	自律神経による調節		
3	内分泌による調節1 ホルモンの構造、視床下部、下垂体		
4	内分泌による調節2 甲状腺、膵臓、副腎、甲状腺・副甲状腺		
5	内分泌による調節3 ホルモン分泌の調節、ホルモンによる調節		
6	身体の支持と運動1 骨と筋の構造		
7	身体の支持と運動2 体幹、上肢、下肢、頭頸部の骨格と筋、身体の支持と運動		
8	身体の支持と運動3 筋の収縮		
9	情報の受容と処理1 中枢神経の構造と機能情報の受容と処理		
10	情報の受容と処理2 末梢神経の構造と機能		
11	情報の受容と処理3 脳の高次機能、運動機能、感覚機能		
12	情報の受容と処理4 特殊感覚の構造と機能		
13	身体機能の防御と適応1 皮膚の構造と機能、生体の防御機構		
14	身体機能の防御と適応2 体温とその調節		
15	生殖・発生と老化のしくみ生殖		

基本情報

科目名	生活栄養学
時間割コード	1000360101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	未定
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>食べ物と健康という観点から、基礎栄養学、食物の消化・吸収、栄養素の特徴や役割、臨床栄養学の面から疾病と栄養の関連について理解し、自らが幅広い視野と知識を身につけて実践する事、特に食事や栄養に関する情報量が急増している中、自身や人々の健康の維持増進に努める事が出来る。</p> <p>また、医療従事者として、様々な身体的状況にある人々に接する際に、自身が学んだ食・栄養面の知識を、効果的に行う技法や体験を活かし、サポートすることで自らも健康的な食生活が実践出来るようになる。</p>
履修上の注意事項	履修の中で、各単元の理解を把握するために演習課題を出すので、授業前にキストと配布資料、テキストの副読本としての「栄養学整理ノート」を読み事前に必ず予習して講義を受講すること
評価方法	期末試験（筆記）95% 学習態度5%(出席日数・私語が多くて注意を受けた時)
テキスト	「わかりやすい栄養学 第4版 -臨床・地域で役立つ食生活指導の実際-」ヌーヴェルヒロカワ
参考文献	わかりやすい栄養学（三共出版）基礎栄養学（第一出版）日本人の食事摂取基準（2015年版）七訂補日本食品成分表、国民衛生の動向30年版 糖尿病の食品交換表 腎臓病の食品交換表、応用栄養学（医歯薬出版）
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション・ 栄養の基本概念（栄養とは 健康と栄養評価 食行動と管理目標）		
2	食生活の課題（食と環境 食と健康 食文化）		
3	日本人の食事摂取基準		
4	栄養指導・保健指導（栄養指導の過程と栄養スクリーニング）		
5	食物と栄養（栄養素とその働き）（1）炭水化物の種類、エネルギー		
6	食物と栄養（栄養素とその働き）（2）脂質・たんぱく質		
7	食物と栄養（栄養素とその働き）（3）ビタミン・無機質		
8	食物の摂取と消化・吸収（食欲・消化の調節栄養素の吸収）		
9	ライフステージと健康教育（妊娠・授乳期、乳幼児期）		
10	ライフステージと健康教育（学童期・思春期）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	ライフステージと健康教育（成人期・老年期）		
12	疾患別食事指導の実際（1）糖尿病、高血圧、脂質異常症		
13	疾患別食事指導の実際（2）虚血性心疾患 脳卒中等		
14	疾患別食事指導の実際（3）慢性腎臓病 摂食嚥下障害等		
15	経管栄養と中心静脈栄養（栄養療法 経腸・静脈栄養法・栄養管理におけるチームアプローチ）		

基本情報

科目名	感染症学
時間割コード	0124201001
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
三森 龍之、徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	ヒトと共生する常在菌叢の働き、ヒトの健康を害する病原微生物・寄生虫の性質や感染機構を理解し、さらに代表的な感染症について、その感染経路、症状、予防・治療法に関する基礎知識を修得する。また、生体防御機構、各種感染症に有効な化学療法薬・消毒薬の病原体に対する作用とヒトへの影響について理解を深めるとともに、耐性菌、新興感染症・再興感染症の出現、日和見感染症の増加等の医療分野における重要な課題について説明できるようになる。さらに、がん治療に用いる化学療法薬の種類と作用機序についても概説できるようになる。
履修上の注意事項	1) 毎回の準備学習として、教科書を熟読する。『わかる!身につく!病原体・感染・免疫』(主に第1-6回に使用)、『コメディカルのための薬理学』-第1章,12章,13章-(第7-15回に使用)(約1時間) 2) 授業には指定教科書、ノート、プリントを持参する。講義内容を書留め、その日の内に復習する(約1時間)。 3) 講義プリントはファイルし、専門用語を正確に覚え、その概念を正しく理解する。 4) 教科書・参考書・講義プリント等について理解できない箇所は、教員に質問する。
評価方法	1) 「授業の目的・到達目標」に示した内容の達成度を評価するため、学期末に筆記試験を行う。 配点: 第1~6回の講義 40%、第7~15回 60% 2) 小テスト結果のフィードバックとして、授業内でポイントの解説を行う。
テキスト	1) 『わかる!身につく!病原体・感染・免疫 第3版』 藤本 編, 南山堂3,080円 2) 教員作成プリント 3) 『コメディカルのための薬理学 第3版』渡邊 他編, 朝倉書店 4,070円(薬理学でも使用する)
参考文献	1) 『系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進4微生物学』南嶋 他著, 医学書院 2) 『わかりやすい薬理学 第4版』安原 他編, ヌーヴェルヒロカワ 3) 『シンプル薬理学 改訂第6版』野村 他編, 南江堂
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	感染症学概論、常在菌叢とその働き(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
2	病原微生物の分類と特性(構造、性質、病原性、感染機構)(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
3	細菌と感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
4	真菌と感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
5	ウイルスと感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
6	寄生虫・原虫と感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
7	感染に対する生体防御機構(免疫系)、予防接種用薬(徳富)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
8	感染症に対する薬物(化学療法薬概論)、薬物動態(徳富)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	抗菌薬（抗生物質）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
10	抗菌薬（合成抗菌薬）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	抗結核薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	抗真菌薬、抗原虫薬、抗寄生虫薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	抗ウイルス薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	消毒薬・殺菌薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	抗がん薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	薬理学
時間割コード	0124201170
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

詳細情報

授業の目的・到達目標	薬物とは、恒常性（ホメオスタシス）の破綻による生体機能の異常（病態）を正常範囲に戻そうとする目的で、疾病の治療・予防・診断に用いられる化学物質である。日進月歩の薬物療法が、医療・保健・福祉の現場で適正かつ有効に行われているか判断できるよう、各種薬物を系統的に把握し理解する。基本的な薬理学の知識に基づく論理的思考力を駆使して、副作用の発現防止に寄与するための応用力を身につける。薬物療法の基礎知識を用い、論理的思考を展開できることを目標とする。
履修上の注意事項	1) 各回のテキスト該当箇所を予め熟読すること（1時間程度）。 2) 講義中に要点をノートに書き、その日の内に内容をしっかりと復習すること（1時間程度）。 3) 講義プリントはファイルし、薬理学授業時に、教科書、ノートと一緒に必ず持ってくる。こと。 4) 専門用語は正確に覚え、その概念を正しく理解すること。理解できない内容は講義の前後に質問すること。
評価方法	1) 学期末の本試験（100%：筆記試験）で評価する。前提条件は2/3以上の出席。 2) 「薬物療法の基礎知識を用い、論理的思考を展開できる」を評価基準とする。 3) 最終授業で、全体に対するフィードバックを行う。
テキスト	1) 『コメディカルのための薬理学 第3版』渡邊 他編，朝倉書店 4,070円（感染症学でも使用） 2) 教員作成プリント
参考文献	1) 『系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学』吉岡 他著，医学書院 2) 『わかりやすい薬理学 第4版』安原 他編，ヌーヴェルヒロカワ 3) 『今日の治療薬2021』浦部他編，南江堂
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	薬理学総論（薬物療法、関係法規、薬物の作用点）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
2	薬理学総論（薬物相互作用）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
3	薬理学総論（薬物動態）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
4	薬理学総論（年齢・臓器障害等による薬物動態変化、剤形）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
5	末梢神経系作用薬（交感神経系作用薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
6	末梢神経系作用薬（副交感神経系作用薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
7	末梢神経系作用薬（筋弛緩薬、局所麻酔薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
8	循環器系作用薬（抗不整脈薬、心不全治療薬、狭心症治療薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
9	循環器系作用薬（高血圧治療薬、末梢血管作用薬、利尿薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
10	中枢神経系作用薬（全身麻酔薬、催眠薬、抗不安薬、抗精神病薬、抗うつ・躁薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
11	中枢神経系作用薬 (抗てんかん薬、パーキンソン病治療薬、麻薬性鎮痛薬、中枢興奮薬)	教科書の予習・講義の復習 (それぞれ2時間程度)	
12	炎症・免疫疾患に対する薬物 (抗炎症・抗アレルギー薬、免疫抑制薬、免疫増強薬)	教科書の予習・講義の復習 (それぞれ2時間程度)	
13	呼吸器系疾患に対する薬物 (気管支喘息治療薬、COPD治療薬、鎮咳・去痰薬)	教科書の予習・講義の復習 (それぞれ2時間程度)	
14	消化器系疾患に対する薬物 (消化性潰瘍治療薬, 他), 泌尿器系疾患に対する薬物 (排尿障害治療薬)	教科書の予習・講義の復習 (それぞれ2時間程度)	
15	代謝・内分泌系疾患に対する薬物 (糖尿病治療薬、痛風治療薬、他)	教科書の予習・講義の復習 (それぞれ2時間程度)	

基本情報

科目名	国際協力論
時間割コード	1000370101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	安藤 学
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名	
安藤 学、川原 英照、川原 光祐、久家 誠司	

詳細情報

授業の目的・到達目標	ディプロマ・ポリシーにある「基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養する」ための科目として位置付ける。今日、貧困・教育・紛争・環境破壊・エイズ・食糧問題など地球規模の諸問題はますます深刻な状況にあります。このような問題は、私たち日本人にとっても遠い国の問題ではありません。私たちも国際社会の一員として世界の国々と協調連帯して国際協力を推進するための能力を修得することができる。
履修上の注意事項	オムニバスであるので、毎回の出席を心がける。事前に出され課題について調べて授業に臨むことと、授業後に授業前に出された課題と授業で学んだ内容について比較して復習をすること。
評価方法	レポート(80%コメントして返却します。) 授業への取り組み20%
テキスト	資料を準備する
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	川原英照 れんげ国際ボランティア会 会長 川原光祐 れんげ国際ボランティア会 常務理事 久家誠司 れんげ国際ボランティア会 事務局長

授業計画

授業計画	
事前学修：毎回授業内容について調べておく(2時間)	
事後学修：毎回授業で学修した内容について復習する(2時間)	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	国際協力とは何か(安藤)		
2	政府開発援助(安藤)		
3	政府開発援助の事例(安藤)		
4	NGOによる民間協力(安藤)		
5	NGOによる民間協力の事例(安藤)		
6	技術協力の方法(川原光祐)		
7	技術協力の方法の事例(久家)		
8	参加型開発(久家)		
9	参加型開発の事例(久家)		
10	国際協力の理念(久家)		
11	国際協力の理念の事例(久家)		
12	国際協力の事例(民間)(久家)		
13	国際協力の事例(政府)(安藤)		
14	国際理解と支援活動(安藤)		
15	今後の国際協力のあり方(安藤)		

基本情報

科目名	危機管理と災害支援
時間割コード	1000380101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	安藤 学
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
安藤 学

詳細情報

授業の目的・到達目標	ディプロマ・ポリシーにある「基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養する」ための科目として位置付ける。日常生活の中においても、危険は常に存在する。もちろん日常生活だけではなく拡大して考えれば地球上にはいろんな危険が存在しており、それに対する危機管理が必要である。家庭内の危険から出発し国際紛争までいたる危機管理について学ぶ。そして、災害についての危機管理と災害発生後の支援のあり方について検討できる能力を修得することができる。
履修上の注意事項	授業前に出された課題を完成させて授業に臨み、授業後は授業前の課題と授業で学んだことを比較して復習をすること。
評価方法	レポート提出（80%コメントして返却します。）、授業への取り組み姿勢（20%）
テキスト	なし
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
事前学修：毎回事前に内容について調べておく(2時間) 事後学修：毎回授業で学修した内容を復習する(2時間)

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	危機管理論オリエンテーション		
2	危機管理とは何か		
3	危険とは何か		
4	家庭における危険と危機管理		
5	地域社会における危険と危機管理		
6	学校における危険と危機管理		
7	企業における危険と危機管理		
8	国家における危険と危機管理		
9	国家間のバランスと危機管理（安全保障）		
10	地方自治体の危機管理		
11	住民の避難行動		
12	災害支援の方法 1（災害発生時）		
13	災害支援の方法 2（自活生存）		
14	災害支援の方法 3（避難救助）		
15	危機管理についての総まとめ		

基本情報

科目名	災害支援演習
時間割コード	0124201401
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	安藤 学
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
安藤 学、花田 雄二

詳細情報

授業の目的・到達目標	災害支援の場合、常に支援協力活動にあたる要員の為に、快適な宿泊設備、生活物資が用意されているとは限らない。むしろ多くの場合が、災害被災地であったり、生活物資の不足する場所での支援協力活動である。支援協力活動において任務を遂行するために、まず自分自身の安全の確保と生命の維持が確保されなければならないし、またチームワークも重要である。この演習では、協力協同の精神を涵養し災害場面を想定して自活生存、生命維持のための基本的な方法と共に、支援活動に必要な基本技術を修得できる。
履修上の注意事項	演習に際しては、安全確保のために指定の作業着・帽子・作業靴を着用する。(作業着等については、貸与するが、食事代と作業服のクリーニング代は各自負担) 演習前に出された課題を完成させて授業に臨み、演習後は演習で学んだことを復習をすること。事前に配布された資料を学習しておき、演習終了後は各自で復習を定期的におこなうこと。
評価方法	実技試験(80%)、演習態度(20%)
テキスト	プリントを配布する
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	花田雄二：東京消防庁 消防士の経験あり

授業計画

授業計画
<p>この演習では、「海上訓練」と「陸上訓練」に分けて集中的に実施する。</p> <p>「海上訓練」では短艇(カッター)を用いて協同協力の精神を養い、「陸上訓練」では実際にテントを設営し野営して自活生存方法を修得する。また「海上訓練」「陸上訓練」を通じてチームワークの重要性を学ぶ。実施の時期については、前もってオリエンテーションを開き説明指導する。ただしこの演習で、他の授業に支障(公欠で授業を欠席)がでないように、夏季休暇中の実施する。</p> <p>「海上訓練」(9月上旬 4日間 長洲海洋センター/前面海域) 短艇(カッター)・帆走(ヨット)・結索(ロープワーク)・安全管理・気象観測・溺者救助・応急処置・信号通信・統率(指揮)法</p> <p>「陸上訓練」(9月中旬 2泊3日 大学構内/蛇が谷公園) オリエンテーリング(地図見・コンパス見方)・ロープ技術(ロープ渡り・降下等)・野営方法(テント設営・炊飯等)・安全管理・救急処置(傷病者搬送方法含む)・統率(指揮)法</p> <p>「海上訓練」・「陸上訓練」とも、学内において事前指導を行った後に実施する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	生命倫理
時間割コード	1000240101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

詳細情報

授業の目的・到達目標	生命に関する倫理的諸問題について、人はどのように対処すべきだと考えられるかについて理解する。先端医療を始めとするバイオテクノロジーの発展がもたらす恩恵とそれにともない問われることになった生命の意味について、基本的概念とその問題点の学びから生命倫理学に関心を持ち、保健・医療・福祉の従事者としての考えを深められるようになる。
履修上の注意事項	レポート発表、グループワークを行うので積極的に授業に参加をすること。課題に対して自分の意見を準備しておくこと。第1回目のオリエンテーション時に授業予定、授業前・後の学習について説明をするので、具体的な学習方法を考え実践すること。課題レポートは授業前の事前学習であり、講義期間中の小テストはそれまでの学習の復習を兼ねた事後学習である。
評価方法	定期試験：60%、学習態度・状況（レポート提出、グループ活動の参加と発表）：40%
テキスト	随時、紹介する。
参考文献	『生命倫理学を学ぶ人のために』（加藤尚武・加茂直樹編）世界思想社
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	本学における担当者は病院における看護師、助産師、学校における養護教諭実務経験者である。

授業計画

授業計画	
オリエンテーションにおいて事前学習・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。非常勤講師が担当する授業は、補講予定日に行われる予定である。	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、現代社会と生命倫理：生命の質（柴田）	オリエンテーションにおいて事前学習・事後学習について説明する。	
2	インフォームド・コンセント（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
3	尊厳死（川本）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
4	安楽死（川本）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
5	終末期ケア（川本）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
6	小児期の保健・医療と生命倫理（二宮）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
7	周産期医療と生命倫理（松本）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	

授業計画

オリエンテーションにおいて事前学習・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。非常勤講師が担当する授業は、補講予定日に行われる予定である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	医療資源の配分（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
9	パーソン論（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
10	パターンリズムと患者の権利（未定）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
11	自律とwell-being（未定）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
12	専門職の役割・責務（未定）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
13	ケアと生命倫理（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
14	倫理の源を考える：規範倫理学の時代（村田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
15	倫理の源を考える：応用倫理学の発展（村田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	

基本情報

科目名	発達心理学
時間割コード	1000040101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
水間 宗幸

詳細情報

授業の目的・到達目標	基本的な教養および対人専門職の基礎的位置づけとして発達心理を位置付け、これを学ぶことにより自己及び他者をひとつの人格として考えることができる。またそれぞれの発達段階の一般的特性を理解し、望ましい発達およびその支援を考えることができる。
履修上の注意事項	予習・復習を行うこと。特に、次回授業内容に関して必ず教科書の当該箇所を読んでおくこと。復習においては、キーワードを自分のことばで説明できるようにしておくこと。
評価方法	学んだことについて総合的な理解がどの程度できているか、レポートにて評価する(100%)。フィードバックについては希望者に対し個別でレポートのコメントを行う。
テキスト	『新・プリマーズ/保育/心理 発達心理学』 無藤隆・中坪史典・西山修編著 ミネルヴァ書房
参考文献	講義過程でも適宜紹介の予定
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	専門職として発達心理学を学ぶ意義～ガイダンス		
2	発達心理学の基礎理解～発達理論、発達段階、発達課題、発達と学習の関係		
3	乳幼児期の発達の特徴～人・モノとの出会い		
4	愛着形成～親との関係性と子どもの行動		
5	認知発達～子どもの遊びと社会性の広がり		
6	ことばとコミュニケーションの発達		
7	自己と情動の発達～感情発達が行動に与える影響		
8	仲間関係とこころの理解		
9	道徳性と向社会的行動の発達～集団の中で学ぶもの		
10	児童期の発達の特徴～学校教育という環境と発達課題		
11	学校のなかでの子ども～学びを支える指導の在り方		
12	発達の多様性の理解～発達のつまづきや多様化する社会の中の子どもの困り感		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	思春期・青年期の発達の特徴とアイデンティティの形成		
14	成人期から老年期の発達と課題		
15	発達と学び～生涯学習と生涯発達支援		

基本情報

科目名	環境衛生学
時間割コード	1000250101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	星野 輝彦
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

詳細情報

授業の目的・到達目標	環境因子と人との相互関係に関する知識について学ぶ。 生活環境の安全の確保と健康の維持・増進の重要性を認識できるようになる。
履修上の注意事項	授業前にプリントを読み、わからない語句を調べる。また授業で得た知識を復習しておくこと（60分）。 出欠は出席カードを用います。出席カードの裏に講義の質問や感想を書くこと。次回講義の際回答します。
評価方法	試験90%、レポート10%
テキスト	各講義の際に資料を配布する。
参考文献	「環境衛生の科学」篠田純男、那須正夫、黒木広明、三好伸一（三共出版） 「環境衛生科学」大沢基保、内海英雄（南江堂）
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	薬剤師として学校環境衛生管理に関与している。

授業計画

授業計画	
スライドやDVDを利用します。	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	環境衛生学概論：環境衛生の歴史		
2	環境因子と人体：環境物質の体内動態と毒性、安全の基準		
3	環境化学：生態系と物質動態		
4	地球環境の化学：オゾン層破壊、地球温暖化、酸性雨		
5	環境因子と健康：化学的因子（重金属、農薬、工業薬品など）の健康への影響		
6	環境因子と健康：化学的因子（環境ホルモンなど）の健康への影響		
7	環境因子と健康：生物学的因子（病原微生物など）の健康への影響		
8	環境因子と健康：物理的因子（放射線など）の健康への影響		
9	環境因子と健康：物理的因子（温熱、圧力、騒音など）健康への影響		
10	大気環境と健康：大気汚染の状況と対策		
11	水環境と健康：水に由来する健康被害、水質汚濁状況と対策		
12	食品環境と健康：食品汚染と食中毒		
13	生活環境と健康：室内の汚染物質		
14	生活環境と健康：廃棄物の分類と処理方法		
15	環境影響評価と対策：環境アセスメント		

基本情報

科目名	解剖生理学
時間割コード	1000390101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(生体の科学)

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、人体の組織・器官の構造と機能の背景にある細胞活動および分子レベルの現象を学ぶ。 基礎医学と医療とのつながりを関連付けることができるようになる。
履修上の注意事項	高校生物の知識・理解に不安がある場合は、共通科目「ライフサイエンス」の受講を強く勧める。 授業には積極的に参加すること。 質問はオフィスアワー以外でも受け付ける。
評価方法	中間試験50%、単位修得試験50%。 フィードバックとして、希望者には試験の得点を開示する。
テキスト	「なるほどなっとく！解剖生理学」改訂2版(多久和典子・多久和陽、南山堂)
参考文献	「『系統看護学講座』準拠 解剖生理学ワークブック」(坂井建雄・岡田隆夫、医学書院) 「栄養科学イラストレイテッド演習版解剖生理学ノート」第3版(志村二三夫・他、羊土社)
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	器官・組織・細胞	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
2	細胞の構造と機能	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
3	生体膜の構造と機能	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
4	体液と浸透圧	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
5	膜電位と神経の興奮	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
6	細胞間情報伝達	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
7	細胞内情報伝達	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
8	中間試験	これまでの内容を授業プリントとテキストでしっかりと復習しておくこと	
9	生体の恒常性	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
10	細胞分裂	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
11	細胞周期	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
12	生殖と発生	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
13	幹細胞と再生医療	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
14	遺伝と遺伝子	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
15	生体防御	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	

基本情報

科目名	生化学
時間割コード	1000400101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(生体の科学)

担当教員情報

教員名	
檜枝 洋記	

詳細情報

授業の目的・到達目標	生化学は諸々の生命現象を化学的に解明する学問であり、薬理学や栄養学と密接に関連している。本科目では、人体を構成する物質および生命現象の化学的基盤について学ぶ。基礎医学と医療とのつながりを関連付けることができるようになる。
履修上の注意事項	高校の化学に自信がない場合は共通科目「ライフサイエンス」の履修を強く勧める。ただ暗記するのではなく、考えて理解すること。質問等、授業への積極的な参加を期待する。
評価方法	中間試験50%、単位習得試験50% フィードバックとして、希望者には試験の得点を開示する。
テキスト	栄養科学イラストレイテッド 生化学 第3版(藺田勝ら)(羊土社)
参考文献	栄養科学イラストレイテッド 生化学ノート 第3版(藺田勝ら)(羊土社)
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	人体の構成物質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
2	糖質の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
3	脂質の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
4	アミノ酸の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
5	タンパク質の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
6	核酸の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
7	ビタミン	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
8	中間試験	これまでの内容を授業プリントとテキストでしっかりと復習しておくこと	
9	ミネラル	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
10	酵素と酵素反応	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
11	糖質の代謝	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
12	脂質の代謝	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
13	タンパク質とアミノ酸の代謝	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
14	遺伝子とタンパク質合成	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
15	バイオテクノロジー	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	

基本情報

科目名	生体機能・形態演習
時間割コード	0124300301
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 3, 木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(生体の科学)

担当教員情報

教員名
古堅 裕章、古江 佳織、齋藤 圭子、田中 康子、徳富 芳子、未定、上妻 尚子、北原 崇靖、赤峰 隆元、巖 桂子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>目的：1年次に学んだ人体の構造・形態（解剖学）と機能（生理学）を系統的に結びつけて学習し、病態を理解する上で必須の知識を修得する。人体模型の観察、循環調節機能に関連する項目の測定、患者モデルシステムを用いたフィジカルアセスメント演習、実験動物の解剖・生理学実験見学などを通して、身体の構造と機能の複雑な仕組みと、それらの個体としての統合性を実感し、考察する力を身につけ、科学的根拠に基づく看護実践の基盤とする。</p> <p>目標：人体の器官・組織の構造・解剖学的位置と生理機能を関連させながら説明できる。 循環器・呼吸器系を中心としたフィジカルアセスメントおよび心肺蘇生法を正確に遂行できる。</p> <p>生体機能の調節メカニズムを理解し、個体としての統合的観点から考察できるようになる。</p>
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回事前に、実習書をよく読み教科書等で内容を予習し(約1時間)、各演習の後は速やかにレポート作成を行う(約1時間)こと。各自が積極的、能動的に演習に取り組むこと。1年次の解剖生理学の内容をしっかり復習していることを前提に、授業を展開する。 ・携帯電話、上着、バッグ等の実習室への持込み、演習中の撮影は不許可とする。(演習に必要な道具は、適宜指示する。) ・演習、グループワークの進み具合により、正規時間内に終わらないこともある。 ・必要に応じて授業計画を変更する場合がある。詳細はオリエンテーション時に連絡する。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート内容(60%)、取り組みの姿勢(40%：積極性、自主性)に基づき、各演習項目で示す内容の達成度で評価する。(レポートの未提出がないことが評価の前提条件である。) ・レポート内容の不十分な箇所について、演習中あるいは実験見学後の解説の中でフィードバックする。(レポート(項目毎)の提出日は厳守のこと。レポートに不備がある場合は再提出を求める。)
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・各教員が作成した演習テキストやプリントの他、ビデオ、CD、フィジカルアセスメントガイドブック(山内著 医学書院)。 ・筆記用具、記録ノート、テキストおよび関連授業で使用する下記の参考文献(教科書)を分担し持参すること。
参考文献	<ol style="list-style-type: none"> 1) 『系統看護学講座人体の構造と機能1 解剖生理学』医学書院 2) 『コメディカルのための薬理学』朝倉書店 3) 『系統看護学講座別巻 臨床検査』医学書院 4) 『看護のための臨床病態学』3版、南山堂、など
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	上妻、古堅、古江、北原、田中、齋藤、巖、赤峰：看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画

1. オリエンテーション
2. 人体構造（模型）の観察・記録（骨格系・筋系・循環器系・造血器系・呼吸器系）
3. 人体構造（模型）の観察・記録（消化器系・泌尿器系・内分泌系・生殖器系・神経系・感覚器系）
4. 心電図, SpO2の測定・評価
5. 心臓の聴診・評価
6. 肺の聴診・評価
7. 心肺蘇生法
8. 自律神経系の作用について
9. 中間まとめ・確認試験
10. フィジカルアセスメントの理論について
11. フィジカルアセスメントの応用
12. バイタルサインとホメオスタシスについて
13. バイタルサインの測定
14. バイタルサイン変動の解析
15. 全体のまとめ・復習

各回の事前・事後学修（各項目の予習復習，演習結果のまとめ，レポート作成など）をそれぞれ2時間程度行う。
グループワーク，問題解決型学習を通して，目標に掲げた能力を身につける。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	医用工学
時間割コード	1000350101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(生体の科学)

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>放射線を用いた診療の目的・内容・方法をよく理解し、医療従事者として適切な前処理や患者指導、介助を行うことで十分な診療情報が得られ、治療効果の向上に繋がる。その実践のため、放射線医学(画像診断、放射線治療、放射線被曝)の基礎・応用に関する知識を身につけ、放射線の臨床利用について説明できるようになる。</p> <p>臨床検査の基礎知識と意義を学ぶ。患者の状態を正しく診断するうえで不可欠の手段となっている臨床検査の全体像と意義を総合的に理解するとともに、医療従事者の役割を正しく把握し、説明できるようになる。</p>
履修上の注意事項	<p>1) 各回のテキスト該当箇所を予め熟読すること(1時間程度)。</p> <p>2) 講義中に要点をノートに書き、その日の内に内容をしっかりと復習すること(1時間程度)。</p> <p>3) 講義プリントはファイルし、専門用語・測定値の単位を正確に覚え理解すること。理解できない内容は質問すること。</p> <p>4) 「放射線と臨床利用」には『臨床放射線医学』を、「臨床検査」には『臨床検査』の教科書を持参のこと。</p>
評価方法	<p>1) 「授業のねらい」に示した内容の達成度を評価するため、学期末に筆記試験を行う。 放射線と臨床利用50%、臨床検査50%</p> <p>2) 各担当の最後の授業で、内容に対するフィードバックを行う。</p>
テキスト	<p>1) 『系統看護学講座別巻 臨床放射線医学 第9版』青木 他著, 医学書院 2,420円</p> <p>2) 『系統看護学講座別巻 臨床検査 第8版』奈良 他編, 医学書院 2,420円</p> <p>3) 教員作成プリント</p>
参考文献	<p>『臨床検査法提要』改訂版 金井 編著, 金原出版</p> <p>『系統看護学講座専門基礎分野 人体の構造と機能1 解剖生理学』坂井 他著, 医学書院</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	羽手村：臨床検査技師として病院勤務経験

授業計画

授業計画

[授業内容]	[授業担当者]
.放射線と臨床利用	
1.放射線概論：放射線の特性、医療被曝、放射線防護を正しく理解する。 また、放射線診療のあり方と実際の診療内容の知識を得る。	羽手村
2.放射線画像：放射線画像の成立過程を理解し、いろいろな画像検査の目的と方法を習得する。	肥合
3.放射線画像検査：MRI検査と超音波検査の原理と特徴を理解し、実際の診療内容を知る。	肥合
4.放射線画像検査：CT検査の原理と特徴を理解し実際の診療内容を知る.また造影剤の特性も理解する。	羽手村
5.核医学検査：放射性同位元素を用いた核医学検査の特徴を理解し、実際の診療内容を知る。	肥合
6.放射線治療学：悪性腫瘍の治療における放射線療法役割について理解し、放射線治療の原理（メカニズム）と実際の照射技術や放射線治療の副作用、最新の放射線治療法について解説する。	荒木
7.放射線治療学：疾患ごとの放射線治療について解説する。	荒木
.臨床検査 (1年次 第1学期に学んだ解剖生理学の内容をしっかり復習していることを前提に授業を展開する。)	
8.臨床検査総論：臨床検査の種類およびその役割と評価基準	徳富
9.臨床検査総論：臨床検査の流れと看護師の役割、検体採取、保存法、感染防止、 系統別臨床検査の進め方	徳富
10.臨床検査各論：一般検査	
11.臨床検査各論：血液学的検査、化学検査	
12.臨床検査各論：免疫・血清学的検査、内分泌学的検査	
13.臨床検査各論：微生物学的検査、病理学的検査	
14.生理機能検査：循環機能検査	徳富
15.生理機能検査：呼吸機能検査、神経機能検査	徳富
各回の事前・事後学修（教科書の予習、講義の復習）をそれぞれ2時間程度行う。	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	病態生理学
時間割コード	0124300502
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(生体の科学)

担当教員情報

教員名
徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	病態生理学は、疾病を正常機能の破綻や調節機能の異常の観点から原因解明し、病理学は、疾病の原因、機序、診断を明らかにする学問である。病態生理学では、解剖生理学で学んだ人体の正常な仕組みに関する知識に基づき、疾病の成り立ちを基本的な機序に沿って整理する。さらに、その結果引き起こされる組織や臓器の変化に関する正しい知識を身につけ、各種疾患における病態生理や臨床症状を理解するための基礎を総論的に学ぶ。専門用語を正しく理解し、臓器ごとの各種疾患の成り立ちを理解するための基礎を身につける。正常な状態から病態への移行と回復過程に関する基本的知識を正確に理解し、説明できることを目標とする。
履修上の注意事項	1) 各回のテキスト該当箇所を予め熟読すること(1時間程度)。 2) 講義中に要点をノートに書き、その日の内に内容をしっかりと復習すること(1時間程度)。 3) 講義プリントはファイルし、毎回、教科書、ノートと一緒に必ず持ってくること。 4) 専門用語は正確に覚え、その概念を正しく理解すること。理解できない内容は講義の前後に質問すること。
評価方法	1) 筆記試験(100%)で、正常な状態から病態への移行と回復過程に関する基本的知識を正確に理解し、説明できるかを評価する。 2) 最終授業で、全体に対するフィードバックを行う。
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 [1]「病理学」大橋健一ほか著、医学書院
参考文献	1) なるほどなっとく!病理学 病態形成の基本的な仕組み 改訂2版、小林 著、南山堂 2) シンプル病理学 改訂第8版。笹野 他編、南江堂
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	病理学で学ぶこと、病気の原因(内因、外因)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
2	細胞・組織の障害と修復	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
3	循環障害 : 局所性	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
4	循環障害 : 全身性	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
5	炎症	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
6	免疫と免疫不全	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
7	アレルギーと自己免疫疾患、移植と再生医療	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
8	感染症	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
9	代謝障害 : 脂質代謝障害、タンパク質代謝障害	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	代謝障害：糖代謝障害、そのほかの代謝障害	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	老化と死	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	先天異常と遺伝子異常	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	腫瘍：腫瘍の定義と分類、悪性腫瘍の広がりと影響	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	腫瘍：腫瘍の発生病理	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	腫瘍：腫瘍の診断と治療、腫瘍の統計	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	病態生理学
時間割コード	0124300601
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	大河原 進
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(生体の科学)

担当教員情報

教員名
大河原 進

詳細情報

授業の目的・到達目標	臨床医学の各分野全般における各種疾患について、症候・病態・診断・治療に関する基礎知識と理論を学び、各器官や臓器ごとに各疾患の特徴を理解できる。疾患が成り立つ機序としての病理学的変化が臨床的症候と密接な関係にあることを理解できる。
履修上の注意事項	内容がかなり多いので、必ず教科書を予習してくる。復習も必ず行うこと。解剖と生理については、1年次の授業の復習をしておくこと。
評価方法	授業への積極性(5%)、筆記試験(95%)で総合的に評価する。60点以上を合格とする。フィードバックとして、評価終了後に試験問題の解答例を公開する。
テキスト	「看護のための臨床病態学」編集：浅野嘉延、吉山直樹、南山堂
参考文献	「臨床病態学1、2、3」北村聖 総編集、NOUVELLE HIROKAWA
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	教員として大学勤務経験 医師として病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	呼吸器 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	
2	呼吸器 呼吸器感染症、アレルギー、慢性閉塞性疾患、間質性肺疾患、気道系疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	
3	呼吸器 腫瘍、肺循環疾患、換気異常、呼吸不全、胸膜疾患、縦隔疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	
4	循環器 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	循環器 心不全、不整脈、心筋疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
6	循環器 心臓弁膜症、先天性心疾患、高血圧症、動脈疾患、静脈疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
7	消化管 症候、検査と治療、食道の疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
8	消化管 胃・十二指腸の疾患、大腸の疾患、肛門の疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
9	肝・胆・膵 症候、検査と治療、肝臓疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
10	肝・胆・膵 胆道疾患、膵臓疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
11	代謝・栄養 症候、検査と治療、糖尿病他の疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
12	内分泌 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
13	内分泌 視床下部・下垂体・甲状腺・副甲状腺・副腎の疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
14	腎・泌尿器 症候、検査と治療	<p>事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと (2時間)</p> <p>事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む (2時間)</p>	
15	腎・泌尿器 腎疾患、泌尿器疾患、腎不全	<p>事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと (2時間)</p> <p>事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む (2時間)</p>	

基本情報

科目名	病態生理学
時間割コード	0124300701
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	大河原 進
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(生体の科学)

詳細情報

授業の目的・到達目標	病態生理学 に引き続き、臨床医学の各分野全般における各種疾患について、症候・病態・診断・治療に関する基礎知識と理論を学び、各器官や臓器ごとに各疾患の特徴を理解できる。疾患が成り立つ機序としての病理学的変化が臨床的症候と密接な関係にあることを理解できる。
履修上の注意事項	内容がかなり多いので、必ず教科書を予習してくること。復習も必ず行うこと。 解剖と生理については、1年次の授業の復習をしておくこと。
評価方法	授業への積極性(5%)、筆記試験(95%)で総合的に評価する。60点以上を合格とする。 フィードバックとして、評価終了後に試験問題の解答例を公開する。
テキスト	「看護のための臨床病態学」編集：浅野嘉延、吉山直樹、南山堂
参考文献	「臨床病態学1、2、3」北村聖 総編集、NOUVELLE HIROKAWA
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	教員として大学勤務経験 医師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	脳・神経 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	
2	脳・神経 脳血管障害、神経変性疾患、中枢神経系の脱髄性疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	
3	脳・神経 末梢神経等の疾患、筋疾患、感染症、機能的疾患、腫瘍	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	
4	血液 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	血液 赤血球の疾患、白血球の疾患、出血性疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
6	膠原病・アレルギー 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
7	膠原病・アレルギー 膠原病と関連疾患、アレルギー性疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
8	運動器 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
9	運動器 外傷、骨折、脱臼、捻挫	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
10	運動器 脊椎・脊髄の疾患、上肢・下肢の疾患、腫瘍、末梢神経麻痺	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
11	女性生殖器 月経困難症、子宮内膜症、腫瘍、更年期障害、不妊症	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
12	眼 症候、検査と治療、結膜炎、緑内障、白内障、糖尿病性網膜症	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
13	耳鼻咽喉 症候、検査と治療、中耳炎、めまい/難聴、副鼻腔炎、腫瘍	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	皮膚 症候、検査と治療、皮膚炎、色素性母斑、熱傷、褥瘡	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
15	精神 症候、検査と治療、統合失調症、うつ病、双極性障害	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

基本情報

科目名	看護技術
時間割コード	1000410101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 3, 金 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、上妻 尚子、赤峰 隆元

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護技術の対象となる生活者の理解を通して、看護実践に必要な基礎的援助技術を学び、保健・医療・福祉専門職として相応しい高い知識と優れた技術を身につける必要性を知る。
履修上の注意事項	講義、グループワーク、課題学習および発表、技術演習という学習方法によって学習を深める。第1回目のオリエンテーション時に「学習の進め方」で授業前・後の学習について説明をする。到達目標と自己評価を設定しているため、学習前後で確認する。また、事前・事後学習の課題はノート作成をすることで実施する。事前・事後学習およびノート作成にかかる時間は60分から90分である。
評価方法	定期試験(筆記): 60%、学習態度・状況(小テスト、レポート提出、実技試験): 40% フィードバックとして事前・事後課題および作成したノートは、演習前に返却し、コメント内容については演習時あるいは演習後に確認する。
テキスト	『基礎看護技術』有田清子他(医学書院) 『看護がみえる1 基礎看護技術』(メディックメディア) 『看護がみえる2 臨床看護技術』(メディックメディア) 『ヘルスアセスメント 臨床実践能力を高める』三上れつ・小松万喜子(南江堂) 『改訂版 パワーアップ問題演習基礎看護学 第2版』山口瑞穂子(サイオ出版)
参考文献	『イラストでわかる基礎看護技術』、『なぜ?がわかる・看護技術LESSON』、『臨床看護技術が1つ』、『考える基礎看護技術』、『ビジュアル看護技術・基礎看護技術』、『基礎看護学テキスト』、『看護技術プラティス』、『基礎・臨床看護技術』、『実践に役立つ看護過程と看護診断』、『ナシグ・ワークアップ』
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	上妻・古堅・古江・赤峰: 看護師として病院勤務経験、柴田: 養護教諭として実務経験

授業計画

授業計画
看護技術は講義で学習内容を確認した後、演習で実際に経験をすることで理解を深める。演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。オリエンテーションで事前学習・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、コミュニケーション(柴田)	オリエンテーションで事前学習・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで連絡する。	
2	環境調整技術(柴田)	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
3	活動と休息援助技術(古堅)	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
4	排泄援助技術(古江)	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
5	食事援助技術(古堅)	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
6	清潔援助技術(赤峰)	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

授業計画

看護技術は講義で学習内容を確認した後、演習で実際に経験をすることで理解を深める。演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。オリエンテーションで事前学習・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	感染予防の技術（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
8	衣生活援助技術（古江）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
9	ヘルスアセスメント（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
10	バイタルサイン（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
11	安全確保の技術（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
12	苦痛の緩和・安楽確保の技術（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
13	看護過程とは（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
14	看護過程：看護記録（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
15	学習のまとめ、看護過程（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
16	コミュニケーション（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
17	手洗い、ベッドメイキング（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
18	体位変換、移送（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
19	排泄介助（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
20	食事介助（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
21	ベッドメイキング、記録の確認（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

授業計画

看護技術は講義で学習内容を確認した後、演習で実際に経験をすることで理解を深める。演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。オリエンテーションで事前学習・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
22	陰部ケア・口腔ケア（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
23	清拭（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
24	無菌操作・滅菌物の取り扱い（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
25	臥床患者のリネン交換（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
26	バイタルサイン（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
27	電法、記録の確認（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
28	実技テスト（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
29	洗髪（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
30	観察と報告：バイタルサイン（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

基本情報

科目名	看護技術
時間割コード	1000420101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	上妻 尚子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護の対象者に、安全・安楽な看護援助を実践するための日常生活援助技術および診療の補助技術に関する基本的な知識および技術を理解できる。
履修上の注意事項	演習時は、実習要項に準じて身だしなみを整えて参加してください。身だしなみが整っていない場合は、演習に参加できないことがあります。演習は、2~3グループに分かれて実施します。詳細は別途説明します。 毎回の講義および演習の際には、別途配布する「看護技術学習ガイド」に、看護技術の学習状況を記録し、自身の看護技術の習得状況を確認してください。
評価方法	定期試験：60%、実技試験・小テスト・学習態度(演習記録の提出を含む)：40% フィードバックとして、提出された演習時の記録に対して、様式や内容について随時指導する。講義内で小テストを実施する。小テストは終了後に解説する。
テキスト	「系統看護学講座 基礎看護技術」有田清子(医学書院) 「看護技術がみえる」(Medic Media) 「パワーアップ問題集 基礎看護学」山口瑞穂子(サイオ出版) 「ヘルスアセスメント 臨床実践能力を高める 改訂第2版」三上れつ・小松万喜子、(南江堂)
参考文献	「写真でわかる基礎看護技術」インターメディカ、 「ビジュアル臨床看護技術」照林社、 「看護技術プラクティス」学研 「基礎・臨床看護技術」医学書院 他
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	上妻尚子、古堅裕章、古江佳織、赤峰隆元：看護師として病院勤務経験 柴田恵子：養護教諭として学校勤務経験。

授業計画

授業計画	
看護過程の講義および演習に関する事前・事後学修(各2時間)については、別途掲示あり	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	講義：症状・生体機能管理技術-検体検査-(柴田)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする(2時間) 事後：講義内容及び配布資料を基に、検体検査に関する技術についてノートに整理する(2時間)。	
2	講義：創傷管理技術(上妻)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする(2時間) 事後：講義内容及び配布資料を基に、創傷管理技術についてノートに整理する(2時間)。	
3	講義：食事の援助技術(経管栄養法・中心静脈栄養)(古堅)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする(2時間) 事後：講義内容及び配布資料を基に、食事の援助技術についてノートに整理する(2時間)。	

授業計画

看護過程の講義および演習に関する事前・事後学修（各2時間）については、別途掲示あり

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	講義：排泄の援助技術(浣腸・導尿・ストーマケア)(古江)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、排泄の援助技術についてノートに整理する（2時間）。	
5	講義：与薬の援助技術の基礎(上妻)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、与薬の援助技術の基本知識についてノートに整理する（2時間）。	
6	講義：与薬の援助技術の実際 経口与薬・経皮与薬・直腸内与薬・点眼・点鼻・注射・輸血(赤峰)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、与薬の援助技術についてノートに整理する（2時間）。	
7	講義：呼吸・循環を整える技術（酸素療法・吸入）（上妻）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、酸素療法や吸入の技術についてノートに整理する（2時間）。	
8	講義：呼吸・循環を整える技術（口腔・鼻腔内吸引、気管内吸引、排痰ケア）（上妻）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、吸引や排痰ケアの技術についてノートに整理する（2時間）。	
9	小テスト 講義：呼吸・循環を整える技術（末梢循環促進ケア・人工呼吸療法）（上妻）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、呼吸循環を整える技術についてノートに整理する（2時間）。	
10	講義：症状・生体情報モニタリングの技術(上妻)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、症状・生体情報モニタリング技術についてノートに整理する（2時間）。	
11	講義：診察・検査・処置の介助技術（上妻）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、診察・検査・処置の介助技術についてノートに整理する（2時間）。	
12	講義：救命救急処置術（上妻）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、救命救急処置術についてノートに整理する（2時間）。	
13	講義：死の看取りの技術（柴田）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、市の見取りの技術についてノートに整理する（2時間）。	
14	講義：看護過程 全体像の作成(柴田)		
15	講義：看護過程まとめ 看護記録(柴田)		

授業計画

看護過程の講義および演習に関する事前・事後学修（各2時間）については、別途掲示あり

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
16	演習：創傷管理技術（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
17	演習：採血（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
18	演習：経管栄養（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
19	演習：記録の書き方 グループワーク（担当者全員）	事前：これまでの演習に関する記録を整理する（2時間） 事後：グループワークでの学びを基に、自分のこれまでの記録を振り返り、今後の記録の書き方について具体的な方法をノートにまとめる（2時間）	
20	演習：皮下注射（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
21	演習：洗腸・排便（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
22	演習：直腸内与薬 筋肉注射（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
23	演習：酸素療法（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
24	演習：口腔内・気管内吸引（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
25	演習：導尿（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
26	演習：フィジカルイグザミネーション（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
27	演習：フィジカルアセスメント（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
28	実技試験（担当者全員）	事前：1学期の学習内容およびフィジカルイグザミネーションとフィジカルアセスメントの演習での学びを基に実技試験の実施方法を考える（2時間） 事後：自分が実施した実技試験内容を振り返り、技術の習得に向けての今後の課題を明確にする（2時間）	
29	看護過程 計画立案（担当者全員）		
30	看護過程 計画の評価と修正（担当者全員）		

基本情報

科目名	看護技術
時間割コード	0124301001
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	上妻 尚子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、上妻 尚子、赤峰 隆元

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>本科目は、1年次の学習内容をもとに、さらに体系的な専門知識を習得することができる。1年次に履修した看護技術・および解剖学・生理学・生化学での学習内容を基にして、フィジカルイグザミネーションの基本的な技術を理解できる。</p> <p>フィジカルイグザミネーションによって得られた情報を基にして、健康成人および症例「80歳男性脳梗塞」のフィジカルアセスメントを行うことができる。</p> <p>提示された症例に対して看護過程を展開し、1年次の学習内容の理解を深めることができる。</p>
履修上の注意事項	<p>フィジカルアセスメントの理解度を確認するため、講義内で同内容に関する小テストを実施します。</p> <p>フィジカルイグザミネーションの演習は、3グループに分かれて実施します。詳細は別途説明します。</p>
評価方法	<p>筆記試験(フィジカルアセスメント)50%、看護過程20%、小テスト・演習時の課題・グループワークおよび発表30%</p> <p>フィードバックとして、小テスト後は解説を行います。フィジカルアセスメントの講義時は、前回の講義内容への質問に対応します。</p>
テキスト	<p>「基礎看護技術」有田清子(医学書院) 「フィジカルアセスメントがドブック」山内豊明(医学書院)</p>
参考文献	<p>「診察と手技がみえる」 「フィジカルアセスメントがみえる」メディックメディア</p> <p>「写真でわかるフィジカルアセスメント」インターメディカ</p> <p>「新人ナースひな子と学ぶフィジカルアセスメント」メディカ出版</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>上妻尚子、古堅裕章、古江佳織、赤峰隆元：看護師として病院勤務経験</p> <p>柴田恵子：看護教諭として学校勤務経験。</p>

授業計画

授業計画
看護過程の講義および演習の事前・事後学修(各2時間)は、Campus squareに掲示し、初回講義時に説明する。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	看護過程 情報収集とアセスメント(柴田)		
2	看護過程 問題点の明確化と計画立案(柴田・古堅・古江・赤峰)		
3	看護過程 実施と評価(柴田・古堅・古江・赤峰)		

授業計画

看護過程の講義および演習の事前・事後学修（各2時間）は、Campus squareに掲示し、初回講義時に説明する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	ヘルスアセスメント・フィジカルアセスメントとは（上妻）	<p>事前：テキストの以下の部分を熟読し、分からない言葉を調べる。1年次に学習したバイタルサインの測定技術を復習する。（2時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護技術 医学書院 p64-126 ・フィジカルアセスメントガイドブック 山内豊明著 医学書院 p46-55 <p>事後：DVD視聴 山内豊明教授のフィジカルアセスメント 第1巻 総論・問診・視診のポイント 第2巻 触診・打診・聴診のポイント 講義およびDVD内容をもとにフィジカルアセスメントおよびフィジカルイグザミネーションについてノートに整理する。（2時間）</p>	
5	頭頸部のフィジカルイグザミネーション（上妻）	<p>事前：テキストの以下の部分を熟読し、分からない言葉を調べる。（2時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護技術 医学書院 p185-203 ・フィジカルアセスメントガイドブック 山内豊明著 医学書院 p150-167 <p>事後：DVD視聴山内豊明教授のフィジカルアセスメント 高次脳機能のアセスメント、講義およびDVD内容をもとに頭頸部のフィジカルイグザミネーションについてノートに整理する。（2時間）</p>	
6	感覚器系のフィジカルイグザミネーション（上妻）	<p>事前：テキストの以下の部分を熟読し、分からない言葉を調べる。（2時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護技術 医学書院 p185-203 ・フィジカルアセスメントガイドブック 山内豊明著 医学書院 p192-205 <p>事後：DVD視聴山内豊明教授のフィジカルアセスメント 感覚機能のアセスメント、講義およびDVD内容をもとに感覚器のフィジカルイグザミネーションについてノートに整理する。（2時間）</p>	
7	腹部のフィジカルイグザミネーション（上妻）	<p>事前：テキストの以下の部分を熟読し、分からない言葉を調べる。（2時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護技術 医学書院 p158-165 ・フィジカルアセスメントガイドブック 山内豊明著 医学書院 p132-149 <p>事後：DVD視聴山内豊明教授のフィジカルアセスメント 腹部機能のアセスメント、講義およびDVD内容をもとに腹部のフィジカルイグザミネーションについてノートに整理する。（2時間）</p>	
8	小テスト 筋・骨格・神経系のフィジカルイグザミネーション（上妻）	<p>事前：テキストの以下の部分を熟読し、分からない言葉を調べる。（2時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護技術 医学書院 p166-185 ・フィジカルアセスメントガイドブック 山内豊明著 医学書院 p168-191 <p>事後：DVD視聴山内豊明教授のフィジカルアセスメント 運動機能のアセスメント その1、その2 講義およびDVD内容をもとに運動器系のフィジカルイグザミネーションについてノートに整理する。（2時間）</p>	

授業計画

看護過程の講義および演習の事前・事後学修（各2時間）は、Campus squareに掲示し、初回講義時に説明する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	呼吸・循環器系のフィジカルイグザミネーション（上妻）	事前：テキストの以下の部分を熟読し、分からない言葉を調べる。（2時間） ・基礎看護技術 医学書院 p128-155 ・フィジカルアセスメントガイドブック 山内豊明著 医学書院 p56-130 事後：DVD視聴山内豊明教授のフィジカルアセスメント 呼吸器のアセスメントその1、その2 循環器のアセスメント 講義およびDVD内容をもとに運動器系のフィジカルイグザミネーションについてノートに整理する。（2時間）	
10	演習：筋・骨格・神経系のフィジカルイグザミネーションの実際（上妻・古堅・古江・赤峰）	事前：これまでの学習内容から演習で実施する筋・骨格・神経系のフィジカルイグザミネーションを学習する（2時間） 事後：演習で得られた所見を整理し、対象の運動器系のフィジカルアセスメントを行う（2時間）。	
11	演習：腹部のフィジカルイグザミネーションの実際（上妻・古堅・古江・赤峰）	事前：これまでの学習内容から演習で実施する腹部のフィジカルイグザミネーションを学習する（2時間） 事後：演習で得られた所見を整理し、対象の腹部のフィジカルアセスメントを行う（2時間）。	
12	演習：頭頸部・感覚器系のフィジカルイグザミネーションの実際（上妻・古堅・古江・赤峰）	事前：これまでの学習内容から演習で実施する頭頸部・感覚器系のフィジカルイグザミネーションを学習する（2時間） 事後：演習で得られた所見を整理し、対象の頭頸部・感覚器系のフィジカルアセスメントを行う（2時間）。	
13	フィジカルイグザミネーションで得たデータをもとに健康成人のフィジカルアセスメント（上妻）	事前：演習で得られた所見とそれをもとにしたフィジカルアセスメントを整理する（2時間）。 事後：講義で行った成人のフィジカルアセスメントを整理する（2時間）。	
14	症例に対するフィジカルアセスメントグループワーク（上妻）	事前：症例に対して必要なフィジカルアセスメントとその所見を得るためのフィジカルイグザミネーションを考える（2時間）。 事後：グループワークで学んだ症例にチアするフィジカルアセスメントを整理する（2時間）。	
15	フィジカルアセスメントのプレゼンテーション（上妻・古堅・古江・赤峰）	事前：プレゼンテーションの準備をする（2時間）。 事後：他の学生のプレゼンテーションからの学びをもとに、フィジカルアセスメントでの学びをまとめる（2時間）。	

基本情報

科目名	基礎看護学実習
時間割コード	1000430101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	3.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、齊藤 圭子、田中 康子、未定、上妻 尚子、北原 崇靖、赤峰 隆元、巖 桂子

詳細情報

授業の目的・到達目標	日常生活援助を中心とした看護アセスメントに基づく看護ケア実践の必要性を理解する。基礎看護学実習の経験を通して、他職種との連携、協力の必要性を考え、対象者の個性を尊重した支援に必要な能力を得るための自身の課題を見出す。
履修上の注意事項	1.必ず出席すること。実習中の欠席・遅刻は原則として認められない。 2.単位取得ができない場合は、翌年度に履修することとなる。 3.学生が誓約した内容を遵守しなかった場合、複数の教員(担当教員および科目責任者)が協議をした上で実習を中止する場合がある。 4.予習、復習の具体的内容はオリエンテーション時に指示する。実習記録等の学習時間は60分から90分である。
評価方法	基礎看護学実習(1年次)、(2年次)を総合的に評価する。 実習内容(学習・実践・記録):60%、提出・健康管理・実習態度:40% フィードバックとして、カンファレンス、実習中及び実習後に行動目標に沿って面談を行う
テキスト	その都度、紹介する。
参考文献	その都度、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	担当者は病院、施設等での看護師勤務・保健師勤務経験、学校での養護教諭経験者である。

授業計画

授業計画
日常生活援助を中心とした看護アセスメントに基づく看護ケア実践の必要性を理解する。そのため、学外実習として病院施設での経験と学内での学習を計画する。
<p>実習目標</p> <p>1.看護職者の専門性を認識する。</p> <p>1)看護の提供の場について知る。2)他職種との連携のあり方について知る。</p> <p>2.看護ケアの必要性を理解する。</p> <p>1)コミュニケーションを通して患者を理解する。2)日常生活の援助を実践することで看護ケアの必要性を理解する。3)看護ケア実践におけるアセスメントを振り返り、自己の課題を明らかにする。</p> <p>3.基礎看護学実習で学んだことを振り返り、自己の課題を明らかにする。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	基礎看護学実習
時間割コード	0124301102
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	通年
単位数	3.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

詳細情報

授業の目的・到達目標	日常生活援助を中心とした看護アセスメントに基づく看護ケア実践の必要性を理解する。基礎看護学実習の経験を通して、他職種との連携、協力の必要性を考え、対象者の個性を尊重した支援に必要な能力を得るための自身の課題を見出す。
履修上の注意事項	1.必ず出席すること。実習中の欠席・遅刻は原則として認められない。 2.単位取得ができない場合は、翌年度に履修することとなる。 3.学生が誓約した内容を遵守しなかった場合、複数の教員(担当教員および科目責任者)が協議をした上で実習を中止する場合がある。 4.予習、復習の具体的内容はオリエンテーション時に指示する。実習記録等の学習時間は60分から90分である。
評価方法	基礎看護学実習(1年次)、(2年次)を総合的に評価する。 実習内容(学習・実践・記録):60%、提出・健康管理・実習態度:40% フィードバックとして、カンファレンス、実習中及び実習後に行動目標に沿って面談を行う
テキスト	その都度、紹介する。
参考文献	その都度、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	担当者は病院、施設等での看護師勤務・保健師勤務経験、学校での養護教諭経験者である。

授業計画

授業計画	
日常生活援助を中心とした看護アセスメントに基づく看護ケア実践の必要性を理解する。そのため、学外実習として病院施設での経験と学内での学習を計画する。	
<p>実習目標</p> <p>1.看護職者の専門性を認識する。</p> <p>1)看護の提供の場について知る。2)他職種との連携のあり方について知る。</p> <p>2.看護ケアの必要性を理解する。</p> <p>1)コミュニケーションを通して患者を理解する。2)日常生活の援助を実践することで看護ケアの必要性を理解する。3)看護ケア実践におけるアセスメントを振り返り、自己の課題を明らかにする。</p> <p>3.基礎看護学実習で学んだことを振り返り、自己の課題を明らかにする。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	基礎看護学実習
時間割コード	0124301101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	3.0
学年	2
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、齊藤 圭子、田中 康子、未定、上妻 尚子、北原 崇靖、赤峰 隆元、巖 桂子

詳細情報

授業の目的・到達目標	日常生活援助を中心とした看護アセスメントに基づく看護ケア実践の必要性を理解する。基礎看護学実習の経験を通して、他職種との連携、協力の必要性を考え、対象者の個性を尊重した支援に必要な能力を得るための自身の課題を見出す。
履修上の注意事項	1.必ず出席すること。実習中の欠席・遅刻は原則として認められない。 2.単位取得ができない場合は、翌年度に履修することとなる。 3.学生が誓約した内容を遵守しなかった場合、複数の教員(担当教員および科目責任者)が協議をした上で実習を中止する場合がある。 4.予習、復習の具体的内容はオリエンテーション時に指示する。実習記録等の学習時間は60分から90分である。
評価方法	基礎看護学実習(1年次)、(2年次)を総合的に評価する。 実習内容(学習・実践・記録):60%、提出・健康管理・実習態度:40% フィードバックとして、カンファレンス、実習中及び実習後に行動目標に沿って面談を行う
テキスト	その都度、紹介する。
参考文献	その都度、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	担当者は病院、施設等での看護師勤務・保健師勤務経験、学校での養護教諭経験者である。

授業計画

授業計画
日常生活援助を中心とした看護アセスメントに基づく看護ケア実践の必要性を理解する。そのため、学外実習として病院施設での経験と学内での学習を計画する。
<p>実習目標</p> <p>1.看護職者の専門性を認識する。</p> <p>1)看護の提供の場について知る。2)他職種との連携のあり方について知る。</p> <p>2.看護ケアの必要性を理解する。</p> <p>1)コミュニケーションを通して患者を理解する。2)日常生活の援助を実践することで看護ケアの必要性を理解する。3)看護ケア実践におけるアセスメントを振り返り、自己の課題を明らかにする。</p> <p>3.基礎看護学実習で学んだことを振り返り、自己の課題を明らかにする。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	臨床看護学総論
時間割コード	1000440101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

詳細情報

授業の目的・到達目標	1.健康障害をもつ人および健康上のニーズをもつ人の看護について理解する。2.健康障害の「経過」に焦点をあて、患者の理解と必要な看護を学習する。3.主要な症状の治療・処置についての理解を深め、必要な看護を学習する。4.臨床看護についての学びを総括し、保健・医療・福祉専門職として相応しい高い知識と優れた技術を身につけるための自己の課題を明らかにする。
履修上の注意事項	看護過程の学習は、同時期に開講される「看護技術」の授業計画に合わせて行われるので、両方の科目の計画を確認してください。第1回目のオリエンテーション時に授業計画を発表するので、必要な学習は事前に各自が行なってくる。課題は授業の予習でもあるので、必ずレポートを作成することで課題を実施する。小テストはそれまでの学習の復習を兼ねた事後学習である。課題学習、レポート作成に要する時間は2時間である。
評価方法	筆記試験：60%、学習態度・状況（小テスト、レポート提出）：40%。 フィードバックとして小テストは問題を確認することで学習に役立て、レポートは返却する。
テキスト	系統看護学講座 臨床看護総論、香春知永 他（医学書院）
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	上妻・古堅・古江・赤峰：病院、施設等での看護師、保健師の実務経験、柴田：学校での養護教諭の実務経験を有す。

授業計画

授業計画	
臨床看護について学ぶことで、看護の必要性の理解を深める。また、主要な症状の処置・治療についての学びを、看護過程の展開において活用する。オリエンテーションで事前・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、健康上のニーズをもつ生活者と家族(柴田)	オリエンテーションで事前・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで確認する。	
2	主要症状を示す患者の看護：痛み、呼吸障害(上妻)	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
3	主要症状を示す患者の看護：意識障害、グループワーク(上妻)	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
4	主要症状を示す患者の看護：循環障害(上妻)	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
5	主要症状を示す患者の看護：消化・排泄障害(上妻)	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
6	小テスト1、症状と看護について(上妻)	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
7	健康状態の経過に基づく看護(柴田)	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
8	治療・処置を受けている患者の看護：創傷処置、集中療法(古江)	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	

授業計画

臨床看護について学ぶことで、看護の必要性の理解を深める。また、主要な症状の処置・治療についての学びを、看護過程の展開において活用する。オリエンテーションで事前・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	治療・処置を受けている患者の看護：輸液療法、化学療法（赤峰）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
10	治療・処置を受けている患者の看護：放射線療法・手術療法（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
11	看護過程：アセスメント（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
12	小テスト2、看護過程：情報整理（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
13	看護過程：これまでの学習のまとめとグループ発表（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
14	看護過程：看護計画の立案（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
15	まとめ：臨床看護学総論の学びの実践での活かし方（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	

基本情報

科目名	小児看護学
時間割コード	0124301301
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	二宮 球美
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
松岡 聖美、鎌田 晃子、二宮 球美

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 子どもを取り巻く社会環境の変化について学び、説明することができる。2. 多様化する子どもと家族の健康ニーズについて理解できる。3. 健全な子どもの特性、および成長発達過程を理解できる。
履修上の注意事項	1年次の専門科目medical scienceなどの知識及び他の看護学の学習との関連なども含めて講義を進めます。各個人に必要な事前学習は最低指定ページを読むこと、講義資料を読むこと。(1~2時間)、事後学習は、事後の配布資料及び関連DVD視聴や引用文献の確認、スケールを覚えることなど(1~2時間)別途事前・事後課題及び課題レポートが提示される(計30時間程度)。Campussquareに掲示される情報に注意すること。事前・事後学習を大いに活用すること。副教材に関しては事前に渡すことを目標とする。小児看護学は既修専門及び共通科目と関連しているため、既修科目との統合をはかることも事前学習とする。小児看護実習、看護統合演習で、小児看護学の理論と実践の統合をはかることを前提に、事後の復習は科学的を根拠とする小児看護学として理解できるレベルを求める。
評価方法	単位取得資格:2/3以上の出席が前提。 1. 定期試験 60%、小テスト20% 2. Report及び演習実施・Report及び事前事後課題 20%として産出する。 評価のフィードバックについては、各小テストに際しては、正解の提示及び質疑応答を個別で設定する、定期試験においては個別での質疑応答の時間設定を行う。Reportに関しては、授業の際に概要を学生全体に伝え、個別対応は科目の質問時間での対応とする。
テキスト	小児看護学 小児看護概論小児保健、小児看護学 健康障害を持つ小児の看護 編集松尾宣武、濱中嘉代 メヂカルフレンド社、ナーシンググラフィカ小児看護学 小児看護技術 編集中野綾美 メディカ出版
参考文献	「看護診断ハンドブック」 リンダ・カルペニート=モイエ著 医学書院、小児看護技術編集今野美紀、二宮啓子、南江堂、こどもの病気の地図帳、監修鴨下重彦、柳澤正義、講談社 講義中に配布される印刷教材、指定DVD
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	科目責任者 二宮球美 看護師として病院勤務経験を有する 科目担当者 松岡聖美 看護師として病院勤務経験を有する 鎌田晃子 看護師として病院勤務経験を有する 2名が主となり科目を担当していく 専門看護師小児専門看護である鎌田晃子先生より、NICUにおける看護を通して小児専門看護師としての役割を講義

授業計画

授業計画
1年次のbasic scienceをもとに、こどもについて知り、未熟性を細胞学的に理解し、成長発達における内・外環境を踏まえ関係性の有用性を知り、対象に応じた自立を目指して、こどもの権利を守るケアとは何かを考えることを前提に授業を展開する。 常にこどもの人権や家族の権利など倫理を配慮した看護を考え、対象であるこどもの成長発達を促す関わりを考えることができるための組み立てである。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
-----	--------	---------	----

授業計画

1年次のbasicscienceをもとに、こどもについて知り、未熟性を細胞学的に理解し、成長発達における内・外環境を踏まえ関係性の有用性を知り、対象に応じた自立を目指して、こどもの権利を守るケアとは何かを考えることを前提に授業を展開する。

常にこどもの人権や家族の権利など倫理を配慮した看護を考え、対象であるこどもの成長発達を促す関わりを考えることができるための組み立てである。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	小児看護学概論、小児とは、子どもの権利と家族、子ども虐待の理解ができる（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
2	Physical Assessment が説明できる（松岡）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
3	子どもを取り巻く社会、小児の観察、成長発達の一般原則と評価を理解できる（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
4	子どもの遊びと行動 GW（二宮、松岡）	初回に提示される課題をもとに、Workで何を導き出すか準備してくる。	GW記録提出（場合によってはzoom）
5	こどもの成長発達と事故の特徴を知り、看護を予測できる（二宮、松岡）	事前ビデオ課題を視聴し、個人の意見をまとめておく。その根拠としての成長発達のツール及び事故の傾向をテキストで確認しておく	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
6	小児に関わる理論を学び小児看護を学ぶ際に考えることができる（松岡）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
7	看護過程演習1事例の情報収集を体験する 事例のassessment（成長発達）（二宮、松岡）	看護過程の事例はオリエンテーション時に提示、グループ編成は当日発表、指示されたところまで個人ワークを行っていくこと	看護過程グループワークの記録は当日提出、個人記録については別途指示 Campussquareに提出
8	看護過程演習1事例の情報収集を体験する 事例のassessment（現症）を体験する（二宮、松岡）	看護過程の事例はオリエンテーション時に提示、グループ編成は当日発表、指示されたところまで個人ワークを行っていくこと	看護過程グループワークの記録は当日提出、個人記録については別途指示 Campussquareに提出
9	技術演習 おむつ交換、着脱、抱っこの経験技術演習 栄養摂取離乳食の実際と与薬（二宮、松岡）	技術演習の内容については参考テキストで学習をし、指定の様式に記載後演習に臨むこと。演習時の詳細は別途掲示	実習にふさわしい服装で臨むこと。他者評価などもあるので、準備に相当の時間を要する。
10	技術演習 おむつ交換、着脱、抱っこの経験技術演習 栄養摂取離乳食の実際と与薬（二宮、松岡）	技術演習の内容については参考テキストで学習をし、指定の様式に記載後演習に臨むこと。演習時の詳細は別途掲示	実習にふさわしい服装で臨むこと。他者評価などもあるので、準備に相当の時間を要する。
11	健康レベルに応じたFamily Centered Care を理解する（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
12	NICUから在宅へ 子どもの生活の視点から（鎌田、二宮）	講義資料掲示は直前になる可能性あり関連項目の学習をしておくこと	講義後レポート課題あり
13	運動機能障害の観察の視点、ハンディキャップのある子どもへのCareを理解できる（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
14	Preparation課題学習をもとに、ディストラクションなどを理解する（二宮、松岡）	オリエンテーション時にグループ編成、内容の指示がある。それに準じてグループでの進捗を計画すること。発表に関しては事前に掲示あり。	

授業計画

1年次のbasicscienceをもとに、こどもについて知り、未熟性を細胞学的に理解し、成長発達における内・外環境を踏まえ関係性の有用性を知り、対象に応じた自立を目指して、こどもの権利を守るケアとは何かを考えることを前提に授業を展開する。

常にこどもの人権や家族の権利など倫理を配慮した看護を考え、対象であるこどもの成長発達を促す関わりを考えることができるための組み立てである。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	Preparation課題学習をもとに、ディス トラクションなどを理解する（二宮、松 岡）	オリエンテーション時にグループ編成、 内容の指示がある。それに準じてグルー プでの進捗を計画すること。発表に関し ては事前に掲示あり。	グループワークの成果提 出等の指示は別途あり。 評価表提出もある。

基本情報

科目名	小児看護学
時間割コード	0124301401
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	二宮 球美
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 小児における主な疾患とその発達段階における特徴及びその疾患を持つ子どもの家族・社会的看護について 学び説明できる 2. 子どもの権利を尊重し、健康の増進及び疾病の予防についての看護を学び説明できる
履修上の注意事項	1年次の専門科目medical scienceなどの知識及び他の看護学の学習との関連なども含めて講義を進めます。各個人に必要な事前学習は最低指定ページを読むこと、講義資料を読むこと。(1~2時間)、事後学習は、事後の配布資料及び関連DVD視聴や引用文献の確認、スケールを覚えることなど(1~2時間)別途事前・事後課題及び課題レポートが提示される(計30時間程度)。Campussquareに掲示される情報に注意すること。事前・事後学習を大いに活用すること。副教材に関しては事前に渡すことを目標とする。小児看護学2は既修専門及び共通科目と関連しているため、既修科目との統合をはかることも事前学習とする。小児看護学 の履修を前提に、小児看護実習、看護統合演習で、小児看護学の理論と実践の統合をはかることを前提に、事後の復習は科学的を根拠とする小児看護学として理解できるレベルを求める。
評価方法	単位取得資格:2/3以上の出席。 1. 定期試験 60%、小テスト20% 2. Report及び演習実施・Report、事前事後課題 20% 評価のフィードバックについては、各小テストに際しては、正解の提示及び質疑応答を個別で設定する、定期試験においては個別での質疑応答の時間設定を行う。Reportに関しては、授業の際に概要を学生全体に伝え、個別対応は科目の質問時間での対応とする。
テキスト	小児看護学 小児看護学概論小児保健 小児看護学 健康障害を持つ小児の看護 編集 松尾宣武、濱中嘉代 メディカルフレンド社、ナーシンググラフィカ 小児看護学 小児看護技術 編者 中野綾美 メディカ出版
参考文献	監修川野雅資編集中心仲枝、PILAR、小児疾患診療のための病態生理1・2、第4版東京医学社、小児内科増刊、城ヶ端初子監修、実践に生かす看護倫理、他解剖生理学学生化学等、新生児・小児疾患 中山書店
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	科目責任者 二宮球美 看護師として病院勤務経験を有する 科目担当者 松岡聖美 看護師として病院勤務経験を有する

授業計画

授業計画	
1年次のbasicscienceをもとに、こどもについて知り、未熟性を細胞学的に理解し、成長発達における内・外環境を踏まえ関係性の有用性を知り、対象に応じた自立を目指して、こどもの権利を守るケアとは何かを考えることを前提に授業を展開する。 常にこどもの人権や家族の権利など倫理を配慮した看護を考え、対象であるこどもの成長発達を促す関わりを考えることができるための組み立てである。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	Orientation、染色体・先天代謝異常、新生児疾患とその看護を事例を通して理解できる(二宮)	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
2	呼吸器疾患、循環器疾患を持つ患児の事例を通して看護を理解できる (松岡)	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。

授業計画

1年次のbasicscienceをもとに、こどもについて知り、未熟性を細胞学的に理解し、成長発達における内・外環境を踏まえ関係性の有用性を知り、対象に応じた自立を目指して、こどもの権利を守るケアとは何かを考えることを前提に授業を展開する。

常にこどもの人権や家族の権利など倫理を配慮した看護を考え、対象であるこどもの成長発達を促す関わりを考えることができるための組み立てである。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	呼吸器疾患、循環器疾患を持つ患児の事例を通して看護を理解できる（松岡）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
4	看護過程演習 情報のassessment関連 函 看護問題抽出が紙上でできる(二宮、松岡)	看護過程の事例はオリエンテーション時に提示、グループ編成は当日発表、指示されたところまで個人ワークを行っていくこと	
5	看護過程演習 看護問題から看護診断へ 看護計画が紙上でできる(二宮、松岡)	看護過程の事例はオリエンテーション時に提示、グループ編成は当日発表、指示されたところまで個人ワークを行っていくこと	
6	血液疾患を持つ患児の事例を通して看護を理解できる（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
7	消化器疾患、腎疾患を持つ患児の事例を通して看護を理解できる（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
8	技術演習 ネブライザー吸入の援助を体験する(二宮、松岡)	技術演習の内容については参考テキストで学習をし、指定の様式に記載後演習に臨むこと。演習時の詳細は別途掲示	実習にふさわしい服装で臨むこと。他者評価もあるため、準備を入念にすること。
9	消化器疾患、腎疾患を持つ患児の事例を通して看護を理解できる（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
10	内分泌疾患、代謝異常疾患を持つ患児の事例を通して看護を理解できる（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
11	膠原病・アレルギー疾患・感染症、境界領域疾患を持つ患児の看護を事例を通して理解できる（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
12	膠原病・アレルギー疾患、感染症、境界領域疾患を持つ患児の看護を事例を通して理解できる（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
13	脳神経、筋肉・骨疾患を持つ患児の看護を事例を通して理解できる（松岡）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
14	小児の救急とその看護、災害に遭遇した小児と家族の看護を事例を通して理解できる、他（二宮）	Campussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。

授業計画

1年次のbasicscienceをもとに、子どもについて知り、未熟性を細胞学的に理解し、成長発達における内・外環境を踏まえ関係性の有用性を知り、対象に応じた自立を目指して、子どもの権利を守るケアとは何かを考えることを前提に授業を展開する。

常に子どもの人権や家族の権利など倫理を配慮した看護を考え、対象である子どもの成長発達を促す関わりを考えることができるための組み立てである。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	子どもの健康と保健を理解する（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。

基本情報

科目名	小児看護学実習
時間割コード	0124301501
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	二宮 球美
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
松岡 聖美、二宮 球美、未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>小児看護学実習は、・によって実施する。</p> <p>目的 1. 子どもの人権と尊厳を尊重する態度を養う。2. 子どもの成長発達過程を理解し、成長発達を促進する支援の必要性を理解する。健康課題をもつ子どもとその家族を理解し、子どもの人権を尊重した看護、子どもとその家族中心の看護(patient and family-centered care)を提供する基礎的能力を養う。</p> <p>目標 1. 子どもと関係性の構築ができる。2. 健康な子どもの成長発達過程について説明できる。3. 看護専門職としての視点で成長発達段階に応じた生活援助について説明できる。4. 子どもの暮らす多様な場の特徴・役割と、子育て支援の在り様を考察できる。5. 日々の課題を明確にし、自己の発達と継続的な学習能力を身につける。</p> <p>1. 医療の場における子どもの倫理的課題の整理と権利を擁護する看護行為について考察できる。2. 子どもとその家族を理解し、子どもと家族中心の看護(patient and family-centered care)の実際を説明できる。3. 子どもを取り巻く、家庭、地域、保健、医療、福祉、教育の機能と連携を理解し、小児看護の役割を考察できる。4. 主体的に実習に臨み、自己の課題を明らかにできる。</p>
履修上の注意事項	<p>1. 実習要項を熟読し、事前学習(知識・技術など)(10時間)、実習で小児看護の対象者へ看護を展開できるような状態にして実習に臨むこと(事前課題を段階的に提示する各3時間程度)更に、実習中においては、担当教員よりの加筆修正のための事後学習が必要となる。毎日3~5時間程度×10日</p> <p>2. 必ず出席すること、実習中の欠席・遅刻・早退、それに準ずるものは原則として認めない</p> <p>3. 学生が誓約した内容を遵守(大学との契約、臨地との契約など)</p> <p>4. 単位修得ができない場合は、翌年度に履修することになる。</p> <p>5. 事後学習でライフステージにおける小児看護学と実践の統合をすること。進捗状況に応じたフィードバックを行う。必要に応じて面談実施。</p>
評価方法	<p>単位取得資格条件: 2/3以上の出席</p> <p>1. 実習態度: 50%(準備性、実施状況、個別性、応用性、修正の度合いなど)</p> <p>2. 実習記録とカンファレンス: 50%(具体性、個別性、独自性、安全・安楽への取り組みなど)</p> <p>実習要項に示した自己評価と指導者および教員による評価を総合して、会議後評価判定する。</p> <p>実習終了後、個別に評価のフィードバックを行う</p>
テキスト	「看護学実践 小児看護学」編集 中村伸枝 PILAR PRESS 2016、その他看護に関連した共通科目・専門科目で用いたテキスト全て HPup資料も含む
参考文献	<p>・「看護診断ハンドブック 第11版」リンダ J・カルベニート=モイエ著 2018 医学書院</p> <p>・『小児看護』2000.8 - クリニカル・サインのチェックポイント - へるす出版</p> <p>・medical science関連教科書</p> <p>・小児看護学の教科書・参考書・授業中使用の印刷教材・資料、HP資料 など全て</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>二宮球美 看護師として病院勤務経験を有する</p> <p>松岡聖美 看護師として病院勤務経験を有する</p>

授業計画

授業計画

小児看護学実習は、小児看護学実習 と で組み立てられている。

小児看護学実習 は、保育所・放課後児童クラブ（熊本市・玉名市）において、子どもの人権と尊厳を尊重する態度を養う。子どもの成長発達過程を理解し、成長発達を促進する支援の必要性を理解する。ことを目的として、臨地2日間、学内3日間の実習を行う。

小児看護学実習 は、病院・施設において、健康課題をもつ子どもとその家族を理解し、子どもの人権を尊重した看護、子どもとその家族中心の看護（patient and family-centered care）を提供する基礎的能力を養う。臨地3.5日学内1.5日の実習を行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	臨地実習 保育所：2日間オリエンテーション、遊びやコミュニケーション、生活の観察等	実習要項及びオリエンテーション時に指示	保育所の臨地対象学生は、放課後児童クラブの臨地は対象とならない。
2	臨地実習 学童クラブ：2日間オリエンテーション、遊びやコミュニケーション、生活の観察等	実習要項及びオリエンテーション時に指示	放課後児童クラブの臨地対象学生は、保育所の臨地は対象とならない。
3	小児看護学実習 学内 ・子どもの暮らす多様な場の特徴・役割 ・個と集団における感染防止など	実習要項及びオリエンテーション時に指示 事例や動画などをもとに、個と集団における感染防止の介入方法の立案、risk assessmentを行い介入方法を立案する	指示された時間、方法での提出で行う。
4	小児看護学実習 初日 0.5 オリエンテーション、臨地 0.5 受け持ち患児決定情報収集	実習要項及びオリエンテーション時に指示 受け持ち患児の選定、情報収集、assessment、	指示された時間、方法での提出で行う。
5	2～4日目 臨地0.5×3 AM実習 問題抽出、計画立案、実施など PM記録類の助言指導	実習要項及びオリエンテーション時に指示 情報収集、assessment、看護問題の抽出、計画立案、実施	指示された時間、方法での提出で行う。
6	5日目 学内1 追加修正、自己評価など	実習要項及びオリエンテーション時に指示 目的目標についての評価等	指示された時間、方法での提出で行う。
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

基本情報

科目名	成人看護学
時間割コード	0124301601
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	杉野 由起子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
福島 和代、杉野 由起子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>授業の目的</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 成人期の健康と発達の特徴や看護に有用な概念を学修し健康障害をもつ人を総合的に理解する。 2. 成人期にみられる様々な健康障害の特徴や疾病段階を学修し療養生活を送る人の回復とその人らしい生活の再構築へ向けた看護援助を理解する。 <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 成人看護に有用な概念や理論を活用する意義と学修した理論の概要を説明できる。 2. 成人期の健康障害の特徴とその看護について説明できる。 3. がん患者・家族の治療と療養生活支援の概要を説明できる。 4. クリティカルケア看護の概要と多職種によるチームアプローチを説明できる。 5. 周手術期の看護過程と生体侵襲を受けた患者の回復過程を説明できる。 6. 呼吸・循環器疾患の発症から回復過程の療養支援と患者教育を説明できる。
履修上の注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人看護学の学習内容は広範囲であり、解剖生理学・病態生理学と治療、基礎看護学等の知識が不十分だと授業が理解できないため、テキストで予習し授業に臨むこと(120分) 2. 専門的な用語や英語の略語も多く、自分の言葉で説明できるまで何度もテキストを読み込み、理解を深めるための復習をすること(120分) 3. この授業は3年次の成人看護学実習の先修科目に含まれていることを理解しておくこと 4. 学修内容が多く授業展開が早いため、疑問や理解できないことは積極的に質問し、テキスト以外の専門書なども利用して主体的に学ぶこと
評価方法	定期試験で(100%)評価する
テキスト	<ol style="list-style-type: none"> 1. ナーシング・グラフィカ「成人看護学概論」メディカ出版 2. 系統看護学講座専門分野 成人看護学【2】～【14】医学書院 3. 別巻 臨床外科看護総論 医学書院
参考文献	<ol style="list-style-type: none"> 1. ナーシンググラフィカ「セルフマネジメント」「健康危機状況」「周手術期看護」メディカ出版 2. 「慢性期看護論」ヌーヴェルココ 3. 「周手術期看護論」ヌーヴェルココ 4. がん看護 医学書院 5. 実践に役立つ看護過程と看護診断第2版 ヌーヴェルココ
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>福島：看護師として病院勤務経験</p> <p>杉野：看護師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画

下記展開で変更が生じた場合は、学生に変更計画を提示する。

- 1回 4/9 (金) 5限(福島)： リイテーション・成人期にある人の理解と看護 成長発達の特徴 生活と健康観
- 2回 4/16 (金) 5限(福島)： 成人期にある人の理解と看護 成人の学習の特徴 健康障害と看護
- 3回 4/23 (金) 5限(福島)： 看護に有用な概念 ストレス・危機 他
- 4回 4/30 (金) 5限(福島)： 看護に有用な概念 セルフケア、自己効力 他
- 5回 5/7 (金) 5限(福島)： がんに罹患した患者と家族の看護
- 6回 5/14 (金) 5限(杉野)： 周手術期にある患者・家族の看護/手術前・中・後の看護の役割
- 7回 5/21 (金) 5限(杉野)： 全身麻酔・局所麻酔を受ける患者の看護/手術侵襲と生体反応
- 8回 5/28 (金) 5限(杉野)： 手術療法を受ける患者の看護過程/手術前・後の観察と評価
- 9回 6/4 (金) 5限(杉野)： 急性重症患者と家族の看護/生命の危機的状況にある対象の理解
- 10回 6/11 (金) 5限(杉野)： 呼吸器機能障害をもつ患者・家族の看護 肺がんの外科治療・術後看護過程
- 11回 6/18 (金) 5限(杉野)： 呼吸器機能障害をもつ患者・家族の看護 肺炎/気管支喘息患者の看護/教育
- 12回 6/25 (金) 5限(杉野)： 呼吸器機能障害をもつ患者・家族の看護 慢性閉塞性肺疾患の急性増悪時の看護と患者教育
- 13回 7/2 (金) 5限(杉野)： 循環器障害をもつ患者・家族の看護 虚血性心疾患の急性期看護と看護過程
- 14回 7/9 (金) 5限(杉野)： 循環器障害をもつ患者・家族の看護 心不全、急性心不全と慢性心不全の看護と患者教育
- 15回 7/16 (金) 5限(杉野)： 循環器障害をもつ患者・家族の看護 カテーテル治療を受ける患者の看護

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1.成人期にある人の理解と看護 成長発達の特徴、生活と健康観(福島)	成人看護学概論のテキストで該当する範囲を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
2	2.成人期にある人の理解と看護 成人学習、健康障害と看護	成人看護学概論のテキストで該当する範囲を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
3	3.成人看護に有用な概念 ストレス・危機理論 他(福島)	成人看護学概論のテキストで該当する範囲を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
4	4.看護に有用な概念 セルフケア、自己効力 他(福島)	成人看護学概論のテキストで該当する範囲を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
5	5.がんに罹患した患者と家族の看護(福島)	成人看護学テキストで該当する範囲を予習し意味のわからない専門用語をし調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
6	6.周術期にある患者・家族の看護 看護の役割について(杉野)	臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
7	7.全身麻酔・局所麻酔を受ける患者の看護、手術侵襲と生体反応(杉野)	臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
8	8.手術療法を受ける患者の看護過程、手術前後の観察と看護および評価(杉野)	臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	

授業計画

下記展開で変更が生じた場合は、学生に変更計画を提示する。

- 1回 4/9 (金) 5限(福島)： リイテーション・成人期にある人の理解と看護 成長発達の特徴 生活と健康観
- 2回 4/16 (金) 5限(福島)： 成人期にある人の理解と看護 成人の学習の特徴 健康障害と看護
- 3回 4/23 (金) 5限(福島)： 看護に有用な概念 ストレス・危機 他
- 4回 4/30 (金) 5限(福島)： 看護に有用な概念 セルフケア・自己効力 他
- 5回 5/7 (金) 5限(福島)： がんに罹患した患者と家族の看護
- 6回5/14 (金) 5限(杉野)： 周手術期にある患者・家族の看護/手術前・中・後の看護の役割
- 7回 5/21 (金) 5限(杉野)： 全身麻酔・局所麻酔を受ける患者の看護/手術侵襲と生体反応
- 8回 5/28 (金) 5限(杉野)： 手術療法を受ける患者の看護過程/手術前・後の観察と評価
- 9回 6/4 (金) 5限(杉野)： 急性重症患者と家族の看護/生命の危機的状況にある対象の理解
- 10回 6/11 (金) 5限(杉野)： 呼吸器機能障害をもつ患者・家族の看護 肺がんの外科治療・術後看護過程
- 11回 6/18 (金) 5限(杉野)： 呼吸器機能障害をもつ患者・家族の看護 肺炎/気管支喘息患者の看護/教育
- 12回 6/25 (金) 5限(杉野)： 呼吸器機能障害をもつ患者・家族の看護 慢性閉塞性肺疾患の急性増悪時の看護と患者教育
- 13回 7/2 (金) 5限(杉野)： 循環器障害をもつ患者・家族の看護 虚血性心疾患の急性期看護と看護過程
- 14回 7/9 (金) 5限(杉野)： 循環器障害をもつ患者・家族の看護 心不全、急性心不全と慢性心不全の看護と患者教育
- 15回 7/16 (金) 5限(杉野)： 循環器障害をもつ患者・家族の看護 カテーテル治療を受ける患者の看護

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
9	9・急性・重症患者と家族の看護、生命の危機的状況にある対象の理解と看護(杉野)	臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習(120分)	
10	10.呼吸機能障害をもつ患者・家族の看護、肺がん(杉野)	臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
11	11.呼吸機能障害を持つ患者・家族の看護 肺炎、気管支炎(杉野)	臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
12	12.呼吸機能障害をもつ患者・家族の看護、慢性閉塞性肺疾患(杉野)	臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
13	13.循環器障害をもつ患者・家族の看護、虚血性心疾患(杉野)	臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
14	14.循環器障害をもつ患者・家族の看護、心不全(杉野)	臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
15	15.循環器障害をもつ患者・家族の看護、心臓カテーテル治療	臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	

基本情報

科目名	成人看護学
時間割コード	0124301701
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	3.0
学年	2
主担当教員	川本 起久子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
川本 起久子、福島 和代、杉野 由起子、島村 美香、齊藤 圭子

詳細情報

授業の目的・到達目標	成人の多様な健康障害とその看護を学び、看護実践に必要な基礎知識を獲得できる。健康障害をもつ成人患者の事例を通して具体的に看護過程の展開を理解できる。
履修上の注意事項	成人看護学 ・ は、成人看護学実習 ・ と直結した学習内容である。臨地実習は、看護の対象者と直接かかわりを持ち実践行動を展開することで、理論と実践の結びつきを理解する重要な場面である。健康障害をもつ受け持ち患者様の回復過程を促進する看護を提供する前提は基礎的な知識と技術を身につけていることである。 事前に教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)、授業後は配布資料や教科書で復習をすること(120分)。
評価方法	評価基準は「試験 100%」で60点以上を合格とする。
テキスト	1.系統看護学講座専門分野 成人看護学【2】～【14】医学書院 2.系統看護学講座別巻1 臨床外科看護総論 医学書院 3.糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版
参考文献	適時紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	川本起久子：看護師として病院勤務経験 福島 和代：看護師として病院勤務経験 杉野由紀子：看護師として病院勤務経験 島村 美香：看護師として病院勤務経験 齊藤 圭子：看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	造血機能に障害のある患者の理解 福島	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
2	造血機能に障害のある患者の看護 福島	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
3	運動機能に障害のある患者の理解 齊藤	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
4	運動機能に障害のある患者の看護 齊藤	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
5	脳神経系に障害のある患者の看護 川本	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
6	脳神経系に障害のある患者の看護 川本	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
7	糖尿病を持つ患者の看護 川本	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
8	糖尿病を持つ患者の看護 川本	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
9	腎不全患者の看護 川本	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
10	腎不全患者の看護 川本	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
11	免疫機能に障害のある患者の理解 福島	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
12	免疫機能に障害のある患者の看護 福島	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
13	胃がん患者の看護 川本	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
14	大腸がん患者の看護 川本	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
15	肝機能に障害のある患者の理解 島村	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
16	肝機能に障害のある患者の看護 島村	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
17	肝機能に障害のある患者の看護 島村	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
18	乳がん患者の看護 川本	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
19	子宮がん患者の看護 川本	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
20	点滴治療を受ける患者の看護 島村	事前学習として教科書で点滴治療について予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
21	循環器疾患患者事例の理解 杉野	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習し、事例の病態を理解する(120分)。	
22	看護過程 杉野	事前学習としてアセスメントを記載してくること(120分)。事後学習としてアセスメントを完成させること(120分)。	
23	看護過程 杉野	事前学習として看護上の問題を統合し、優先順位を考え、計画を立案する(120分)。事後学習として、看護過程を見直し、追加・修正する(120分)。	

基本情報

科目名	成人看護学
時間割コード	0124301801
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 5
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	島村 美香
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
山本 みゆき、島村 美香

詳細情報

授業の目的・到達目標	成人看護学では、生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族が、尊厳をもちその人らしく人生を送ることができるための支援の理論と方法を学ぶ。学修者は、まずは緩和ケアの概念と現状について理解する。その上で、患者・家族が抱く全人的痛みの考え方や苦痛症状を理解し、その特徴とアプローチについて説明できる。その中で、意思決定支援について知り、その重要性を説明できる。また、授業をとおして自己の死生観について自分の言葉で説明できることを目指す。
履修上の注意事項	・事前学習として授業内容の教科書項目を熟読して授業に望む(120分)。また、授業の振り返りや関連する書籍を読んで理解を深める(120分)。 ・緩和ケアスペシャリスト・緩和ケア教育のコーディネータ、ホスピスケアの啓蒙、教育に携わり、現在ヒーラーとして国内だけでなく海外でも活躍中の山本トースネスみゆき氏を非常勤講師として3コマ依頼している。アメリカ・テキサス州在宅ホスピスナースなど多彩な実践を通しての話をよく聞いて看護に生かして頂きたい。
評価方法	・課題レポート(80%)、小レポート(10%)、授業態度(10%)で評価を実施する。 ・課題レポートは授業最終日に課題を提示する。
テキスト	系統看護学講座 別巻「緩和ケア」医学書院 2021年度版
参考文献	授業の中で提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	島村美香：看護師として病院勤務経験あり 山本トースネスみゆき：看護師として病院勤務経験あり

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	緩和ケアの概念と現状について(島村)		4月12日5限
2	緩和ケアにおける倫理と意思決定支援(島村)		4月19日5限
3	スピリチュアリティとはなにか(山本)		4月26日5限
4	スピリチュアルペインを理解する(山本)		5月10日5限
5	スピリチュアルケアの実践について(山本)		5月24日5限
6	緩和ケアにおける身体的ケア(身体的苦痛のマネジメント)(島村)		5月31日5限
7	緩和ケアにおける身体的ケア(日常生活を支える援助)(島村)		6月7日5限
8	緩和ケアにおける心理的・社会的ケア(島村) 臨死期の身体的ケア、エンゼルケア、グリーフケア		6月14日5限

基本情報

科目名	成人看護学実習
時間割コード	0124301901
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	3.0
学年	3
主担当教員	福島 和代
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
川本 起久子、福島 和代、杉野 由起子、島村 美香、齊藤 圭子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>目的：成人期にある患者とその家族のもつ健康問題を全人的に理解し健康の段階に応じた最良の状態を生み出すための看護を学ぶ。看護過程の展開を通して根拠に基づいた看護の実践ができる基礎能力と、人間の尊厳および人権の擁護の重要性を理解し看護者として倫理的に判断し行動できる基礎能力を養う。</p> <p>到達目標：周手術期を通して健康状態が急激に変化する患者とその家族のもつ健康問題を総合的に理解し、受け持ち患者に対して看護過程の展開ができるようになる。</p>
履修上の注意事項	<p>実習直前のグループ別オリエンテーションに必ず参加する。</p> <p>実習病棟の特色を知り、疾患・検査・治療・看護について事前学習を行ったうえで実習に臨む(90分以上)。</p> <p>実習後は看護の振り返りを行い、指導を受けた内容についてケアの意味づけを行い、自己の課題を明確にして対応策を考える(90分)。</p> <p>体調管理を行い、流行性疾患に罹患しないよう注意する。</p>
評価方法	<p>評価は、実習評価表に基づき、「受け持ち患者の看護過程の展開と実習記録 80%、チームの一員としての行動20%」とし、60点以上を合格とする。</p> <p>フィードバックとして、必要に応じて面接を行う。</p>
テキスト	<p>系統看護学講座 成人看護学【2】～【14】医学書院. 系統看護学講座別巻1 臨床外科看護総論 医学書院の教科書および講義資料。</p>
参考文献	<p>看護過程と看護診断 NOUERU HIROKAWA. 周手術期看護論 NOUERU HIROKAWA. 周手術期看護学習ワークブック メジカル社. 病気がみえる MEDIC MEDIA. 看護師・看護学生のためのレビューブック MEDIC MEDIA.</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>福島 和代：看護師として病院勤務経験</p> <p>川本起久子：看護師として病院勤務経験</p> <p>杉野由起子：看護師として病院勤務経験</p> <p>島村 美香：看護師として病院勤務経験</p> <p>齊藤 圭子：看護師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画

< 学習段階に応じた目標 >

1. 患者の病態・治療の理解：病態、検査、治療、経過、発達課題について患者状態を把握し、患者の病態、治療、手術後に予測される問題について理解できる。
2. 情報収集・看護問題抽出：患者情報を系統的に収集し手術が患者の心身にどのような影響を及ぼすかを予測して健康問題を明確化し、看護計画を立案することができる。最善の状態で手術が受けられるように準備を整えることができる。
3. 看護計画立案：手術後の危機状態にある患者に対して、生命の維持、安全・安楽の確保、精神的支援のための看護を計画立案できる。
4. 看護の実践：回復期における患者の状態を理解し、早期離床、セルフケアに必要な看護を実践できる。退院後の生活を予測して残存機能を最大限に活用した自立への援助と家族を含めた指導を行うことができる。
5. 評価：周手術期の各段階において、患者が治療や健康の回復に向けて主体的に取り組めるような看護過程が展開できたか評価できる。
6. 倫理的配慮と医療チームの一員としてのと行動：看護者としての倫理的配慮ができ、医療チームの一員としての自己の役割を自覚した行動がとれる。

< 臨地実習計画 >

1週目の主な学習内容	コミュニケーション 情報収集 アセスメント 看護問題 計画の明確化
2週目の主な学習内容	看護介入 計画の修正・追加 評価
3週目の主な学習内容	まとめ 記録整理 事例検討と発表

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	成人看護学実習
時間割コード	0124302001
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	3.0
学年	3
主担当教員	福島 和代
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
川本 起久子、福島 和代、杉野 由起子、島村 美香、齊藤 圭子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>目的：成人期にある患者とその家族のもつ健康問題を全人的に理解し、健康の段階に応じた最良の状態を生み出すための看護を学ぶ。看護過程の展開を通して根拠に基づいた看護の実践ができる基礎能力と、人間の尊厳および人権の擁護の重要性を理解し看護者として倫理的に判断し、行動できる基礎能力を養う。</p> <p>到達目標：慢性の疾患を有する患者とその家族のもつ健康問題を総合的に理解し、受け持ち患者と家族が主体的に病気を管理し、生活の再調整ができるような看護過程が展開できるようになる。</p>
履修上の注意事項	<p>実習直前のグループ別オリエンテーションに必ず参加する。</p> <p>実習病棟の特色を知り、疾患・検査・治療・看護について事前学習を行ったうえで実習に臨む(90分以上)。</p> <p>実習後は看護の振り返りを行い、指導を受けた看護の意味づけを行い、自己課題を明確にして対応策を考える(90分)。</p> <p>体調管理を行い、流行性疾患に罹患しないよう注意する。</p>
評価方法	<p>評価は、評価表に基づき「受持ち患者の看護過程の展開と実習記録 80%、チームの一員としての行動 20%」とし、60点以上を合格とする。</p> <p>フィードバックとして、必要に応じて面接を行う。</p>
テキスト	<p>系統別看護学講座 成人看護学【2】～【14】医学書院、糖尿病食品交換表 第7版 の教科書及び講義資料。</p>
参考文献	<p>看護過程と看護診断 NOUVELLE HIROKAWA. 看護師・看護学生のためのビューブックMEDIC MEDIA. 病気がみえるMEDICMEDIA. 慢性期看護論 NOUVELLE HIROKAWA. 患者教育のポイント 医学書院. がん看護 医学書院</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>福島 和代：看護師として病院勤務経験</p> <p>川本起久子：看護師として病院勤務経験</p> <p>杉野由起子：看護師として病院勤務経験</p> <p>島村 美香：看護師として病院勤務経験</p> <p>齊藤 圭子：看護師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画

< 学習段階に応じた目標 >

1. 患者の病態・治療の理解：慢性の疾患は主に生活習慣との関係から徐々に健康を障害していく。生活習慣は環境(自然・社会・文化)の影響を強く受けている。慢性の疾患を有する患者の病態を環境との相互作用の観点から理解できる。
2. 情報収集・看護問題抽出：患者情報を系統的に収集し、慢性の疾患を有する患者の健康障害の程度やセルフケア能力をアセスメントし、看護問題を明確化できる。
3. 看護計画立案：患者と家族の強み(主体的に病気を管理できるようなポジティブな面)を生かした看護計画を立案できる。
4. 看護の実践：患者の安全と治療的環境を維持し、立案した計画に基づいて、家族にも配慮しながら看護を実践できる。退院後の生活を予測して在宅療養に必要なリハビリテーションを理解できる。また社会生活に適応するために患者が主体的に自己管理できるよう家族を含めた援助を行うことができる。
5. 評価：慢性の疾患を有する患者が主体的に病気を管理できるような看護過程が展開できたか評価できる。
6. 倫理的配慮と医療チームの一員としての行動：看護者としての倫理的配慮ができ、医療チームの一員として自己の役割を自覚した行動がとれる。

< 臨地実習計画 >

1週目の主な学習内容	コミュニケーション 情報収集 アセスメント 看護問題 計画の明確化
2週目の主な学習内容	看護介入 計画の修正・追加 評価
3週目の主な学習内容	まとめ 記録整理 事例検討と発表

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	老年看護学
時間割コード	0124302101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	生野 繁子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
生野 繁子、山本 恵子、十時 彩、志垣 留美、北原 崇靖

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. ライフサイクルの中で老年者をとらえ、老年者の特徴とその健康生活について理解できる。 2. 保健医療福祉制度の変化と、高齢者を介護する家族の現状について理解できる。 3. 高齢者ケア提供の場と、ケア提供に係る専門職の役割について理解できる。 4. 高齢者の尊厳や人権を守り、高齢期のQOL向上の視点の重要性を理解できる。 5. 少子高齢・人口減少社会の我が国における老年看護の課題について理解できる。
履修上の注意事項	・ 3年次臨地実習である老年看護学実習、および看護総合実習の先修科目である。 ・ 第1回講義時に高齢者インタビューとアセスメントの視点を説明するので、具体的な高齢者をイメージして講義に臨むこと。この個別評価を10点分定期試験に加味し、全体講評を講義時に実施する。 ・ 家族が住む自治体の介護保険等のパンフレットを入手し熟読(約30分)しておくこと。 ・ シラバス内容に関するテキスト部分を事前学習(約30分)し、授業に参加すること。 ・ 生野担当時に数回ミニテスト(学習用・評価には加味しない)を実施する。必ず復習(約30分)すること。
評価方法	期末定期試験90%、課題レポート10%(全体総括は15回目講義で説明する)の割合で評価する。
テキスト	1. 新体系看護学全書「老年看護学概論・老年保健」メヂカルフレンド社 2. 「国民衛生の動向」厚生労働統計協会(1年次購入済み)
参考文献	1. 新体系看護学全書「老年看護技術」メヂカルフレンド社 2. 「高齢者の健康と障害」堀内ふき編 メディカ出版 3. 系統看護学講座専門19「老年看護学」医学書院
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	生野 看護師として病院勤務経験 山本 看護師・保健師として病院勤務経験 北原 看護師として病院勤務経験 十時 歯科衛生士として病院勤務経験 志垣 歯科衛生士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護学科の老年看護学領域担当者3名と口腔保健学科所属教員2名による担当です。 ・ 年齢を重ねて行くと、心身にどのような変化がおきるのかを学び、現在の高齢社会の中で高齢者どのような状況に置かれているのか視野を広げています。 ・ 看護師に必要な人権意識・他者の尊厳への配慮・意思決定支援の重要性を学びます。 ・ 以上のことが15回で学べるように計画しています。 ・ 事前学習として各回の内容に関して各自で調べておくこと、事後学習は各回学びを復習すること。(事前事後合わせて2時間程度必要)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	導入・講義概要の説明・老年看護学の成り立ち(高齢者インタビュー課題の説明含む): 生野		
2	老年看護学の役割と目標・理論・概念: 生野		
3	高齢者の保健医療福祉制度の変遷と高齢化の現状: 生野		
4	高齢者の理解 老化の考え方・老化の特徴・感覚器の老化: 生野		
5	高齢者の理解 運動器・筋・骨格の老化: 山本		

授業計画

- ・看護学科の老年看護学領域担当者3名と口腔保健学科所属教員2名による担当です。
- ・年齢を重ねて行くと、心身にどのような変化がおきるのかを学び、現在の高齢社会の中で高齢者どのような状況に置かれているのか視野を広げています。
- ・看護師に必要な人権意識・他者の尊厳への配慮・意思決定支援の重要性を学びます。
- ・以上のことが15回で学べるように計画しています。
- ・事前学習として各回の内容に関して各自で調べておくこと、事後学習は各回学びを復習すること。(事前事後合わせて2時間程度必要)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
6	高齢者の理解 循環器・呼吸器・消化器等の老化:北原		
7	高齢者の理解 知的機能・認知機能・心理的特徴・高齢者の生活:生野		
8	介護保険制度の理解 理念等・認定の流れ:生野		
9	高齢者の理解 口腔・歯牙の老化とケア:十時・志垣・生野・山本・北原 認定:生野		
10	介護保険制度の理解 サービスの種類と看護師の役割:生野		
11	介護保険制度の理解 地域包括ケアと制度の今後:生野		
12	高齢者ケアの場と協働 病院・施設・在宅の連続性と多職種協働:山本		
13	高齢者の意思決定支援・尊厳・虐待防止:北原		
14	高齢者ケアの課題・老々介護・家族支援・終末期ケア:生野		
15	多様な価値観と高齢者ケア・まとめ:生野		

基本情報

科目名	老年看護学
時間割コード	0124302201
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	山本 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>高齢者に多くみられる症状・疾患の特徴を理解し、健康課題を見出すためのアセスメントができる。また、高齢者における手術療法、薬物療法など治療上の注意点とケアが理解できる。さらに認知症の症状や終末期・看取りのケアについて説明ができる。</p>
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・講義中の私語が多い場合は、座席指定とします。チャイムが鳴り終わるまでに着席してください。 ・演習も入れながら講義を行います。必要物品は事前に連絡します。 ・出席は、毎回のレポートがなければ携帯登録があっても無効です。 ・事前学習：老年看護学 を十分に復習すること。授業展開を参考に教科書を熟読し受講して下さい(60分)。 ・事後学習：毎回、講義後は各自復習し理解を深めましょう(90分)。毎回、前回の復習問題もします。
評価方法	<p>演習:10% 試験:90% フィードバックとして演習内容の解説を講義で行い、レポートは返却します。毎回のレポートについては、講義の冒頭にコメントを返します。</p>
テキスト	<p>『ナーシング・グラフィカ 老年看護学(2) 高齢者看護の実践 第5版』・堀内ふき他・MCメディカ出版・2021</p>
参考文献	<p>講義の中で適宜紹介する</p>
実務経験のある教員による授業	<p>有</p>
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>山本恵子：看護師・保健師として病院勤務経験 生野繁子：看護師として病院勤務経験 北原崇靖：看護師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	高齢者の疾患の特徴：予備力低下、個性など(山本)		
2	高齢者の入院・検査：入院経路、検査時の注意など(山本)		
3	高齢者の手術・退院：低体温・熱中症、掻痒、シームレスケアなど(山本)		
4	高齢者の薬物療法：多剤併用、代謝低下、管理(山本)		
5	高齢者に多い疾患：白内障、前立腺肥大症、誤嚥性肺炎など(北原)		
6	高齢者に多い疾患：骨粗鬆症、大腿骨頸部骨折など(山本)		
7	症状アセスメント：低栄養、浮腫、電解質代謝異常など(生野)		
8	症状アセスメント：不眠、失禁、便秘、難聴(山本)		
9	意思決定支援(北原)		
10	演習：高齢者へのインタビュー(山本、生野、北原 他)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	演習：老年者のヘルスアセスメント：アセスメント（山本）		
12	老年者のヘルスアセスメント：対象理解に向けた老年者のアセスメント（山本）		
13	終末期のケア：エンド オブ ライフケア（生野）		
14	認知症とは：医学的視点での理解（山本）		
15	認知症の看護：認知症ケア（山本）		

基本情報

科目名	老年看護学実習
時間割コード	0124302301
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	北原 崇靖
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
生野 繁子、山本 恵子、北原 崇靖

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>実習目的 介護老人保健施設を利用する高齢者の理解を深め健康課題に対するシームレスケアの在り方を学ぶ。</p> <p>実習目標 1. 高齢者の特徴を理解し、受けているケアサービスの目的が理解できる。 2. 高齢者の健康状態及び生活機能から健康課題を抽出し、高齢者及び家族への援助を実践することができる。 3. 施設における高齢者へのケアサービスを理解し、実践することができる。 4. 高齢者の尊厳を守り、意思決定支援の多職種連携・シームレスケアのあり方を学ぶ</p>
履修上の注意事項	<p>1. 実習要項を熟読し、準備段階から主体的かつ積極的に学ぶこと。 2. 実習要項に記載している事前学習(60～120分)を十分に実施しておくこと。 3. 健康には特段の注意をして、実習に臨むこと。 4. 臨地において当日の実習計画(約30分)がないものは実習できない。 5. 実習終了後には、復習(約30分)として老年看護学領域の国家試験過去問題を解いてみること。</p>
評価方法	実習評価表に基づき、老年期の特徴理解(10%)、アセスメント(30%)、社会復帰の理解(5%)、ケアサービスの理解(30%)、職業倫理(25%)の割合で評価する。学生の自己評価についても面談で確認する。
テキスト	老年看護学 ・ で使用したもの
参考文献	<p>1. 老年看護学 ・ の講義において配布した資料および参考文献 2. その他既習のテキスト</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>生野繁子：看護師として病院勤務経験 北原崇靖：看護師として病院勤務経験 山本恵子：看護師、保健師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画
<p>臨地実習2週間を設定している(詳細は実習要項参照)</p> <p>1週目の月 学内オリエンテーション 1週目の火～金 受け持ち利用者の情報収集およびアセスメントとケア施設特性の理解など 2週目 受け持ち利用者の看護計画実施、他施設での学びの共有</p> <p>*COVID-19感染によっては、臨地での実習ができない場合があります。 その際は、随時、キャンパススクエアにて掲示します。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	老年看護学実習
時間割コード	0124302401
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	山本 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名	
生野 繁子、山本 恵子、北原 崇靖	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>実習目的 介護老人福祉施設におけるケアサービスを通して、施設の利用者への理解を深め、健康課題に対するケアのあり方を学ぶことができる。</p> <p>実習目標 高齢者とのコミュニケーションを図ることができる。施設利用者の家族状況が理解できる。</p> <p>高齢者の健康課題をアセスメントし、必要なケアを安全に実施することができる。高齢者へのケアサービスを理解し、実践することができる(詳細は臨地実習要項参照)</p>
履修上の注意事項	<p>1. 健康には特段の注意をして、実習に臨むこと。</p> <p>2. 高齢者に対する尊厳および臨地実習要項に記載してある実習上の注意などを熟読し主体的かつ積極的に実習に臨むこと。</p> <p>3. 事前学習：臨地実習要項の項目および看護技術など実習に必要な関連科目の復習し実習に臨む(30分)</p> <p>4. 事後学習：実習での学びを各自振り返り、自身の課題を整理し次の実習につなげる(60分)</p>
評価方法	<p>臨地実習要項に掲載している実習評価表に基づいて、コミュニケーション20%、高齢者アセスメント35%、ケアサービス25%、職業倫理20%で評価する。実習期間中に口頭および実習記録にコメントを返します。</p>
テキスト	<p>老年看護学 ・ と同様。</p>
参考文献	<p>1. 老年看護学 ・ の講義において配布した資料および参考文献</p> <p>2. その他既習のテキスト</p>
実務経験のある教員による授業	<p>有</p>
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>山本恵子：看護師・保健師として病院勤務経験</p> <p>生野繁子：看護師として病院勤務経験</p> <p>北原崇靖：看護師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画	
<p>臨地実習を以下のように設定している。(詳細は実習要項参照)</p> <p>1週目の月 学内オリエンテーション</p> <p>1週目の火～金 受け持ち利用者の情報収集およびアセスメントとケア 施設特性など</p> <p>2週目 受け持ち利用者の看護計画実施、他施設での学びの共有</p> <p>* COVID-19感染状況によっては、臨地での実習ができない場合があります。 その際は、随時、キャンパススクエアにて掲示します。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	精神看護学
時間割コード	0124302501
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	上田 智之
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
緒方 浩志、川原 一洋、神野 哲平、川原 庸子、上田 智之

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>【授業目的】</p> <p>精神の健康の概念やこころの発達と危機について学習し、精神的健康の保持増進について理解を深める。また、精神障害のある人の歴史的歩みを学習し、現在の精神医療の特色・関係法規や制度および課題を理解する。さらに、精神医療における治療の意味を看護の視点から捉え、精神症状と治療および看護について理解する。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神(こころ)の健康の概念やライフサイクルにおける危機的状況が理解できる。 2. 精神保健医療の歴史を学習し精神看護における基本的人権と倫理が理解できる。 3. 精神医療における治療の意味を看護の視点から捉え、精神症状と治療および看護について理解できる。 4. 地域精神保健における地域移行・定着の多職種連携、社会資源および看護師の役割を理解できる。
履修上の注意事項	指定した教科書の授業に該当する箇所を熟読し、キーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習120分)。その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する(事後学習120分)。
評価方法	定期試験80%、小テスト10%、振り返りレポート10% フィードバックとして、小テスト・振り返りレポートは講義内で解説し返却する。
テキスト	岩崎弥生 渡邊博幸編集.精神看護学 精神看護学概論/精神保健, 第5版, メヂカルフレンド社, 2019. 岩崎弥生 渡邊博幸編集.精神看護学 精神障害をもつ人の看護, 第5版, メヂカルフレンド社, 2019.
参考文献	1) 末安民生ほか.系統看護学講座 別巻 精神保健福祉, 医学書院, 2019. 2) 水野雅文ほか.リカバリーのためのワークブック 回復を目指す精神科サポートガイド, 2018.
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	上田智之: 看護師として精神科病院勤務経験 緒方浩志: 看護師として精神科病院勤務経験 川原一洋: 精神科医として精神科病院勤務経験 川原庸子: 精神科医として精神科病院勤務経験 神野哲平: 精神科医として精神科病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス・こころの健康とは【精神保健・精神看護学】(上田)	指定した教科書をよく読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習120分)。その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する(事後学習120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
2	精神保健医療福祉の歴史 【世界・日本における精神医療の歴史と看護】（上田）	指定した教科書をよく読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習120分)。その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する(事後学習120分)。	
3	精神保健医療福祉の歴史 【精神保健福祉における関連法規と患者の処遇】（緒方）	指定した教科書をよく読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習120分)。その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する(事後学習120分)。	
4	精神医療における倫理と権利擁護（上田）	指定した教科書をよく読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習120分)。その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する(事後学習120分)。	
5	精神の危機状況と精神看護【ストレスと危機・適応と不適応・セルフマネジメント】（上田）	指定した教科書をよく読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習120分)。その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する(事後学習120分)。	
6	精神の発達理論【エリクソン・マズロー・ピアジェ】（上田）	指定した教科書をよく読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習120分)。その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する(事後学習120分)。	
7	地域精神保健【リカバリー・ストレングス・エンパワメント・レジリエンス】（上田）	指定した教科書をよく読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習120分)。その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する(事後学習120分)。	
8	精神医療と治療 【脳の構造と機能・精神症状学・統合失調症】（神野、上田、緒方）	指定した教科書をよく読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習120分)。その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する(事後学習120分)。	
9	精神医療と治療 【気分障害・不安障害・ストレス関連障害】（川原庸、上田、緒方）	指定した教科書をよく読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習120分)。その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する(事後学習120分)。	
10	精神医療と治療 【アディクション・摂食障害・発達障害・児童思春期の精神疾患】（川原一、上田、緒方）	指定した教科書をよく読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習120分)。その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する(事後学習120分)。	
11	精神科治療と看護 【心理検査・心理療法】（上田）	指定した教科書をよく読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習120分)。その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する(事後学習120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	精神医療と看護 【統合失調症の特徴と看護】（緒方）	指定した教科書をよく読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習120分)。 その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する（事後学習120分）。	
13	精神医療と看護 【気分（感情）障害・不安障害の特徴と看護】（上田）	指定した教科書をよく読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習120分)。 その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する（事後学習120分）。	
14	精神医療と看護 【ストレス関連障害の特徴と看護/パーソナリティ障害の特徴と看護】（緒方）	指定した教科書をよく読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習120分)。 その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する（事後学習120分）。	
15	精神医療と看護 【アディクション・摂食障害・発達障害の特徴と看護】（上田）	指定した教科書をよく読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習120分)。 その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する（事後学習120分）。	

基本情報

科目名	精神看護学
時間割コード	0124302601
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	緒方 浩志
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
緒方 浩志

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>【授業の目標】</p> <p>精神看護学での学習を踏まえ、ケアを行う対象を理解する方法だけでなく、援助を行う自己を理解する。また、精神看護におけるさまざまな看護技術について学習し、ケアの具体的な方法とこころのセルフケアマネジメント技法を理解し、さらに、精神障害をもつ人への看護過程を学習し、回復過程に応じた個別的な看護援助を理解する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>1. 精神症状が日常生活に及ぼす影響と患者がどのような点で生きにくさを感じているのか理解でき、その症状に対する看護援助の特徴と意義が理解できる。</p> <p>2. 精神看護における基本的なコミュニケーション技法とケアの具体的な方法およびこころのセルフケアマネジメント技法が理解できる。</p> <p>3. 精神障害をもつ人への看護過程を理解し、回復過程に応じた個別的な看護援助を理解できる。</p>
履修上の注意事項	<p>1. 毎回の授業振り返りはMicrosoft Formsにて行います。Campus Squareで掲示するURLからアクセスし、講義当日の23時59分までに入力すること。時間を過ぎての入力はできません。</p> <p>2. 事前学習として、指定した教科書をよく読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(120分)。</p> <p>3. 事後学習として、その日の講義で分からなかったことを明らかにし自ら疑問を解決すること(120分)。</p>
評価方法	<p>定期試験80%、授業振り返り15%、参加態度5%</p> <p>フィードバックとして、レポートは講義内で解説し返却する。</p>
テキスト	<p>1) 岩崎弥生, 渡邊博幸: 新体系看護学全書 精神看護学 精神障害をもつ人の看護 【第5版】、メヂカルフレンド社, 2019.</p> <p>2) 田中美恵子: 精神看護学 学生-患者のストーリーで綴る実習展開 【第2版】、医歯薬出版株式会社, 2015.</p>
参考文献	<p>1) 長谷川雅美: 自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード 【第3版】、日総研出版, 2020.</p> <p>2) 岡田佳詠: 認知行動理論に基づく精神看護過程 よくわかる認知行動療法の基本と進め方、中央法規 2016.</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>緒方浩志: 看護師として病院勤務経験</p> <p>上田智之: 看護師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス・精神看護と対象理解(緒方)	<p>指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(120分)。</p> <p>その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する(120分)。</p>	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
2	自己理解と他者理解【プロセスレコード】（緒方）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分）。その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）。	
3	コミュニケーション技法【治療的コミュニケーション、アサーション】（上田）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分）。その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）。	
4	精神看護におけるケアの方法【薬物療法と服薬支援】（緒方）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分）。その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）。	
5	精神看護におけるケアの方法【認知理論を活用した看護介入】（上田）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分）。その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）。	
6	精神看護におけるケアの方法【行動理論を活用した看護介入】（緒方）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分）。その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）。	
7	精神看護におけるケアの方法【リラクゼーション法】（緒方）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分）。その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）。	
8	精神看護におけるケアの方法【精神科リハビリテーション】（緒方）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分）。その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）。	
9	地域生活への支援【地域移行支援・多職種連携・長期入院】（緒方）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分）。その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）。	
10	精神障害の体験の理解（外部講師、緒方）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分）。その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）。	
11	精神看護における対象理解と理論の活用【セルフケア理論】（上田）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分）。その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
12	精神看護における看護過程の展開【統合失調症(情報整理・アセスメント)】(緒方)	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(120分)。 その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する(120分)。	
13	精神看護における看護過程の展開【統合失調症(看護計画立案)】(緒方)	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(120分)。 その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する(120分)。	
14	精神看護における看護過程の展開【気分障害】(上田)	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(120分)。 その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する(120分)。	
15	精神科以外での精神看護【リエゾン精神看護・災害とこころのケア】(緒方、上田)	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(120分)。 その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する(120分)。	

基本情報

科目名	精神看護学実習
時間割コード	0124302701
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	日
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	上田 智之
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
緒方 浩志、上田 智之

詳細情報

授業の目的・到達目標	精神障害者とのかかわりを通して、対象者に生じている生活上の困難(生きにくさ)に対する理解を深める。また、セルフケア理論およびストレス理論に基づいたアセスメントによる対象者のセルフマネジメント能力を高める支援方法を理解する。さらに、治療的コミュニケーションをはじめとした精神看護実践能力を身につけることを目的とする。
履修上の注意事項	1.実習要項に沿って学習し、レポートを作成し、実習初日に提出する。 2.精神保健福祉に関する関連法規について事前に学習する。 3.事前に行われるオリエンテーションを必ず受けること。 4.自己の心身の健康管理に努め、実習を休まないように留意する。また、患者の個人情報に関しては看護学生として良識ある行動をとること。
評価方法	実習時間の2/3以上の出席がない場合は評価対象とならない。 実習評価表に基づいて総合的に評価する。
テキスト	精神看護学、の講義で使用したもの。
参考文献	1.精神看護学、で使用した教科書 2.岡田佳詠ほか.認知行動理論に基づく精神看護過程,中央法規,2016. 3.菅間真美.ストレスモデル実践活用術,医学書院,2016.
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	上田智之:看護師として精神科病院勤務経験 緒方浩志:看護師として精神科病院勤務経験

授業計画

授業計画
<p>実習期間:2週間</p> <p>実習施設:精神科病院および地域精神関連施設</p> <p>実習配置:各グループを3グループに分け、実習を実施する。 学内日は別途指示した日とする。</p> <p>実習内容:受け持ち患者を1名担当し、看護過程の展開を通して対象理解を深める。 アセスメントおよびケアを焦点化し、看護計画の立案をする。 プロセスレコードを作成し、自己および他者の振り返りを通して自己理解を深める。 地域で生活する対象者の現状と必要な社会資源について理解を深める。 地域における対象者の看護についてリカバリーおよびストレスの視点から理解を深める。</p> <p>詳細は精神看護学実習要項を参照</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	母性看護学
時間割コード	0124302801
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	牛之濱 久代
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
牛之濱 久代、大橋 知子、未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>目的：本科目は、人間の健康を性と生殖に関する側面から捉え、母性看護学の基盤となる概念について学ぶ。また、母子と家族を取り巻く環境の変化や母性看護の現況と動向を把握し、必要な支援について考えることを目指す。</p> <p>目標：母性看護に基盤となる諸概念について理解できる。 母性看護の現況と動向を概括し、家族を含めた母子を取り巻く環境を把握できる。 女性の生涯における発達課題と健康課題を理解した上で、母性看護の具体的な支援のあり方について述べるができる。</p>
履修上の注意事項	講義初日に、授業展開日程表を配布するので、教科書を読み、その分野に関する内容を予習しておくこと。また、事後学習として授業資料内容を教科書や参考書と照らし合わせ復習しておくこと。
評価方法	小テスト50%、期末試験50% 各自が知識の定着度を確認できるように、授業中に小テストの正答と解説をします。
テキスト	『系統看護学講座 母性看護学概論 母性看護[1]』医学書院、『系統看護学講座 母性看護学各論 母性看護[2]』医学書院、『系統看護学講座 女性生殖器 成人看護学[9]』医学書院
参考文献	国民衛生の動向、前原澄子編集『新看護観察のキーポイントシリーズ母性、母性』中央法規 堀内成子編集『パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護学第2版』照林社
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	牛之濱久代：看護師、助産師として病院勤務経験 大橋知子：看護師、助産師として病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	母性看護の概念とその特質：母性看護の特殊性、母性看護学学習のねらい 牛之濱	事前：テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後：母性看護の各概念について定義をまとめておく。(2時間)	
2	人間の性と生殖：人間の性の特徴・性行動、セクシュアリティの発達と課題、性の決定・分化 牛之濱	事前：テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後：セクシュアリティの特徴についてまとめ、性に関する事故の考えをノートに書いておく。(2時間)	
3	女性生殖器の構造と機能：性周期とホルモン動態、受胎のメカニズム 牛之濱	事前：テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後：女性の性周期とホルモン動態、男女の生殖器の構造についてまとめておく。(2時間)	小テスト 対象
4	社会と母性保健(1)：生活環境、母子保健統計の動向・母子保健行政のあゆみ、関係法規 牛之濱	事前：テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後：母子保健統計指標と各指標の動向についてまとめておく。(2時間)	小テスト 対象

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
5	社会と母性保健(2): 母子保健施策、女性の労働と子育て、母性看護の場と職種 牛之濱	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: 勤労女性の妊娠・出産をめぐる社会情勢の変化、サポートシステムについてまとめておく。(2時間)	小テスト 対象
6	母性看護の沿革と現況: 日本の母性看護の発達 近代以前、近代以降、現代、小テスト 牛之濱	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: 母性看護の歴史的変遷と今後の展望についてまとめておく。(2時間)	
7	女性・家族のライフサイクル: 現代女性のライフサイクルと生涯発達、家族の発達段階 牛之濱	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: 時代によるライフサイクルと看護の変化についてまとめておく。(2時間)	
8	女性のライフステージ各期の特徴と保健(1)(思春期)月経異常、性感染症、人工妊娠中絶 大橋	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: 思春期の特徴と健康課題についてまとめておく。(2時間)	小テスト 対象
9	女性のライフステージ各期の特徴と保健(2)(成熟期)育児不安、DV、産後うつ、喫煙 大橋	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: 成熟期の特徴と健康課題についてまとめておく。(2時間)	小テスト 対象
10	女性のライフステージ各期の特徴と保健(3)(更年期・老年期)更年期障害、尿失禁、骨粗鬆症 大橋	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: 更年期・老年期の特徴と健康課題についてまとめておく。(2時間)	小テスト 対象
11	リプロダクティブヘルス・ライツ: 妊娠をめぐる女性の選択、母性看護における看護倫理 牛之濱	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: リプロダクティブヘルス・ライツの定義についてまとめておく。(2時間)	
12	家族計画、避妊: 受胎調節法と避妊法、小テスト 牛之濱	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: 避妊法に関するワークシートを仕上げる。(2時間)	
13	母性看護に必要な看護技術: 情報収集・アセスメント技術、母性看護に必要な看護技術 牛之濱	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: 母性看護における看護過程の特徴についてまとめておく。(2時間)	
14	出生前診断を受けるカップルの看護ケア、不妊カップルの理解と看護 牛之濱	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: 出生前診断や不妊治療における看護、倫理課題についてまとめておく。(2時間)	
15	ハイリスクな状況にある人々への看護: 危機援助、ハンディキャップをもつ母子への看護 大橋	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: 葉老いリスク状況にある母子の看護についてまとめておく。(2時間)	

基本情報

科目名	母性看護学
時間割コード	0124302901
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	大橋 知子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>授業目的：周産期は女性のライフサイクルの中で最もダイナミックな身体的変化を起こす。さらに、女性の健康は胎児・新生児の発育や健康状態にも影響を及ぼす。本科目では、看護師として周産期における母性・胎児・新生児およびその家族に必要なケアの糸口を見出す能力を育成する。</p> <p>到達目標</p> <p>周産期の女性と胎児、新生児を中心とした家族の変化を記述できる。</p> <p>周産期の女性と胎児、新生児の身体的、心理・社会的変化と生活への適応を促す援助と健康逸脱時の援助を理解することができる。</p> <p>周産期の女性と胎児・新生児を中心とした家族全体の健康保持・増進および異常予防のために必要な援助を理解できる。</p>
履修上の注意事項	<p>講義初日に授業展開日程表を配布するので、教科書を読みその分野を予習すること(2時間)</p> <p>授業資料内容について教科書や参考書を読み返し復習すること(60分)。</p> <p>演習課題についてレポートを作成し演習に臨むこと(60分)。</p>
評価方法	<p>原則：試験80%、レポート20%(看護過程レポート、演習での学び800字A4 1枚)</p> <p>フィードバックとして、授業内でコメントを行います。必要に応じて授業内で再度説明します。</p>
テキスト	『系統看護学講座 母性看護各論 母性看護[2]』医学書院、『系統看護学 母性看護概論 母性看護学[1]』医学書院、『系統看護学 女性生殖器 成人看護学[9]』医学書院
参考文献	『写真でわかる母性看護技術 アドバンス』、『根拠と事故防止からみた母性看護技術』、『ウエルネスからみた母性看護過程第2版』、『病気がみえる』、『パティ外臨床実習ガイド 母性看護学第2版』
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	<p>牛之濱 久代：看護師、助産師として病院勤務経験、</p> <p>大橋 知子：看護師、助産師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	母性看護の特徴とウェルネス看護診断、事例による看護過程展開(大橋)	事前：シラバスを読む(2時間) 事後：事例を読む(2時間)	
2	妊娠期の看護：妊娠成立と妊娠に伴う母体や胎児の変化、妊娠期の心理・社会的特性(牛之濱)	事前：教科書を読む。(2時間) 事後：情報整理(母親)(2時間)	
3	妊娠期の看護：妊婦と胎児の健康アセスメント、妊婦の健康管理、妊婦の日常生活とセルフケア(牛之濱)	事前：教科書を読む。(2時間) 事後：情報整理(新生児)、ワークブック1-3p(2時間)	
4	妊娠期の看護：妊婦と家族の看護、親になるための準備教育・妊娠期の異常(牛之濱)	事前：教科書を読む。(2時間) 事後：アセスメント、ワークブック4-6p(2時間)	
5	分娩期の看護：分娩の三要素と正常分娩の臨床経過(大橋)	事前：教科書を読む。(2時間) 事後：アセスメント、ワークブック7-8p(2時間)	
6	分娩期の看護：分娩時の看護、分娩異常、産婦の安楽及び家族に対する看護(大橋)	事前：教科書を読む。(2時間) 事後：アセスメント、ワークブック9-10p(2時間)	
7	産褥期の看護：退行性変化、進行性変化、心理的变化・母親適応過程と看護(牛之濱)	事前：教科書を読む。(2時間) 事後：アセスメント、ワークブック11-13p、26、27p(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	産褥期の看護：母子と家族に対する看護援助、母乳哺育支援、育児支援、産褥異常（牛之濱）	事前：教科書を読む。（2時間）事後：関連図、ワークブック14、18-21p（2時間）	
9	新生児期の看護：新生児の生理的特徴と看護（大橋）	事前：教科書を読む。（2時間）事後：看護計画、ワークブック22、23p（2時間）	
10	新生児期の看護：新生児期の異常と看護（大橋）	事前：教科書を読む。（2時間）事後：看護計画、ワークブック16、17p（2時間）	
11	看護過程（情報収集）/小テスト/1G演習（ジグソー学習法）	事前：妊娠期の学習の復習、演習の手順書作成、演習までに、下記内容を視聴すること。1: DVD『褥婦のアセスメントとケア』2: 母性看護学各論」教科書、ワークブック16、17p 570p-574p（2時間）事後：看護過程の展開（2時間）	
12	看護過程（母親のアセスメント）/小テスト/2G演習（ジグソー学習法）	事前：分娩期の学習（2時間）事後：看護過程の展開（2時間）	
13	看護過程（新生児のアセスメント）/小テスト/3G演習（ジグソー学習法）	事前：産褥期の学習（2時間）事後：看護過程の展開（2時間）	
14	看護過程（看護計画）/小テスト/演習（ジグソー学習法）	事前：新生児期の学習（2時間）事後：看護過程の展開（2時間）	
15	母性看護過程まとめ/演習（ジグソー学習法）	事前：自身の看護過程を読む（2時間）事後：看護過程全体の修正	

基本情報

科目名	母性看護学実習
時間割コード	0124303001
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	大橋 知子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
牛之濱 久代、大橋 知子、未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>授業の目的：母性看護学で学んだ知識、技術を統合し、周産期における母子と家族に対し、身体的・心理的・社会的特性を理解し、個別的な看護を実践するための基礎的能力を養う。また、リプロダクティブヘルス/ライツの観点から、周産期における女性および子ども・パートナーの生涯を通じた健康支援の必要性と看護について考察する。</p> <p>到達目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 周産期の母子と家族の身体的・心理的・社会的特性を理解し、各期の適応の過程を明らかにすることができる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期の生理を述べることができる。 2) 対象者の身体的・心理的・社会的特性を記述できる。 2. 周産期の母子とその家族のニーズを明らかにし、安全・安楽を考慮したケアを見学もしくは実践し、評価できる。 3. 母子と家族の健康に関わる看護者の役割と責任を自覚した行動をとり、母子保健医療チームメンバーとして連携・協力する方法を考察できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 生命の尊厳や対象者の尊重について認識を深め、倫理的配慮を持った態度と行動がとれる。 2) 周産期の母子とその家族を取り巻く社会システムおよび地域社会におけるサポート資源と妊娠期からの包括的な継続看護の必要性について考察できる。 3) 母子保健医療チームメンバーとして適切な人間関係を作り、報告・連絡・相談ができる。 4) グループの中でリーダーシップ、メンバーシップを発揮し、協力することができる。 5) 看護学生として基本的な行動がとれる(挨拶、言葉遣い、身だしなみ、時間を守ることなど)。 4. 自己の学習過程を振り返り、今後の学習課題を明らかにすることができる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 自己の行動や気持ちを振り返り、記録やカンファレンスなどで表現できる。 2) 今後の学習課題について述べるすることができる。
履修上の注意事項	<p>事前学習課題として、ワークブック(一人の妊婦の妊娠期から産褥期までの経過を追った看護の問題集)、実習で実施する母性看護術(妊産褥婦及び新生児の健康アセスメント、沐浴・清拭、妊婦健診、NSTなど)についても事前に十分演習を行い、手順書を作成の上、実習に備えてください。</p> <p>事後学修として、看護師国家試験問題周産期 事例問題に取り組むこと</p>
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習目的・目標の達成度(役割理解、看護実践・記録、課題の明確化)80% 2. 実習態度(予習・復習、主体性・積極性、カンファレンス参加状況、記録物の内容及び提出状況)20%実習内容に対するフィードバックは、カンファレンス、評価面接時に行います
テキスト	<p>系統看護学講座『母性看護学概論, 母性看護学』医学書院、系統看護学講座『母性看護学各論, 母性看護学』医学書院、系統看護学講座『女性生殖器, 成人看護学』医学書院</p>
参考文献	<p>『根拠と事故防止からみた母性看護技術』『写真でわかる母性看護技術アドバンス』『パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護学』『ウエルからみた母性看護過程』『病気がみえる』</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>牛之濱 久代：看護師、助産師として病院勤務経験 大橋 知子：看護師、助産師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画

- 1) 実習期間および実習時間
 期間：2021 年7 月初旬～2022 年2 月中旬
 時間：9：00～15：30（実習施設により異なる）
- 2) 実習施設：地域子育て支援センター（1週間）、周産期の対象者を受け持つことが可能な病棟（1週間）
- 3) 学内日と臨地実習：学内：月、水曜日、 臨地：火、木、金曜日（但し、祝日がある場合はこの限りではない）
- 4) 実習方法
 (1) 事前学習：母性看護学実習ワークブック、看護過程事例の加筆、修正を行い母性看護に必要な知識を復習しておく。
 母性看護技術について自己練習しておく。
 (2) 事後学修：毎日、日々の記録実施評価を記載する。（毎日2時間）看護師国家試験母性事例設定の問題に取り組む。（最終日2時間）
- 5) 実習内容
 (1) 病院実習の概要：
 病棟の特性や対象者の特性を理解し、同意の得られた対象者に行われる援助を見学・一部実施を行う。
 最終日カンファレンスで実習のまとめを行い、自己の学習課題を明確にする。
 (2) 地域子育て支援事業所の概要：
 施設を利用している両親および子どもに行われているサポートをスタッフまたはボランティアスタッフとともに見学または実践する。
 機会があれば事業所で行われている教室（両親学級、ベビーマッサージ教室等）を見学する。
 最終日カンファレンスで実習のまとめを行い、自己の学習課題を明確にする。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	リハビリテーション看護
時間割コード	0124303101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	山本 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

詳細情報

授業の目的・到達目標	リハビリテーションに関連する法律やチームアプローチを学び、障害を持つ人のアセスメント・健康課題・評価・看護実践を理解することができる。リハビリテーションを必要とする人の持つ力に気づき、その力を最大限に活用し生活を再構築するための基礎知識を身につけることができる。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・講義中の私語が多い場合は、座席指定とします。チャイムが鳴り終わるまでに着席してください。 ・演習も入れながら講義を行います。必要物品は事前に連絡します。 ・出席は、毎回のレポートがなければ携帯登録があっても無効です。 ・事前学習：授業展開を参考に教科書を熟読して受講してください(60分)。 ・事後学習：毎回、教科書やプリントを参考に各自復習し理解する(90分)。
評価方法	定期試験100% フィードバックとして毎回の講義でのレポートに対するコメントにはその次の講義で解説を行う。講義内容については途中と最終の回においてまとめを行い全体を総括してフィードバックする。
テキスト	『ナーシング・グラフィカ成人看護学(6) リハビリテーション看護』・奥宮暁子他・MCメディカ出版・2018
参考文献	ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護7「運動器」, 萩野浩, 山本恵子編集・メディカ出版・2020 その他、講義の中で適宜照会
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	山本恵子：看護師・保健師として病院勤務経験 北原崇靖：看護師として病院勤務経験 中野聡太：理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	リハビリテーション看護とは:定義、領域、歴史、対象、概念(山本)		
2	障害者をめぐる法律、倫理、チームアプローチ(山本)		
3	地域リハビリテーション(北原)		
4	生活の再構築とは:「私を知る」から始める(山本)		
5	アセスメントの視点と看護介入:サルコペニア:定義、日常生活の注意など(山本)		
6	アセスメントの視点と看護介入:活動-運動、睡眠-休息(山本)		
7	アセスメントの視点と看護介入:摂食・嚥下、自助具の工夫(山本)		
8	アセスメントの視点と看護介入:排泄(山本)		
9	アセスメントの視点と看護介入:高次機能 *社会の態度、性を含む(山本)		
10	アセスメントの視点と看護介入:呼吸・循環(北原)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	疾患・障害別のリハビリテーション 言語障害：原因と症状、コミュニケーションの工夫（山本）		
12	リハビリテーション：理学療法士の立場から（中野）		
13	疾患・障害別のリハビリテーション 視聴覚障害、聴覚障害者（山本）		
14	疾患・障害別のリハビリテーション 脳血管障害：最新治療とリハビリテーション看護（特別講義）		
15	疾患・障害別のリハビリテーション 神経疾患：パーキンソン病（山本）		

基本情報

科目名	看護専門演習
時間割コード	0124303201
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	島村 美香
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
生野 繁子、山本 恵子、川本 起久子、福本 久美子、中川 武子、福島 和代、松岡 聖美、杉野 由起子、牛之濱 久代、島村 美香、緒方 浩志、上田 智之、大橋 知子、齋藤 圭子、田中 康子、二宮 球美、未定、北原 崇靖、赤峰 隆元、巖 桂子

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 既習の知識と技術を総合的に確認し、実習開始に向けた心構えと意識づけができる。 2. 本大学が学外実習を依頼している施設を見学し、実習開始に向けた情報収集ができる。 3. 各実習の開始までに必要な事前学習と課題を確認し、各実習開始までの学習計画立案ができる。
履修上の注意事項	1. 予習(30分)として、関連する既習得科目の内容を確認し講義に臨むこと。 2. 講義や施設見学終了後は復習(30分)や振り返りを行い、知識を確実なものとする。こと。 3. 施設見学時は臨地実習に準ずる服装と身だしなみが求められる。期日までに準備しておくこと。
評価方法	1. 課題レポート(50%)、実習に向けての抱負(50%)で評価する。 2. 評価の視点、課題レポートのテーマ・提出期限等は、別途資料を用いて説明する。 3. 課題レポートのフィードバックとして必要時レポート内容についての面談を行う。
テキスト	看護専門演習 として新たなテキストは指定しない。
参考文献	・日本看護協会：看護師の基本的責務 - 定義・概念 / 基本法 / 倫理 . 2019年版 ・各看護学領域の実習に必要な教科書・プリント、文献等
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	看護師として病院勤務経験(生野・福島・二宮・川本・上田・杉野・松岡・巖・緒方・北原・齋藤・島村・田中) 看護師・保健師として病院勤務経験(山本) 保健師として保健所勤務経験・看護師として病院勤務経験(福本) 保健師として保健センター勤務経験・看護師として病院勤務経験(中川) 助産師・看護師として病院勤務経験(牛之濱・大橋)

授業計画

授業計画	
日程と講義内容・施設見学については、初回講義で説明する。	
【4月】	
オリエンテーション	1コマ(看護専門演習 の全体像・課題・評価・その他)
【5月-6月】	
老年看護学	講義・演習 2コマ
老年看護学	施設見学 2コマ
母性看護学	講義・演習 4コマ
成人看護学	講義・演習 4コマ
成人看護学	病院見学 1コマ
精神看護学	講義・演習 2コマ
精神看護学	病院見学 1コマ
小児看護学	講義・演習 4コマ
小児看護学	施設見学 1コマ
在宅看護学	講義・演習 4コマ
地域看護学	講義・演習 施設見学・4コマ

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	看護専門演習
時間割コード	0124303301
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	未定
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	二宮 球美
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名	
二宮球美、生野繁子、山本恵子、上田智之、松岡聖美、緒方浩志、北原崇靖、田中康子、巖佳子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	地域包括ケアシステムを担う一員として、地域で療養する人やその家族に対し、既習の講義および実習等で培った知識・技術・態度を統合して、質の高い自立支援を考えることができる。また、グループワークを通して自律した学習能力を身に付け、卒業後に専門職として多職種との連携・協働する際の基礎的なコミュニケーション能力を身に付けることができる。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討に際しては、事前に学習してグループワークに臨むこと(個人事前学習各1時間程度) ・時間割を確認し、日程や時限に注意すること。日程に関して変更する際は、早目に別途連絡する。 ・グループワーク後や個人ワークに関して、事後学習を要する(各担当者で1~2時間)。 <p>令和3年度開講の可能性あり</p>
評価方法	配点割合は、事例1で30%、事例2で20%、事例3で20%、事例4で20%、全体の学びで10%とする。 事例評価の視点は、事例からの学びが50%、発表およびグループワークが50%とする 評価のフィードバックは、オムニバス単位で、成果発表後に行う
テキスト	・適宜提示
参考文献	・適宜提示
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	二宮球美 看護師として病院勤務経験を有する、生野繁子 看護師として病院勤務経験を有する、山本恵子 看護師として病院勤務経験を有する、上田智之 看護師として病院勤務経験を有する、松岡聖美 看護師として病院勤務経験を有する、緒方浩志 看護師として病院勤務経験を有する、北原崇靖 看護師として病院勤務経験を有する、田中康子 看護師として病院勤務経験を有する、巖佳子 看護師として病院勤務経験を有

授業計画

授業計画	
<p>地域包括ケアシステムを担う一員として、地域で療養する人やその家族に対し、既習の講義および実習等で培った知識・技術・態度を統合して、質の高い自立支援を考えることができる。また、グループワークを通して自律した学習能力を身に付け、卒業後に専門職として多職種との連携・協働する際の基礎的なコミュニケーション能力を身に付けることができる。ことを目的としてこの授業計画を立案している。</p> <p>オムニバスにより、それぞれの視点より自立支援に必要な介入を事例を通して導き出す。 事前課題の個別が達成していないと、GWが進行しないため、積極的に行うこと。</p> <p>*10人未満の履修の場合閉講することがある</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、看護を取り巻く社会状況(二宮)		
2	3~10回のオリエンテーション、小児事例の1-1ステップ提示、成長発達などの項目ごと(二宮、松岡)		

授業計画

地域包括ケアシステムを担う一員として、地域で療養する人やその家族に対し、既習の講義および実習等で培った知識・技術・態度を統合して、質の高い自立支援を考えることができる。また、グループワークを通して自律した学習能力を身に付け、卒業後に専門職として多職種との連携・協働する際の基礎的なコミュニケーション能力を身に付けることができる。ことを目的としてこの授業計画を立案している。

オムニバスにより、それぞれの視点より自立支援に必要な介入を事例を通して導き出す。

事前課題の個別が達成していないと、GWが進行しないため、積極的に行うこと。

*10人未満の履修の場合閉講することがある

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	成長発達に関連する法規社会資源、個人ワークのまとめ、グループワーク（二宮、松岡）	事例についての個人ワークを事前に行ってくる（約1時間程度）	
4	病態と成長発達との統合などし、グループワーク（二宮、松岡）	事例についての個人ワークを事前に行ってくる（約1時間程度）	
5	人及び家族のQOLの視点からさらに個人ワーク終了後、グループワーク（二宮、松岡）	事例についての個人ワークを事前に行ってくる（約1時間程度）	
6	事例1-3のグループワーク、プレゼンテーション（2~3グループ）（二宮、松岡）	GW後事後学習（約1時間程度）	GW成果物提出
7	事例1-3のまとめ（二宮、松岡）	事後学習（約1時間程度）	個人W成果物提出
8	小児の在宅移行に関するNICUの看護、専門看護師の役割など講義（二宮、松岡）	事前資料配布熟読すること（約1時間程度）	
9	在宅後の教育、福祉などの資源の活用と協働について個人ワーク、グループワーク、まとめ（二宮、松岡）		
10	地域包括ケアシステムの中での成育看護の視点のまとめ（二宮、松岡）	事後学習（約1時間程度）	
11	認知症高齢者が在宅療養生活を維持するための支援（生野、山本、北原）		
12	事例2検討：グループワーク（生野、山本、北原）	事例についての個人ワークを事前に行ってくる（約1時間程度）	
13	事例2検討：グループワーク（生野、山本、北原）	事例についての個人ワークを事前に行ってくる（約1時間程度）	
14	事例2検討：グループワーク（生野、山本、北原）	事例についての個人ワークを事前に行ってくる、発表準備（約1時間程度）	
15	事例発表及び検討会（生野、山本、北原）		GW成果物提出
16	事例発表及び検討会（生野、山本、北原）		
17	事例検討からの学び（生野、山本、北原）	事後学習（約2時間程度）	
18	地域で生活するうつ病患者の復職支援について（上田、緒方）		GW成果物提出
19	事例3検討（上田、緒方）	事例についての個人ワークを事前に行ってくる（約1時間程度）	
20	事例3検討 GW（上田、緒方）	事例についての個人ワークを事前に行ってくる（約1時間程度）	
21	事例3検討 GW外来看護・訪問看護における支援について（上田、緒方）	事例についての個人ワークを事前に行ってくる（約1時間程度）	
22	事例3の検討：事例発表・演習・解説（上田、緒方）		
23	事例3の検討：事例発表・演習・解説（上田、緒方）	事後学習（約1時間程度）	
24	事例3の検討：事例発表・演習・解説（上田、緒方）	事後学習（約1時間程度）	
25	住み慣れた地域で本人と家族がその人らしく生活するための支援（田中、巖）		
26	事例4進め方、GW（田中、巖）	事例についての個人ワークを事前に行ってくる（約1時間程度）	

授業計画

地域包括ケアシステムを担う一員として、地域で療養する人やその家族に対し、既習の講義および実習等で培った知識・技術・態度を統合して、質の高い自立支援を考えることができる。また、グループワークを通して自律した学習能力を身に付け、卒業後に専門職として多職種との連携・協働する際の基礎的なコミュニケーション能力を身に付けることができる。ことを目的としてこの授業計画を立案している。

オムニバスにより、それぞれの視点より自立支援に必要な介入を事例を通して導き出す。

事前課題の個別が達成していないと、GWが進行しないため、積極的に行うこと。

* 10人未満の履修の場合閉講することがある

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
27	事例4GW（田中、巖）	事例についての個人ワークを事前に行ってくること（約1時間程度）	
28	在宅療養支援における医療と介護の連携強化について（田中、巖）	事後学習（約1時間程度）	
29	地域包括ケアシステムにおいて看護職に求められるつなぐ力について考える GW（二宮）		
30	地域包括ケアシステムにおいて看護職に求められるつなぐ力について考える GW 、まとめ（二宮）	事後学習（約1時間程度）	

基本情報

科目名	看護専門演習
時間割コード	0124303401
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3, 火 4, 火 5, 金 1, 金 2, 金 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	川本 起久子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名	
川本 起久子、松岡 聖美、古堅 裕章、島村 美香、齊藤 圭子、上妻 尚子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	この演習のねらいは、健康障害を持つ対象を理解して、状態に応じた看護ができるための基礎能力を養うことである。基礎科目、専門基礎科目で学んだことを看護する立場からとらえなおし、知識を統合させながら対象を理解でき、対象に必要な看護を考えることができる。
履修上の注意事項	複雑な事例であるが、既習の教科書や参考書等を活用し、自主的に学習を進めていくこと。各事例の疾患・看護に関して事前学習で演習に臨み(60分)、演習終了後はグループワークで学習した内容を復習すること(60分)。事例に関連した過去の国家試験問題を解き、理解を深めること。
評価方法	筆記試験(定期試験)100%とする。
テキスト	基礎科目、専門基礎科目等の既習の教科書すべてがテキストである。各症例を学習するために必要なテキストを各自持参すること。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	川本起久子：看護師として病院勤務経験 上妻 尚子：看護師として病院勤務経験 島村 美香：看護師として病院勤務経験 松岡 聖美：看護師として病院勤務経験 齊藤 圭子：看護師として病院勤務経験 古堅 裕章：看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
<p>複雑な健康障害を持つ人の紙上の3事例を通して、アセスメント・看護問題の抽出・看護計画を立案する。</p> <p>第 1回～第10回 事例1：慢性閉塞性呼吸器疾患患者が、CO₂ナルコーシスを起こし重度の呼吸不全状態に陥り、人工呼吸器管理下となった事例</p> <p>第11回～第20回 事例2：HT、DMでニューロパティ、網膜症、腎症にまで至り、無症候性虚血性心疾患と慢性心不全状態になった事例</p> <p>第21回～第30回 事例3：5歳男児で急性リンパ性白血病を発症した小児の事例</p> <p>以上の各事例(1事例10コマ)について、原則、事例提示し、グループワークにて看護過程を展開し、看護問題および看護計画をグループごとに発表する。詳細な日程は、初回のオリエンテーション時に説明する。複雑な事例であるが、既習の教科書や参考書等を活用し、自主的に学習を進めていくこと。各事例の疾患・看護に関して事前学習で演習に臨み(60分)、演習終了後はグループワークで学習した内容を復習すること(60分)。事例に関連した過去の国家試験問題を解き、理解を深めること。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(川本) 事例1：慢性閉塞性呼吸器疾患患者の事例提示、事例の理解(上妻・齊藤)	事前学習として呼吸器系の解剖生理、慢性閉塞性呼吸器疾患、呼吸不全の病態の理解(60分)、事後学習として演習中に学習した内容を復習する(60分)	
2	事例1：事例の理解(上妻・齊藤)	事前学習(60分)で事例のアセスメントを進めて演習に臨む。事後学習(60分)で、演習で学習した内容を復習し、アセスメントを進める。	

授業計画

複雑な健康障害を持つ人の紙上の3事例を通して、アセスメント・看護問題の抽出・看護計画を立案する。

第 1回～第10回 事例1：慢性閉塞性呼吸器疾患患者が、CO₂ナルコーシスを起こし重度の呼吸不全状態に陥り、人工呼吸器管理下となった事例

第11回～第20回 事例2：HT、DMでニューロパティ、網膜症、腎症にまで至り、無症候性虚血性心疾患と慢性心不全状態になった事例

第21回～第30回 事例3：5歳男児で急性リンパ性白血病を発症した小児の事例

以上の各事例（1事例10コマ）について、原則、事例提示し、グループワークにて看護過程を展開し、看護問題および看護計画をグループごとに発表する。詳細な日程は、初回のオリエンテーション時に説明する。複雑な事例であるが、既習の教科書や参考書等を活用し、自主的に学習を進めていくこと。各事例の疾患・看護に関して事前学習で演習に臨み（60分）、演習終了後はグループワークで学習した内容を復習すること（60分）。事例に関連した過去の国家試験問題を解き、理解を深めること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	事例1：事例の理解（上妻・齊藤）	事前学習（60分）で事例のアセスメントを進めて演習に臨む。事後学習（60分）で、演習で学習した内容を復習し、アセスメントを見直す。	
4	事例1：看護問題の抽出（上妻・齊藤）	事前学習（60分）で事例のアセスメントの内容を検討して演習に臨む。事後学習（60分）で、演習で学習した内容を復習し、看護問題抽出を進める。	
5	事例1：看護問題の抽出（上妻・齊藤）	事前学習（60分）で事例の看護問題を抽出して演習に臨む。事後学習（60分）で、演習で学習した内容を復習し、問題を再検討する。	
6	事例1：看護問題の発表（上妻・齊藤）	事前学習（60分）で事例の看護問題を発表できるように準備する。事後学習（60分）で、発表で学習した内容を復習し、問題抽出を修正する。	
7	事例1：看護計画立案（上妻・齊藤）	事前学習（60分）で事例の看護計画立案の準備を行う。事後学習（60分）で、演習で学習した内容を復習し、看護計画立案を進める。	
8	事例1：看護計画立案（上妻・齊藤）	事前学習（60分）で事例の看護計画立案を進める。事後学習（60分）で、演習で学習した内容を復習し、看護計画を完成させる。	
9	事例1：看護計画発表（上妻・齊藤）	事前学習（60分）で事例の看護計画発表の準備を行う。事後学習（60分）で、発表で学習した看護計画を復習し、看護計画を修正する。	
10	事例1：まとめ（上妻・齊藤）	事前学習（60分）で事例1の看護過程を見直し、看護過程提出の準備を行う。事後学習（60分）で、事例に関連した過去の国家試験問題を見直し、理解を深める。	
11	事例2：無症候性虚血性心疾患と慢性心不全状態になった患者の事例提示、事例の理解（島村・古堅）	事前学習として循環器系の解剖生理、高血圧・糖尿病・虚血性心疾患・慢性心不全の病態の理解（60分）、事後学習として演習中で学習した内容を復習する（60分）	
12	事例2：事例の理解（島村・古堅）	事前学習（60分）で事例のアセスメントを進めて演習に臨む。事後学習（60分）で、演習で学習した内容を復習し、アセスメントを進める。	
13	事例2：事例の理解（島村・古堅）	事前学習（60分）で事例のアセスメントを進めて演習に臨む。事後学習（60分）で、演習で学習した内容を復習し、アセスメントを見直す。	
14	事例2：看護問題の抽出（島村・古堅）	事前学習（60分）で事例のアセスメントの内容を検討して演習に臨む。事後学習（60分）で、演習で学習した内容を復習し、看護問題抽出を進める。	

授業計画

複雑な健康障害を持つ人の紙上の3事例を通して、アセスメント・看護問題の抽出・看護計画を立案する。

第1回～第10回 事例1：慢性閉塞性呼吸器疾患患者が、CO₂ナルコーシスを起こし重度の呼吸不全状態に陥り、人工呼吸器管理下となった事例

第11回～第20回 事例2：HT、DMでニューロパティ、網膜症、腎症にまで至り、無症候性虚血性心疾患と慢性心不全状態になった事例

第21回～第30回 事例3：5歳男児で急性リンパ性白血病を発症した小児の事例

以上の各事例（1事例10コマ）について、原則、事例提示し、グループワークにて看護過程を展開し、看護問題および看護計画をグループごとに発表する。詳細な日程は、初回のオリエンテーション時に説明する。複雑な事例であるが、既習の教科書や参考書等を活用し、自主的に学習を進めていくこと。各事例の疾患・看護に関して事前学習で演習に臨み（60分）、演習終了後はグループワークで学習した内容を復習すること（60分）。事例に関連した過去の国家試験問題を解き、理解を深めること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	事例2：看護問題の抽出（島村・古堅）	事前学習（60分）で事例の看護問題を抽出して演習に臨む。事後学習（60分）で、演習で学習した内容を復習し、問題を再検討する。	
16	事例2：看護問題の発表（島村・古堅）	事前学習（60分）で事例の看護問題発表の準備を行う。事後学習（60分）で、発表し学習した看護問題を復習し、看護問題を修正する。	
17	事例2：看護計画立案（島村・古堅）	事前学習（60分）で事例の看護計画立案の準備を行う。事後学習（60分）で、演習で学習した内容を復習し、看護計画立案を進める。	
18	事例2：看護計画立案（島村・古堅）	事前学習（60分）で事例の看護計画立案を進める。事後学習（60分）で、演習で学習した内容を復習し、看護計画を完成させる。	
19	事例2：看護計画発表（島村・古堅）	事前学習（60分）で事例の看護計画発表の準備を行う。事後学習（60分）で、発表で学習した看護計画を復習し、看護計画を修正する。	
20	事例2：まとめ（島村・古堅）	事前学習（60分）で事例2の看護過程を見直し、看護過程提出の準備を行う。事後学習（60分）で、事例に関した過去の国家試験問題を見直し、理解を深める。	
21	事例3：5歳男児で急性リンパ性白血病を発症した小児の事例提示、事例の理解（川本・松岡）	事前学習として5歳男児の発達段階、血液・造血器系の解剖生理、白血病の病態の理解（60分）、事後学習として演習中に学習した内容を復習する（60分）	
22	事例3：事例の理解（川本・松岡）	事前学習（60分）で事例のアセスメントを進めて演習に臨む。事後学習（60分）で、演習で学習した内容を復習し、アセスメントを進める。	
23	事例3：事例の理解（川本・松岡）	事前学習（60分）で事例のアセスメントを進めて演習に臨む。事後学習（60分）で、演習で学習した内容を復習し、アセスメントを見直す。	
24	事例3：看護問題の抽出（川本・松岡）	事前学習（60分）で事例のアセスメントの内容を検討して演習に臨む。事後学習（60分）で、演習で学習した内容を復習し、看護問題抽出を進める。	
25	事例3：看護問題の抽出（川本・松岡）	事前学習（60分）で事例の看護問題を抽出して演習に臨む。事後学習（60分）で、演習で学習した内容を復習し、問題を再検討する。	
26	事例3：看護問題の発表（川本・松岡）	事前学習（60分）で事例の看護問題発表の準備を行う。事後学習（60分）で、発表で学習した看護問題を復習し、看護問題を修正する。	

授業計画

複雑な健康障害を持つ人の紙上の3事例を通して、アセスメント・看護問題の抽出・看護計画を立案する。

第 1回～第10回 事例1：慢性閉塞性呼吸器疾患患者が、CO₂ナルコーシスを起こし重度の呼吸不全状態に陥り、人工呼吸器管理下となった事例

第11回～第20回 事例2：HT.DMでニューロパティ、網膜症、腎症にまで至り、無症候性虚血性心疾患と慢性心不全状態になった事例

第21回～第30回 事例3：5歳男児で急性リンパ性白血病を発症した小児の事例

以上の各事例（1事例10コマ）について、原則、事例提示し、グループワークにて看護過程を展開し、看護問題および看護計画をグループごとに発表する。詳細な日程は、初回のオリエンテーション時に説明する。複雑な事例であるが、既習の教科書や参考書等を活用し、自主的に学習を進めていくこと。各事例の疾患・看護に関して事前学習で演習に臨み（60分）、演習終了後はグループワークで学習した内容を復習すること（60分）。事例に関連した過去の国家試験問題を解き、理解を深めること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
27	事例3：看護計画立案（川本・松岡）	事前学習（60分）で事例の看護計画立案の準備を行う。事後学習（60分）で、演習で学習した内容を復習し、看護計画立案を進める。	
28	事例3：看護計画立案（川本・松岡）	事前学習（60分）で事例の看護計画立案を進める。事後学習（60分）で、演習で学習した内容を復習し、看護計画を完成させる。	
29	事例3：看護計画発表（川本・松岡）	事前学習（60分）で事例の看護計画発表の準備を行う。事後学習（60分）で、発表し学習した看護計画を復習し、看護計画を修正する。	
30	事例3：まとめ（川本・松岡）	事前学習（60分）で事例3の看護過程を見直し、看護過程提出の準備を行う。事後学習（60分）で、事例に関した過去の国家試験問題を見直し、理解を深める。	

基本情報

科目名	関係法規
時間割コード	1000450101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 医療行為を中核とする現行医事法制の中で、コメディカルの法的位置づけを理解する。 2. 医療専門職である看護師に課せられた社会的責務と業務上の責任を理解する。 3. 各種医療専門職との協力、福祉従事者との連携のために必要とされる法を理解する。 4. 今日の医療制度の仕組みとその問題点を理解する。
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義内容について教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	野崎和義著『コ・メディカルのための医事法学概論(第2版)』2020年、ミネルヴァ書房。 野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
事前・事後学修について 事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと(2時間) 事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題(随時)について調べ、作成・提出する(2時間)。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	市民の法と専門職の法 市民法の基礎、看護師の法的位置づけ		
2	医療職と法 守秘義務と個人情報の保護、三層の法構造		
3	医業の独占 医療行為、「業」による規制、医療行為の拡散		
4	治療行為と同意(1) 医療行為と治療行為、同意能力、乳幼児と医療ネグレクト		
5	治療行為と同意(2) 家族による同意、成年後見制度と治療同意権		
6	診療の補助と医師の指示 具体的指示と包括的指示、メディカルコントロール		
7	看護師と刑事責任(1) 終末期医療と家族		
8	看護師と刑事責任(2) チーム医療と信頼の原則、実習生による事故とその対応		
9	チーム医療と民事責任(1) 民事責任の構造、医療従事者の注意義務		
10	チーム医療と民事責任(2) 看護師の過失		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	身体拘束と看護事故 裁判例の分析、 看護と介護		
12	医療過誤と訴訟 訴訟の目的とその限 界、医療ADRの取り組み		
13	看護師と労働法 労働契約の特殊性、 院内暴力・セクハラ		
14	医療制度と法 医療制度改革、医療法 の改正		
15	コメディカルの業務と責任 医療者の 義務、医事法の構造と射程		

基本情報

科目名	在宅看護学
時間割コード	0124305001
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 他
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	2
主担当教員	田中 康子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
開田 ひとみ、田中 康子、未定、巖 桂子

詳細情報

<p>授業の目的・到達目標</p>	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅看護の対象となる人の身体的・精神的・心理的・社会的特徴を理解する。 2. 少子化・超高齢社会のわが国における在宅医療の特徴と課題を理解する。 3. 健康障害をもつ在宅療養者のQOLを支援するための地域における看護職の役割について理解する。 4. 在宅で療養生活する対象の成長発達過程や健康について理解する。 5. 地域で生活するすべての世代のあらゆる健康状態の人々を取り巻く現代社会の諸問題について理解する。 6. 在宅看護を理解するために在宅看護の提供の場や時期、概要を理解する。 7. 疾病や障害をもちながら在宅で生活する療養者とその家族(介護者)を身体的・精神的・心理的・社会的に理解する。 8. 疾病や障害、加齢に伴う変化をもつ療養者とその家族(介護者)の日常生活支援の方法について理解する。 9. 疾病や障害、加齢に伴う変化をもつ療養者およびその家族(介護者)と関わる人々の倫理的課題を理解する。 10. 在宅療養者の特性と看護過程の展開(生活支援)を理解する。 <p>【個別到達目標 (SBO)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅療養者の身体的・精神的・心理的・社会的特徴を知り、個別性を理解するための視点を説明できる。 2. 在宅療養者の地域支援システムと地域における看護職の役割を説明できる。 3. 在宅療養者の在宅医療における多職種連携について説明できる。 4. 在宅療養者の意思をもつ人という視点から心理面の援助の視点を説明できる。 5. 在宅で療養する要介護者や家族(介護者)の現状や課題とその支援について説明できる。 6. 在宅療養者の保健医療福祉・法令・制度について説明できる。 7. 在宅療養者の尊厳や倫理的課題について説明できる。 8. 在宅療養者の終末期ケアの特徴と看護の方法について説明できる。 9. 在宅療養者の健康障害と生活機能の特徴とケアの必要性について説明できる。 10. 在宅療養者の健康障害、病期、生活機能の状況に応じた援助の方法を説明できる。 11. 在宅療養者の生活機能を理解し自律(立)支援に応じた社会資源を説明できる。 12. 疾病や障害、加齢に伴う変化による特徴および生活に視点をむけてアセスメントができる。 13. 生活機能のアセスメントに基づき療養者とその家族(介護者)のニーズを抽出し生活支援の方向性を検討することができる。
-------------------	--

詳細情報

履修上の注意事項	<p>1)原則、座席指定ではない。授業の状況（授業態度：私語がみられる他）にて、座席指定に変更する可能性がある。</p> <p>2)授業方法として、グループワーク等で実施する可能性がある。その際には、講義中に口頭での説明やCAMPUS SQUARE 掲示で連絡を行う。</p> <p>3)出席について、毎回の講義において「携帯電話等での登録」かつ「講義に関する感想カードの提出」の実施で出席とする。</p> <p>(1) 携帯電話等での登録：各回の講義で担当教員が口頭で伝える数字等のキーワードの登録</p> <p>(2) 講義に関する感想カード：カード（紙媒体）もしくはCAMPUS SQUARE を利用したいずれかの方法で行う。</p> <p>4) 事前事後学習</p> <p>(1) 事前学習 講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。</p> <p>(2) 事後学習 毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したりノートを整理したり、理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。</p> <p>(3) 看護過程の回について、以下を参照する。</p> <p>事前学習：提示された事例について、わからないまたは明確に理解できていない言葉や意味等の事項を調べて講義に臨む（2時間）。</p> <p>事後学習：受講した内容や助言を受けた部分について、追加・修正し理解を深めて説明できるように復習を行う（2時間）。</p> <p>【その他】</p> <p>1) フィードバック：講義の感想カードの内容について、次回の講義において担当教員から口頭にて返答を行う。</p> <p>2) 小テスト：30回の講義うちのいずれかの回で実施する予定である。担当教員から口頭もしくはCAMPUS SQUARE で事前に連絡を行う。</p>
評価方法	<p>【本科目における評価】</p> <p>単位修得試験と小テストと提出物を合計(100%：100点)した60%以上である。学生便覧の成績評価におけるA、B、Cのいずれかの評価で合格の判定とする。</p> <p>【評価の内訳について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位修得試験：70% ・小テスト：20% ・講義やCampusSQUARE掲示、他にて提示した提出物：10% <p>【再試験について】</p> <p>実施しない可能性がある。実施しない場合は、CampusSQUAREの単位修得試験関連で連絡をおこなう。</p>
テキスト	河原 加代子ほか：系統看護学講座 統合分野 在宅看護論，医学書院。
参考文献	適宜提示する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>田中 康子：看護師として病院勤務経験</p> <p>巖 桂子：看護師として病院勤務経験</p> <p>開田 ひとみ：看護師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画	
<p>【授業概要】</p> <p>疾病や障害、加齢に伴う変化が地域のなかで生活する療養者の生命や生活にどのような課題をもつか、その特徴を理解し在宅看護の目的を学ぶ。在宅療養者の生活の豊かさや自己実現、在宅療養者の自己決定、在宅療養者の自律（自立）支援について説明する。また、地域のなかで生活する人々やわが国における在宅療養者の家族の現状、在宅における介護の現状、在宅看護にかかわる法令・制度等の社会資源や在宅療養者の生活の支援にかかわる医療や介護の政策から、在宅看護の特性および役割について理解する。在宅療養者とその家族を理解し、在宅療養者の病期や状況に応じた目標志向型における生活機能のアセスメントや在宅療養者の生活全体を豊かにする支援について、看護活動の基本的な知識や援助方法を学習する。</p>	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
-----	--------	---------	----

授業計画

【授業概要】

疾病や障害、加齢に伴う変化が地域のなかで生活する療養者の生命や生活にどのような課題をもつか、その特徴を理解し在宅看護の目的を学ぶ。在宅療養者の生活の豊かさと自己実現、在宅療養者の自己決定、在宅療養者の自律（自立）支援について説明する。また、地域のなかで生活する人々やわが国における在宅療養者の家族の現状、在宅における介護の現状、在宅看護にかかわる法令・制度等の社会資源や在宅療養者の生活の支援にかかわる医療や介護の政策から、在宅看護の特性および役割について理解する。在宅療養者とその家族を理解し、在宅療養者の病期や状況に応じた目標志向型における生活機能のアセスメントや在宅療養者の生活全体を豊かにする支援について、看護活動の基本的な知識や援助方法を学習する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス、講義の予定・展開等、在宅看護の対象者のイメージ、超高齢社会の特徴（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
2	在宅看護における看護師の役割、地域包括ケアシステム（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
3	地域包括ケアシステムにおける多職種連携（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
4	在宅看護の対象者の特徴（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
5	在宅看護における家族の支援（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
6	在宅看護における権利保障（開田 ひとみ）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	

授業計画

【授業概要】

疾病や障害、加齢に伴う変化が地域のなかで生活する療養者の生命や生活にどのような課題をもつか、その特徴を理解し在宅看護の目的を学ぶ。在宅療養者の生活の豊かさと自己実現、在宅療養者の自己決定、在宅療養者の自律（自立）支援について説明する。また、地域のなかで生活する人々やわが国における在宅療養者の家族の現状、在宅における介護の現状、在宅看護にかかわる法令・制度等の社会資源や在宅療養者の生活の支援にかかわる医療や介護の政策から、在宅看護の特性および役割について理解する。在宅療養者とその家族を理解し、在宅療養者の病期や状況に応じた目標志向型における生活機能のアセスメントや在宅療養者の生活全体を豊かにする支援について、看護活動の基本的な知識や援助方法を学習する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	在宅看護におけるリスクマネジメントと災害の備え（開田 ひとみ）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
8	在宅看護にかかわる法令・制度、社会資源（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
9	介護保険制度（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
10	訪問看護制度（巖 桂子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
11	在宅看護の展開の特徴〔在宅看護の基本となるもの・倫理的課題・権利擁護〕（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
12	在宅看護技術〔栄養：栄養について〕（巖 桂子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	

授業計画

【授業概要】

疾病や障害、加齢に伴う変化が地域のなかで生活する療養者の生命や生活にどのような課題をもつか、その特徴を理解し在宅看護の目的を学ぶ。在宅療養者の生活の豊かさと自己実現、在宅療養者の自己決定、在宅療養者の自律（自立）支援について説明する。また、地域のなかで生活する人々やわが国における在宅療養者の家族の現状、在宅における介護の現状、在宅看護にかかわる法令・制度等の社会資源や在宅療養者の生活の支援にかかわる医療や介護の政策から、在宅看護の特性および役割について理解する。在宅療養者とその家族を理解し、在宅療養者の病期や状況に応じた目標志向型における生活機能のアセスメントや在宅療養者の生活全体を豊かにする支援について、看護活動の基本的な知識や援助方法を学習する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	在宅看護技術〔栄養：経管栄養、他〕 （ 巖 桂子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
14	在宅看護技術〔褥瘡・排泄〕（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
15	在宅看護技術〔移動・移乗、清潔〕 （田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
16	在宅看護技術〔在宅酸素療法 在宅人工呼吸療法〕（ 巖 桂子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
17	呼吸器疾患の療養者への在宅看護（ 巖 桂子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
18	認知症の療養者への在宅看護（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	

授業計画

【授業概要】

疾病や障害、加齢に伴う変化が地域のなかで生活する療養者の生命や生活にどのような課題をもつか、その特徴を理解し在宅看護の目的を学ぶ。在宅療養者の生活の豊かさと自己実現、在宅療養者の自己決定、在宅療養者の自律（自立）支援について説明する。また、地域のなかで生活する人々やわが国における在宅療養者の家族の現状、在宅における介護の現状、在宅看護にかかわる法令・制度等の社会資源や在宅療養者の生活の支援にかかわる医療や介護の政策から、在宅看護の特性および役割について理解する。在宅療養者とその家族を理解し、在宅療養者の病期や状況に応じた目標志向型における生活機能のアセスメントや在宅療養者の生活全体を豊かにする支援について、看護活動の基本的な知識や援助方法を学習する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
19	小児の療養者（医療的ケア児と親）への在宅看護（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
20	難病の療養者への在宅看護（嚴 桂子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
21	精神疾患の療養者への在宅看護（嚴 桂子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
22	終末期の療養者への在宅看護〔終末期について〕（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
23	終末期の療養者への在宅看護〔終末期ケアの事例等〕（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
24	在宅看護過程（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	提示された事例について、講義の時間以外においても、自宅などで自己の課題として看護過程をすすめて行う。

授業計画

【授業概要】

疾病や障害、加齢に伴う変化が地域のなかで生活する療養者の生命や生活にどのような課題をもつか、その特徴を理解し在宅看護の目的を学ぶ。在宅療養者の生活の豊かさと自己実現、在宅療養者の自己決定、在宅療養者の自律（自立）支援について説明する。また、地域のなかで生活する人々やわが国における在宅療養者の家族の現状、在宅における介護の現状、在宅看護にかかわる法令・制度等の社会資源や在宅療養者の生活の支援にかかわる医療や介護の政策から、在宅看護の特性および役割について理解する。在宅療養者とその家族を理解し、在宅療養者の病期や状況に応じた目標志向型における生活機能のアセスメントや在宅療養者の生活全体を豊かにする支援について、看護活動の基本的な知識や援助方法を学習する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
25	看護過程：事例の理解・情報の分類・アセスメント（田中 康子・巖 桂子）	・事前学習：提示された事例について、わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：受講した内容や助言を受けた部分について、追加・修正し理解を深めて説明できるように復習を行う（2時間）。	提示された事例について、講義の時間以外においても、自宅などで自己の課題として看護過程をすすめて行う。
26	看護過程：事例の理解・情報の分類・アセスメント（田中 康子・巖 桂子）	・事前学習：提示された事例について、わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：受講した内容や助言を受けた部分について、追加・修正し理解を深めて説明できるように復習を行う（2時間）。	提示された事例について、講義の時間以外においても、自宅などで自己の課題として看護過程をすすめて行う。
27	看護過程：アセスメント・生活支援の方向性（計画）立案（田中 康子・巖 桂子）	・事前学習：提示された事例について、わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：受講した内容や助言を受けた部分について、追加・修正し理解を深めて説明できるように復習を行う（2時間）。	提示された事例について、講義の時間以外においても、自宅などで自己の課題として看護過程をすすめて行う。
28	看護過程：アセスメント・生活支援の方向性（計画）立案（田中 康子・巖 桂子）	・事前学習：提示された事例について、わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：受講した内容や助言を受けた部分について、追加・修正し理解を深めて説明できるように復習を行う（2時間）。	提示された事例について、講義の時間以外においても、自宅などで自己の課題として看護過程をすすめて行う。
29	看護過程：アセスメント・生活支援の方向性（計画）立案（田中 康子・巖 桂子）	・事前学習：提示された事例について、わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：受講した内容や助言を受けた部分について、追加・修正し理解を深めて説明できるように復習を行う（2時間）。	提示された事例について、講義の時間以外においても、自宅などで自己の課題として看護過程をすすめて行う。
30	まとめ：演習事例の展開方法（田中 康子・巖 桂子）	・事前学習：提示された事例について、わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：受講した内容や助言を受けた部分について、追加・修正し理解を深めて説明できるように復習を行う（2時間）。	提示された事例について、講義の時間以外においても、自宅などで自己の課題として看護過程をすすめて行う。

基本情報

科目名	在宅看護学実習
時間割コード	0124305101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	田中 康子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
田中 康子、巖 桂子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>1. 在宅看護の介入時期別にある療養者を生活する人としてとらえ、療養者の尊厳を基盤とした援助について理解し、日常生活を支援するための看護に必要な基礎的知識、技術、態度を習得する。</p> <p>2. 看護の継続性をふまえ、社会資源の活用や他職種との連携を理解し、地域のなかで生活する療養者(家族・介護者)に対する必要なケアを判断する基礎的能力を養う。</p> <p>【個別到達目標 (SBO)】</p> <p>1. 地域における療養者の生活の場(居宅等)の特性について説明できる。</p> <p>1) 療養者の生活の場である住居の内・外における環境(人的・物的)および社会資源について述べるができる。</p> <p>2) 在宅療養支援における保健・医療・福祉・介護の専門職者(関連職種・機関等)との連携の必要性を述べるができる。</p> <p>3) 療養者の生活の場や看護活動に関連する法律(介護保険法、医療保険制度、障害者総合支援法など)について述べるができる。</p> <p>2. 生活の場における療養者(家族・介護者)とのかかわりをとおして、療養者(家族・介護者)の Quality of Life (QOL) を支援することの重要性について説明できる。</p> <p>1) 療養者(家族・介護者)の心理の背景について述べるができる。</p> <p>2) 療養者(家族・介護者)の思いや考えについて述べるができる。</p> <p>3) 療養者(家族・介護者)と受容・共感するコミュニケーションを図ることができる。</p>
------------	--

<p>履修上の注意事項</p>	<p>【個別到達目標（SB0）】の続き</p> <p>3．疾病や障害、加齢に伴う変化などをもちながら生活している療養者（家族・介護者）に対する必要な日常生活の援助技術を説明できる．</p> <p>1）療養者の日常生活における生活の機能（疾病や障害、加齢に伴う変化などの状態を含む）について述べるができる．</p> <p>2）看護師に同行し、療養者の健康障害や自立度に応じた援助活動（健康状態の観察、ケア）に参加することができる．</p> <p>3）療養者（家族・介護者）の自律（自立）と依存、適応、内面的な意欲、強みを考慮した援助活動について述べるができる．</p> <p>4）療養者の疾病および障害、加齢に伴う変化に対する基本的ケアについて述べるができる．</p> <p>4．療養者の尊厳を基盤とした援助について説明できる．</p> <p>療養者の自尊心や意思（自己）決定を尊重することについて述べるができる．</p> <p>5．地域包括ケアシステムにおける保健・医療・福祉・介護の専門職者（関連職種・機関等）との連携の学びから、今後の地域・在宅サービスや在宅看護の課題について説明できる．</p> <p>1）生活の場における安全管理・感染管理・災害時の対応など地域における看護師の役割を述べるができる．</p> <p>2）地域における他職種の各職種の専門性および他職種との連携の方法について述べるができる．</p> <p>3）地域で生活する人々を取り巻く家族や社会をふまえ、在宅看護の課題について述べるができる．</p> <p>6．看護職者としての基本的態度を身につけることができる．</p> <p>1）主体的に学習し、自己の課題を明確にすることができる．</p> <p>2）報告・連絡・相談、時間厳守（記録類に関してを含む）など自己の行動に責任をもつことができる．</p> <p>3）療養者および家族（介護者）のプライバシーを守ることができる．</p> <p>4）相手の立場を理解し、尊重した態度や礼節（挨拶・言葉遣い・身だしなみなど）をもって接することができる．</p> <p>5）自己の健康管理ができる．</p> <p>6）協調性（リーダーシップ、メンバーシップ）をとることができる．</p>
<p>評価方法</p>	<p>【履修上の注意事項】</p> <p>1．事前および事後学習</p> <p>1）事前学習： 実習要項および実習記録を事前に熟読する．講義で使用したテキストおよび配布資料、図書館の書籍、専門書等において在宅看護学および看護統合演習の振りかえりをおこない、実習の事前に確認する．わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて実習に臨む． 配置された実習施設の地域性（地域サービスも含む）、施設の特性等を事前に調べる．</p> <p>2）事後学習：実習終了後に、実習要項を読んで振りかえりを行う．自己の課題を明確にし、講義で使用したテキストおよび配布資料、図書館の書籍、専門書等にて学習した内容を確認し、実習の事後の学びを深める．</p> <p>【フィードバック】</p> <p>1．個別における指導や面談等を行う．</p> <p>2．実習記録等にコメントを記載する．</p> <p>【評価方法】</p> <p>1．令和3年度在宅看護学実習の実習要項に提示している評価表に基づき評価（100%：100点）を行う．</p> <p>2．1．の結果において、学生便覧の成績評価におけるA、B、Cのいずれかの評価で合格の判定とする．</p>
<p>テキスト</p>	<p>河原 加代子ほか：系統看護学講座 統合分野 在宅看護論，医学書院．</p> <p>【参考資料】 令和2年度在宅看護学の講義で配布した資料や提示した参考文献等．</p>
<p>参考文献</p>	<p>随時提示</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	<p>有</p>

詳細情報

<p>実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容</p>	<p>田中 康子：看護師として病院に勤務の経験有り 巖 桂子：保健師および看護師として病院に勤務の経験有り</p>
-------------------------------------	--

授業計画

<p style="text-align: center;">授業計画</p>
<p>【概要】 地域のなかで疾病や障害、加齢に伴う変化などをもちながら生活している療養者を身体的、精神・心理的、社会的側面からとらえ、在宅看護の介入時期別にある療養者（家族・介護者）の生活の支援に必要な援助、社会資源の活用や他職種との連携、療養者の尊厳を基盤とした援助について理解し、在宅看護に必要な基礎的知識、技術、態度を習得する。</p> <p>【展開】 訪問看護ステーションおよび医療施設内（訪問看護室等）における臨地および学内実習の2週間を設定する。</p> <p>【配置】 実習におけるグループごとに、各施設に約4名の学生を各週において2名ずつ配置し実習を実施する。</p> <p>【スケジュール：臨地および学内をあわせて2週間である】 1. 実習オリエンテーションについて、実習期間の1日目におこなう。 2. 実習期間内の祝祭日にて、下記の内容において変更の可能性がある。 3. 1週目学内と2週目臨地の内容について、1週目臨地と2週目に学内の内容を反転する。 4. 施設において、臨地の日程に変更の可能性がある。</p> <p>【フィードバック】 ・個別における指導や面談等を行う。 ・実習記録等にコメントを記載する。</p> <p>実習1週目 （学内）月曜日 1日目：実習オリエンテーション（実習施設の確認、訪問看護についての動画視聴、事前学習および課題の確認、援助技術の確認等） （臨地）火曜日 2日目 - 木曜日 4日目：実習施設において訪問看護師同行、カンファレンス等 （学内）金曜日 5日目：実習施設での学びの振り返りおよび学びの共有等</p> <p>実習2週目 （学内）月曜日 6日目 - 水曜日 8日目： ・看護師同行で訪問した療養者の生活の機能（疾病や障害、加齢に伴う変化などの状態を含む）をICFの生活分類で記載する。 ・看護師同行で訪問し参加した援助についての振り返りを行う。 ・多職種連携についての動画を視聴する。他職種の各職種の専門性を調べて、地域における連携の学びを深める。 （学内）木曜日 9日目：本実習における学生同士の学びの共有等。 （学内）金曜日 10日目：実習のまとめ、実習記録の提出。</p> <p>【事前および事後学習】 1)事前学習 (1)実習要項および実習記録を事前に熟読する。講義で使用したテキストおよび配布資料、図書館の書籍、専門書等において在宅看護学および看護統合演習の振り返りをおこない、実習の事前に確認する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて実習に臨む。 (2)配置された実習施設の地域性（地域サービスも含む）、施設の特性等を事前に調べる。 2)事後学習 実習終了後に、実習要項を読んで振り返りを行う。自己の課題を明確にし、講義で使用したテキストおよび配布資料、図書館の書籍、専門書等にて学習した内容を確認し、実習の事後の学びを深める。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
<p>該当するデータはありません</p>			

基本情報

科目名	公衆衛生看護学概論
時間割コード	1000460101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	福本 久美子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護学における地域看護と公衆衛生看護の位置づけを理解し、公衆衛生看護学の基本的理念と目的、その対象や活動方法の特性について、基本的な知識と考え方を学習し、公衆衛生看護学の全体像が理解できる。
履修上の注意事項	1) 講義の予習復習を行うこと(90分以上)。 2) グループワークや討論など参加型の手法を取り入れるため、授業以外の学習時間を活用し課題を整理することが必要になるため、学生間で調整を行い、グループ学習を進めること(180分以上)。 3) 学外での公衆衛生看護学関連の講演会等(紹介)に積極的に参加すること。
評価方法	レポート40点(止むを得ない場合を除き、期日まで提出がない場合は減点) ・提出先: Campas Square。フィードバックは質問者に対応。 試験60点
テキスト	1.[公衆衛生看護学概論 第5版] 標美奈子他 医学書院 2.[国民衛生の動向2021/2022] 厚生統計協会
参考文献	1.「健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか」近藤克則著,医学書院 2005 2.「保健師-普通を守る仕事の難しさ-」荘田智彦著,家の光協会 1998 3.「そよ風と暮らしと健康」福本久美子・星旦二編著 熊日出版 2013 4.その他随時紹介。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	福本:保健師として保健所勤務経験 中川:保健師として保健センター勤務経験 未定

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	看護学における地域看護と公衆衛生看護の位置づけ(福本・中川・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
2	公衆衛生と公衆衛生看護学の理念と目的(福本)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
3	公衆衛生看護活動の歴史(福本)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
4	公衆衛生看護の対象(未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
5	公衆衛生看護学の活動分野の特徴(中川)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
6	保健師活動を読み解き、公衆衛生看護と保健師の役割を学ぶ(福本・中川・未定)	関連事項を事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	課題の進め方を説明。学生間で検討
7	社会環境の変化と健康課題(中川)	関連事項を事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	健康格差の要因と解決方法(未定・中川)	関連事項を事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
9	予防レベルと保健行動・ヘルスリテラシー(未定)	関連事項を事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
10	公衆衛生看護の活動方法(中川)	テキストを事前学習のこと（2時間）、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
11	保健師活動を読み解き、公衆衛生看護と保健師の役割を学んだことを発表する(福本・中川・未定)	関連事項を事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	学生の発表
12	公衆衛生看護と保健師の役割の発表に関するまとめ(福本・中川・未定)	関連事項を事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	コミュニティエンパワメント
13	公衆衛生看護学の活動分野(行政)の特徴(福本：外部特別講師)	テキストを事前学習のこと（2時間）、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	外部特別講師(行政で働く保健師)
14	公衆衛生看護学の活動分野(産業)の特徴(福本：外部特別講師)	テキストを事前学習のこと（2時間）、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	外部特別講師(産業で働く保健師)
15	まとめ(福本・中川・未定)	テキストやこれまでの授業資料を事前学習（2時間）、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	

基本情報

科目名	看護マネジメント
時間割コード	0124303901
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 1, 月 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	福島 和代
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
福島 和代	

詳細情報

授業の目的・到達目標	質の高い看護を提供するための看護サービスのしくみやサービスを提供する専門職として必要な看護マネジメントの基礎知識を習得し、自分のキャリア発達について考えることができる。
履修上の注意事項	教科書で事前学習をし(90分)、事後も講義資料と照らし合わせて復習をすること(90分)。グループワークでは、地域のニーズに応じた理想の病院づくりを行なうが、事前に就職パンフレットや病院ホームページから情報収集して望むこと(90分)。将来働きたい病院を想定し、既成概念にとらわれない自由な発想を重んじる。
評価方法	評価基準は「課題レポート90%、発表10%」とし60点以上を合格とする。フィードバックとして、必要に応じてコメントする。
テキスト	系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践〔1〕第10版 2020年 医学書院
参考文献	系統看護学講座 統合分野 医療安全 看護の統合と実践〔2〕第4版 2018年 医学書院。 小池智子,松浦生子,中西睦子編 看護サービス管理 第5版 2018年 医学書院。 井部俊子監修:看護管理学習テキスト 第3版 第1~5巻 2019年・別巻 2020年 日本看護協会出版会
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	福島 和代:看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
<p>看護におけるマネジメントは、対象者に提供する最適なケアを調整・展開・評価することであり、そのための一連の活動である。対象者に提供される看護ケアのマネジメントと看護職が提供するサービス全体を組織としてとらえて提供する看護サービスのマネジメントがある。</p> <p>新人看護師であっても組織の一員として、専門職としての役割・責任が求められる。看護サービスを提供する専門職として必要な基礎知識を習得し、病院づくりのグループダイナミクスを通して自分のキャリア発達について考える。</p> <p>日時についての変更は、別途スケジュールを提示する。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	看護マネジメントとは マネジメントのプロセス	事前:教科書で予習 事後:講義を含めて復習する	
2	看護管理過程 看護管理の歴史	事前:教科書で予習 事後:講義を含めて復習する	
3	組織の成り立ちと構造	事前:教科書で予習 事後:講義を含めて復習する	
4	看護のケア提供システム	事前:教科書で予習 事後:講義を含めて復習する	
5	医療関係職種とチーム医療	事前:教科書で予習 事後:講義を含めて復習する	
6	看護サービスと質の保障	事前:教科書で予習 事後:講義を含めて復習する	
7	リスクマネジメント(安全管理)	事前:教科書で予習 事後:講義を含めて復習する	
8	リスクマネジメント(感染管理) リーダーシップとメンバーシップ	事前:教科書で予習 事後:講義を含めて復習する	
9	専門職と法・倫理	事前:教科書で予習 事後:講義を含めて復習する	
10	キャリア発達 レポート課題提示	事前:教科書で予習 事後:講義を含めて復習する	

授業計画

看護におけるマネジメントは、対象者に提供する最適なケアを調整・展開・評価することであり、そのための一連の活動である。対象者に提供される看護ケアのマネジメントと看護職が提供するサービス全体を組織としてとらえて提供する看護サービスのマネジメントがある。

新人看護師であっても組織の一員として、専門職としての役割・責任が求められる。看護サービスを提供する専門職として必要な基礎知識を習得し、病院づくりのグループダイナミクスを通して自分のキャリア発達について考える。

日時についての変更は、別途スケジュールを提示する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	医療制度と政策・診療報酬制度	事前：教科書で予習 事後：講義を含めて復習する	
12	グループワーク1：病院づくり（地域のニーズ、病院組織の理念、規模）	事前：参考になる病院のHPで理念や特徴等を調べ持参する 事後：時間内でできなかったことについて話し合い、次回の準備をする	
13	グループワーク2：病院づくり（どんな看護師を育てたいか）	事前：参考になる病院のHPで看護部の教育体制等を調べ持参する 事後：時間内でできなかったことについて話し合い、次回の準備をする	
14	グループワーク3：病院づくり（看護師のキャリア開発のためのシステム）	事前：参考になる病院のHPで看護部のキャリア開発（ラダーも含む）等を調べ持参する 事後：時間内でできなかった発表準備等を行う（分担等も決める）	
15	グループワーク4：病院づくり（全体発表、プレゼンテーション）	事前：発表準備を行う。 事後：講義やグループワークを参考に課題についてレポートし期限までに提出する	

基本情報

科目名	家族看護学
時間割コード	0124304001
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	二宮 球美
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
生野 繁子、緒方 浩志、二宮 球美

詳細情報

授業の目的・到達目標	家族を1つのユニットとして捉え援助していくことの重要性和家族支援に関する基礎的な知識と能力を養うことを目的に、家族の基本的概念・機能、家族看護の概要、家族看護のプロセスについて理解することができる。 事例によって、各健康・社会的な傷害をもつ患者を中心とした家族のケアを学び、実践である各々の実習での展開の基礎とする。
履修上の注意事項	各ライフステージの看護学の学習との関連なども含めて講義を進めていきます。既習科目との統合、具体的事例展開などがありますので、事前に渡された課題については学習をし(3時間程度)、当該テキストについては事前学習(各1時間程度)を行って講義に臨むこと。また、事後学習において既習科目との統合を図るレベルまでに達するような学習を行うこと(計5時間程度)。 *課題の提出を求めた場合は、コピーをしておくこと(返却の有無や方法が異なるため)。Campussquareへの提出の指示に従って行うこと。
評価方法	単位取得資格:2/3以上の出席。今回15回の間担当教員ごとの評価を行う。生野:課題Report・テスト、二宮:Report、テスト、・緒方:テスト 講義の割合に応じた配分での按分をしこの科目の評価とする。 評価のフィードバックは、試験後に個別に時間を設けて行う。
テキスト	『家族看護学』理論と実践 第4版 鈴木和子・渡辺裕子(著) 2019 日本看護協会出版会
参考文献	『家族看護学-理論とアセスメント』野嶋佐由美 1993 ヘルス出版、『ファミリーナーシングプラクティス』森山美知子 編集 2001 医学書院、「家族・家族関係論」第2版2004 医学書院、国民衛生の動向(最新のもの)、配布印刷教材
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	二宮球美 看護師として病院勤務経験を有する 生野繁子 看護師として病院勤務経験を有する 緒方浩志 看護師として病院勤務経験を有する

授業計画

授業計画
<p>家族を1つのユニットとして捉え援助していくことの重要性和家族支援に関する基礎的な知識と能力を養うことを目的に、家族の基本的概念・機能、家族看護の概要、家族看護のプロセスについて理解することができる。事例によって、各健康・社会的な傷害をもつ患者を中心とした家族のケアを学び、実践である各々の実習での展開の基礎とする。</p> <p>各ライフステージの看護学の学習との関連なども含めて講義を進めていきます。既習科目との統合、具体的事例展開などがありますので、事前に渡された課題については学習をし、当該テキストについては事前学習を行って講義に臨むこと。また、事後学習において既習科目との統合を図るレベルまでに達するような学習を行うこと。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	家族看護学とは何か 導入:「家族看護学」の発展過程 生野	事前事後学習についてはCampussquareに揭示又は講義の際に指示、副教材については適宜呈示	
2	看護学における家族の理解 家族の概念・定義 生野	事前事後学習についてはCampussquareに揭示又は講義の際に指示、副教材については適宜呈示	
3	- 2 男女共同参画社会の理念と家族の現状 生野	事前事後学習についてはCampussquareに揭示又は講義の際に指示、副教材については適宜呈示	
4	- 3 家族の変化と虐待をめぐる家族の課題 生野	事前事後学習についてはCampussquareに揭示又は講義の際に指示、副教材については適宜呈示	

授業計画

家族を1つのユニットとして捉え援助していくことの重要性と家族支援に関する基礎的な知識と能力を養うことを目的に、家族の基本的概念・機能、家族看護の概要、家族看護のプロセスについて理解することができる。事例によって、各健康・社会的な傷害をもつ患者を中心とした家族のケアを学び、実践である各々の実習での展開の基礎とする。

各ライフステージの看護学の学習との関連なども含めて講義を進めていきます。既習科目との統合、具体的事例展開などがありますので、事前に渡された課題については学習をし、当該テキストについては事前学習を行って講義に臨むこと。また、事後学習において既習科目との統合を図るレベルまでに達するような学習を行うこと。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
5	家族看護の概要、理論を理解し、家族支援に活用することができる - 1 歴史、目的 二宮	事前事後学習についてはCampussquareに掲示、1週間前までには講義資料を掲示予定	
6	- 2 家族看護学に用いられる理論枠組み - 3 家族看護学に用いられるアプローチ 二宮	事前事後学習についてはCampussquareに掲示、1週間前までには講義資料を掲示予定	事前課題指示あり
7	- 4 家族看護研究 二宮	事前事後学習についてはCampussquareに掲示、1週間前までには講義資料を掲示予定	文献提示
8	家族看護の実際を学ぶことができる - 1 家族看護過程とその特徴 二宮	事前事後学習についてはCampussquareに掲示、1週間前までには講義資料を掲示予定	
9	- 2 家族看護における看護者の役割と援助姿勢 二宮	事前事後学習についてはCampussquareに掲示、1週間前までには講義資料を掲示予定	
10	- 3 在宅療養における家族看護の実際 二宮	事前事後学習についてはCampussquareに掲示、1週間前までには講義資料を掲示予定	
11	家族看護の展開を経験できる ライフサイクルからみた家族支援 二宮	事前事後学習についてはCampussquareに掲示、1週間前までには講義資料を掲示予定	事例提示
12	- 2 健康レベル、ケアニーズからみた家族支援 家族の誕生 二宮	事前事後学習についてはCampussquareに掲示、1週間前までには講義資料を掲示予定	
13	- 3 手術を受ける家族 - 4 ターミナルを迎える家族 二宮	事前事後学習についてはCampussquareに掲示、1週間前までには講義資料を掲示予定	
14	- 5 認知症患者と家族 - 6 精神障害者と家族 緒方浩志		
15	家族看護のまとめ 二宮	事前事後学習についてはCampussquareに掲示、1週間前までには講義資料を掲示予定	

基本情報

科目名	看護教育学
時間割コード	0124304101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	生野 繁子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p><教職科目を選択していない学生に標準をあわせています。・4名以下の場合は閉講申請しているので注意して下さい。></p> <p>1.専門職としての看護がどのような看護教育制度を持ってるのかについて、過去・現在・未来を概観できる。</p> <p>2.看護師免許取得後の看護職の生涯学習について展望し、キャリアデザインに活かすことができる。</p> <p>注) ディスカッションやグループワークに重点を置いており、履修登録者4名以下の場合は閉講申請している。</p>
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の看護学概論の教育制度・看護史の内容を復習(約30分)しておくこと。 ・大学4年間の集大成と考えてディスカッションでは積極的に意見を述べ、毎回復習(約30分)すること。 ・新人看護師として望む現任教育内容をイメージしておくこと。 ・臨地実習履修のための欠席を避けるため、履修確定後、講義日程の調整を実施する。 ・日程調整し、近隣の看護史関係施設の見学を実施する。・テーマを決めて学びを発表する。 <p>令和3年度閉講の可能性あり</p>
評価方法	<p>学びのレポート50%・発表内容30%・ディスカッション時の発言内容20%の割合で総合的に評価する。</p> <p>評価結果については15回目で教員から総合的に講評する。</p>
テキスト	<p>1年次に購入した「看護学概論」のテキストを持参すること。新たなテキストの購入は無い。</p>
参考文献	<p>1.最新版「看護六法」新日本法規、2.最新版「看護関係統計資料集」日本看護協会出版会、3.最新版系統看護学講座別巻「看護史」医学書院、他は随時紹介する</p>
実務経験のある教員による授業	<p>有</p>
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	<p>生野繁子:看護師として病院勤務経験 山本恵子:看護師・保健師として病院勤務経験 福本久美子:看護師として病院勤務経験・保健師として行政勤務経験 福島和代:看護師として病院勤務経験 牛之濱久代:看護師・助産師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画	
<p>1年次の看護学概論の教育制度・看護史の学びを基に、臨地実習・卒業研究・就職活動を経験している時期です。その時期に改めて、自分たちが学んでいる看護学の成り立ちや教育制度を学習することは、今後の看護職としての生活の基盤となると考えます。また、看護師免許取得後も常に自己研鑽を求められるのはなぜか、その理由や学びの機会や制度を知ること、キャリアデザインが具体化すると思います。その分野の専門の先生方の講義後、一番関心のあるテーマを選択し、受講生全員が15回目に発表し共有するという計画です。途中、日程調整後に田原坂戦争記念館を見学する予定もあります。日赤発祥の地でどのような救護・医療・看護の実践があったかを学び、現代へのつながりを考察します。事前学習として各回の内容に関して各自で調べておくこと、事後学習は各回学びをまとめ、最終発表ができるように準備しておくこと。(事前事後学習30分程度)</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1.導入・ガイダンス:(生野)		
2	2.看護教育制度・看護史と看護教育・見学研修含む(生野)		
3	3.看護教育制度の現状(山本)		
4	4.看護教育制度の未来(山本)		
5	5.保健師教育制度の変遷(福本)		

授業計画

1年次の看護学概論の教育制度・看護史の学びを基に、臨地実習・卒業研究・就職活動を経験している時期です。その時期に改めて、自分たちが学んでいる看護学の成り立ちや教育制度を学習することは、今後の看護職としての生活の基盤となると考えます。また、看護師免許取得後も常に自己研鑽を求められるのはなぜか、その理由や学びの機会や制度を知ること、キャリアデザインが具体化すると思います。その分野の専門の先生方の講義後、一番関心のあるテーマを選択し、受講生全員が15回目に発表し共有するという計画です。途中、日程調整後に田原坂戦争記念館を見学する予定もあります。日赤発祥の地でどのような救護・医療・看護の実践があったかを学び、現代へのつながりを考察します。事前学習として各回の内容に関して各自で調べておくこと、事後学習は各回学びをまとめ、最終発表ができるように準備しておくこと。(事前事後学習30分程度)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
6	6.保健師教育制度の未来 (福本)		
7	7.助産師教育制度の変遷 (牛之濱)		
8	8.助産師教育制度の未来 (牛之濱)		
9	9.成人教育・社会教育・生涯学習 (生野)		
10	10.看護師の卒後教育の変遷(福島)		
11	11.病院における卒後教育の実際(福島)		
12	12.専門職の職能団体と生涯学習(生野)		
13	13.看護教育についてディスカッション(生野)		
14	14.テーマに添って発表準備(生野)		
15	15.発表・発表運営(生野)		

基本情報

科目名	国際保健活動論
時間割コード	0124304201
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 1, 月 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	中川 武子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
安藤 学、中川 武子、淀川 尚子、牛之濱 久代	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>【科目目的】国際保健活動の現状と課題および実際の活動を学び、国際保健活動に貢献できる能力を養う。</p> <p>【到達目標】国際保健活動の現状を学び、その課題を考察することができる。国際保健活動の展開方法を理解し、実践できる能力を養うことができる。人々の健康的な生活支援に必要な情報を科学的・論理的に分析する能力を身につけることができる。</p>
履修上の注意事項	<p>事前学習：教科書の該当範囲を読むこと。(120分以上)</p> <p>事後学習：講義内容を基に配布資料を確認整理すること。(120分以上)</p> <p>国内外の保健活動に関する情報を常に入手しておくこと。</p>
評価方法	<p>試験(50%)・課題レポート(50%)</p> <p>課題レポートはコメントして返却します。</p>
テキスト	系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学 医学書院 2021年度版
参考文献	<p>日本国際保健医療学会編 国際保健医療学 第3版 杏林書院</p> <p>一般財団法人厚生労働統計協会編 国民衛生の動向 2020/2021</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>中川：看護師として病院勤務経験、保健師として保健センター勤務経験、イギリスにて病院勤務経験</p> <p>牛之濱：看護師・助産師として病院勤務経験 インドネシアで調査経験</p> <p>淀川：歯科衛生士として病院勤務経験、ミャンマーにて活動経験</p> <p>特別講師：看護師として病院勤務経験、国際保健支援活動経験</p>

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	講義：世界の健康課題と国際支援活動(中川)	<p>事前：テキストの該当部分を読んでおくこと</p> <p>事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと</p>	
2	講義：グローバルヘルス(中川)	<p>事前：テキストの該当部分を読んでおくこと</p> <p>事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと</p>	
3	講義：国際機関・国際協力と国際保健活動(淀川)	<p>事前：テキストの該当部分を読んでおくこと</p> <p>事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと</p>	
4	講義：国際保健活動の実際(1)(淀川)	<p>事前：テキストの該当部分を読んでおくこと</p> <p>事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと</p>	
5	講義：国際社会における支援の対象(中川)	<p>事前：テキストの該当部分を読んでおくこと</p> <p>事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと</p>	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
6	講義：国際保健活動の展開(中川)	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
7	講義：感染症対策における支援(中川)	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
8	講義：母子保健分野における支援(牛之濱)	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
9	講義：紛争における支援(安藤)	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
10	講義：国際的な災害救護と支援(中川)	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
11	講義：国家・地域間の健康格差(中川)	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
12	講義：在留外国人の保健医療の現状と課題(中川)	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
13	演習：国際保健活動の実際(2)(中川・特別講師)	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
14	演習：国際保健活動の実際(3)(特別講師)	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
15	講義：国際保健分野における支援者の役割(中川)	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	

基本情報

科目名	看護政策論
時間割コード	0124304301
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
柴田 恵子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	日本の看護政策の変遷を理解し、それらに影響する社会背景に関心を持つことで、看護専門職としての自己の役割を考える。また、諸外国の保健医療制度と看護政策を知り、視野を広げあらためて日本の看護政策の課題について理解を深める。
履修上の注意事項	1. 授業の前には、内容に関連する情報について予習(2時間)をして受講すること。 2. 受講後は、復習やレポート作成を通して、知識の整理をすること。これに要する時間は2時間である。 講義日程の変更もあり得るので確認すること
評価方法	課題レポート(50%)・グループワーク(30%)・講義への参加度(20%)の割合で総合的に評価する。フィードバックの方法として、レポートは返却し、グループワークはワークの時間内の意見交換において行う。 令和3年度閉講の可能性あり
テキスト	特に指定しない。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	島村：看護師として病院での実務経験、柴田：養護教諭として学校保健の実務経験

授業計画

授業計画	
諸外国と我が国の看護政策について知り、社会背景、時代の要請との関りを学習し、今後の展望について考える。グループ活動を通じて他者の意見と自己の考えの相違を明らかにし、その上で私見をまとめる。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	社会背景と看護政策の変遷 (柴田)	事前・事後学習について初回の講義で説明する。事前学習はキャンパススクエアで確認する。	
2	わが国の看護制度の歴史：養成(資格)制度と法的根拠 (柴田)	事前学習は養成制度について調べる。事後学習は制度と法についてまとめる。	
3	わが国の看護制度の歴史：看護職資格の多様性と養成制度 (柴田)	事前学習は看護職について調べる。事後学習は養成のあり方について課題をまとめる。	
4	中国の医療保険制度 (高)	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
5	中国の看護の現状と課題 (高)	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
6	欧米の保健医療制度 (未定)	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
7	看護職をめぐる近年の動き (島村)	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

授業計画

諸外国と我が国の看護政策について知り、社会背景、時代の要請との関りを学習し、今後の展望について考える。グループ活動を通じて他者の意見と自己の考えの相違を明らかにし、その上で私見をまとめる。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	欧米における看護政策 （未定）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
9	韓国における看護政策について1 看護教育の歴史、制度 （李）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
10	韓国における看護政策について2 看護政策 （李）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
11	ヘルスケアシステムの現状と課題 （島村）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
12	グループワーク：関心のあるテーマを選び概要を知る。 （島村）	事前学習：これまでの学習を基にテーマを考える。事後学習：調べた内容をまとめる。	
13	グループワーク：テーマについてディスカッションする。 （島村・柴田）	事後学習：ディスカッションの内容を整理し、発表の準備をする。	
14	グループワーク発表、まとめ （島村・柴田）	事前学習：発表資料を作成する。事後学習：発表報告を聞き、内容をまとめる。	
15	総括：看護政策の展望と課題 （柴田）	事後学習：看護政策に関する基礎知識を整理し、今後の看護政策について私見をまとめる。	

基本情報

科目名	看護総合演習
時間割コード	0124304401
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	福島 和代
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
生野 繁子、山本 恵子、川本 起久子、福島 和代、松岡 聖美、古堅 裕章、杉野 由起子、牛之濱 久代、島村 美香、緒方 浩志、上田 智之、大橋 知子、齊藤 圭子、田中 康子、二宮 球美、未定、北原 崇靖、赤峰 隆元、巖 桂子

詳細情報

授業の目的・到達目標	2年次に修得した各領域の専門的知識・技術を応用し、より臨地に近い状況での模擬対象者に対し看護過程を実践する。 模擬対象者は6領域(成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、在宅看護学)の特徴をもつ事例であり、学修者は、其々の対象者に対し状況に応じた必要な援助を判断し実施することで、看護に必要な実践力を身につけることができるようになる。 また、その学修過程を通して自己の課題を明確にし臨地実習への動機づけとすることができる。
履修上の注意事項	1. すべての領域実習の先修科目であるため、単位を取得できなければ、領域実習を履修できない。 2. 提示された事例および課題を十分学習し、指示された内容を記述して演習に臨むこと。 3. 模擬対象者への看護実践は、臨地実習における実践と同じと考え、真剣に取り組むこと。 4. 実習と同様にユニフォームを着用し身だしなみを整えて臨むこと。
評価方法	6領域各々の評価表に基づいて評価する(100点満点)。各領域の合計点を平均し、60点以上を合格とする。 身だしなみが整っていない場合は評価を受けることはできない(不合格とする)。 フィードバックとして、必要に応じて面接を行う。
テキスト	1・2年次に使用したテキスト
参考文献	1・2年次に使用したもの
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	看護師として病院勤務経験：福島和代・川本起久子・杉野由起子・島村美香・齊藤圭子、 生野繁子・北原崇靖、二宮球美・松岡聖子、上田智之・緒方浩志、田中康子・巖桂子、 古堅裕章・赤峰隆元 看護師・助産師として病院勤務経験：牛之濱久代・大橋知子 看護師・保健師として病院勤務経験：山本恵子 看護師として病院勤務、保健師として保健センター勤務経験：中川武子

授業計画

授業計画

履修単位：1単位（学習時間45時間）

内容：6領域での演習を行う。

授業時間では演習を行うため、演習前の準備と演習後の振り返りのための自己学習が重要となる。

詳細は「看護統合演習 要項」に提示し、学習のポイントはオリエンテーションで説明をする。

「看護統合演習 要項」はCampusSquareから自分でダウンロードし、よく読んでオリエンテーション時に持参する。

学習時間：授業時間 15コマ×90分 = 1,350分 = 22.5時間

事前学習および事後学習時間 1コマにつき90分 22.5時間

期間：4月第2週水曜日から第5週金曜日に集中で実施する

第2週：4月7日（水）オリエンテーション（1コマ）

第3週：4月13日（火）と14日（水）の1・2限 1日1領域で2領域の演習（4コマ）

第4週：4月20日（火）と21日（水）の1・2限 1日1領域で2領域の演習（4コマ）

第5週：4月27日（火）と28日（木）の1・2限 1日1領域で2領域の演習（4コマ）

4月30日（金）1・2限 まとめ（2コマ）

方法： 6領域の中から提示された各々の事例および課題を理解し、指示された学習内容を記述して演習に臨む

教員の指導を受けながら、6領域で課題のケアを実践する

教員の指示に従い、レポートを作成し提出する

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	看護総合演習
時間割コード	0124304501
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	4
主担当教員	中川 武子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(総合分野)

詳細情報

授業の目的・到達目標	【科目目的】災害の特徴を理解し、災害がもたらす健康課題や看護ニーズ、災害看護に必要な基礎的能力を養う。 【到達目標】災害サイクルや活動の場に応じた看護職者の役割が理解できる。災害がもたらす人々の健康や生活への影響が理解できる。
履修上の注意事項	事前学習：教科書の該当範囲を読むこと。(120分以上) 事後学習：講義・演習内容を基に配布資料を確認整理すること。(120分以上) 国内外で起こった災害に関する情報を常に入手しておくこと。
評価方法	課題レポート20%、演習50%、実技試験30% レポートはコメントして返却します。
テキスト	系統看護学講座 総合分野 災害看護学・国際看護学 医学書院 2021年度版
参考文献	山崎達枝著 災害現場でのトリアージと応急処置 日本看護協会出版会 第2版 勝見 敦編 災害救護 - 災害サイクルから考える看護実践 ニューヴェルヒロカワ 2012年発行
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	中川：看護師として病院勤務経験 保健師として保健センター勤務経験 災害支援活動経験 島村：看護師として病院勤務経験 古賀：養護教諭として公立学校勤務経験 赤十字救急法指導員 井手：アスレティックトレーナーとしてスポーツ競技団体支援経験 赤十字救急法指導員 特別講師：看護師として病院勤務、災害支援活動経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	講義：災害支援における心得 (安藤・中川)	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
2	講義：災害支援に携わる機関・組織(中川)	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
3	演習：災害図上訓練(DIG)(中川・未定)	事前：災害図上訓練(DIG)について調べておくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
4	演習：災害図上訓練(DIG)(中川・未定)	事前：災害図上訓練(DIG)について調べておくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
5	講義：災害サイクルに応じた災害看護の役割(中川)	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	演習：トリアージ（中川）	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
7	講義：災害現場に応じた災害看護展開（中川）	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
8	演習：災害時のジレンマとその対応 - クロスロード（中川・島村）	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
9	講義：災害中長期の看護（中川）	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
10	講義：災害と感染コントロール（中川）	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
11	講義：災害時のこころのケア(1)（中川・特別講師）	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
12	演習：災害時のこころのケア(2)（中川・特別講師）	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
13	演習：傷病者に対する応急処置（中川・島村・古賀・井手）	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：演習内容を踏まえて練習しておくこと	
14	演習：傷病者に対する応急処置（中川・島村・古賀・井手）	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：演習内容を踏まえて練習しておくこと	
15	演習：傷病者に対する応急処置（中川・島村・古賀・井手）	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：演習内容を踏まえて練習しておくこと	

基本情報

科目名	看護総合実習
時間割コード	0124304601
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	福島 和代
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
生野 繁子、山本 恵子、川本 起久子、福島 和代、松岡 聖美、杉野 由起子、牛之濱 久代、島村 美香、緒方 浩志、上田 智之、大橋 知子、齊藤 圭子、田中 康子、二宮 球美、未定、北原 崇靖、巖 桂子

詳細情報

授業の目的・到達目標	各専門領域の実習では、対象者1人に対して看護過程を展開してきた。それに対して、看護総合実習では、複数の対象者に対して、看護職に限らず、医療関係職種や対象者の療養生活に関わる全ての人々によって提供されるケアを学ぶ。看護はチームで行われる、つまり、組織の一員として看護を行うことになるため、組織の機能について知る必要がある。 組織の機能を知り、看護職と多職種の役割と連携の実際を理解し、チームの一員として、複数の対象者の看護を実践する。 この実習における体験を考察し、自分の看護観を深め、自己の課題を明確にすることができる。
履修上の注意事項	1. 臨地実習の集大成であり、学生の主体的かつ創造的な実習を期待する。体調管理には十分気をつける。 2. 事前学習として、実習施設の概要を調べておく。また、領域実習との違いを明確にし、自己課題について対応策を考えて実習に臨む(90分)。 3. 事後学習として、自己課題を整理し、看護観を深める(90分)。
評価方法	評価基準は、実習要項に記載されている各領域の実習評価表に基づく。60点以上を合格とする。フードバックとして、必要に応じて面接を行う。
テキスト	適宜指示する。
参考文献	既に学習したすべての文献・資料 担当教員・臨床指導者から提示されたもの
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	看護師として病院勤務経験：福島和代・川本起久子・杉野由起子・島村美香・齊藤圭子、 生野繁子・北原崇靖、二宮球美・松岡聖子、上田智之・緒方浩志、田中康子・巖桂子 看護師・助産師として病院勤務経験：牛之濱久・大橋知子 看護師・保健師として病院勤務経験：山本恵子

授業計画

授業計画
<p>詳細は、看護総合実習要項に提示する</p> <p>実習期間：1学期 令和3年6月21日～7月9日の内の10日間</p> <p>実習方法：学生は前半臨地実習グループと後半臨地実習グループの2グループに分かれる 1週目は学内実習、2週目・3週目は臨地実習で、学生は前半(2週目)と後半(3週目)に分かれて実習を行う</p> <p>スケジュール： 1週目 6月21日～6月25日；学内実習(全員対象) 全体オリエンテーション、組織の概要・連携・ヒューマンエラー防止等の学習(全領域共通) 臨地実習オリエンテーションと準備(領域別) 2週目 6月28日～7月2日；領域別臨地実習(前半グループ対象学生) 3週目 7月5日～7月9日；領域別臨地実習(後半グループ対象学生)</p> <p>実習施設：母性看護学 小児看護学 成人看護学 老年看護学 精神看護学 在宅看護学の領域の実習施設</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	研究方法論
時間割コード	0124304701
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
柴田 恵子、山本 恵子、志賀 潔、森 信之、福本 久美子、牛之濱 久代、二宮 球美、上妻 尚子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	大学は、学問の府であり、研究と教育の場である。その特性を活かした学習の一つが本科目である。研究には種々の方法があり、それぞれの研究の専門家から実際に学び、自身の研究への手掛かりを見出す。さらに実際に研究計画を立案し、卒業研究・論文作成を通して、研究的思考を経験することで研究的視点を理解する。
履修上の注意事項	○事前学習(2時間)はノートを準備し講義内容について調べる。事後学習(2時間)は授業の要点を記し、配布資料をファイルし、活用できるように整理し、復習する。○開講時間、グループ分けと使用教室の確認は各自が行なう。グループ分けは第1回目に所属ゼミが決まったのちに発表するので確認すること。○必要な人はパソコンを持参する。
評価方法	○前提条件は2/3以上の出席である。 ○レポート提出60%、学習態度・提出状況40%で評価する(最終提出物は評価外)。 ○最終提出物は15回目、【緒言】【方法】【文献】はA4、約2枚、【研究計画書】は別紙A4、1枚で作成し提出する。
テキスト	・授業中に配布される教員の作成したプリント・資料など。随時紹介する。
参考文献	学術雑誌や看護関連学会雑誌に掲載された邦文、英文の論文(原著論文が望ましい)、卒業研究論文を活用する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	担当者は病院あるいは地域における医師、看護師、助産師、保健師、学校における養護教諭の実務経験者である。

授業計画

授業計画	
研究に必要な基礎的知識の習得を目指す。第1回目のオリエンテーションで事前・事後学習について説明する。各担当者の指示を確認すること。 事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション:履修について、学習の進め方(柴田)	オリエンテーションで事前・事後学習について説明する。 事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。	
2	実験研究(志賀)	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
3	Microsoft Wordを使う:研究計画書作成の方法(山本)	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
4	研究倫理の基本理念:倫理審査申請書について(柴田)	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
5	文献検索の方法(福本直子、柴田)教室:第1CPUと各ゼミ研究室	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	

授業計画

研究に必要な基礎的知識の習得を目指す。第1回目のオリエンテーションで事前・事後学習について説明する。各担当者の指示を確認すること。

事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	Microsoft Excelを使う：表計算とグラフの作成（二宮）	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
7	看護質的研究から量的研究へ（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
8	統計処理の実際（森）教室：第1CPU室と各ゼミ研究室	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
9	事例研究と倫理的問題（牛之濱）	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
10	臨床研究（上妻）	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
11	疫学の実際（福本久美子）	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
12	統計の実際（森）教室：第1CPU室と各ゼミ研究室	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
13	Power Pointを使う：研究発表（プレゼンテーション）の仕方（森）	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
14	【研究計画書】【緒言】【研究方法】の作成（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
15	【研究計画書】【緒言】【研究方法】の提出、研究方法論のまとめ（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0124304801
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	上田 智之
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
上田 智之	

詳細情報

授業の目的・到達目標	自己の関心のある看護に関して、研究疑問を明らかにし、文献を検討することによって疑問に対する現状と自己のテーマを明確化する。自己のテーマから科学的に探究するための研究プロセスを理解でき、研究方法や倫理的配慮を理解できる。
履修上の注意事項	自己のテーマに関する文献を熟読し(事前学習:120分)、得られた知見をグループワークでしっかり述べ積極的に参加すること。得られた課題について振り返り、疑問を解決する(事後学習:120分)。
評価方法	参加態度30%、レポート20%、発表20%、研究計画書30% レポート課題については、適宜講義内で解説する。
テキスト	適宜、紹介する。
参考文献	適宜、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	上田智之:看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション	事前:看護研究について学習する(120分) 事後:研究スケジュールを立案する(120分)	
2	研究疑問・動機を検討する	事前:看護学実習を通して、看護における疑問や動機を考える(120分) 事後:検討した内容を振り返り、得られた課題について振り返りをする(120分)。	
3	キーワードを検討する	事前:キーワードの用語について調べ、用語の意味について考える(120分) 事後:検討した内容を振り返り、得られた課題について振り返りをする(120分)。	
4	文献検索について	事前:キーワードを使用して、文献検索し、論文の傾向を考える(120分) 事後:検討した内容を振り返り、得られた課題について振り返りをする(事後学習:120分)。	
5	文献検討について	事前:キーワードを使用して、論文を入手し、熟読する。(120分) 事後:検討した内容を振り返り、得られた課題について振り返りをする(事後学習:120分)。	
6	文献抄読会	事前:自己のテーマに関する文献を熟読する。(事前学習:120分) 事後:得られた課題について振り返り、疑問を解決する(事後学習:120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	文献抄読会	事前：自己のテーマに関する文献を熟読する。（事前学習：120分） 事後：得られた課題について振り返り、疑問を解決する（事後学習：120分）。	
8	研究計画書について	事前：研究計画書の書き方について学習する（120分） 事後：学習した内容を振り返り、得られた課題について振り返りをする（120分）	
9	用語の定義	事前：用語の意味を学習し、自己の用語の定義を考える（120分） 事後：検討した内容を振り返り、得られた課題について振り返りをする（120分）	
10	研究方法について	事前：研究方法を学習する（120分） 事後：自己の研究内容を振り返り、研究方法の妥当性を検討する（120分）	
11	研究方法の検討：デザインの選択・対象者等の選択	事前：自己の研究内容を振り返り、研究方法の妥当性を検討する（120分） 事後：決定した研究方法の具体的内容を学習する（120分）	
12	倫理的配慮について	事前：必要な倫理的配慮を学習する（120分） 事後：必要な倫理的配慮の具体的方法を学習する（120分）	
13	研究計画書作成	事前：研究計画書を作成する（120分） 事後：検討した内容を振り返り、得られた課題について振り返り修正をする（120分）	
14	研究計画書修正	事前：検討した内容を振り返り、得られた課題について振り返り修正をする（120分） 事後：研究計画書の発表準備をする（120分）	
15	成果発表	事前：研究計画書の発表準備をする（120分） 事後：検討した内容を振り返り、得られた課題について振り返りをする（120分）。	

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0124304803
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	杉野 由起子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
杉野 由起子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>授業の目的 臨地実習や授業を通じて興味や関心または疑問に感じた事象から研究計画書を作成するまでの研究過程を理解することができる</p> <p>到達目標 研究方法論の学修を基に自身の興味・関心・疑問を検討し研究課題を導くことができる 研究課題に応じた研究の方法を説明し研究計画書として記述することができる</p>
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 研究計画書作成までの計画を立てて自主的にすすめていくこと 研究方法論での学びを研究計画書に活かして同時進行で進めていくこと ゼミ中の抄読会や意見交換を通してそれぞれの研究計画に活かすようにすること
評価方法	研究計画書の内容70%、研究への取り組み姿勢20%、意見交換での積極的な態度10%
テキスト	山川みやえ 牧本清子 編著：よくわかる看護研究論文のクリティーク, 日本看護協会出版会
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> 安部陽子 訳：看護研究のための文献レビュー マトリックス方式, 医学書院 大木修一 著：看護研究・看護実践の質を高める文献レビューの基本, 医歯薬出版株式会社
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
<p>研究方法論の授業と平行し、4月～5月中に各々の研究課題を明らかにし、授業終了までに研究計画書を作成する。 授業では、事前学習した内容を基に学生間でディスカッションした内容と教員からの助言をもとに、各自が計画的に進めていく。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション 研究テーマの見つけ方 科学的思考について	事前：興味関心のある事象をまとめる(120分) 事後：興味関心のある文献を探し読む(120分)	
2	研究テーマの見つけ方	事前：入手した文献の内容を読みまとめる(120分) 事後：さらに文献を検索し読みまとめる(120分) 事後(120分)：自分の研究課題を	
3	研究テーマの見つけ方	事前：入手した文献をまとめる(120分) 事後：興味関心のある内容を研究テーマに発展させて考える(120分)	
4	研究テーマの見つけ方	事前：文献を熟読しまとめる(120分) 事後：テキストP37～45を参考に文献検索の手順とテーマの絞り込みについて復習する(120分)	
5	研究の背景をまとめ目的と意義を記述する	事前：研究背景をまとめ、目的と意義を考える(120分) 事後：助言や文献を基に修正を加える(120分)	

授業計画

研究方法論の授業と平行し、4月～5月中に各々の研究課題を明らかにし、授業終了までに研究計画書を作成する。
授業では、事前学習した内容を基に学生間でディスカッションした内容と教員からの助言をもとに、各自が計画的に進めていく。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	研究の背景をまとめ目的と意義を記述する	事前：研究背景をまとめ、目的と意義を考える（120分） 事後：助言や文献を基に修正を加える（120分）	
7	研究方法の選択と記述方法	事前：テキストP73～101を熟読する（120分） 事後：テキストP102～148を読み復習する（120分）	
8	研究方法の選択と記述方法	事前：テキストP149～187を読む（120分） 事後：疑問点を整理し自分の研究方法を考える（120分）	
9	研究方法の選択と記述方法	事前：研究テーマに合う方法についてのクリティークチェック用紙の内容を読む（120分） 事後：助言を基に研究方法の内容を考える（120分）	
10	研究方法の選択と記述方法	事前：研究方法について記述する（120分） 事後：助言を基に研究方法が目的に適しているか考え修正する（120分）	
11	研究倫理と倫理的配慮	事前：研究倫理の事前配布資料を読む（120分） 事後：倫理的配慮に記述する内容を考える（120分）	
12	研究計画書作成	事前：研究計画書を作成し疑問点を明らかにする（120分） 事後：研究計画書を修正する（120分）	
13	研究計画書作成	事前：研究計画書を作成し疑問点を明らかにする（120分） 事後：研究計画書を修正する（120分）	
14	研究計画書作成	事前：研究計画書を作成し疑問点を明らかにする（120分） 事後：研究計画書を修正する（120分）	
15	研究計画書作成	事前：研究計画書を作成し疑問点を明らかにする（120分） 事後：研究計画書を修正する（120分）	

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0124304804
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	3年間で修得した基礎・専門知識や経験をもとに、自ら考える自主性や主体的行動力、思考力を活用して問題解決にあたり、総合的な判断力を積み上げることを目的に、卒業研究を行う。 幅広い臨床・研究領域における新しい学際的知見を駆使しながら研究を進め、その過程を通して、広い視野で論理的に考える力、データを分析し適切に説明できる力を身につける。
履修上の注意事項	主体性を重視するが、分からないことや判断に迷うことがあれば、いつでも相談すること。 事前学習として各週の内容に沿った準備を行い、事後学習として授業時間内に終わらなかった部分を進めること。 (合計3~4時間) 進捗状況によっては計画を修正する可能性もある。
評価方法	研究を進める過程での真摯な姿勢を重視する。 研究の過程における取り組み(50%)、報告会での成果(50%)を評価する。 進捗報告やディスカッションの際にフィードバックを行う。
テキスト	適宜紹介する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>問題解決型学習としてグループワーク等を取り入れながら、以下の内容に沿って進める。</p> <p>第1週 オリエンテーション、研究テーマの検討</p> <p>第2週 研究倫理について</p> <p>第3週 文献検索・情報収集</p> <p>第4週 論文抄読会</p> <p>第5週 研究デザインの検討、研究の準備、研究手法の確認</p> <p>第6週 研究計画書の作成</p> <p>第7週 研究の実施、データ収集</p> <p>第8週 データの整理、統計解析、図表の作成</p> <p>第9週 進捗報告、ディスカッション</p> <p>第10週 研究の実施、データ収集</p> <p>第11週 データの整理・統計解析、図表の作成</p> <p>第12週 進捗報告、ディスカッション</p> <p>第13週 研究結果のまとめ・考察</p> <p>第14週 研究発表プレゼンテーション資料の作成</p> <p>第15週 報告会</p> <p>各週の事前・事後学修をそれぞれ2時間程度行う</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0124304805
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
柴田 恵子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護研究について理解し、実際に看護研究に取り組むための計画を立案する。看護研究を通して、臨床・研究領域において新しい学際的知見を積極的に取り入れることの意義を考える。
履修上の注意事項	締め切りを厳守し、目的を達成するために主体的に学習をすること 実習等で欠席する場合は、その時間の授業内容に関するレポートを作成し提出すること 予習、復習(各2時間)については、オリエンテーション時に指示するので、内容を確認すること
評価方法	学習状況、態度：40%、最終試験(レポート作成)：60% フィードバックとして授業内でレポートについての説明を行う。
テキスト	必要時、紹介する
参考文献	各自の研究目的、方法に合わせて紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	柴田恵子：看護教諭として実務経験あり

授業計画

授業計画	
卒業研究論文の作成を目指した取り組みが可能な授業計画としている。しかしながら、学生の学習状況に応じた選択も視野に入れた指導を行う。卒業研究論文あるいは研究報告のいずれであろうと、基本的な看護研究についての学習を行う。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、看護研究とは	オリエンテーション時に事前・事後学習について説明を行なう。キャンパススクエアで確認をすること。	
2	研究計画書について	事前学習は研究計画書(案)を作成し、事後学習は授業内容を反映した修正を行う。	
3	研究における文献検索	事前学習は研究課題に沿った文献を検索し、授業では報告をする。授業内で要旨の作成を学習し、事後学習として要旨を作成する。	
4	文献を講読する	事前学習は複数の文献を購読し、要旨を作成する。事後学習は報告した内容を基に、研究概要を作成する。	
5	研究の目的	事前学習は研究計画について調べる。事後学習は研究計画書に基づき、研究の目的を記述する。	
6	研究の方法：目的に沿った方法を考える	事前学習は研究における方法について調べる。事後学習は、自身の研究目的に沿った研究方法を明らかにする。	
7	グループワーク：研究の方法について意見交換	事前学習はこれまでの学習を報告できるようにレポートを作成する。事後学習は、他学生の発表から修正・補足部分を見出し、発表したレポートに記録する。	
8	研究デザイン	事前学習は研究デザインについて調べる。事後学習は研究デザインを図式化、文章化する。	

授業計画

卒業研究論文の作成を目指した取り組みが可能な授業計画としている。しかしながら、学生の学習状況に応じた選択も視野に入れた指導を行う。卒業研究論文あるいは研究報告のいずれであろうと、基本的な看護研究についての学習を行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	研究計画書の作成	事前学習は研究計画書について作成する。事後学習は研究計画書の発表できるように準備をする。	
10	グループワーク：計画書についての意見交換	事後学習は他者の発表を聞き、自身の計画書を見直す。	
11	研究の実施	事前学習は実施方法について、倫理的配慮を考えた実施を記録する。事後学習は、作成した記録の補足・修正である。	
12	研究計画書の見直し	事前学習は研究の実施が可能かを計画書を基に検討する。	
13	研究発表	事前学習は研究発表の方法について調べる。	
14	研究の評価	事前学習は研究の評価について調べる。	
15	発表：看護研究についての学び	事後学習は研究についての学びをレポートでまとめる。	

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0124304806
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	生野 繁子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
生野 繁子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	創造的な看護実践の追求を系統的に学習する者の大学4年間の学習の集大成の位置づけである。看護者としての生涯学習の出発点となるよう研究の一連の過程を実践し理解できる。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究論文を選択する学生は、この卒業研究から発展させること。 自主的に研究に取り組む姿勢が重要であり、積極的に参加すること。 ゼミでの司会進行・その他の役割を共同して果たすこと。 事前に先行研究を読みサマリー化(約1時間)し、事後にコメントに基づき修正(約30分)すること。
評価方法	卒業研究論文を選択しない者は、卒業研究報告書を作成すること。その報告書内容50%と、発言内容50%の割合で総合的に評価する。卒業研究論文を選択する者は、指示されたレポートやレジュメ50%、発言内容50%の割合で総合的に評価する。サマリーやレポートに関してはゼミ中、直接フィードバックする。
テキスト	必要時適宜紹介する。
参考文献	必要時適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	生野繁子:看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
<ul style="list-style-type: none"> ゼミメンバーが確定した後、ゼミ運営の役割を決定します。役割 ゼミ長・国家試験対策・卒論・アルバム等イベント・庶務 卒論の完成を目指すのはもちろん、ゼミメンバー全員が就職活動・国家試験受験準備がスムーズに行くようにサポートします。 15回の設定をメンバーの日程に合わせて、再調整して実施します。 先行研究を読み知見を確認することが大切です。卒業研究論文につなげるためにも、先行研究サマリーを10編作成します。 事前事後学修の内容に関しては各回部分を参照してください。各必要な時間は最低1時間はかかると思います。 	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	顔合わせ・導入・日程確認	気概をもって参加して下さい。	・ゼミでの司会進行・その他の役割を共同して果たすこと。15回とも同様。
2	テーマに近い論文・過去の卒業論文の紹介	ゼミ先輩の論文集を熟読して参加して下さい。	
3	自分の問題意識について	自分のテーマを固めて来て下さい。	
4	キーワードの説明	先行研究を見つけて下さい。	
5	文献検索の実施	キーワードを検討して下さい。	図書館に依頼しますが、日程調整します。
6	文献サマリーの作成	事前に先行研究を読みサマリー化し、事後にコメントに基づき修正すること。	
7	研究計画の作成	研究方法論の指導内容に沿って作成しておくこと。	
8	研究方法の吟味・検討	事前に先行研究を読みサマリー化し、事後にコメントに基づき修正すること。	

授業計画

- ・ゼミメンバーが確定した後、ゼミ運営の役割を決定します。役割 ゼミ長・国家試験対策・卒論・アルバム等イベント・庶務
- ・卒論の完成を目指すのはもちろん、ゼミメンバー全員が就職活動・国家試験受験準備がスムーズに行くようにサポートします。
- ・15回の設定をメンバーの日程に合わせて、再調整して実施します。
- ・先行研究を読み知見を確認することが大切です。卒業研究論文につなげるためにも、先行研究サマリーを10編作成します。
- ・事前事後学修の内容に関しては各回部分を参照してください。各必要な時間は最低1時間はかかると思います。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	研究対象の確定	事前に先行研究を読みサマリー化し、事後にコメントに基づき修正すること。	
10	研究方法の確定	事前に先行研究を読みサマリー化し、事後にコメントに基づき修正すること。	
11	実施	実施方法を具体的に検討して来て下さい。	本学学生対象等で配布する場合は、ゼミ生間で協力して下さい。
12	結果のまとめ	研究方法論の学びを基にまとめて下さい。	カテゴリー化などはメンバーで協力して下さい。
13	結果の分析	結果を基に分析し、メンバーでディスカッションできるようにして下さい。	
14	考察	作成した先行研究サマリーを活用し、考察を深めて来て下さい。	
15	ゼミ報告会で進捗状況の発表	この時点での発表ができる準備をして下さい。	この時期は就職試験等もありますので、日程調整します。

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0124304808
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	福島 和代
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
福島 和代	

詳細情報

授業の目的・到達目標	原則として卒業研究論文作成を前提とする。研究方法論の講義を基に展開する。自分の疑問や気付きから、「知りたい」「明らかにしたい」へと自分の関心のあることを探求していく楽しさを知る。研究の一連の過程を経験し、看護専門職業人としての研究的視点を養うことができる。
履修上の注意事項	文献検索や文献の読み込み、研究計画書作成、緒言・研究方法の作成は、指導を受けた後の自己学習が中心となる。授業時間は、発表とそれに対するグループディスカッションを中心に行うため、事前・事後学習で十分な準備を行う必要がある。 履修単位：2単位 90時間 学習時間：授業時間；15コマ×90分＝1,350分＝22.5時間 事前学習；1コマにつき180分 45時間 事後学習；1コマにつき90分 22.5時間 事前学習：テーマに関する学習や文献検索やを行い、指示されたレジュメを作成し、人数（メンバー＋教員）分を準備し配布する。 事後学習：意見をもらった内容をもとにテーマの縛り込みや計画の修正を行う。コピー＆ペーストでなく、自分の言葉で書くこと。 注意事項：他のメンバーの研究計画書を一緒に作り上げるという気持ちで積極的に取り組んでほしい。授業の進行状況によっては授業の展開計画を変更する可能性がある。その時は学生に提示する。
評価方法	指示されたレジュメ70%、受講態度30%の割合で総合的に評価する。 フードバックとして、必要に応じて面接を行う。
テキスト	研究方法論で配布された資料を使用。必要に応じて適宜配布する。
参考文献	随時紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	福島 和代：看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
毎回、グループメンバーで話し、最終的に研究計画書を作成する。研究方法や論文構成等の基本的な内容については、研究論文要約の発表時に教員が具体的に解説したり、学生が調べて他のメンバーに説明する。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	全体オリエンテーション	事後：テーマについて参考文献等調べる	
2	自分の疑問や気づきの発表(A4紙1枚：全員)、テーマ学習項目の分担	事前：自分の疑問や気づきについてA41枚にまとめ、学生数+教員分を準備する 事後：テーマ学習につて調べる	
3	テーマ学習の発表(A4紙2枚：全員)と討議、文献検索と文献要約オリエンテーション	事前：テーマ学習内容をA42枚にまとめ、人数分を準備する 事後：自分の研究の仮テーマを決め、文献を探して読む	
4	先行研究論文1篇の要約とテーマとの関係性について発表(A4紙2枚：全員)と討議	事前：先行研究論文1篇の要約とテーマとの関係性についてA42枚にまとめ人数分を準備する 事後：意見を基にテーマを縛り込み、上記以外の先行研究論文1篇を探して読む	

授業計画

毎回、グループメンバーで討議し、最終的に研究計画書を作成する。研究方法や論文構成等の基本的な内容については、研究論文要約の発表時に教員が具体的に解説したり、学生が調べて他のメンバーに説明する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	上記以外の先行研究論文1篇の要約とテーマとの関係性について発表（A4紙2枚：全員）と討議	事前：前回以外の先行研究論文1篇の要約とテーマとの関係性についてA42枚にまとめ人数分を準備する 事後：意見を基にテーマを縛り込み、上記以外の先行研究論文1篇を探して読む	
6	上記以外の先行研究論文1篇の要約とテーマとの関係性について発表（A4紙2枚：全員）と討議	事前：前回以外の先行研究論文1篇の要約とテーマとの関係性についてA42枚にまとめ人数分を準備する 事後：意見を基にテーマを縛り込み、上記以外の先行研究論文1篇を探して読む	
7	上記以外の先行研究論文1篇の要約とテーマとの関係性について発表（A4紙2枚：全員）と討議	事前：前回以外の先行研究論文1篇の要約とテーマとの関係性についてA42枚にまとめ人数分を準備する 事後：意見を基にテーマを縛り込み、上記以外の先行研究論文1篇を探して読む	
8	上記以外の先行研究論文1篇の要約とテーマとの関係性について発表（A4紙2枚：全員）と討議	事前：前回以外の先行研究論文1篇の要約とテーマとの関係性についてA42枚にまとめ人数分を準備する 事後：意見を基にテーマを縛り込み、上記以外の先行研究論文1篇を探して読む	
9	上記以外の先行研究論文1篇の要約とテーマとの関係性について発表（A4紙2枚：全員）と討議	事前：前回以外の先行研究論文1篇の要約とテーマとの関係性についてA42枚にまとめ人数分を準備する 事後：研究疑問の整理を行い、研究テーマ決定する	
10	研究疑問の整理、研究テーマ決定の発表（A4紙1枚：全員）と討議	事前：研究疑問の整理、研究テーマをA41枚にまとめ、人数分準備する 事後：今後の方向性(結果の予測と論点)を考える	
11	今後の方向性(結果の予測と論点)の発表（A4紙1枚：全員）と討議	事前：今後の方向性(結果の予測と論点)をA41枚にまとめ、人数分準備する 事後：研究の動機、目的を考える	
12	研究の動機、目的の発表（A4紙1枚：全員）と討議	事前：研究の動機、目的をA41枚にまとめ、人数分準備する 事後：緒言（背景、目的）、方法、文献一覧を整理する	
13	緒言（背景、目的）、方法、文献一覧の発表（A4紙2枚）と討議	事前：緒言（背景、目的）、方法、文献一覧をA42枚にまとめ、人数分準備する 事後：調査内容（アンケートやインタビューの質問内容）を考える。緒言・方法・文献修正する	
14	調査内容（アンケートやインタビューの質問内容）の発表と討議、緒言・方法・文献修正	事前：調査内容（アンケートやインタビューの質問内容）と緒言・方法、文献一覧の修正した資料を人数分準備する 事後：研究計画書と調査用紙を作成する	
15	まとめ、研究計画書と調査用紙の完成	事前：研究計画書と調査用紙を人数分準備する 事後：研究計画書と調査用紙を修正する。研究計画書は提出期日までに提出する	

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0124304809
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	福本 久美子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
福本 久美子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的な看護実践の追求を系統的に学習する者の大学4年間の学習の集大成の位置づけ、看護者として生涯学習の出発点となるよう研究の一連の過程を経験する。 ・研究計画を作成することで、看護者としての研究的な視点を養うことができる。
履修上の注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1) 卒業研究論文を選択する学生は、この卒業研究から発展させること。 2) 文献学習の前に先行文献を読み込み、研究テーマを考えること(180分以上)。 3) 研究方法の学習前に研究方法に関する事前学習を行うこと(90分以上) 4) 研究計画を策定する場合、先行文献を充分調べ、自身で計画案を策定すること(180分以上)。 5) 研究指導後、事後学習を行い学びを深めること(180分以上)。
評価方法	<p>(1)事前学習の実施状況(20%)や成果物としての「研究計画書」の作成(50点)と「報告会」での発表(30点)により評価する。</p> <p>(2)フィードバックは学生間の報告会や自己評価等により行う。</p>
テキスト	特に指定なし。必要時資料配布。
参考文献	足立はるゑ著：看護研究サポートブック(メディカ出版)。必要時適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	福本久美子：保健師としての実務経験

授業計画

授業計画
<p>(1)研究課題(キーワード) ライフスタイル 健康な地域づくり 高齢者の健康 労働者の健康 地域看護 公衆衛生看護</p> <p>(2)授業の展開 1コマ：オリエンテーション 2～5：文献抄読・文献検索 6～7：研究方法の学習 8～11：研究テーマの決定 11～14：研究計画の作成 15：報告会</p> <p>(3)指導方法 個別指導とグループ指導を組み合わせる指導 全体の進行管理のため、あらかじめ卒業研究日を集中的に設定し指導</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0124304811
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	山本 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
山本 恵子

詳細情報

授業の目的・到達目標	研究疑問を持ち、その解決のために文献検討を行い研究疑問を明確化できる。 研究手順とルールの概要を学ぶことができる。
履修上の注意事項	・自主的に研究を進めること。履修の都合上(養護教諭などの実習)、授業の展開計画に添えない場合は、各自計画を立てて持参すること。それをもとに相談・協議の上、研究をすすめる。 ・事前学習:授業展開を参考に自身の研究について検討し、文書を作成し参加すること(60分程度) ・事後学習:意見交換を踏まえて、自身の研究を追加修正すること(90分程度)。
評価方法	研究手順に関することで70点、研究態度で30点の合計100点とする。詳細項目は評価表をもとに説明する。
テキスト	学生の進度に合わせて、適宜紹介する。
参考文献	学生の研究テーマに応じて、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	山本恵子:看護師・保健師として病院勤務

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	「気になること」を話し合う:研究疑問を各自発表		
2	「なぜ気になるのか?」を話し合う:テーマの方向性を検討		
3	研究方法の種類とは?:事例研究、調査研究など研究方法を提示		
4	研究疑問を解決するには?:第3回の講義をもとに研究方法の検討		
5	研究計画書作成:研究計画書作成上の注意		
6	研究計画書作成:ゼミの中で研究計画書を検討		
7	研究計画書作成:ゼミの中で研究計画書を検討		
8	研究計画書作成:ゼミの中で研究計画書を検討		
9	文献レビュー:研究疑問について先行研究をまとめ発表		
10	文献レビュー:研究疑問について先行研究をまとめ発表		
11	文献レビュー:研究疑問について先行研究をまとめ発表		
12	研究計画書の見直し:文献検討を踏まえた修正の必要性を検討		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	研究の実施：調査依頼方法、調査の際の注意など		
14	研究経過および計画書の発表		
15	研究成果の発表・学会発表などにおけるルールなど		

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0124304813
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	二宮 球美
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
二宮 球美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	研究とは何か。を知り説明できる。 看護研究の役割、看護研究の原理と方法を学び、論文作成までのプロセスを学び理解できる。
履修上の注意事項	シラバスに提示された講義演習計画に沿って、テキストの予習および自己課題の準備を行ってこ こと。 自主性・積極性に基づく履修を望みます。オリエンテーション時に示された、研究疑問の整理、文 献レビュー、など適宜事前課題が課される(各1~2時間程度×12回)、事後学習として、グルー プワーク時に課題とされたことをReportする(計3時間程度)分析後の指導は個別指導が多くなります ので、積極的に自らappointmentを取り指導を受け思考してください。
評価方法	シラバスの設定提出物での評価 50%、研究の内容評価 50% グループワークでのフィードバック及び個人指導で適宜フィードバックする。
テキスト	看護研究 原理と方法 D.F.ポーリット、B.P.ハングレー、監修近藤潤子、医学書院、2003.12.
参考文献	ナースのための質的研究入門 ホロウェイ+ウィラー 監訳野口美和子、医学書院、2004.5 これからの看護研究-基礎と応用-第2版、編集小笠原知枝、松木光子、Nouvelle HIROKAWA,2008.6
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	二宮球美 看護師として病院勤務経験を有する

授業計画

授業計画	
<p>研究とは何か。を知り説明できる。看護研究の役割、看護研究の原理と方法を学び、論文作成までのプロセスを学び理解できる。こ を目的として需要計画を立案しています。</p> <p>自主性・積極性に基づく履修を望みます。事前事後学習として、文献検討などで各学生の自己課題明らかにし、継続的な研究の芽が芽 生える努力をしてください。分析後の指導は個別指導が多くなりますので、積極的に自らappointmentを取り指導を受け思考してくだ さい。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	看護研究とは 講義 看護 研究の役割、科学的アプローチが理解で きる	Campusquareに掲示 事前課題をもとに 今後の研究課題をGWする	
2	論文の抄読 講義、演習 教員 提示の論文で行う(1篇) 研究テーマの 仮設定ができる	教員が事前に論文1篇を提示 指示に従い 研究疑問又は論文の感想を持ち寄りGW	
3	看護研究とは 講義 研究 プロセスの概観、文献検索について		
4	論文の抄読 演習 各学生の提示 された論文で行う(2編) 批判的に文献 を読む体験ができる	学生の提示した論文を、メンバー員に配 布指示された手順に従って、まとめてく るGWでは提示した学生が進行役を務め る。研究計画書を書き始める	
5	論文の抄読 演習 各学生の提示 された論文で行う(2編) 批判的に文献 を読む体験ができる	配布指示された手順に従って、まとめて くるGWでは提示した学生が進行役を務め る	
6	論文の抄読 演習 各学生の提 示された論文で行う(2編) 研究テーマ の仮決定ができる	配布指示された手順に従って、まとめて くるGWでは提示した学生が進行役を務め る	

授業計画

研究とは何か。を知り説明できる。看護研究の役割、看護研究の原理と方法を学び、論文作成までのプロセスを学び理解できる。ことを目的として需要計画を立案しています。

自主性・積極性に基づく履修を望みます。事前事後学習として、文献検討などで各学生の自己課題明らかにし、継続的な研究の芽が芽生える努力をしてください。分析後の指導は個別指導が多くなりますので、積極的に自らappointmentを取り指導を受け思考してください。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
7	研究計画書の作成 演習 各学生が研究のプロセスを理解し、研究仮計画書を書くことができる	仮研究計画書を持ち寄り、更に疑問を研究疑問へと考えてくる	
8	研究計画書の作成 演習 各学生が研究のプロセスを理解し、研究計画書を書くことができる		
9	論文のディベート 講義、演習 各個人研究テーマに沿った論文(1篇)を用いて	研究テーマに沿った文献をメンバーへ配布 指示された手順に従いまとめてGW	
10	論文のディベート 講義、演習 各個人研究テーマに沿った論文(1篇)を用いて	研究テーマに沿った文献をメンバーへ配布 指示された手順に従いまとめてGW	
11	論文のディベート 講義、演習 各個人研究テーマに沿った論文(1篇)、研究計画書の提出	研究テーマに沿った文献をメンバーへ配布 指示された手順に従いまとめてGW	
12	測定とデータ収集及び研究計画の修正ができる	研究計画書の完成	
13	測定とデータ収集及び研究計画の修正ができる		
14	測定とデータ収集及び研究計画の修正ができる	研究計画書の修正および研究方法の決定	
15	看護研究とは 講義 分析方法について理解できる		

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0124304816
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	川本 起久子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
川本 起久子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	関心のあるテーマから疑問を明確にできる。文献検討から自己のテーマに関する研究計画書を作成し、研究のプロセスを理解できる。
履修上の注意事項	自主的に取り組むこと。事前学習として、自己のテーマに関するレポートを作成して参加する(120分)。事後学習として、発表時の意見をもとに自己の研究を検討する(120分)。
評価方法	レポート25%、プレゼンテーション25%、研究計画書25%、研究態度25%で評価する。
テキスト	適宜紹介する
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	川本起久子：看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、テーマの確認	事前に自己のテーマを考えてくる(120分)。事後学習としてテーマに関する文献を検索してまとめ、次のゼミで発表する(120分)。	
2	テーマの決定・文献抄読	事前学習として、自己のテーマに関する文献を検索して、まとめる(120分)。事後学習としてテーマに関する発表した文献以外のものをさらに検索してまとめ、次のゼミで発表する(120分)。	
3	文献抄読	事前学習として、自己のテーマに関する文献を検索して、まとめる(120分)。事後学習としてテーマに関する発表した文献以外のものをさらに検索してまとめ、次のゼミで発表する(120分)。	
4	文献抄読	事前学習として、自己のテーマに関する文献を検索して、まとめる(120分)。事後学習としてテーマに関する発表した文献以外のものをさらに検索してまとめ、次のゼミで発表する(120分)。	
5	文献抄読、研究方法の検討	事前学習として、自己のテーマに関する文献を検索して、まとめる(120分)。事後学習としてテーマに関する研究方法を検討する。研究方法を考えて参考になる文献をまとめ、次のゼミで発表する(120分)。	
6	文献抄読、研究方法の検討	事前学習として、自己の研究方法について参考になる文献を検索して、まとめる(120分)。事後学習としてテーマに関する研究方法を検討し、次のゼミに向けて研究計画書を作成し、次のゼミで発表する。(120分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	研究計画書の作成	事前学習として、次のゼミに向けて研究計画書を作成する（120分）。事後学習として、研究計画書を修正する（120分）。	
8	研究計画書の修正、依頼文・調査票について	事前学習として、研究計画書を修正し、依頼文と調査票を作成し、次のゼミで発表する（120分）。事後学習として、研究計画書の見直しと依頼文・調査票を検討するために新たな文献を検索してまとめ、次のゼミで発表する（120分）。	
9	文献抄読、依頼文・調査票の検討	事前学習として新たな文献を検索してまとめ、ゼミで発表する（120分）。事後学習として文献を参考にして、依頼文・調査票を見直し、次のゼミで発表する（120分）。	
10	依頼文・調査票の検討・修正	事前学習として、依頼文・調査票を準備し、ゼミで発表できるように準備する（120分）。事後学習として依頼文・調査票を完成させ、分析方法を考える（120分）。	
11	調査票の完成、分析方法検討	事前学習として、調査票を完成させて、ゼミで発表する（120分）。事後学習として分析方法を検討と依頼先を探す（120分）。	
12	調査票の確認、依頼先確認	事前学習として、依頼先を決定し、ゼミで報告できるようにする（120分）。事後学習として、調査全体の確認を行う（120分）。	
13	調査全体の最終確認	事前学習として、調査全体の資料を提出できるように準備する（120分）。事後学習として調査の実施方法を確認する（120分）。	
14	結果・分析・考察について	事前学習として、結果・分析・考察の意味を学習しておく（120分）。事後学習として、教員の配布資料を復習する（120分）。	
15	研究成果発表	事前学習として、研究結果までの発表資料を作成する（120分）。事後学習として、発表後の意見をもとに修正する（120分）。	

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0124304817
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	上妻 尚子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
上妻 尚子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>本授業は、研究を行い、論文をまとめるために必要な具体的な知識を習得し、研究の計画、実施、成果のまとめという一連の研究方法を学習することを目的とする。</p> <p>学生の到達目標は以下の通りである。</p> <p>自らの興味・関心・疑問に基づいて研究テーマを決定し、テーマに基づいた文献検索を行なうことができる。</p> <p>検索した論文のレジメを作成し、論文をクリティークすることができる。</p> <p>検索した文献を基に自身の研究方法を明確にし、研究計画書を作成することができる。</p> <p>からを通して論理的な思考を構築することができる。</p>
履修上の注意事項	<p>論文詳読 から は、学生が分担して担当します。担当学生は、論文を選択し、当該論文の要約を作成します(A4 1枚)。論文抄読の際には、メンバー全員で、提示された論文に対して緒言から結論までの内容の妥当性と一貫性についてクリティークを行い、積極的にディスカッションを行います。</p>
評価方法	<p>論文詳読およびプレゼンテーション時の資料(30%)、プレゼンテーション(20%)、研究手順および内容(30%)、受講態度(詳読会や意見交換時の意見発表等)(20%)より評価する。詳細は、オリエンテーション時に説明する。フィードバックとして、論文詳読等のプレゼンテーション内容については、その都度解説する。</p>
テキスト	適宜紹介する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	上妻尚子：看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション 研究テーマとして考えていることを発表	事前：これまで経験した実習で疑問に感じたことをノートにまとめる(2時間)。 事後：講義内容をもとに自分の研究テーマを絞り込む(2時間)	
2	文献検索 論文クリティークとは	事前：文献検索方法と論文クリティークについて調べる(2時間)。 事後：講義内容をもとに文献検索方法と論文クリティークについて、今後の研究にいかしていけるようにノートにまとめる(2時間)。	
3	論文詳読 論文は教員提示 ディスカッション 緒言と方法の妥当性の検討	事前：提示された論文を熟読し、分からない事項を調べる(2時間)。 事後：講義内容をもとに、論文詳読から学んだことをノートに整理する(2時間)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	論文詳読 論文は教員提示 ディスカッション 結果と考察の妥当性と論文内容の一貫性の検討	事前：提示された論文を熟読し、分からない事項を調べる（2時間）。 事後：講義内容をもとに、論文詳読から学んだことをノートに整理する（2時間）。	
5	文献検索結果の報告・意見交換 グループワーク	事前：自分の研究に関する文献検索をする（2時間）。 事後：グループワークでの学びを基に、さらに文献検索を行う（2時間）。	
6	論文詳読 ディスカッション 緒言内容の妥当性の検討	事前：提示された文献を熟読し、分からない事項を調べる（2時間）。 事後：論文詳読で学んだことをノートに整理する（2時間）。	
7	論文詳読 ディスカッション 方法の妥当性の検討	事前：提示された文献を熟読し、分からない事項を調べる（2時間）。 事後：論文詳読で学んだことをノートに整理する（2時間）。	
8	論文詳読 ディスカッション 結果の提示方法の妥当性の検討	事前：提示された文献を熟読し、分からない事項を調べる（2時間）。 事後：論文詳読で学んだことをノートに整理する（2時間）。	
9	論文詳読 ディスカッション 結果内容の妥当性の検討	事前：提示された文献を熟読し、分からない事項を調べる（2時間）。 事後：論文詳読で学んだことをノートに整理する（2時間）。	
10	研究計画の発表 プレゼンテーション	事前：研究計画書を作成する（2時間） 事後：メンバーの発表から学んだことを含めて、自分の研究計画を見直す（2時間）	
11	研究計画の意見交換 ディスカッション	事前：研究計画書を修正する（2時間） 事後：メンバーからの意見をもとに、自分の研究計画を見直す（2時間）	
12	論文詳読 考察の妥当性の検討	事前：提示された文献を熟読し、分からない事項を調べる（2時間）。 事後：論文詳読で学んだことをノートに整理する（2時間）。	
13	論文詳読 論文内容の一貫性の検討	事前：提示された文献を熟読し、分からない事項を調べる（2時間）。 事後：論文詳読で学んだことをノートに整理する（2時間）。	
14	研究計画修正	事前：これまでの論文抄読などをもとに、再度自分の研究計画を修正する（2時間） 事後：講義内容をもとに、再度自分の研究計画を修正する（2時間）	
15	研究計画再発表 プレゼンテーション提出	事前：研究計画を立案し、プレゼンテーションの準備をする（2時間） 事後：研究計画に基づき、研究実施に向けて準備をする（2時間）。	

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0124304818
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	中川 武子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
中川 武子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	【科目目的】研究に関する知識を身につけ、研究課題を解決するために必要な基礎的能力を養う。 【到達目標】関心がある研究テーマを明確にできる。研究の一連の流れを理解することができる。研究方法論で学んだ知識を活かし研究計画書を作成することができる。
履修上の注意事項	学生間で積極的に意見交換を行う。 研究に必要な論文・参考資料を常に整理すること。 事前学習：授業展開計画を基に、研究計画書を文章化して臨むこと。(120分以上) 事後学習：意見交換を踏まえ、研究計画書の加筆・修正をすること(120分以上)
評価方法	論文の抄読・発表資料(30%)、発表(20%)、研究計画書作成(50%) 研究計画書などは、その都度コメントを返却します。
テキスト	小笠原喜康著 最新版 大学生のためのレポート・論文術 講談社現代新書
参考文献	石井京子著 ナースのための質問紙調査とデータ分析 医学書院
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	中川：保健師として保健センター勤務経験 看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
1. グループディスカッションとレポート発表を中心のゼミ運営に積極的に参加することができる。 2. 研究の一連の過程を理解し、そのうえで卒業研究論文に対して取り組む姿勢を持つことができる。 3. 先行研究の読解力を身につけ、エビデンスを活用することができる。 注) 卒業研究論文のシラバスも参照のこと。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	顔合わせ・導入・日程確認	事前：テキストの購入し目次を閲覧しておくこと 事後：講義計画と自己の研究計画日程を整理すること	
2	テーマに近い論文・過去の卒業論文の紹介	事前：テキストを熟読しておくこと 事後：興味のあるトピックスを記述しておくこと	
3	自分の問題意識について	事前：興味のあるトピックスを1つに絞っておくこと 事後：トピックスに関係するキーワードを記述しておくこと	
4	キーワードの説明	事前：興味のあるトピックスとキーワードを決めておくこと 事後：キーワードを決め文献検索に臨むこと	
5	文献検索の実施	事前：検索のデータベースを決めておくこと 事後：文献検索の結果をまとめておくこと	
6	文献サマリーの作成	事前：文献検索で得られた論文のサマリーを作成すること 事後：収集した論文の内容を読み込むこと	

授業計画

1. グループディスカッションとレポート発表を中心のゼミ運営に積極的に参加することができる。
2. 研究の一連の過程を理解し、そのうえで卒業研究論文に対して取り組む姿勢を持つことができる。
3. 先行研究の読解力を身につけ、エビデンスを活用することができる。

注) 卒業研究論文のシラバスも参照のこと。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	研究計画の作成方法の理解	事前：研究計画書の形式を理解すること 事後：研究計画書の形式に慣れておくこと	
8	研究目的の明確化	事前：研究目的を決めておくこと 事後：研究目的の裏付ける文献を探すこと	
9	研究方法の吟味・検討	事前：研究デザインを決めておくこと 事後：研究デザインを具体的に調べること	
10	研究対象の確定	事前：研究対象を決めておくこと 事後：研究対象へのアプローチを検討すること	
11	研究方法の検討	事前：具体的な研究方法を決めておくこと 事後：可能な研究方法であるか再検討すること	
12	研究方法の確定	事前：具体的な研究方法を決めておくこと 事後：具体的な研究方法を記述すること	
13	分析方法の確定	事前：研究の分析方法を決めておくこと 事後：分析方法に関する学習をすること	
14	研究計画書を仕上げる	事前：研究計画書を記述すること 事後：研究計画書を具体的に修正すること	
15	ゼミ報告会で進捗状況の発表	事前：研究計画書の発表準備をすること 事後：研究計画書の修正をすること	

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0124304820
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	松岡 聖美
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
松岡 聖美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>研究的視点、論理的思考を深め、看護研究を遂行する基礎的能力を習得することを目的とする</p> <p>目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グループディスカッションとレポート発表を中心としたゼミ運営に積極的に参加することができる 2. 先行研究のエビデンスを活用することができる 3. 研究計画書を作成できる 4. 他者と協力し、困難に対処することができる <p>注) 卒業研究論文のシラバスも参照のこと</p> <p>当然ながら、事前課題・事後課題に真摯に取り組む必要がある</p>
履修上の注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文献抄読のために文献を詳読し文献概要を他者へ説明できる、もしくは他者からの質問に答えることができるように準備をしておくこと。文献サマリー作成、文献の複写等準備を行うこと(180分) 2. グループディスカッションでは、必ず自分の考えを述べること 3. 上記の2つを満たして、出席とみなす 4. 他者の意見に耳を傾ける姿勢を持つこと 5. ゼミで学んだことは、次回の準備時、ゼミ時に実践すること
評価方法	<p>ディスカッションを含めた研究・ゼミ活動への取り組み状況(50%)、提出物(50%)</p> <p>毎回の授業中に口頭で、もしくは授業後にメールでフィードバックを行う</p>
テキスト	必要時指示する
参考文献	<p>黒田裕子の看護研究 Step by Step (医学書院)</p> <p>文献レビューのきほん (医歯薬出版)</p> <p>看護研究ガイドマップ (医学書院)</p> <p>早川 和生編 . 看護研究の進め方 論文の書き方 (第2版) (医学書院)</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. グループディスカッションとレポート発表を中心のゼミ運営に積極的に参加することができる。 2. 研究の一連の過程を理解し、そのうえで卒業研究論文に対して取り組む姿勢を持つことができる。 3. 先行研究の読解力を身につけ、エビデンスを活用することができる。 <p>注) 卒業研究論文のシラバスも参照のこと。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	イントロダクション	<p>事前: 履修状況・国家試験準備・就職活動について記載してくる(1時間)</p> <p>事後: 自己の関心事を記載する(3時間)</p>	顔合わせ 日程確認
2	小児看護に関する論文・過去の卒業論文の紹介	事後: 自分の関心事に近い文献検索(4時間)	
3	自分の問題意識・関連文献の発表	<p>事前: 文献内の分からない用語を調べてくる(1時間)</p> <p>事後: 研究テーマの仮決定・キーワード決定(3時間)</p>	
4	キーワードの説明	事後: 研究テーマ・キーワード変更修正(2時間)	

授業計画

1. グループディスカッションとレポート発表を中心のゼミ運営に積極的に参加することができる。
2. 研究の一連の過程を理解し、そのうえで卒業研究論文に対して取り組む姿勢を持つことができる。
3. 先行研究の読解力を身につけ、エビデンスを活用することができる。

注) 卒業研究論文のシラバスも参照のこと。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	文献検索の実施	事後：決定した研究テーマに得した文献検索から、関連文献を読み、文献内の分からない用語を調べてくる（6時間）	
6	文献サマリーの作成	事後：文献サマリーの作成（4時間）	
7	文献抄読	事前：他者の提示した関連文献を読む（1時間） 事後：文献サマリー作成（3時間）	
8	文献抄読（クリティーク）	事前：他者の提示した関連文献を読む（1時間） 事後：文献サマリー作成（3時間）	
9	研究計画の作成	事後：研究背景の作成（4時間）	
10	研究背景の発表	事後：研究方法の作成（4時間）	
11	研究方法の吟味・検討	事後：研究計画の追加修正（4時間）	
12	研究対象の確定	事後：研究計画の追加修正（4時間）	
13	分析方法の確定	事後：研究計画の修正（4時間）	
14	研究方法の確定	事後：研究計画書の修正（4時間）	
15	ゼミ報告会で進捗状況の発表	事前：発表会の方法決定・準備（4時間）	

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0124304823
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	牛之濱 久代
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
牛之濱 久代	

詳細情報

授業の目的・到達目標	研究方法論で学習したことを基に研究課題の明確化、研究方法の選択、研究計画書の作成を行い、研究の基本的プロセスを学ぶ。 研究手順およびルールの概要を理解することができる。 自分の興味・関心・疑問に思うことについて、文献検索・文献検討を行い、研究課題を明確にし、研究計画書を作成することができる。
履修上の注意事項	・履修の都合上、授業計画通りに展開できない場合は、各自の状況に応じて自主的に研究を進めていく。 ・研究方法論をはじめ、既習学習内容を参考に自身の研究について検討し、計画書を作成すること。 ・ゼミ生間の意見交換を通して、自他の研究に対する検討を行い、自身の研究に生かせるようにすること。
評価方法	研究への取り組み姿勢：40点、研究計画書：60点とする。
テキスト	ゼミの内容及び学生の進度に合わせ、適宜紹介する。
参考文献	学生のテーマやゼミの内容に応じて適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	牛之濱久代：看護師、助産師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	自分の興味・関心のある事柄、疑問に思うことについて各自発表する	事前：興味関心のある事柄をまとめておく(2時間) 事後：興味関心のある事柄に関する文献を検索する(2時間)	
2	テーマの方向性の検討	事前：研究課題を明確にするためのプロセスについて下調べしておく。(2時間) 事後：研究課題を考える(2時間)	
3	研究方法の種類について	事前：研究課題と研究方法について調べる(2時間) 事後：自分の研究課題に合った研究方法を考える(2時間)	
4	研究課題を解決するための文献検索・検討；各自のテーマに沿って文献検索し検討結果を発表する	事前：検索した文献を読み検討内容をまとめる(2時間) 事後：検討した文献のリストを作成し、さらに必要な文献を検索する(2時間)	
5	研究課題を解決するための文献検索・検討；各自のテーマに沿って文献検索し検討結果を発表する	事前：検索した文献を読み検討内容をまとめる(2時間) 事後：検討した文献のリストを作成し、さらに必要な文献を検索する(2時間)	
6	研究課題を解決するための文献検索・検討；各自のテーマに沿って文献検索し検討結果を発表する	事前：検索した文献を読み検討内容をまとめる(2時間) 事後：検討した文献のリストを作成し、さらに必要な文献を検索する(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	研究課題を解決するための文献検索・検討；各自のテーマに沿って文献検索し検討結果を発表する	事前：検索した文献を読み検討内容をまとめる（2時間） 事後：検討した文献のリストを作成し、さらに必要な文献を検索する（2時間）	
8	研究課題を解決するための文献検索・検討；各自のテーマに沿って文献検索し検討結果を発表する	事前：検索した文献を読み検討内容をまとめる（2時間） 事後：検討した文献のリストを作成し、さらに必要な文献を検索する（2時間）	
9	研究実施計画を立てる	事前：研究計画立案の目的、立案方法について調べる（2時間） 事後：研究計画を立案する（2時間）	
10	研究計画書の書き方について	事前：研究計画書の書き方を復習しておく（2時間） 事後：研究計画書を書く（2時間）	
11	研究計画案と見直し	事前：研究計画書案を作成し、疑問点を明確にしておく（2時間） 事後：疑問点を明らかにし、書き進める（2時間）	
12	研究計画案と見直し	事前：研究計画書案を作成し、疑問点を明確にしておく（2時間） 事後：疑問点を明らかにし、書き進める（2時間）	
13	研究計画立案と見直し	事前：研究計画書案を作成し、疑問点を明確にしておく（2時間） 事後：疑問点を明らかにし、書き進める（2時間）	
14	研究計画書の作成と修正	事前：研究計画書を作成し、疑問点を明らかにしておく（2時間） 事後：計画書の修正を行う（2時間）	
15	研究計画書の作成と修正	事前：研究計画書を作成し、疑問点を明らかにしておく（2時間） 事後：計画書の修正を行う（2時間）	

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0124304824
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	大橋 知子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
大橋 知子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>授業目的：本科目は看護師の立場から看護師の活動の場で生じている問題解決の糸口として、先行研究の収集方法および検討手法を学ぶ。さらに、先行研究で解決できていない問題について、どのような手法を用いて検討すると解決につながるかを考察する。</p> <p>到達目標</p> <p>1) 研究の手順およびルールの概要を理解できる。 2) 自分の興味・関心・疑問に思うことについて文献検索、検討を行い研究課題を明確にできる。 3) 1) 2) を踏まえ、研究計画を立案することができる。</p>
履修上の注意事項	<p>1) 自主的に進めること。 2) ゼミ間の意見交換を通じて研究検討を行うこと。 3) 自己のテーマに関する文献を収集し、熟読すること。 4) 発表への取り組み、カンファレンスを重要視しています。欠席しないでください。</p>
評価方法	<p>研究への取り組み40%、実施状況60%</p> <p>研究への取り組みはコメントとしてフィードバックします。</p>
テキスト	ゼミ生の進度に合わせて紹介する。
参考文献	<p>大木 秀一：文献レビューのきほん 看護研究・看護実践の質を高める 黒田 裕子：黒田 裕子の 看護研究 Step by Step 第5版</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	大橋知子：看護師・助産師として病院での勤務あり

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	興味・関心のある事柄についてプレゼンテーション	事前：自身の興味ある事柄について、興味関心を持った理由、どのような事柄を今後知りたいのかについて15分程度で発表できるように準備する。(2時間)事後はA41枚にまとめ、提出する。(2時間)	資料作成はどのような方法でも構いません。
2	テーマの方向性の検討	事前：テーマに沿って、先行文献を検索する。(2時間)事後：テーマに沿って、先行文献を検索し、興味関心に近い文献を3文献読む(2時間)	
3	文献検索・検討・プレゼンテーション	事前：文献レビュー資料を作成する。(2時間)事後：文献レビュー資料を修正する。発表者にメッセージを送る。(2時間)	4回の発表の中で1回発表を行う。
4	文献検索・検討・プレゼンテーション	事前：文献レビュー資料を作成する。(2時間)事後：文献レビュー資料を修正する。発表者にメッセージを送る。(2時間)	
5	文献検索・検討・プレゼンテーション	事前：文献レビュー資料を作成する。(2時間)事後：文献レビュー資料を修正する。発表者にメッセージを送る。(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	文献検索・検討・プレゼンテーション	事前：文献レビュー資料を作成する。（2時間）事後：文献レビュー資料を修正する。発表者にメッセージを送る。（2時間）	
7	研究計画書の書き方について	事前：研究計画書を項目に沿って記載する。（2時間）事後：研究計画書を追加修正する。（2時間）	
8	研究計画書作成	事前：研究計画書を作成し、発表資料を作成する。（2時間）事後：教員からコメントを受け、研究計画書を追加修正する。（2時間）	
9	研究計画書作成	事前：研究計画書を作成し、発表資料を作成する。（2時間）事後：教員からコメントを受け、研究計画書を追加修正する。（2時間）	
10	研究計画書に基づくプレゼンテーション	事前：研究計画書を作成し、発表原稿を作成する。（2時間）事後：ゼミメンバーからコメントを受け、研究計画書を追加修正する。（2時間）	2回の内1回は発表を行う
11	研究計画書に基づくプレゼンテーション	事前：研究計画書を作成し、発表原稿を作成する。（2時間）事後：ゼミメンバーからコメントを受け、研究計画書を追加修正する。（2時間）	
12	研究計画書修正	事前：研究計画書を修正する。（2時間）事後：教員からコメントを受け、研究計画書を追加修正する。（2時間）	
13	調査票等作成	事前：研究計画に必要な資料を作成する。（2時間）事後：教員からコメントを受け、資料等を追加修正する。（2時間）	
14	研究成果のまとめと発表	事前：発表資料を作成する。（2時間）事後：研究計画書および資料を修正する。発表者にメッセージを送る。（2時間）	2回の内1回は発表を行う
15	研究成果のまとめと発表	事前：発表資料を作成する。（2時間）事後：研究計画書および資料を修正する。発表者にメッセージを送る。（2時間）	

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0124304825
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	緒方 浩志
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
緒方 浩志	

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 既習学問を通して得た知識を活用しながら看護実践を研究的視点で捉え、自己の研究課題を明確にする。 2. 研究疑問を解決するために必要なプロセスを、研究計画作成の過程を通してを学ぶことができる。
履修上の注意事項	自主的に研究に取り組み、計画的に進めること。
評価方法	研究への取り組み態度：40点、研究計画書：60点
テキスト	ゼミ生の研究内容や進度に合わせて、適宜紹介する。
参考文献	ゼミ生の研究内容や進度に合わせて、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス：研究の意義・概要と進め方	事前：興味や関心・疑問のある事柄についてまとめる(120分) 事後：講義を受けて興味や関心・疑問のある事柄について再検討する(120分)	
2	研究テーマの検討：疑問・動機の検討	事前：興味や関心・疑問のある事柄についてプレゼンテーションできるようまとめる(120分) 事後：プレゼンテーションをとおして、自身の研究課題について検討する(120分)	
3	研究テーマの検討：キーワードと文献検索	事前：研究課題からキーワードを検討する。また、文献検索について調べる(120分) 事後：キーワードをもとに、研究課題に沿った文献検索を行う。	
4	文献抄読会	事前：検索した文献についてまとめる(120分) 事後：文献の追加検索を行い、内容を検討する(120分)	
5	文献抄読会	事前：検索した文献についてまとめる(120分) 事後：文献の追加検索を行い、内容を検討する(120分)	
6	文献抄読会	事前：検索した文献についてまとめる(120分) 事後：文献の追加検索を行い、内容を検討する(120分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	研究計画書の書き方について	事前：研究計画書の書き方について調べておく（120分） 事後：研究計画書の書き方について復習しておく（120分）	
8	研究計画書作成：研究背景と目的	事前：研究背景および目的についてまとめる（120分） 事後：研究背景および目的について再検討する（120分）	
9	研究方法の検討：研究デザイン・対象者と方法	事前：研究デザインについて調べ、対象者や方法についてまとめる（120分） 事後：対象者および方法について再検討する（120分）	
10	研究方法の検討：分析方法	事前：分析方法について調べ、研究内容にあった分析方法が考える（120分） 事後：分析方法について再検討する（120分）	
11	倫理的配慮の検討	事前：研究における倫理と倫理的配慮について調べる（120分） 事後：研究方法に沿った倫理的配慮について再検討する（120分）	
12	研究計画書の作成	事前：研究計画書についてまとめる（120分） 事後：研究計画を再検討し疑問をまとめる（120分）	
13	研究計画書の検討・修正	事前：研究計画書についてまとめる（120分） 事後：研究計画を再検討し疑問をまとめる（120分）	
14	研究計画書の検討・修正	事前：研究計画書についてまとめる（120分） 事後：研究計画を再検討し疑問をまとめる（120分）	
15	研究計画書の発表	事前：研究計画書についてまとめる（120分） 事後：研究計画を再検討し疑問をまとめる（120分）	

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0124304826
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	島村 美香
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
島村 美香	

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護や医療保健領域における事象から関心のあるテーマを選び、問題を明確化できる。また、文献を読み解きながら、問題や疑問を解決する研究方法や論文の形式を学び、研究計画書をまとめることができる。
履修上の注意事項	・テーマに関する文献を熟読し、得られた知見をグループワークで発表する、または発表を聞いて自分の意見を述べるなど積極的に参加してください。 ・ゼミでの役割を協働し責任をもって果たしましょう。 ・適宜抄読会を行いますので事前に準備をして授業にのぞんでください。
評価方法	参加態度10%、研究計画書90%で評価する。 フィードバックは意見交換、個別指導で随時行います。
テキスト	テキストの指定はしない。
参考文献	牧本清子・山川みやえ 編著：よくわかる看護研究論文のクリティーク. 日本看護協会出版 第2版 大木修一 著：看護研究・看護実践の質を高める文献レビューの基本. 医歯薬出版株式会社 第1版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	島村美香：看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究の構造について 2. 研究テーマを考える 1)疑問と動機 3. 研究テーマを考える 2)疑問と動機 4. 研究テーマを考える 3)文献検索 5. 研究の背景をまとめ目的を記述する1) 6. 研究の背景をまとめ目的を記述する2) 7. 研究方法の選択と記述方法1) 8. 研究方法の選択と記述方法2) 9. 分析方法の選択と記述方法1) 10. 分析方法の選択と記述方法2) 11. 研究倫理と倫理的配慮 12. 研究計画書作成1) 13. 研究計画書作成2) 14. 研究計画書の発表1) 15. 研究計画書の発表2) <p>・事前学習：授業展開を参考に自身の研究について検討し、文書を作成し参加すること(120分程度)。 ・事後学習：意見交換を踏まえて、自身の研究を追加修正すること(120分程度)。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0124304901
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	上田 智之
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
上田 智之

詳細情報

授業の目的・到達目標	卒業研究で作成した研究計画書に基づいて、自己の関心のあるテーマを科学的に探究し、研究論文を作成する
履修上の注意事項	主体的に学習を深め、卒業研究論文を完成させること。 年間計画を各自で立案して計画的に進め、指定された方法で期日までに提出すること。
評価方法	参加態度30%、発表30%、研究論文50%
テキスト	適宜、紹介する。
参考文献	適宜、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	上田智之：看護師として精神科病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション	事前：授業前に看護研究について(120分)。 事後：オリエンテーションを受け資料や講義ノートを用い振り返りを行いながら理解を深める(120分)。	
2	文献検討	事前：自己に関心のあるテーマについて文献検索をする(120分)。 事後：検討した文献の振り返りを行う(120分)。	
3	文献検討	事前：自己に関心のあるテーマについて追加して文献検索をする(120分)。 事後：検討した文献の振り返りを行う(120分)。	
4	文献検討	事前：自己に関心のあるテーマについて追加して文献検索をする(120分)。 事後：検討した文献の振り返りを行う(120分)。	
5	文献検討	事前：自己に関心のあるテーマについて追加して文献検索をする(120分)。 事後：検討した文献の振り返りを行う(120分)。	
6	研究計画書修正	事前：文献から研究背景を検討し、研究計画書を立案する(120分)。 事後：研究計画書を振り返り修正する(120分)。	
7	研究計画書修正	事前：研究計画書を作成する(120分) 事後：検討した内容を振り返り、得られた課題について振り返り修正をする(120分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	研究計画書発表	前：研究計画書の発表準備をする（120分） 事後：検討した内容を振り返り、得られた課題について振り返りをする（120分）。	
9	研究計画書発表	前：研究計画書の発表準備をする（120分） 事後：検討した内容を振り返り、得られた課題について振り返りをする（120分）。	
10	研究実施	事前：研究計画書に沿って、研究を実施する（120分） 事後：自己の課題について振り返る（120分）	
11	研究実施	事前：研究計画書に沿って、研究を実施する（120分） 事後：自己の課題について振り返る（120分）	
12	データ整理	事前：収集したデータの整理を実施する（120分）。 事後：授業内容を振り返り、自己の課題を解決する（120分）。	
13	データ整理	事前：収集したデータの整理を実施する（120分）。 事後：授業内容を振り返り、自己の課題を解決する（120分）。	
14	分析方法の検討	事前：研究における分析方法を学習する（120分） 事後：検討した内容を振り返り、研究方法を考える（120分）。	
15	分析方法の検討	事前：検討した内容を振り返り、研究方法を考える（120分）。 事後：選択した分析方法の妥当性を振り返る（120分）	
16	分析実施	事前：分析過程を学習し、分析を実施する（120分） 事後：分析した内容を振り返る。	
17	分析実施	事前：分析過程を学習し、分析を実施する（120分） 事後：分析した内容を振り返る。	
18	分析の妥当性の検討	事前：分析結果を確認し、妥当性を検討する（120分）。 事後：課題を振り返り学習する（120分）。	
19	分析の妥当性の検討	事前：分析結果を確認し、妥当性を検討する（120分）。 事後：課題を振り返り学習する（120分）。	
20	研究論文の作成：結果	事前：自己の研究結果に応じた結果の書き方を学習に、結果を作成する（120分） 事後：自己の課題を振り返り、結果を修正する（120分）	
21	研究論文の作成：結果	事前：自己の研究結果に応じた結果の書き方を学習に、結果を作成する（120分） 事後：自己の課題を振り返り、結果を修正する（120分）	
22	結果の発表	事前：結果の発表資料を作成する。 事後：検討した内容から課題を抽出し、修正する（120分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
23	研究論文の作成：考察	事前：考察の書き方を学習に、結果を作成する（120分） 事後：自己の課題を振り返り、考察を修正する（120分）	
24	研究論文の作成：考察	事前：自己の課題を振り返り、考察を修正する（120分） 事後：考察を修正し、発表資料を作成する（120分）。	
25	考察の発表	事前：発表資料を作成する（120分）。 事後：課題を明らかにし、解決する（120分）。	
26	研究の限界と課題	事前：自己の研究の限界と課題を検討する（120分）。 事後：自己の課題から研究の限界と課題を修正する（120分）	
27	成果発表	事前：発表資料を作成する（120分）。 事後：自己の課題を修出する（120分）。	
28	研究論文修正	事前：課題から研究論文の修正をする（120分） 事後：検討内容を参考に論文を修正する。（120分）	
29	研究論文修正・提出	事前：検討内容を参考に論文を修正する。（120分） 事後：全体を振り返る（120分）	
30	まとめ	事前：研究過程を振り返り自己の課題を考える（120分） 事後：全体を通しての自己にとっての研究の意味を考える（120分）	

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0124304902
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	3年間で修得した基礎・専門知識や経験をもとに、自ら考える自主性や主体的行動力、思考力を活用して問題解決にあたり、総合的な判断力を積み上げることを目的に、卒業研究を行う。 幅広い臨床・研究領域における新しい学際的知見を駆使しながら研究を進め、その過程を通して、広い視野で論理的に考える力、データを分析し適切に説明できる力、論文にまとめる力を身につける。
履修上の注意事項	自主性を重視するが、分からないことや判断に迷うことがあれば、いつでも相談すること。 事前学習として各週の内容に沿った準備を行い、事後学習として授業時間内に終わらなかった部分を進めること。 (合計3~4時間) 進捗状況によっては計画を修正する可能性もある。
評価方法	研究を進める過程での真摯な姿勢を重視する。 研究の過程における取り組み(50%)、発表会・報告会・論文での成果(50%)を評価する。 進捗報告やディスカッションの際にフィードバックを行う。
テキスト	適宜紹介する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>問題解決型学習としてグループワーク等を取り入れながら、以下の内容に沿って進める。</p> <p>第1週 オリエンテーション、研究テーマの検討 第2週 研究倫理について 第3週 文献検索・情報収集 第4週 研究テーマの決定 第5週 研究デザインの検討、研究の準備、研究手法の確認 第6週 研究計画書の作成 第7~9週 研究の実施、データ収集 第10週 データの整理、統計解析、図表の作成 第11週 進捗報告、ディスカッション 第12~15週 研究の実施、データ収集 第16週 データの整理・統計解析、図表の作成 第17週 進捗報告、ディスカッション 第18週 研究結果のまとめ 第19週 研究結果をふまえた考察 第20週 研究論文(序論、研究方法)草稿の検討 第21週 研究論文(結果)草稿の検討 第22週 研究論文(考察)草稿の検討 第23週 研究発表要旨の作成 第24週 研究発表プレゼンテーション資料の作成 第25週 発表会 第26~29週 研究論文の作成 第30週 報告会</p> <p>各週の事前・事後学修をそれぞれ2時間程度行う。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0124304904
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	杉野 由起子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
杉野 由起子

詳細情報

授業の目的・到達目標	研究目的：研究計画書に基づき研究テーマを科学的に探求し論文を作成することができる。 研究目標： 研究計画に基づいて調査することができる。 研究の目的に対応した結果を適切に分析し記述することができる。 研究の目的と結果に対応した考察を適切に記述することができる。 研究の限界と課題を導きだし記述することができる。 論文作成基準を基に卒業研究論文を作成することができる。
履修上の注意事項	論文完成までの計画を立てて自主的に進めていき、論文を完成させること 他の学生の意見や先行研究、教員の助言を参考に柔軟な思考で除むこと 各自で年間計画を立て、指定された作成基準で記述し期限を守ること
評価方法	研究論文60%、参加態度20%、発表20%
テキスト	・山川みやえ, 牧本清子 編著：よくわかる看護研究論文のクリティーク, 日本看護協会出版会
参考文献	・安部陽子 訳：看護研究のための文献レビュー マトリックス方式, 医学書院 ・大木修一 著：看護研究・看護実践の質を高める文献レビューの基本, 医歯薬出版株式会社
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	看護師として実務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	研究の構造について	事前：配布資料を熟読する(120分) 事後：興味関心のある文献を探し読む(120分)	
2	研究論文の読み方	事前：入手した文献の内容をまとめる(120分) 事後：さらに文献を検索し読みまとめる(120分)	
3	研究背景の要素	事前：入手した文献をまとめる(120分) 事後：興味関心のある内容を研究テーマに発展させて考える(120分)	
4	研究テーマを考える	事前：文献を熟読し研究テーマを考える(120分) 事後：テーマを絞り込み研究タイトルをいくつか考える(120分)	
5	研究の背景をまとめ目的と意義を記述する	事前：研究背景に使用する文献を選択する(120分) 事後：助言を基に研究背景を修正する	
6	研究の背景をまとめ目的と意義を記述する	事前：文献を読み、研究背景から目的までの論理一貫性についてクリティークする(120分) 事後：研究の背景の修正(120分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	研究方法の選択	事前：研究種別のクリティークワークシートを確認する（120分） 事後：自分のテーマにあった研究方法を考える（120分）	
8	研究方法の選択	事前：自分のテーマに合った研究方法を考え決定する（120分） 事後：研究方法の修正（120分）	
9	研究方法の選択と記述	事前：研究方法を修正し疑問点を明確にする（120分） 事後：研究方法の修正（120分）	
10	研究方法の選択と記述	事前：クリティーク・ワークブックを基に研究方法の内容を確認する（120分） 事後：研究方法の修正（120分）	
11	研究倫理と倫理的配慮	事前：研究倫理について配布資料熟読（120分） 事後：自分の研究に必要な倫理的配慮を考える（120分）	
12	研究計画書作成	事前：研究計画書を作成する（120分） 事後：研究計画書追加・修正（120分）	
13	研究計画書作成	事前：研究計画書を作成する（120分） 事後：研究計画書追加・修正（120分）	
14	研究計画書作成状況の報告	事前：研究計画書の疑問点や不足を整理する（120分） 事後：指導や助言を基に追加修正する（120分）	
15	研究計画書作成状況の報告	事前：研究計画書の疑問点や不足を整理する（120分） 事後：指導や助言を基に追加修正する（120分）	
16	研究実施（データ収集）	事前：論文作成までのスケジュール作成（120分） 事後：助言を基に計画を修正し調査開始（120分）	
17	研究実施（データ収集）	事前：研究ノートに進捗状況をまとめる（120分） 事後：助言を基に追加修正する（120分）	
18	研究の進捗状況報告	事前：研究ノートの記述と発表準備（120分） 事後：助言を基に修正する（120分）	
19	研究結果のまとめと分析	事前：研究ノートと結果の整理（120分） 事後：助言を基に修正（120分）	
20	研究結果のまとめと分析	事前：研究ノートと結果の整理（120分） 事後：助言を基に修正（120分）	
21	図・表の書き方	事前：配布資料を読み疑問点を整理する（120分） 事後：研究結果を表にまとめる（120分）	
22	結果・考察の書き方	事前：結果・考察についてまとめる（120分） 事後：助言を基に修正する（120分）	
23	結果・考察の書き方	事前：結果・考察と疑問点をまとめる（120分） 事後：助言を基に修正する（120分）	
24	結果・考察の書き方	事前：結果・考察と疑問点をまとめる（120分） 事後：助言を基に修正する（120分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
25	結果・考察の書き方	事前：結果・考察と疑問点をまとめる（120分） 事後：助言を基に修正する（120分）	
26	結果・考察の書き方	事前：結果・考察と疑問点をまとめる（120分） 事後：助言を基に修正する（120分）	
27	論文クリティーク	事前：クリティーク・ワークシートを基に論文内容を確認する（120分） 事後：助言を基に修正する（120分）	
28	論文クリティーク	事前：クリティーク・ワークシートを基に論文内容を確認する（120分） 事後：助言を基に修正する（120分）	
29	論文最終修正	事前：報告会資料の作成（120分） 事後：助言を基に報告会資料と論文修正（120分）	
30	研究結果報告	事前：報告会資料と提出論文作成（120分） 事後：論文内容を確認して提出する（120分）	

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0124304905
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
柴田 恵子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	研究論文の作成をとおして、研究の実際と研究を実施するために必要な事項を学び、臨床・研究領域において新しい学際的知見を積極的に取り入れる能力を身につける。
履修上の注意事項	締め切りを厳守し、主体的に研究に取り組み、研究論文を完成させること 実習等で欠席する場合は、その時間の授業内容に関するレポートを作成し提出すること オリエンテーション時に予習、復習(各2時間)について説明をするので、内容については、その都度、確認すること。
評価方法	学習状況、態度：40%。研究計画書+研究論文：60% フィードバックとして研究計画書、研究論文についての説明を行う。
テキスト	必要時、紹介する
参考文献	必要時、紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	柴田恵子：学校における養護教諭実務経験者

授業計画

授業計画	
卒業研究論文の作成ができるようになるための学習を行う。卒教研究論文の作成を希望しない場合は、報告書の作成を目指して学習する。第1回目に事前・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	研究とは何か：文献から学ぶ	第1回目に事前・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。	
2	研究倫理について学習する	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
3	文献を検索する	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
4	文献を批判的に読む	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
5	意見交換：文献の読み方について	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
6	文献を再度、検索する	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	

授業計画

卒業研究論文の作成ができるようになるための学習を行う。卒教研究論文の作成を希望しない場合は、報告書の作成を目指して学習する。第1回目に事前・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	研究目的を発表する	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
8	目的に合った方法を考える	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
9	意見交換：研究方法の妥当性について	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
10	計画書を作成する	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
11	計画書を発表する	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
12	意見交換：研究計画書について	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
13	計画書を見直す	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
14	研究実施に向けた準備	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
15	まとめ：研究計画書の提出	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
16	データの収集の実際	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
17	データの整理	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
18	データの整理を見直す	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
19	データの分析	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
20	意見交換：研究状況の報告	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
21	文章で表現する	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	

授業計画

卒業研究論文の作成ができるようになるための学習を行う。卒教研究論文の作成を希望しない場合は、報告書の作成を目指して学習する。第1回目に事前・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
22	表現した文章を見直す	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
23	文章の妥当性を検討する	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
24	意見交換：作成した論文について	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
25	論文を見直す	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
26	論文発表の準備をする	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
27	論文発表と評価（前半担当学生）	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
28	論文発表と評価（後半担当学生）	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
29	論文を修正する	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	
30	まとめ：研究論文で学んだことと提出	事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。事後学習については講義内あるいはキャンパススクエアで連絡する。	

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0124304906
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	生野 繁子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
生野 繁子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	4単位の選択科目ではあるが、1学期から卒業研究と同時進行で学びます。 ・創造的な看護実践の追求を系統的に学習する者の大学4年間の学習の集大成の位置づけである。 ・看護者としての生涯学習の出発点となるよう研究の一連の過程を実践し理解できる。 ・臨床において看護研究を実施する場合の素地となる研究の要素を理解できる。
履修上の注意事項	・1学期の卒業研究から発展させること。 ・自主的に研究に取り組む姿勢が重要であり、積極的に参加すること。 ・ゼミでの司会進行・その他の役割を共同して果たすこと。 ・事前に先行研究を読みサマリー化(約1時間)し、事後にコメントに基づき修正(約30分)すること。 ・最終的に国家試験終了後に、ゼミ論文集を作成します。その場合、抄録も作成します。
評価方法	・卒業研究論文50%と、発言内容50%の割合で総合的に評価する。 ・サマリーやレポートに関してはゼミ中、直接フィードバックする。
テキスト	適宜紹介する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	生野繁子:看護師としての病院勤務経験

授業計画

授業計画	
1学期	・卒業研究の科目の15回計画と内容は同様に進めてきます。 各回の内容は卒業研究を参照すること。
2学期	・1学期に考察まで進んでいる予定であり、その後は9月・10月に毎週2コマ積み上げてゼミを実施、10月末の論文完成を目指します。 ・11月からは国家試験準備に入れるように努力して下さい。 ・最終的に国家試験終了後に、ゼミ論文集を作成します。その場合、抄録も作成します。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1.夏休みまでの進捗状況の確認、日程調整	確認できる準備をして下さい。	2学期初回到日程計画を立てます。
2	2.考察を深める	メンバー全員への配布準備終了後修正して下さい。	ここからは週2コマ実施します。
3	3.考察を深める	同上	
4	4.結論の文章化	同上	
5	5.結論の確定	同上	
6	6.図表のバージョンアップ	同上	
7	7.図表の確定	同上	
8	8.論文全体の整合性確認	同上	
9	9.論文全体の完成	同上	10月末の予定
10	10.論文提出準備	卒論委員会規定を確認して参加して下さい。	全員で規定に添って一時一句確認して行きます。
11	11.論文提出	卒論係が全員分をUSBに納められる準備をして来て下さい。	12月末の予定

授業計画

- 1学期
2学期
- ・卒業研究の科目の15回計画と内容は同様に進めてきます。 各回の内容は卒業研究を参照すること。
 - ・1学期に考察まで進んでいる予定であり、その後は9月・10月に毎週2コマ積み上げてゼミを実施、10月末の論文完成を目指します。
 - ・11月からは国家試験準備に入れるように努力して下さい。
 - ・最終的に国家試験終了後に、ゼミ論文集を作成します。その場合、抄録も作成します。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	12.抄録について		
13	13.抄録の作成	A4一枚に要約して参加して下さい。	
14	14.ゼミ論文集の作成	表紙・目次・中扉のデザインをして来て下さい。	
15	15.ゼミ論文集の完成	用紙・台紙・製本テープの準備	

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0124304908
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	福島 和代
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
福島 和代

詳細情報

授業の目的・到達目標	大学4年間の集大成として、研究方法論・卒業研究の学びを基に、規定に添った論文を作成する。また、論文発表までの一連の過程を経験する。 自分が明らかにしたかったテーマにそった論文を作成することで、研究について理解し、研究的視点をもつことができる。
履修上の注意事項	テーマに関する自己学習や多くの論文検索、論文作成は、授業以外で行い、授業ではメンバーや教員とディスカッションできるように資料等を準備する。 履修単位：4単位 180時間（前期2単位90時間、後期2単位90時間） 学習時間：授業時間 30コマ（前期15コマ 後期15コマ）×90分 = 2,700分 = 45時間 事前・事後学習 135時間 展開計画に沿って実施するためには、早めに準備を行う。 授業後はもらったアドバイスを参考に修正を行う。 教員との個人ワークの時間は、状況に応じて変更する可能性がある。その時は事前に学生に提示する。
評価方法	研究論文内容80%、受講態度20%の割合で総合的に評価する。 フィードバックとして、必要に応じて面接を行う。
テキスト	研究方法論の資料を使用する。必要に応じて適宜資料を配布する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	福島 和代：看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画
卒業研究と卒業論文作成は、併行して実施する。 1学期は、グループワークを中心に行うが、2学期は教員との個人ワークを主に進めていく。 卒業論文作成のみでなく、原則としてプレゼンテーションも行う。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	全体オリエンテーション	事後：テーマについて参考文献等調べる	
2	自分の疑問や気づきの発表	事前：自分の疑問や気づきについてA41枚にまとめ、学生数+教員分を準備する 事後：テーマ学習につて調べる	
3	テーマ学習の発表と討議	事前：テーマ学習内容をA42枚にまとめ、人数分を準備する 事後：自分の研究の仮テーマを決め、文献を探して読む	
4	先行論文要約とテーマとの関係性発表と討議	事前：先行研究論文1篇の要約とテーマとの関係性についてA42枚にまとめ人数分を準備する 事後：上記以外の先行研究論文1篇を探して読む	
5	別の論文要約とテーマとの関係性発表と討議	事前：前回以外の先行研究論文1篇の要約とテーマとの関係性についてA42枚にまとめ人数分を準備する 事後：意見を基にテーマの縛り込みと計画の修正を行い、上記以外の先行研究論文1篇を探して読む	

授業計画

卒業研究と卒業論文作成は、併行して実施する。

1学期は、グループワークを中心に行うが、2学期は教員との個人ワークを主に進めていく。

卒業論文作成のみでなく、原則としてプレゼンテーションも行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	別の論文要約とテーマとの関係性発表と討議	事前：前回以外の先行研究論文1篇の要約とテーマとの関係性についてA42枚にまとめ人数分を準備する 事後：意見を基にテーマの縛り込みと計画の修正を行い、上記以外の先行研究論文1篇を探して読む	
7	別の論文要約とテーマとの関係性発表と討議	事前：前回以外の先行研究論文1篇の要約とテーマとの関係性についてA42枚にまとめ人数分を準備する 事後：意見を基にテーマの縛り込みと計画の修正を行い、上記以外の先行研究論文1篇を探して読む	
8	別の論文要約とテーマとの関係性発表と討議	事前：前回以外の先行研究論文1篇の要約とテーマとの関係性についてA42枚にまとめ人数分を準備する 事後：意見を基にテーマの縛り込みと計画の修正を行い、上記以外の先行研究論文1篇を探して読む	
9	別の論文要約とテーマとの関係性発表と討議	事前：前回以外の先行研究論文1篇の要約とテーマとの関係性についてA42枚にまとめ人数分を準備する 事後：意見を基にテーマの縛り込みと計画の修正を行い、上記以外の先行研究論文1篇を探して読む	
10	研究疑問の整理、テーマ決定の発表と討議	事前：研究疑問の整理、研究テーマをA41枚にまとめ、人数分準備する 事後：今後の方向性(結果の予測と論点)を考える	
11	今後の方向性の発表と討議	事前：今後の方向性(結果の予測と論点)をA41枚にまとめ、人数分準備する 事後：研究の動機、目的を考える	
12	研究の動機、目的の発表と討議	事前：研究の動機、目的をA41枚にまとめ、人数分準備する 事後：緒言(背景、目的)、方法、文献一覧を整理する	
13	緒言、方法、文献の発表と討議	事前：緒言(背景、目的)、方法、文献一覧をA42枚にまとめ、人数分準備する 事後：調査内容(アンケートやインタビューの質問内容)を考える。緒言・方法・文献修正する	
14	調査内容の発表と討議、緒言・方法修正	事前：調査内容(アンケートやインタビューの質問内容)と緒言・方法、文献一覧の修正した資料を人数分準備する 事後：研究計画書と調査用紙を作成する	
15	調査準備と調査依頼	事前：調査依頼と調査用紙を人数分準備する 事後：調査用紙を修正し、調査を実施する。調査用紙を表に集計し、整理する	
16	データの収集と整理(全員)	事前：整理した結果を人数分準備する 事後：結果を修正し、図や表を作成する	
17	図・表作成	事前：図や表を教員と自分の分準備する 事後：アドバイスを受けて修正し、データの結果のポイントを箇条書きで文章にする	
18	データの読み込み	事前：修正した図や表と文章を教員と自分の分準備する 事後：アドバイスを受けて修正する	
19	研究結果の発表と討議(全員)	事前：修正した結果(図や表含む)を人数分準備する 事後：アドバイスを受けて修正する	

授業計画

卒業研究と卒業論文作成は、併行して実施する。

1学期は、グループワークを中心に行うが、2学期は教員との個人ワークを主に進めていく。

卒業論文作成のみでなく、原則としてプレゼンテーションも行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
20	研究結果修正	事前：修正した結果（図や表含む）を教員と自分の分を準備する 事後：アドバイスをを受けて修正し、その結果から何が言えるかを考察する	
21	考察作成	事前：考察を教員と自分の分を準備する 事後：アドバイスをを受けて考察を修正し、結論を考える	
22	考察修正、結論作成	事前：修正した考察と結論を教員と自分の分を準備する 事後：アドバイスをを受けて結論を修正し、要旨を考える	
23	結論修正、要旨作成	事前：修正した結論と要旨を教員と自分の分を準備する 事後：アドバイスをを受けて要旨を修正し、緒言から文献一覧まで作成し一貫性があるか確認する	
24	要旨修正、研究論文作成	事前：修正した要旨と論文（緒言～文献一覧）を教員と自分の分を準備する 事後：アドバイスをを受けて論文（要旨含む）を修正し、6枚以内に収まるように調整する	
25	研究論文修正	事前：修正した論文（要旨含む）を教員と自分の分を準備する 事後：アドバイスをを受けて論文を修正する	
26	研究論文修正	事前：修正した論文を教員と自分の分を準備する 事後：アドバイスをを受けて論文を修正する	
27	研究論文修正	事後：アドバイスをを受けて論文を修正する。プレゼンテーションの内容を考える	
28	研究論文修正、プレゼンテーション準備	事前：修正した論文とパワーポイントを教員と自分の分を準備する 事後：アドバイスをを受けて論文やパワーポイントを修正する	
29	研究論文修正、プレゼンテーション準備	事前：修正した論文とパワーポイントを教員と自分の分を準備する 事後：アドバイスをを受けて論文やパワーポイントを修正する	
30	プレゼンテーション、まとめ、研究論文提出（全員）	事前：パワーポイントと完成した論文を人数分準備する 事後：論文作成から発表までの過程を振り返り、研究の視点を持ち言葉にする意味を考える	

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0124304909
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	福本 久美子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
福本 久美子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的な看護実践の追求を系統的に学習する者の大学4年間の学習の集大成の位置づけ、看護者としての生涯学習の出発点となるよう研究の一連の過程を経験する。 ・看護者としての研究的な視点を養うことができる。 ・研究論文を作成できる。
履修上の注意事項	1) 研究計画書作成のため、先行文献の検索などを行い、計画案を事前に作成する(180分以上)し、指導を受けること。 2) 地域で調査を行う場合、対象の選定や調整等を教員の指導のもと、事前に行うこと(180分以上) 3) 研究論文指導にあたっては、事前事後の予習復習(180分以上)を行い、学びを確かなものとする。
評価方法	1) 事前学習の実施状況(40%)や規定に基づく「卒業研究論文60%」の割合で総合的に評価する。 2) 学生間研究発表会による学生間評価、学生自身による自己評価、教員との面接によりフィードバックする。
テキスト	指定図書なし。必要時資料配布。
参考文献	必要時適宜紹介。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	保健師としての実務経験

授業計画

授業計画
(1) 研究課題(キーワード) ライフスタイル 健康な地域づくり 高齢者の健康 労働者の健康 公衆衛生看護 地域看護 (2) 授業の展開 1 : オリエンテーション 2 ~ 5 : 文献抄読・文献検索 6 ~ 7 : 研究方法の学習 8 ~ 11 : 研究テーマの決定、研究計画書の作成 11 ~ 14 : 研究計画の修正 15 ~ 17 : 調査などの実施 18 ~ 21 : 結果の整理、分析 22 ~ 27 : 論文作成 28 ~ 29 : 報告会及びまとめ 30 : 調査協力者への結果報告・まとめ (3) 指導方法 個別指導とグループ指導を組み合わせる指導 全体の進行管理のため、合宿などを取り入れ集中的な指導を実施 文献検索、データ処理方法等について、グループ指導

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0124304911
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	山本 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
山本 恵子

詳細情報

授業の目的・到達目標	研究テーマに沿った文献検討を行い、研究目的に合った方法で研究を行い論文としてまとめることができる。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に研究を進めること。履修の都合上(養護教諭の実習など)、授業の展開計画に添えない場合は、各自計画を立てて持参すること。それをもとに相談・協議の上、研究をすすめる。 ・事前学習：授業展開を参考に4月中に年間計画を立案し協議する。各单元ごとに自身の研究のプレゼンテーションを行う。事前の準備として自身の計画について60分の手前準備を行うこと。 ・事後学習：意見交換を踏まえ、自身の研究を追加修正する。各授業での助言をもとに修正および他者の研究内容についても見直すこと(90分程度)
評価方法	研究計画書および研究の実施・研究論文作成までのプロセスで80点(詳細は評価表にて説明する)研究態度(研究倫理を含む)で20点(詳細は評価表にて説明する)の合計100点で評価する。課題に対しては、講義のたびに口頭および文書にてフィードバックを行う。
テキスト	なし。必要資料は適宜紹介する
参考文献	学生の研究テーマに応じて、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	山本恵子：看護師・保健師として病院勤務

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	研究とは:研究の進め方		
2	研究テーマの検討		
3	研究計画書作成に向けて		
4	文献検討の方法		
5	研究計画書作成・検討		
6	調査依頼と調査実施方法		
7	研究計画書の進行状況報告		
8	研究開始:各自のペースで研究実施		
9	研究進行状況報告		
10	研究方法の妥当性を確認		
11	研究の進行状況報告		
12	研究の進行状況報告		
13	プレゼンテーション方法		
14	中間報告に向けた準備		
15	中間報告会:研究経過を発表		
16	研究進行状況報告:中間報告会からの変更		
17	結果のまとめ方:データの見方		
18	結果のまとめ方:注意点とポイント		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
19	考察について：適切な文献の引用		
20	考察について：研究の活用方法		
21	謝辞と報告：調査協力者に対するマナー		
22	論文の経過報告		
23	論文の経過報告		
24	ゼミ内での査読		
25	研究に対する学生同士での意見交換		
26	研究に対する学生同士での意見交換		
27	研究限界について		
28	研究と臨床のリンク		
29	研究報告に向けた準備		
30	研究報告会・論文完成		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0124304913
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	二宮 球美
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
二宮 球美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	卒業研究の科目と連動して行う。主に研究論文作成のための方法及び作成を行い研究論文を完成出来ることを目的とする。
履修上の注意事項	事前学習として、与えられた課題を行い関連した文献を検索すること。シラバスを参考に自分の計画を修正して積極的に進めること。個人によってサポートは異なりますが、個人指導は個別スケジュールを設定いたします。 その都度必要な助言はいたしますが、appointmentをとってください。事後の学習は指示されたものだけでなくその周辺の学びも行い、今後の研究の芽を芽吹く努力をすること。じっくりと研究に取り組むこと、文献をできるだけ多く読み、思考し研究の素地を創り出す努力を行ってください。
評価方法	卒業研究論文の内容 80%、グループワーク 20% グループワークや個人指導の際に適宜フィードバックする。
テキスト	個人の研究に応じて提示いたします。
参考文献	すぐわかる統計処理・解析・多変量解析、石村貞夫、東京図書株式会社、質的研究への挑戦、舟島なをみ、医学書院、はじめての質的研究法、生涯発達・医療看護・臨床社会編、監修秋田喜代美、能智正博、東京図書
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	二宮球美 臨床経験を有する

授業計画

授業計画	
<p>目的・到達目標 卒業研究の科目と連動して行う。主に研究論文作成のための方法及び作成を行い研究論文を完成出来ることを目的とし、授業計画を立案しています。卒業研究と並行しながら、まずは1学期を進行していきます。</p> <p>事前学習として、与えられた課題を行い関連した文献を検索すること。シラバスを参考に自分の計画を修正して積極的に進めること。個人によってサポートは異なりますが、個人指導は個別スケジュールを設定いたします。</p> <p>その都度必要な助言はいたしますが、appointmentをとってください。事後の学習は指示されたものだけでなくその周辺の学びも行い、今後の研究の芽を芽吹く努力をすること。じっくりと研究に取り組むこと、文献をできるだけ多く読み、思考し研究の素地を創り出す努力を行ってください。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	看護研究とは 講義	事前に指定テキスト箇所を熟読して繰ること	感染防止対策の為に遠隔での講義開催もあるので準備をしてください
2	テーマ設定 講義、演習	テーマ設定のための課題を行って、提出すること	
3	テーマ設定 個人 プレーンストーミング	テーマ設定に至る根拠を明らかにしながら、テーマを絞っていく	
4	テーマ設定 個人 グループワーク		
5	テーマ設定 グループディスカッション	自分のテーマ及び根拠について、根拠となる論文を交えプレゼンテーションを行えるような準備をして講義に臨む	
6	テーマ提出 グループワーク	自分のテーマ及び根拠について、根拠となる論文を交えプレゼンテーションを行えるような準備をして講義に臨む	

授業計画

目的・到達目標 卒業研究の科目と連動して行う。主に研究論文作成のための方法及び作成を行い研究論文を完成出来ることを目的とし、授業計画を立案しています。卒業研究と並行しながら、まずは1学期を進行していきます。

事前学習として、与えられた課題を行い関連した文献を検索すること。シラバスを参考に自分の計画を修正して積極的に進めること。個人によってサポートは異なりますが、個人指導は個別スケジュールを設定いたします。

その都度必要な助言はいたしますが、appointmentをとってください。事後の学習は指示されたものだけでなくその周辺の学びも行い、今後の研究の芽を芽吹く努力をすること。じっくりと研究に取り組むこと、文献をできるだけ多く読み、思考し研究の素地を創り出す努力を行ってください。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
7	文献の抄読会	関連文献を提示又は、学生から提案されるので、事前に読み、提示された手順で読みまとめること	
8	文献の抄読会	関連文献を提示又は、学生から提案されるので、事前に読み、提示された手順で読みまとめること	
9	文献の抄読会	関連文献を提示又は、学生から提案されるので、事前に読み、提示された手順で読みまとめること	
10	研究計画書のプレゼンテーション グループ	研究計画書をGW プレゼンテーションでできる準備をする	
11	研究計画書のプレゼンテーション グループ	研究計画書をGW プレゼンテーションでできる準備をする	
12	研究計画書のプレゼンテーション グループ	研究計画書をGW プレゼンテーションでできる準備をする	
13	研究計画書の決定	計画書の修正は個々人になるので、アポイントメントを取りこれまでに出来ること	
14	測定とデータ収集	講義演習を行い、実際にどの測定用具が必要か考える	
15	測定とデータ収集	GW で測定用具の検討	
16	測定とデータ収集	測定用具の決定	
17	研究データの分析 個人	この先はGWと個人となるので不定期、アポイントメントにより計画する	
18	研究データの分析 個人		
19	研究データの分析 個人		
20	研究データの分析評価 グループ		
21	研究データの分析評価 グループ		
22	論文本論の作成 個人		
23	論文本論の作成 個人		
24	論文本論の作成 個人		
25	論文本論の抄読会 グループ		
26	論文本論の抄読会 グループ		
27	論文本論の抄読会 グループ		
28	論文の読み合わせ、提出準備 グループ		
29	論文の提出、学会へのエントリーなど		
30	論文冊子の作成、関係各機関への返礼など		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0124304914
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	大橋 知子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
大橋 知子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>授業の目的：授業目的：本科目は看護師の立場から看護師の活動の場で生じている問題解決の糸口として、先行研究の収集方法および検討手法を学ぶ。さらに、先行研究で解決できていない問題について、調査研究する。問題解決に向けた体験を通して、研究的思考と態度を養う。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 研究の手順およびルールの概要を理解できる。 2) 自分の興味・関心・疑問に思うことについて文献検索、検討を行い研究課題を明確にできる。 3) 1) 2) を踏まえ、研究計画を立案することができる。 4) 研究計画に沿って、調査を行うことができる。 5) 調査結果および考察を記述できる。
履修上の注意事項	指導教員と連絡をとり、研究の進め方を十分に話し合う調整を行ってください。
評価方法	研究への取組み40%、提出された論文内容60% 提出された資料等にコメントして返却します。
テキスト	授業で資料を中心に行う。適時、授業内で紹介する。
参考文献	黒田裕子著：黒田裕子の 看護研究 Step by Step 第5版 大木秀一著：文献レビューのきほん 看護研究・看護実践の質を高める
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	大橋知子：看護師・助産師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	研究とは	事前：参考資料を読み、看護研究についてレポートを作成する(2時間)事後は看護研究についてA41枚にまとめ、提出する。(2時間)	
2	研究テーマの検討	事前：自身の興味ある事柄について、興味関心を持った理由、どのような事柄を今後知りたいのかについて15分程度で発表できるように準備する。(2時間)事後はA41枚にまとめ、提出する。(2時間)	
3	研究テーマの検討	事前：自身の興味ある看護上の問題について、文献を検索する。(2時間)事後は論文についてA41枚にまとめ、提出する。発表でなかった学生は発表者のコメントを行い返信する(2時間)	3回の内1回発表者となる
4	研究テーマの検討	事前：自身の興味ある看護上の問題について、文献を検索する。(2時間)事後は論文についてA41枚にまとめ、提出する。発表でなかった学生は発表者のコメントを行い返信する(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	研究テーマの検討	事前：自身の興味ある看護上の問題について、文献を検索する。（2時間）事後は論文についてA41枚にまとめ、提出する。発表でなかった学生は発表者のコメントを行い返信する（2時間）	
6	研究計画書作成検討	事前：論文を3文献抽出する。（2時間）事後：論文についてレビューシートに従ってA41枚にまとめ、提出する。（2時間）	個別指導
7	研究計画書作成検討	事前：論文を3文献抽出する。（2時間）事後：論文についてレビューシートに従ってA41枚にまとめ、提出する。（2時間）	個別指導
8	研究計画書作成検討	事前：レビューを踏まえ、研究計画書を作成する。（2時間）事後：研究計画書を加筆修正する。（2時間）	個別指導
9	研究計画書作成検討	事前：レビューを踏まえ、研究計画書を作成する。（2時間）事後：研究計画書を加筆修正する。（2時間）	個別指導
10	ゼミ内での研究計画発表	事前：研究計画書を発表資料を作成する。（2時間）事後：研究計画書を加筆修正する。発表者にコメントを送る（2時間）	2回の内1回発表者となる
11	ゼミ内での研究計画発表	事前：研究計画書を発表資料を作成する。（2時間）事後：研究計画書を加筆修正する。発表者にコメントを送る（2時間）	
12	研究計画修正	研究計画書に沿って資料等を作成する（2時間）事後：研究計画書および資料を加筆修正する。（2時間）	個別指導
13	研究計画修正	研究計画書に沿って資料等を作成する（2時間）事後：研究計画書および資料を加筆修正する。（2時間）	個別指導
14	倫理委員会提出書類作成	事前：倫理委員会提出書類を作成する（2時間）事後：加筆修正する。（2時間）	個別指導
15	倫理委員会提出書類作成	事前：倫理委員会提出書類を作成する（2時間）事後：加筆修正する。（2時間）	個別指導
16	倫理委員会提出書類修正	事前：倫理委員会提出書類を作成する（2時間）事後：加筆修正する。（2時間）	個別指導
17	倫理委員会提出書類修正	事前：倫理委員会提出書類を作成する（2時間）事後：加筆修正する。（2時間）	個別指導
18	データ収集・分析	事前：データ入力（2時間）事後：データ入力。（2時間）	
19	データ収集・分析	事前：データ入力（2時間）事後：データ入力。（2時間）	
20	データ収集・分析	事前：データ入力（2時間）事後：データ入力。（2時間）	
21	データ収集・分析	事前：表作成（2時間）事後：表修正（2時間）	
22	データ収集・分析	事前：表作成（2時間）事後：表修正（2時間）	
23	論文作成	事前：結果の記述（2時間）事後：結果修正（2時間）	
24	論文作成	事前：考察の記述（2時間）事後：考察修正（2時間）	
25	論文作成	事前：結論の記述（2時間）事後：結論修正（2時間）	
26	プレゼンテーション準備	事前：プレゼンテーション資料作成（2時間）事後：資料修正（2時間）	
27	プレゼンテーション準備	事前：プレゼンテーション原稿作成（2時間）事後：原稿修正（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
28	ゼミ内での成果発表	事前：発表の練習。（2時間）事後：発表内容を加筆修正する。発表者にコメントを送る	か いずれかで発表を行う
29	ゼミ内での成果発表	事前：発表の練習。（2時間）事後：発表内容を加筆修正する。発表者にコメントを送る	
30	研究のまとめ・文集作成	事前：文集用資料作成（2時間）事後：文集用資料を加筆修正する。	

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0124304916
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	川本 起久子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
川本 起久子

詳細情報

授業の目的・到達目標	関心のあるテーマから研究目的を明確にし、研究の過程を実施し、論文を作成することができる。
履修上の注意事項	自主的に取り組み、卒業研究論文を完成させること。 1学期は、事前学習(120分)として、自己の研究課題についてレポートをまとめゼミで発表する。事後学習(120分)として、追加修正する。2学期は、事前学習(150分)自主的に個々人で卒業研究論文を記載し、個別指導後に事後学習(150分)として追加修正し、論文を完成させる。
評価方法	卒業研究論文70%、研究態度30%で評価する。
テキスト	適宜紹介する
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	川本起久子：看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画
<p>研究テーマを決定し、文献検討を重ね、研究計画書を作成し、依頼文・調査票を作成し、調査を実施し、調査結果を分析し、論文を完成させる。具体的な授業の進め方は、第1回から15回はゼミに参加し、個々にまとめたレポートを発表して学生間で意見交換しながら研究を進め、第16回から30回は個々人で論文を記載し、個別指導を受けながら論文を完成させる。</p> <p>第1回～第6回：テーマの確認と文献検討・研究方法の検討（各回事前学習120分、各回事後学習120分） 第7回～第13回：研究計画書の作成と検討、依頼文・調査票の作成・検討（各回事前学習120分、各回事後学習120分） 第14回：調査等の最終確認と調査の実施（事前学習120分、事後学習120分） 第15回：調査後の結果報告（事前学習120分、事後学習120分） 第16回～第29回：論文の作成（各回事前学習150分、各回事後学習150分） 第30回：論文の最終確認と提出</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0124304917
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	上妻 尚子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
上妻 尚子

詳細情報

授業の目的・到達目標	研究方法論および卒業研究での学びを基に、研究テーマに沿って研究を実施することができる。 得られた研究結果を分析し、規定に沿って論文を作成することができる。 研究を行なうための一連の過程を理解することができる。
履修上の注意事項	学生は、自身の研究を遂行し、論文として完成させるために、自ら積極的に行動してください。 学生個々の状況に応じて個別指導を取り入れます。 授業の展開計画は、研究テーマによって一部変更する場合があります。
評価方法	卒業研究論文(80%)と研究実施過程での手順および態度(20%)より評価する。
テキスト	適宜紹介する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	上妻尚子：看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画
<p>本科目は、学生の研究テーマに沿って、下記の講義内容に基づいて研究を進め、卒業研究論文を作成する。 事前学修は、各講義内容を自分の研究テーマに基づいて考え、必要なことは調べる。また、講義に必要な資料を作成する。その中で自分がわからないことを明確にする(2時間) 事後学修は、事前学修で分からなかったことが、各講義の中でどのように明らかになったのか、それが自身の研究にどのようにいかされるのかを明確にし、自分の研究論文に活用する(2時間)。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	研究とは何か 研究の進め方		
2	文献検索		
3	研究テーマの検討		
4	研究目的の検討		
5	文献検索と論文クリティーク		
6	研究テーマ・研究目的の明確化		
7	研究方法の検討		
8	研究計画書の作成について		
9	研究計画の発表・意見交換 プレゼンテーション ディスカッション		
10	研究方法の再考		
11	研究方法の明確化		
12	研究の実施 質問紙・プロトコール作成		
13	研究の実施 予備実験の実施		
14	研究の実施 質問紙・プロトコールの検討		
15	研究実施状況の報告・意見交換 プレゼンテーション ディスカッション		
16	研究の実施 データ収集		

授業計画

本科目は、学生の研究テーマに沿って、下記の講義内容に基づいて研究を進め、卒業研究論文を作成する。

事前学修は、各講義内容を自分の研究テーマに基づいて考え、必要なことは調べる。また、講義に必要な資料を作成する。その中で自分がわからないことを明確にする（2時間）

事後学修は、事前学修で分からなかったことが、各講義の中でどのように明らかになったのか、それが自身の研究にどのようにいかされるのかを明確にし、自分の研究論文に活用する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
17	研究の実施 データ収集と整理		
18	データ整理と分析		
19	データ分析・結果の明確化		
20	考察 先行研究との比較		
21	考察 研究の限界・実践への示唆		
22	論文の作成 結果の文章化		
23	論文の作成 結果・方法の文章化		
24	論文の作成 考察の文章化		
25	論文の作成 考察の見直しと再考		
26	論文の作成 緒言の見直しと要約の文章化		
27	研究発表 プレゼンテーション		
28	研究発表と意見交換 プレゼンテーション ディスカッション		
29	論文の修正		
30	論文の修正・提出		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0124304918
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	中川 武子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
中川 武子

詳細情報

授業の目的・到達目標	科目目的：研究方法論・卒業研究で学んだ知識を活かし、研究論文作成の規定に則った論文を作成する。 到達目標：研究方法論で学んだ知識を活かすことができる。 研究計画書に則った方法で研究を実施することができる。 研究計画書に則り計画的に論文を作成することができる。
履修上の注意事項	卒業研究と並行して講義を進める。 学生間で意見交換・協力をを行い、研究に必要な論文・参考資料を常に整理すること。 事前学習：授業展開計画を基に、研究を進めること。(120分以上) 事後学習：意見交換を踏まえ、研究論文の加筆・修正を行うこと。(120分以上)
評価方法	研究論文(60%) 研究計画書(40%) 研究計画書、研究論文作成において、その都度コメントを返却します。
テキスト	卒業研究に準ずる
参考文献	必要時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	中川：保健師として保健センター勤務経験 看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション 研究の進め方	事前・事後：研究方法論の講義内容をまとめておくこと。研究の進め方を理解すること。	
2	研究テーマの検討	事前・事後：研究テーマを明確にしておくこと。テーマを絞り込むこと 事後：講義資料を踏まえてまとめること	
3	研究計画書作成	事前・事後：興味ある研究テーマに関する論文を抄読し、文献検討を行うこと。	
4	文献検索・抄読・検討	事前・事後：興味ある研究テーマに関する論文を抄読し、文献検討を行うこと。	
5	文献検索・抄読・検討	事前・事後：興味ある研究テーマに関する論文を抄読し、文献検討を行うこと。	
6	文献検索・抄読・検討	事前・事後：興味ある研究テーマに関する論文を抄読し、文献検討を行うこと。	
7	研究テーマの決定・意見交換	事前・事後：研究テーマを決め、学生間で意見交換をできるよう準備し、テーマを明確にすること。	
8	研究テーマの決定・意見交換	事前・事後：研究テーマを決め、学生間で意見交換をできるよう準備し、テーマを明確にすること。	
9	研究計画書の作成・検討・修正	事前・事後：研究計画書を作成し、適宜修正すること	
10	研究計画書の作成・検討・修正	事前・事後：研究計画書を作成し、適宜修正すること	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	研究計画書の作成・検討・修正	事前・事後：研究計画書を作成し、適宜修正すること	
12	研究計画書の作成・検討・修正	事前・事後：研究計画書を作成し、適宜修正すること	
13	研究調査実施に向けた準備	事前・事後：研究の実施に向け実施方法を検討すること	
14	研究計画の進捗状況報告	事前・事後：指導のもと研究計画の進捗状況を報告し指導を受けること	
15	研究計画の進捗状況報告	事前・事後：指導のもと研究計画の進捗状況を報告し指導を受けること	
16	データ収集・調査	事前・事後：指導のもと調査方法などを報告し指導を受けること	
17	データ収集・調査	事前・事後：指導のもと調査方法などを報告し指導を受けること	
18	データ入力・分析・結果	事前・事後：指導のもと適宜分析結果を報告すること	
19	データ入力・分析・結果	事前・事後：指導のもと適宜分析結果を報告すること	
20	データ入力・分析・結果	事前・事後：指導のもと適宜分析結果を報告すること	
21	データ入力・分析・結果	事前・事後：指導のもと適宜分析結果を報告すること	
22	論文作成	事前・事後：指導のもと適宜修正を行うこと	
23	論文作成	事前・事後：指導のもと適宜修正を行うこと	
24	論文作成	事前・事後：指導のもと適宜修正を行うこと	
25	論文作成・修正	事前・事後：指導のもと適宜修正を行うこと	
26	論文作成・修正	事前・事後：指導のもと適宜修正を行うこと	
27	論文作成・経過報告	事前・事後：指導のもと適宜修正を行うこと	
28	論文検討・意見交換	事前・事後：指導のもと適宜修正を行うこと	
29	研究最終修正	事前・事後：指導のもと適宜修正を行うこと	
30	研究報告会	事前・事後：報告会の資料をまとめておくこと。適宜修正すること	

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0124304920
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	松岡 聖美
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
松岡 聖美

詳細情報

授業の目的・到達目標	論文作成の一連の過程を通し、卒業後も自己の学習を調整、継続し、看護専門職としてキャリアアップするための基礎的能力を養うことを目的とする 目標 1) 研究計画から論文の発表までの一連の過程を経験し、研究内容を文章化、発信することができる 2) 個人に見合った手法により、自らの学習行動を調整できる 注) 卒業研究のシラバスも参照のこと。
履修上の注意事項	授業毎に課題を提示するため、各自学習し次回の授業に備えること 授業内では、他者との意見交換を活発に行い、多面的に事象を捉える力を養う * 種々の研究方法については、必ず事前に学習して授業に臨むこと * 授業後半は、研究テーマによっては個人指導となるため、時間調整が必要となる
評価方法	課題達成 50%、最終提出された論文内容 20% 学習の自己調整 30% 課題に対してのフィードバックは、毎回の授業内で行う
テキスト	学習設計マニュアル：「おとな」になるためのインストラクショナルデザイン・北大路書房 APAに学ぶ看護系論文執筆のルール・医学書院
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画
他の集中講義、学生の状況、教員の状況により、2コマ続けての授業となる場合もある

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	看護職と研究の関連性について討議	事前：看護研究に関する書籍を読み、看護と研究について自分の言葉で説明ができるように、資料を作成する(1時間) 事後：文献検索(3時間)	
2	仮研究テーマの検討	事前：これまでの、生活体験、実習での体験から関心事を記述し、そこから仮テーマを決定する(1時間) 事後：文献検索(3時間)	
3	関連文献の検索、検討	事前：文献検索について書籍で確認しておく(2時間) 事後：文献サマリーについて書籍で確認する(2時間)	
4	関連文献の抄読	事前：文献サマリーの作成(3時間) 事後：関連文献の検索(1時間)	
5	研究背景の確認	事前：研究背景の文章化(4時間) 事後：修正(1時間)	

授業計画

他の集中講義、学生の状況、教員の状況により、2コマ続けての授業となる場合もある

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	研究テーマ決定	事前：研究テーマ～研究目的までの文章化（3時間） 事後：修正（1時間）	
7	研究対象、方法の検討	事前：研究対象、方法の文章化（2時間） 事後：修正（1時間）	
8	倫理的配慮の検討	事前：他の文献上の倫理的配慮について調べてくる（2時間） 事後：倫理的配慮について文章化（2時間）	
9	分析方法の検討	事前：他の文献上の分析方法について調べてくる（3時間） 事後：分析方法について文章化（1時間）	
10	研究計画書作成	事前：不足していた関連文献の検索（3時間） 事後：計画書の作成（1時間）	
11	研究計画書の検討	事前：研究計画書の作成（3時間） 事後：修正（1時間）	
12	中間発表	事前：これから先のスケジュールについて計画、文章化（1時間） 事後：修正（3時間）	
13	論文構成の検討	事前：他の文献で、論文構成について調べてくる（1時間） 事後：章立てを作成（2時間）	
14	データ収集の準備	事前：データの収集方法について文章化（3時間） 事後：修正（2時間）	
15	データ収集	事前：質問項目等、具体的にデータ収集の計画を立案する（3時間） 事後：修正（1時間）	
16	データの入力、処理	事前：データの入力シートの作成（2時間） 事後：修正（2時間）	
17	データの分析	事前：分析結果をまとめる（3時間） 事後：修正（1時間）	
18	分析結果の検討	事前：分析結果を必要に応じて、表・図で示す（3時間） 事後：修正（1時間）	
19	結果の文章化	事前：分析結果の文章化（3時間） 事後：修正（1時間）	
20	結果の発表と検討	事前：発表準備（2時間） 事後：修正（2時間）	
21	内容妥当性の検討	事前：妥当性、蓋然性、倫理的問題をはらんでいないか確認、その後、これまでの修正（3時間） 事後：修正（1時間）	
22	論文構成の再検討	事前：章立てを再度見直し、修正（3時間） 事後：修正（1時間）	
23	考察の文章化	事前：考察の文章化（4時間）	
24	考察の発表と検討	事後：修正（4時間）	
25	論文作成	事前：論文全体の書式の統一、誤字脱字のチェック（1時間） 事後：他者の論文のチェック（3時間）	
26	発表資料作成	事前：発表で伝えたい部分の抽出（4時間）	
27	論文の発表	事前：発表資料の作成（4時間）	次回の分と2コマ続けての授業とする
28	ディスカッション	事後：修正（4時間）	
29	論文の修正	事前：これまでの修正・追加（4時間）	
30	論文冊子の作成	事後：該当する者は、学会発表に向けた抄録作成を行う（4時間）	

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0124304928
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	牛之濱 久代
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
牛之濱 久代	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>目的：研究方法論及び卒業研究での学びを活かし、研究計画書に沿って調査を実施し、収集したデータの集計・分析、結果をまとめ、考察し論文を作成する。</p> <p>目標： 研究課題を明確にするための対象、方法を選択し、倫理的配慮をもって調査を実施できる。</p> <p>調査により収集したデータの集計、分析、解釈ができる。</p> <p>結果を適切にまとめることができる。</p> <p>結果から適切な考察ができる。</p> <p>研究の限界と今後の課題について明確にできる。</p> <p>卒業研究論文を作成できる。</p>
履修上の注意事項	自主的に研究を進める。進捗状況について適宜報告し、相談すること。
評価方法	研究への取り組み姿勢30%、論文70%
テキスト	特に指定しない。
参考文献	研究テーマに応じて適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	牛之濱久代：看護師、助産師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	研究とは:研究の進め方	事前：研究方法論の授業内容を復習する(2時間) 事後：研究の進め方についてまとめておく(2時間)	
2	研究テーマの検討	事前：研究テーマの検討方法を調べておく(2時間) 事後：研究テーマについて考え、テーマ設定してみる(2時間)	
3	研究計画書作成について	事前：研究計画書の作成方法について予習しておく(2時間) 事後：研究計画書作成方法をまとめておく(2時間)	
4	文献検討方法	事前：文献検索方法について調べ、検討する文献を入手しておく(2時間) 事後：文献検討方法に沿って入手した文献を検討し文献カードにまとめる(2時間)	
5	文献検討方法	事前：文献検索方法について調べ、検討する文献を入手しておく(2時間) 事後：文献検討方法に沿って入手した文献を検討し文献カードにまとめる(2時間)	
6	文献検討方法	事前：文献検索方法について調べ、検討する文献を入手しておく(2時間) 事後：文献検討方法に沿って入手した文献を検討し文献カードにまとめる(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	テーマ決定・発表・意見交換	事前：テーマを決め、発表準備をする(2時間) 事後：意見交換を参考にテーマを修正する(2時間)	
8	テーマ決定・発表・意見交換	事前：テーマを決め、発表準備をする(2時間) 事後：意見交換を参考にテーマを修正する(2時間)	
9	研究計画書作成・検討	事前：研究計画書を作成する(2時間) 事後：研究計画書の追加・修正をする(2時間)	
10	研究計画書作成・検討	事前：研究計画書を作成する(2時間) 事後：研究計画書の追加・修正をする(2時間)	
11	研究計画書作成・検討	事前：研究計画書を作成する(2時間) 事後：研究計画書の追加・修正をする(2時間)	
12	研究計画書作成・検討	事前：研究計画書を作成する(2時間) 事後：研究計画書の追加・修正をする(2時間)	
13	調査依頼および調査実施方法の検討	事前：調査依頼方法・実施方法について調べておく(2時間) 事後：調査依頼書および調査票を作成する(2時間)	
14	研究計画書作成状況報告	事前：研究計画書を作成し、疑問点を整理しておく(2時間) 事後：指導助言をもとに計画書の追加修正を行う(2時間)	
15	研究計画書作成状況報告	事前：研究計画書を作成し、疑問点を整理しておく(2時間) 事後：指導助言をもとに計画書の追加修正を行う(2時間)	
16	研究開始	事前：タイムスケジュールを立てておく(2時間) 事後：タイムスケジュールを調整し、研究を開始する(2時間)	
17	研究進捗状況報告	事前：研究経過を記録しておく(2時間) 事後：進捗状況に応じてタイムスケジュールを調整し修正する(2時間)	
18	研究方法の妥当性検討および確認	事前：研究課題と研究方法の妥当性について復習し、自分の研究課題と研究方法を見直しておく(2時間) 事後：指導・助言をもとに必要な追加や修正を行う(2時間)	
19	中間まとめと発表	事前：研究経過をまとめ発表資料を作成する(2時間) 事後：報告結果をもとに追加や修正を行う(2時間)	
20	中間まとめと発表	事前：研究経過をまとめ発表資料を作成する(2時間) 事後：報告結果をもとに追加や修正を行う(2時間)	
21	データ集計・分析	事前：データ集計・分析方法について調べておく(2時間) 事後：収集したデータの集計・分析を行う(2時間)	
22	データの解釈とまとめ方	事前：集計結果・分析結果を電子ファイルにまとめておく(2時間) 事後：データの解釈に沿って適切な図表を作成する(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
23	考察の視点	事前: 考察の書き方について調べておく(2時間) 事後: 考察の視点を決め、支店ごとに内容を整理する(2時間)	
24	考察における適切な文献引用の仕方	事前: 引用する文献を選択しておく(2時間) 事後: 文献引用の仕方を参考にして考察を書く(2時間)	
25	研究限界と今後の課題、結論の書き方	事前: 研究限界と課題、結論の書き方について調べておく(2時間) 事後: 自分の件ごとの限界と課題について考え、結論とともに書く(2時間)	
26	謝辞と報告	事前: 研究協力者に対するマナーについて考えておく(2時間) 事後: 謝辞と報告について書く(2時間)	
27	論文作成経過報告	事前: 論文の下書きをする(2時間) 事後: 論文指導を受け、追加や修正を行う(2時間)	
28	論文検討・意見交換	事前: 下書きを完成させる(2時間) 事後: 論文検討・意見交換を基に追加や修正を行う(2時間)	
29	論文最終修正・完成	事前: 追加修正した論文を印刷し、最終確認の準備をする(2時間) 事後: 最終確認後必要な修正を加え、論文を完成させる(2時間)	
30	研究報告会	事前: 報告会の発表資料を作成する(2時間) 事後: 研究の振り返りを行い、まとめる。また、論文集掲載のための電子ファイルを作成する(2時間)	

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0124304929
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	緒方 浩志
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
緒方 浩志

詳細情報

授業の目的・到達目標	研究方法論および卒業研究で作成した研究計画書にもとづいて調査を実施し、データ収集・分析・考察を行い研究論文を作成することができる。 研究プロセスをとおして研究課題を科学的に探究し、課題解決力を養うことができる。
履修上の注意事項	自主的に研究を進め、適宜進捗状況について報告・相談すること。
評価方法	研究への取り組み：40点 研究論文：60点
テキスト	ゼミ生の研究内容や進度に合わせて、適宜紹介する。
参考文献	ゼミ生の研究内容や進度に合わせて、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス：研究の意義・概要と進め方	事前：興味や関心・疑問のある事柄についてまとめる(120分) 事後：講義を受けて興味や関心・疑問のある事柄について再検討する(120分)	
2	研究テーマの検討：疑問・動機の検討	事前：興味や関心・疑問のある事柄についてプレゼンテーションできるようまとめる(120分) 事後：プレゼンテーションをとおして、自身の研究課題について検討する(120分)	
3	研究テーマの検討：キーワードと文献検索	事前：研究課題からキーワードを検討する。また、文献検索について調べる(120分) 事後：キーワードをもとに、研究課題に沿った文献検索を行う。	
4	文献検討：抄読会	事前：検索した文献についてまとめる(120分) 事後：文献の追加検索を行い、内容を検討する(120分)	
5	文献検討：抄読会	事前：検索した文献についてまとめる(120分) 事後：文献の追加検索を行い、内容を検討する(120分)	
6	文献検討：抄読会	事前：検索した文献についてまとめる(120分) 事後：文献の追加検索を行い、内容を検討する(120分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	研究計画書の書き方について	事前：研究計画書の書き方について調べておく（120分） 事後：研究計画書の書き方について復習しておく（120分）	
8	研究計画書作成：研究背景と目的	前：研究背景および目的についてまとめる（120分） 事後：研究背景および目的について再検討する（120分）	
9	研究方法の検討：研究デザイン・対象者と方法	事前：研究デザインについて調べ、対象者や方法についてまとめる（120分） 事後：対象者および方法について再検討する（120分）	
10	研究方法の検討：分析方法	事前：分析方法について調べ、研究内容にあった分析方法が考える（120分） 事後：分析方法について再検討する（120分）	
11	倫理的配慮の検討	事前：研究における倫理と倫理的配慮について調べる（120分） 事後：研究方法に沿った倫理的配慮について再検討する（120分）	
12	研究計画書の作成	事前：研究計画書についてまとめる（120分） 事後：研究計画を再検討し疑問をまとめる（120分）	
13	研究計画書の検討・修正	事前：研究計画書についてまとめる（120分） 事後：研究計画を再検討し疑問をまとめる（120分）	
14	研究計画書の検討・修正	事前：研究計画書についてまとめる（120分） 事後：研究計画を再検討し疑問をまとめる（120分）	
15	研究計画書の発表	事前：研究計画書についてまとめる（120分） 事後：研究計画を再検討し疑問をまとめる（120分）	
16	研究実施：データ収集	事前：研究計画書をもとに、データ収集に必要なことをまとめる（120分） 事後：収集したデータを記録しまとめる（120分）	
17	研究実施：データ収集	事前：研究計画書をもとに、データ収集に必要なことをまとめる（120分） 事後：収集したデータを記録しまとめる（120分）	
18	データ整理	事前：得られたデータを図・表を用いて整理する（120分） 事後：指導を受けて図・表を整理する（120分）	
19	データ整理	事前：得られたデータを図・表を用いて整理する（120分） 事後：指導を受けて図・表を整理する（120分）	
20	分析の検討	事前：分析方法について調べ、得られたデータを分析・めとめる（120分） 事後：分析を振り返り、推敲する（120分）	
21	分析の検討	事前：分析方法について調べ、得られたデータを分析・めとめる（120分） 事後：分析を振り返り、推敲する（120分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
22	中間報告会	事前：プレゼンテーションできるように結果・分析をまとめる（120分） 事後：結果整理を再検討する（120分）	
23	研究論文作成：緒言・方法	事前：研究の背景や研究疑問をもとに緒言・研究方法についてまとめる（120分） 事後：指導を受けて緒言を修正する（120分）	
24	研究論文作成：結果	事前：研究論文の結果についてまとめる（120分） 事後：結果の修正を行う（120分）	
25	研究論文作成：結果	事前：研究論文の結果についてまとめる（120分） 事後：結果の修正を行う（120分）	
26	研究論文作成：考察	事前：先行文献を用いて研究論文の考察についてまとめる（120分） 事後：考察の修正を行い、引用文献の追加検索を行う（120分）	
27	研究論文作成：考察	事前：先行文献を用いて研究論文の考察についてまとめる（120分） 事後：考察の修正を行い、引用文献の追加検索を行う（120分）	
28	研究論文作成：結論・研究の限界・謝辞	事前：結論および研究の限界・謝辞についてまとめる（120分） 事後：結論および研究の限界・謝辞を修正する（120分）	
29	研究論文の修正	事前：論文全体をとおして修正する（120分） 事後：研究論文提出に向けて論文の修正を行う（120分）	
30	研究論文提出	事前：研究論文の最終確認を行う（120分） 事後：研究プロセスを振り返りまとめる（120分）	

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0124304930
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	島村 美香
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
島村 美香

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 看護や医療保健領域における事象から明確化された問題や疑問を解決する研究プロセスを習得できる。 卒業研究で作成した研究計画書に基づき、研究テーマを科学的に探究し新たな知見を論文にまとめることができる。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 論文完成までの計画を立てて自主的に進め、提出期限を守ること。 ゼミ生同士で積極的に意見を述べ合うこと。 担当教員と報告・連絡・相談を密にし継続的に指導を受けること。
評価方法	参加態度10%、卒業研究論文90%で評価する。 フィードバックは意見交換、個別指導で随時行います。
テキスト	テキストの指定はしない。
参考文献	牧本清子・山川みやえ 編著：よくわかる看護研究論文のクリティーク. 日本看護協会出版 第2版 大木修一 著：看護研究・看護実践の質を高める文献レビューの基本. 医歯薬出版株式会社 第1版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	島村美香：看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画

1. 研究の構造について
2. 研究テーマを考える 1)疑問と動機
3. 研究テーマを考える 2)疑問と動機
4. 研究テーマを考える 3)文献検索
5. 研究の背景をまとめ目的を記述する1)
6. 研究の背景をまとめ目的を記述する2)
7. 研究方法の選択と記述方法1)
8. 研究方法の選択と記述方法2)
9. 分析方法の選択と記述方法1)
10. 分析方法の選択と記述方法2)
11. 研究倫理と倫理的配慮
12. 研究計画書作成1)
13. 研究計画書作成2)
14. 研究計画書の発表1)
15. 研究計画書の発表2)
16. 研究実施(データ収集)
17. 研究実施(データ収集)
18. 研究の進捗状況報告
19. 研究結果のまとめと分析1)
20. 研究結果のまとめと分析2)
21. 図・表の書き方1)
22. 考察の書き方1)
23. 考察の書き方2)
24. 論文クリティーク/研究の進捗状況報告
25. 個人指導
26. 個人指導
27. 個人指導
28. 個人指導
29. 論文発表
30. 論文発表

- ・事前学習：授業展開を参考に自身の研究について検討し、文書を作成し参加すること(120分程度)。
- ・事後学習：意見交換を踏まえて、自身の研究を追加修正すること(120分程度)。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0124304931
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	未定
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	
履修上の注意事項	
評価方法	
テキスト	
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	看護科教育法
時間割コード	0124900701
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
柴田 恵子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 「看護」に興味を持ち、主体的な学習を継続できるようになるための教授 学習過程を考える。 2. 看護者・教育者としての資質を高めるために必要な自己の課題を明らかにする。 3. 「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力を身につける。
履修上の注意事項	講義のほかにそれぞれが課題をもって取り組む課題学習、グループ学習・発表を行い、教育者として必要な能力について学ぶ。第1回目のオリエンテーション時に授業計画を発表するので、必要な学習は事前に各自が行なってくる。課題の提出は予習でもあるので、必ず課題レポートを作成すること。また必要に応じてレポート提出を復習として課すことがある。
評価方法	筆記試験：60%、学習態度・状況(小テスト、レポート提出、グループ活動の参加と発表)：40%
テキスト	『看護教育学 第4版』杉森みどり・舟島なをみ(医学書院)、『高等学校学習指導要領解説 看護編』
参考文献	必要に応じて指示し、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	柴田恵子：看護教諭として実務経験

授業計画

授業計画	
<p>高校看護の教員を目指すうえで必要な知識・技術・態度を学習する。授業展開に必要な学習については、課題学習および演習に取り組む。基本的な看護の知識を復習することで、教員として教授するための知識・技術の習得を目指す。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、看護教育について学習した知識を確認する	オリエンテーションで事前・事後学習について説明する。キャンパススクエアで事前学習は確認する。	
2	看護教育制度の特徴	事前学習は看護学概論の教科書を基にレポートを作成する。	
3	看護教育制度の変遷	事前学習は教科書の該当箇所を読む。事後学習は、前回のレポートの補足・修正である。	
4	看護基礎教育課程とその変遷	事前学習は教科書の該当箇所を読む。事後学習は教育課程の特徴を整理する。	
5	高校看護に関する基礎知識	事前学習は高校看護について調べる。事後学習は高校看護の歴史変遷をまとめる。	
6	高校看護における教授・学習活動	事前学習は教科書の該当部分を読む。事後学習は教授法についてまとめる。	
7	高校看護における評価	事前学習は教育評価について調べる。事後学習は授業計画と評価についてまとめる。	
8	課題学習の報告：教授法-実習における教材化-	事前学習は教具・教材について調べる。課題学習の発表準備をする。	

授業計画

高校看護の教員を目指すうえで必要な知識・技術・態度を学習する。授業展開に必要な学習については、課題学習および演習に取り組む。基本的な看護の知識を復習することで、教員として教授するための知識・技術の習得を目指す。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	授業展開の基礎	事前学習は授業の成立について調べる。 事後学習は授業展開の要素についてまとめる。	
10	授業展開の実際	事前学習は授業展開について講義・演習・実習に分けて調べる。事後学習は授業展開における注意点をまとめる。	
11	授業展開と授業評価	事前学習は講義の授業展開計画案を作成する。事後学習は計画案の補足・修正をする。	
12	教育実習の実際	事前学習は教育実習について調べる。事後学習は教育実習についてレポートを作成する。	
13	学習指導要領の理解	事前学習は学習指導要領について調べる。事後学習は学習指導要領を基に教育についてまとめる。	
14	学習指導要領：高校看護の理解	事前学習は高校看護の学習指導要領を読む。事後学習は高校看護の特徴を明らかにする。	
15	グループ討議と発表：職業教育-看護-	事前学習は職業教育について発表ができるように準備する。事後学習は発表を基に、準備した内容を補足・修正する。	

基本情報

科目名	看護科教育法
時間割コード	0124900801
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

詳細情報

授業の目的・到達目標	教壇実習で必要となる授業展開の実際について、模擬授業を実施することで習得する。講義、演習、実習で必要となる授業展開を理解する。看護科教育法の学習を通して、保健・医療・福祉専門職として相応しい高い知識と優れた技術を身につけた教員を目指すための自己の課題を明らかにする。
履修上の注意事項	看護科教育法 を履修済みであること。看護科教育法 の履修を基にした授業展開を行なう。第1回目のオリエンテーション時に授業計画を発表するので、必要な学習は事前に各自が行なってくる。授業では前回の復習を行い、本時の内容と継続させながら学習をする。課題の提出は予習でもあるので、必ず課題レポートを作成すること。
評価方法	定期試験（筆記）：60%、学習態度（レポート提出状況、レポート内容、グループ討議時の発言状況）：40%
テキスト	第1学期に購入したテキストを引き続き使用する。『看護教育学 第5版』杉森みどり・舟島なをみ（医学書院）、『高等学校学習指導要領解説 看護編』
参考文献	必要に応じて指示し、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	柴田恵子：養護教諭として実務

授業計画

授業計画	
事前学習は教科書の該当箇所を読む。	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、夏季休業中の課題を発表することで報告する	オリエンテーションで事前・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。	
2	指導案の構成要素の確認	事前学習は指導案の構成要素を復習する。 事後学習は構成要素の記述方法について確認する。	
3	看護臨床実習指導の基礎知識	事前学習は臨床看護実習について教科書を読む。事後学習は臨床実習における指導の注意点を記録する。	
4	看護臨床実習指導：週案、日案の確認	事前学習は実習における指導計画について調べる。事後学習は週案・日案の特徴をまとめる。	
5	模擬授業の知識、技術の確認	事前学習は模擬授業案を作成する。事後学習は作成した模擬授業案の修正である。	
6	模擬授業の実際	事前学習は模擬事業案を基に授業展開をイメージする。事後学習は実施した模擬授業についての気づきをまとめる。	

授業計画

事前学習は教科書の該当箇所を読む。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	模擬授業の評価	事前学習は模擬授業の評価について調べる。事後学習は模擬授業の評価の気づきをまとめる。	
8	教育実習の報告会から教壇実習について考える	事後学習は教壇実習に向けての自己の課題を明らかにする。	
9	グループ討議：模擬授業	事前学習は模擬授業の実施について意見をまとめる。事後学習はグループ討議での気づきをまとめる。	
10	指導案の評価と修正	事前学習は模擬授業案の作成である。事後学習は作成した模擬授業について自身の評価を行ない修正する。	
11	指導案作成のまとめ	事後学習は指導案作成から実施・評価の一連の流れにおいて、自身の課題となったことをまとめる。	
12	看護臨床実習の指導計画案作成	事前学習は臨床看護実習の指導案を作成する。事後学習は看護臨床実習指導案作成時の注意点を整理する。	
13	看護臨床実習の評価と修正	事後学習は、看護臨床実習における指導において、自己の課題を明らかにする。	
14	グループ討議：職業教育-看護-における教授・学習活動	事前学習は討議課題を確認し意見を準備する。事後学習は次回の発表準備をする。	
15	グループ発表：職業教育-看護-における教授・学習活動	事後学習は高校生の職業教育のあり方についての考察をレポートにする	

基本情報

科目名	学校保健
時間割コード	0124900101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
古賀 由紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	児童生徒の発育・発達、健康、そして学校教育法につながる指導要領等の教育の基礎を把握するとともに、児童生徒の実態から保健教育・保健管理・組織活動の諸活動を考える。これら学校保健活動の計画と組織を教育計画と学校組織との関連でとらえ、教育の中の学校保健の全貌を述べるができる。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(事前60分)。授業の復習を行うこと(事後60分)。毎回、授業の振り返りと質問等を最後にかかせるが、内容を確認し、次時に返却する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。
評価方法	筆記試験85%、レポート15%により評価する
テキスト	学校保健ハンドブック第6次改定 教員養成系大学保健協議会
参考文献	新訂 学校保健実務必携 第一法規
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	古賀：公立学校養護教諭経験

授業計画

授業計画
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	学校保健概論・・・学校保健と関連法、学校保健の目的、学校保健の構造		
2	学校保健概論・・・学校保健の歴史		
3	学校保健組織活動・・・学校保健関係者と各々の職務、学校保健組織と運営、関連組織		
4	学校保健計画・・・学校教育目標との関連、保健室経営との関連		
5	学校保健の対象・・・児童生徒の発育発達の現状と課題1。(発育・発達の実態)		
6	学校保健の対象・・・児童生徒の発育発達の現状と課題2。(疾病異常、体力の実態)		
7	学校保健の対象・・・心の健康問題、精神保健		
8	学校保健活動・・・保健管理：領域側面、意義、方法		
9	学校保健活動・・・保健管理：健康観察、健康相談		
10	学校保健活動・・・保健管理：健康診断、保健調査		

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	学校保健活動・・・保健管理：感染症予防		
12	学校保健活動・・・保健管理：学校環境衛生		
13	学校保健活動・・・安全管理：学校安全と危機管理、救急処置		
14	学校保健活動・・・保健教育：学校における保健教育の考え方		
15	学校保健活動・・・性教育、薬物乱用防止教育、食育		

基本情報

科目名	養護概説
時間割コード	0124900201
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

詳細情報

授業の目的・到達目標	養護教諭の職務である保健教育、保健管理、救急看護、学校保健経営の4機能を理論的に理解し、具体的な職務内容と方法論で実証し、学校運営の中で、そして学校保健の各領域で養護教諭の職務がどう機能化するかを述べる事ができる。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(事前60分)。授業の復習を行うこと(事後60分)。毎回、授業の振り返りと質問等を最後にかかせるが、内容を確認し、次時に返却する。前時間の質問に対しては授業の最初に答える。
評価方法	レポート15%、筆記試験85%として評価
テキスト	・新訂 養護概説 編集代表 三木とみ子 ぎょうせい ・「新訂版学校保健実務必携」 学校保健・安全実務研究会 第一法規
参考文献	冊子「学校保健」松本敬子編、「養護教諭の授業づくり」松本敬子他 東山書房
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：公立学校養護教諭経験

授業計画

授業計画	
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	養護の概念		
2	養護教諭制度と歴史		
3	養護教諭の専門性、養護教諭の倫理		
4	養護教諭の活動拠点保健室－その役割と機能		
5	養護教諭の活動拠点保健室－保健室経営計画		
6	養護活動の過程		
7	養護教諭の実践－1 健康実態・健康問題の把握(健康観察・保健調査)		
8	養護教諭の実践－2 健康実態・健康問題の把握(健康診断)		
9	養護教諭の実践－3 支援の方法(救急処置活動)		
10	養護教諭の実践－4 支援の方法(健康相談)		
11	養護教諭の実践－5 養護活動の展開		
12	養護教諭の実践－6 環境整備(感染症予防、学校環境衛生)		
13	養護教諭の実践－7 健康教育活動(保健教育、保健だより)		
14	養護教諭の実践－8 組織活動		
15	養護教諭と研究		

基本情報

科目名	健康相談論
時間割コード	0124901401
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

詳細情報

授業の目的・到達目標	児童生徒の心の健康問題が深刻化し、保健室でも心身両面の対応が養護教諭の重要な職務として位置づけられて いることを理解する。また養護教諭の専門性や保健室の機能を生かした相談活動としての「健康相談」について 理論と方法について学習し、具体的に子どもの状態のとらえ方と対応について述べるができる 。
履修上の注意事項	授業の最後に課題を提示するので、その内容についてテキスト及び他の文献を用いて調べておくこと。(60分) それを次の授業で提出する。また毎回授業の最後に振り返りと質問をかかせる。確認後、次の授業で返却する。 前時間の質問には授業の最初に答える
評価方法	レポート30%、まとめのテスト70%として評価する
テキスト	養護教諭の行う健康相談 大谷尚子・森田光子編 東山書房
参考文献	学校保健実務必携 第一法規
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：公立学校養護教諭経験

授業計画

授業計画	
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	児童生徒の心身の健康問題の現状と背景 /健康相談の基本的理解		
2	養護教諭の職務の特質及び保健室の機能 と健康相談		
3	健康相談と健康相談活動(学校保健安全 法との関連)		
4	健康相談に関連する諸理論		
5	健康相談のプロセス		
6	ヘルスアセスメントについて		
7	健康相談における子ども理解の方法(演 習含む)		
8	健康相談での心理的理解		
9	健康相談における連携		
10	諸問題のとらえ方と関わり方		
11	諸問題への具体的な対応について		
12	事例から相談支援を具体的に学ぶ 疾 病を伴う事例		
13	事例から相談支援を具体的に学ぶ 非 社会的行動、反社会的行動、生活上の課 題を持つ事例		
14	保健室登校と不登校のとらえ方と対応		

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	健康相談における記録、力量形成・研究 ・研修		

基本情報

科目名	教育原理
時間割コード	0124900301
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
桑嶋 晋平	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>この授業では、教育という概念やその理念・目的について学んだうえで、現代にいたるまでの西洋および日本の教育の歴史と思想をふりかえり、今日の教育がどのような歴史的背景を有しているのかを学んでいきます。このことによって、「教育」とは何か、よい教育とはどのようなものか、といった問いへのじぶんなりのこたえ あるいはこたえるための問い をみいだすことを目指します。</p> <p>そのため、この授業では、以下のことを目標とします。</p> <p>(1) 教育の理念・歴史・思想にかんする基礎的なことがらを理解し説明することができる。</p> <p>(2) 教育の理念・歴史・思想にかんする知識に基づいて、教育の意義や特徴を理解し、説明することができる。</p> <p>(3) 教育とはなにか、よい教育とはなにかについて、自分自身のかんがえをあらわすことができる。</p>
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	<p>授業後の小レポート（30%）および学期末試験（70%）の総合成績で評価する。</p> <p>基礎的なことがらへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。</p> <p>なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。</p>
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス / 授業全体の概要をしめす。		
2	「教育」とは何か / 教育の理念および目的について学ぶ。		
3	「教育」とは何か / 教育概念の歴史的な変遷について学ぶ。		
4	教育の思想と歴史 / 前近代の共同体における人間形成について学ぶ。		
5	教育の思想と歴史 / 前近代から近現代にいたる子ども観の変遷について学ぶ。		
6	教育の思想と歴史 / 近代家族の誕生とその教育とのかかわりについて学ぶ。		
7	教育の思想と歴史 / 近代教育の成立とその思想について学ぶ。		
8	教育の思想と歴史 / 新教育の思想と実践について学ぶ。		

授業計画

予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	教育の思想と歴史 / 近代教育批判における教育のとらえなおしについて学ぶ。		
10	近代日本における教育の思想と歴史 / 前近代のこの国の教育および近代教育の受容過程について学ぶ。		
11	近代日本における教育の思想と歴史 / 大正新教育の思想と実践について学ぶ。		
12	近代日本における教育の思想と歴史 / 総力戦体制と教育および戦後の教育改革について学ぶ。		
13	近代日本における教育の思想と歴史 / 50年代から高度経済成長期にかけての教育について学ぶ。		
14	近代日本における教育の思想と歴史 / 臨教審以後の教育改革について学ぶ。		
15	まとめ / 授業をまとめ、現代教育の諸問題について考察を試みる。		

基本情報

科目名	教職論
時間割コード	1000470101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 教員の身分と役割，義務と裁量権について理解する。 2 最近の，教員を取り巻く状況や課題について理解する。 3 教員に関わる教育制度，学校の組織構造，学級経営の現代的問題理解を通して，求められる新しい教師像と専門性について考察することができる。
履修上の注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 ペアによるディスカッションをするため，ペアを作って着席する。 2 すべてペアに発言の機会があるので，常に自分の考えを持って参加する。
評価方法	ディスカッションへの参加40%，期末試験60%で評価する。 再試験は実施しない。
テキスト	使用しない。
参考文献	毎回，資料を配布する。参考資料については，授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	教員名 : 嶋 政弘 実務内容 : 公立学校教員としての実績 (35年)

授業計画

授業計画	
前半は，教員に求められる資質と意識を中心とした，教職に関する現状と課題について，最近の事例をもとに，ディスカッションを随所に仕組んだ講義を中心に進める。後半は，理想の教育を求めて取り組んでいる国内の実践例や，世界の先駆者として教育改革に取り組んでいるフィンランドを例に，これからの教育や教師像について，資料を基に，自分なりの考えを導き出すような展開にする。 なお，事前・事後学修のうち，事前学修については，個人で行うことは難しいと考えるが，事後学習については，講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。	

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
1	教職とは何か 教師の役割と使命感		
2	教職の意義 これまでに会った教師を参考に，その意義について考える		
3	理想の教師像 聖職者・労働者としての教師像		
4	教師像の変化 文学作品・テレビドラマにみられる教師像の変化		
5	教員の服務義務 法的義務と現状		
6	校務分掌と教員の多様な仕事と多忙化		
7	教師間の仕事量の不均衡と公務員制度。		
8	一人一人の児童・生徒を守る教師		
9	研修とスキルアップ		
10	国内における実践例		
11	国内における実践例		
12	理想の教育を目指して (フィンランドにおける教育改革)		
13	理想の教育を目指して (フィンランドにおける教育改革)		
14	理想の教育を目指して (フィンランドにおける教育改革)		
15	教職への道		

基本情報

科目名	教育行政論
時間割コード	0124900501
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1 教育行政の基本概念を理解し、教育行政をめぐる諸問題について自分の考えを持つことができる。</p> <p>2 日本国憲法及び教育基本法から導き出される教育の基本原則、及びその意義を理解する。</p> <p>3 学校教育における具体的な事例について、その多くが教育行政と密接に関連していることを理解する。</p>
履修上の注意事項	<p>1 ペアによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。</p> <p>2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。</p>
評価方法	ディスカッションへの参加40%、期末試験60%で評価する。 再試験は実施しない。
テキスト	使用しない。
参考文献	毎回、資料を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>教員名 : 嶋 政弘</p> <p>実務内容: 公立学校教員としての実績(35年)</p>

授業計画

授業計画	
<p>学校教育における様々な場面において、まず、その運用の実態と問題点に視点を向け、次に、その根拠となる関連法規や資料を判断基準として、実際の場面ではどのように判断すべきかについてのディスカッションを中心に展開する。</p> <p>なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	教育行政 教育委員会の組織・機能		
2	教育行政 教職員の人事権		
3	教育行政 学校選択制の拡大		
4	学校組織 校長の職務・権限と職員会議の機能		
5	学校組織 (校長, 副校長, 教頭の資格要件とその緩和)		
6	学校組織 教頭・副校長の職務		
7	学校組織 主任制度		
8	学校組織 主幹教諭・指導教諭		
9	養護教諭の職務 歴史的変遷		
10	養護教諭の職務 職務の変化		
11	教育無償化		
12	教員の服務と待遇		
13	教育課程 学習指導要領		
14	教育課程 教科書		
15	教育課程 特別支援教育		

基本情報

科目名	特別支援教育総論
時間割コード	1000480101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

詳細情報

授業の目的・到達目標	特別支援教育の意義や目的を理解し、学習面、行動面などに困難を抱える子どもの理解を、発達心理学的観点から理解し、それぞれの発達段階や特性に応じた教育および支援の在り方を考えることができる。
履修上の注意事項	予習・復習を行うこと。特に、次回の講義で扱う内容について、必ず教科書を一読した上、分からない単語などを調べておくこと(2時間)。復習時には、ノートをまとめ、講義の中で扱われた理論やキーワードを自分のことばで説明できるようになっておくこと(2時間)。
評価方法	試験で評価する(100%)。なお試験のフィードバックについては、希望者に個別に口頭で評価内容を伝える。
テキスト	はじめての特別支援教育--教職を目指す大学生のために 改訂版 (有斐閣アルマ)
参考文献	「発達障害の子どもたち」「発達障害のいま」とともに杉山登志郎、講談社現代新書。その他、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション：特別支援教育の概要と中教審「特別支援教育推進について」		
2	特別支援教育と発達臨床心理学的考え方		
3	知的機能などに制約がある子どもの理解と支援		
4	運動機能などに制約がある子どもの理解と支援		
5	見え、聞こえなどに制約がある子どもの理解と支援		
6	読み書き計算などに制約がある子どもの理解と支援		
7	注意集中力などに制約がある子どもの理解と支援		
8	社会性の発達などに制約がある子どもの理解と支援		
9	貧困や母国語など社会問題等によって発達に課題を抱える子どもの理解		
10	教育課程の中の特別支援教育の理解		
11	特別支援教育に関わるアセスメントについて		
12	発達に制約がある子どもの二次障害への理解		
13	不登校の理解と支援		
14	虐待が発達に及ぼす影響の理解と支援		
15	学習面、行動面に困難を抱える子どもを支える専門機関の理解		

基本情報

科目名	教育課程論
時間割コード	1000490101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業では、教育課程を編成して学校で教育をするということについて批判的に考える力をつけることで、学習指導要領に沿いつつも、自分自身で教育課程を編成し、カリキュラム・マネジメントをおこなっていくことができるようになることを目的とします。 そのため、この授業では、以下のことを目標とします。 (1) 教育課程が有する役割や機能、並びに意義を理解し説明することができる。 (2) 教育課程編成の基本原則、ならびに学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解し説明することができる。 (3) カリキュラムをデザインし、マネジメントをおこなっていくことができる。
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	授業後の小レポート(30%)、授業での発表(20%)、学期末レポート(50%)の総合成績で評価する。 基礎的なことからへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。 なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	(小・中・高)『学習指導要領』 上記以外の参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
予習・復習については、毎時の授業で指示します(各回につき、事前学習:2時間、事後学習:2時間)。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス/授業全体の概要をしめす。		
2	教育課程の構成要素と編成原理		
3	教育課程をめぐる法と行政		
4	教育におけるメディアとしての教科書		
5	近現代日本の教育課程の歴史(1)		
6	近現代日本の教育課程の歴史(2)		
7	学力とはなにか		
8	教育において評価とはなにか		
9	教育における評価の方法		
10	諸外国の教育課程		
11	隠れたカリキュラム		
12	子ども理解とカリキュラム		
13	カリキュラムと学校の空間		
14	保護者・地域と教育課程		
15	授業のまとめと今日の課題に応じる教育課程の在り方		

基本情報

科目名	特別活動・総合的な学習の時間の指導法
時間割コード	0124902401
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業では、学校教育における特別活動の位置付けとその意義について基礎的なことがらおよび生徒の発達や成長にたいして特別活動の持っている多様な役割と可能性について学び、特別活動を実施していくための実践的指導力の基礎を形成することを目指すとともに、総合的な学習の時間にかんして、各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰してとらえ、実社会・実生活の課題を探究する学びを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、学習活動の評価にかんする知識・技能を身に付けることを目的とします。 (1) 特別活動の意義、目標及び内容について理解し、説明することができる。 (2) 特別活動の指導の在り方について理解し、説明することができる。 (3) 総合的な学習の時間の意義や、指導計画の作成や指導の仕方について理解し、説明することができる。
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	授業後の小レポート(30%)および学期末レポート(70%)の総合成績で評価する。 基礎的なことがらへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。 なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	(小・中・高)『学習指導要領 特別活動編』、(小・中・高)『学習指導要領 総合的な学習の時間編』 上記以外の参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習・復習については、毎時の授業で指示します(各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間)。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス/授業全体の概要をしめす。		
2	教育課程における特別活動の位置付けと各教科などとの関連		
3	学級活動・ホームルーム活動の特質		
4	児童会・生徒会活動の特質		
5	クラブ活動・部活動の特質		
6	学校行事の特質		
7	教育課程全体における特別活動の指導		
8	特別活動における取組の評価・改善活動		
9	特別活動と生活指導、集団づくり		
10	特別活動における家庭・地域住民や関係諸機関との連携		
11	「総合的な学習の時間」の意義と教育課程における位置づけ		
12	「総合的な学習の時間」の目標		

授業計画

予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	年間指導計画の作成における各教科等との関連性		
14	単元計画の作成と具体事例の分析		
15	総合的な学習の時間における評価の方法		

基本情報

科目名	教育方法論
時間割コード	0124901101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 多様な学習者に配慮して「教授と学習」という視点に立った学習指導の方法を理解する。 2 学習や学校生活における様々な場面に対する対応方法について理解する。 3 授業効果を高めるための方法としての教育情報機器の利用について理解し、活用できるようになる。
履修上の注意事項	1 ペア・グループによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。 2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。
評価方法	ディスカッションへの参加40%、課題提出20%、課題発表20%、期末試験20%で評価する。 追試験は実施しない。
テキスト	使用しない。(毎回、学習プリント及び資料を配布する)
参考文献	毎回、資料を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	教員名 : 嶋 政弘 実務内容 : 公立学校教員としての実績(35年)

授業計画

授業計画	
<p>前半は、教育における方法論的な立場から、教育方法の歴史や組織面(形態)及び改革等について学ぶ。後半は、指導案作成を中心に、発表会準備の過程で、視聴覚機器の活用方法について学習する。</p> <p>なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	授業のねらいと展開の方法		
2	教育方法の歴史		
3	教育方法の歴史		
4	教育方法の種類と特質		
5	教育方法の種類と特質		
6	教育方法の改革と課題 学力形成の方法論		
7	教育方法の改革と課題 学習の形態と、教師と子どもの関係性		
8	学習指導案の作成 作成の手順と内容		
9	学習指導案の作成 単元(教材)の目標設定と指導計画		
10	学習指導案の作成 各時間(本時)におけるねらいと授業準備		
11	学習指導案の作成 学習展開(過程)における学習活動と指導上の留意点		
12	教育情報機器の操作 教育情報機器の例とその効果		
13	教育情報機器の操作 パワーポイントによるわかりやすいプレゼンテーションの作成方法		
14	指導案発表と審議		

授業計画

前半は、教育における方法論的な立場から、教育方法の歴史や組織面（形態）及び改革等について学ぶ。後半は、指導案作成を中心に、発表会準備の過程で、視聴覚機器の活用方法について学習する。

なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	指導案発表と審議		

基本情報

科目名	生徒指導・進路指導論
時間割コード	0124902101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>この授業では、生徒指導の意義や原理を理解するとともに、すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方および児童及び生徒の抱える主な生徒指導上の課題の様態と、教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を学びます。それとともに、進路指導・キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それにむけた学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を身に付けることを目的とします。</p> <p>そのため、この授業では、以下のことを目標とします。</p> <p>(1) 生徒指導の学校教育における意義や役割を理解し、説明することができる。</p> <p>(2) 生徒指導が求められる諸問題について理解し、基本的な対応ができる。</p> <p>(3) 校内外での連携のあり方について理解し、対応の方途をさぐることができる。</p> <p>(4) 進路指導・キャリア教育の進め方について理解し、基礎的な実践ができる。</p>
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	<p>授業後の小レポート（30%）および学期末レポート（70%）の総合成績で評価する。</p> <p>基礎的なことからへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。</p> <p>なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。</p>
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス / 授業全体の概要をしめす。		
2	生徒指導の意義と目的		
3	生徒指導の歴史的変遷		
4	集団指導と個別指導		
5	教育課程における生徒指導		
6	児童生徒理解の意義と方法		
7	課題を抱える児童生徒への指導		
8	いじめの実態と支援		
9	不登校問題と支援		
10	児童虐待の実態と支援		
11	非行の実態と支援		
12	生徒指導における教職員・保護者・地域・諸機関の連携		
13	進路指導・キャリア教育の意義と理論		
14	進路指導・キャリア教育の方法		
15	職業・労働と学校教育のレリバンズ		

基本情報

科目名	生徒指導論
時間割コード	0124901201
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業では、生徒指導の意義や原理を理解するとともに、すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方および児童及び生徒の抱える主な生徒指導上の課題の形態と、教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を学びます。 この授業では、以下のことを目標とします。 (1) 生徒指導の学校教育における意義や役割を理解し、説明することができる。 (2) 生徒指導が求められる諸問題について理解し、基本的な対応ができる。 (3) 校内外での連携のあり方について理解し、対応の方途をさぐることができる。
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	授業後の小レポート（30%）および学期末レポート（70%）の総合成績で評価する。 基礎的なことからへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。 なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス / 授業全体の概要をしめす。		
2	生徒指導の意義と目的		
3	生徒指導の歴史の変遷		
4	集団指導と個別指導		
5	教育課程における生徒指導		
6	児童生徒理解の意義と方法		
7	児童生徒の発達と児童生徒理解		
8	課題を抱える児童生徒への指導		
9	いじめの実態と支援		
10	不登校問題と支援		
11	児童虐待の実態と支援		
12	非行の実態と支援		
13	生徒指導と保護者		
14	生徒指導における教職員・保護者・地域・諸機関の連携		
15	授業のまとめと今日における生徒指導の課題		

基本情報

科目名	教育相談（カウンセリングを含む）
時間割コード	0124901301
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

詳細情報

授業の目的・到達目標	教育相談とは、一人一人の子どもの教育上の諸問題について本人または、保護者、教師などにその望ましい在り方について指導助言することを意味しているが、特に学校生活において不適応を訴える児童生徒、保護者に対して主として個別援助するとき、これらの悩みや問題行動に対してどのように理解し、具体的に対応していったらよいのか説明できる。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(事前60分)。授業の復習を行うこと(事後60分)。 。毎回、授業の振り返りと質問等を最後にかかせるが、内容を確認し、次時に返却する。前回の質問に対しては授業の最初に伝える。
評価方法	レポート等20%、試験80%により評価する
テキスト	テキストは特になし。 随時プリントを配布する。
参考文献	「新しい学校教育相談の在り方と進め方 - 教育相談係の役割と活動 - 」 栗原慎二著 ほんの森出版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：養護教諭として公立学校勤務経験 豊永：教諭（教育相談担当）として県立高校勤務経験，スクールカウンセラーとして公立学校勤務経験

授業計画

授業計画	
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分） 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	教育相談の考え方・教育相談の位置づけ、生徒指導と教育相談（古賀）		
2	児童生徒理解の基礎-一般的理解（発育発達、疾病、問題行動等）（古賀）		
3	児童生徒理解の基礎-個別的理解（古賀）		
4	包括的な教育相談体制（マルチレベルアプローチ）に取り組む（豊永）		
5	学級で実施できるSST（グループワーク）（豊永）		
6	学校で使えるアセスメントツール（豊永）		
7	カウンセリングの理論と技法（豊永）		
8	認知と行動にアプローチする（認知行動療法）（豊永）		
9	資源にアプローチする（豊永）		
10	家族心理学（1）家族心理学の理論（豊永）		

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	家族心理学（2）教育相談への応用（豊永）		
12	チーム援助と支援会議（豊永）		
13	教育相談の担い手（学級担任、教育相談担当者、養護教諭、スクールカウンセラー他）（古賀）		
14	教育相談の機関と支援ネットワーク（古賀）		
15	教育相談充実のための方策（古賀）		

基本情報

科目名	教育実習（事前事後指導を含む）
時間割コード	0124901701
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	3.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古賀 由紀子、古江 佳織、嶋 政弘、水間 宗幸、吉岡 久美、未定、桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	本学における教職課程で学んだ理論をもとに、学校現場における教育の実践的経験を通して、高校教諭に必要な資質や専門性、実践的指導力をもつことができる。
履修上の注意事項	高校教諭1種免許状の取得希望者のみ。履修に当たっては教職課程履修細則が適用されるので、よく確認すること。 事前準備、事後の復習については担当者の指示に従うこと。
評価方法	実習校による評価（60%）、実習録・実習終了レポートによる評価（10%）、事前事後指導における平常の評価（授業態度等）（10%）、事前事後指導におけるレポート等による評価（20%）。 なお、事前事後指導、本実習のすべてにおいて、無断欠席は認められないので厳重に慎むこと。
テキスト	特に使用しない。資料を配布する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者は教員・養護教諭の実務経験、あるいは病院勤務経験者である。

授業計画

授業計画
<p>1. 事前指導（3年次～4年次実習前） 教育実習の意義・心得、実習の内容や過程の理解、教育現場の事前理解、指導案の作成、実習に必要な知識・技術・技能の獲得、及び実習校の確定とその手続き、実習校との打ち合わせにかかわる実際的な指導</p> <p>2. 教育実習（4年次、2週間） 実習校の指導のもとで実習を行う</p> <p>3. 事後指導（4年次、実習後） 実習に関する反省と指導 体験内容の相互共有により実習経験の充実・深化をはかる。また終了レポートの作成、自己評価、体験発表、討論会等を行う。 *なお、事前事後指導については、別途指導計画表を配布する。とくに3年次は専門の実習の関係で、事前指導の日程は、変則的に組まれるので注意すること。初回のガイダンスで詳細に説明する。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	養護実習（事前事後指導を含む）
時間割コード	0124901801
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	5.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古賀 由紀子、古江 佳織、嶋 政弘、水間 宗幸、吉岡 久美、未定、桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	保健室のあり方及び養護教諭の果たすべき役割と「養護」の対象である児童生徒の心身、生活の状況、健康問題について実習校の実態に基づいて述べることができる。保健室に来室する児童生徒に対応する中で、健康問題の発見・把握、健康問題の解決、予防のための指導などを適切に行うことができる。自らが養護教諭になった時の姿（養護教諭像）を描くことができる。
履修上の注意事項	・実習に当たっては1単位の事前事後指導を受けること（養護教諭に必要な資質として救急処置の演習を含む） ・履修に当たっては教職課程履修細則が適用されるのでよく確認をすること ・実習校の計画に基づき実習を行なうこと ・実習の事前学習を行うこと（学校組織、子どもの発育・発達、養護活動など）また、実習後には振り返りレポートを書くこと。
評価方法	実習校における評価（70%）、実習録・実習終了レポートによる評価（10%）、事前事後指導における平常の評価（態度、意欲、授業参加等）、事前事後指導におけるレポートによる評価（20%）なお、事前事後指導、本実習のすべてにおいて、無断欠席は認められない。
テキスト	養護実習の手引き及び配布資料
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	担当者は教員・養護教諭の実務経験、あるいは病院勤務経験者である。

授業計画

授業計画
<p>1. 事前指導（3年次～4年次実習前） 教育実習の意義・心得、実習の内容や過程の理解、教育現場の事前理解、指導案の作成、実習に必要な知識・技術・技能の獲得、及び実習校の確定とその手続き、実習校との打ち合わせにかかわる実際的な指導</p> <p>2. 教育実習（4年次、2週間） 実習校の指導のもとで実習を行う</p> <p>3. 事後指導（4年次、実習後） 実習に関する反省と指導 体験内容の相互共有により実習経験の充実・深化をはかる。また終了レポートの作成、自己評価、体験発表、討論会等を行う。</p> <p>*なお、事前事後指導については、別途指導計画表を配布する。とくに3年次は専門の実習の関係で、事前指導の日程は、変則的に組まれるので注意すること。初回のガイダンスで詳細に説明する。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	教職実践演習（高）
時間割コード	0124901501
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

詳細情報

授業の目的・到達目標	これまでの履修内容を統合することで確かな実践的指導力を身につける。具体的には、使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項、社会性や対人関係能力に関する事項、 幼児・児童・生徒理解や学級経営等に関する事項、 教科・保育内容等の指導力に関する事項、に関する知識・技術を修得し、実践が行えるようになる。
履修上の注意事項	事前準備、事後の復習に関しては担当者の指示に従うこと。
評価方法	授業態度（30%）、 ポートフォリオを通しての評価（50%）、 外部講師による評価（20%）
テキスト	随時、紹介する。
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者は教員あるいは養護教諭として学校での実務経験、看護師は病院での実務経験がある。

授業計画

授業計画	
1. 事前指導（3年次～4年次実習前）	教育実習の意義・心得、実習の内容や過程の理解、教育現場の事前理解、指導案の作成、実習に必要な知識・技術・技能の獲得、及び実習校の確定とその手続き、実習校との打ち合わせにかかわる実際的な指導
2. 教育実習（4年次、2週間）	実習校の指導のもとで実習を行う
3. 事後指導（4年次、実習後）	実習に関する反省と指導 体験内容の相互共有により実習経験の充実・深化をはかる。また終了レポートの作成、自己評価、体験発表、討論会等を行う。 *なお、事前事後指導については、別途指導計画表を配布する。とくに3年次は専門の実習の関係で、事前指導の日程は、変則的に組まれるので注意すること。初回のガイダンスで詳細に説明する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	教職実践演習（養護教諭）
時間割コード	0124901602
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

詳細情報

授業の目的・到達目標	これまでの履修内容を統合すること確かな実践的指導力が身につける。具体的には、 自らの養護教諭としての実践実習を評価しまとめることができる。 自らの能力・適性（資質）について、自ら描く養護教諭像と照らし合わせて研鑽すべき課題を述べるができる、ということである。
履修上の注意事項	これまでの教職に関する学習の総まとめの意味があるので、毎回関連する既習科目を復習し演習に臨むこと。 授業後は、行った演習を振り返り記録しポートフォリオを作成すること。
評価方法	講義についてのレポート、演習後の記録、グループワークでの活動、振り返りでの討論等を総合して評価する。
テキスト	新しく購入するものは特になし。これまで使った教科書や資料を利用する。
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者は教員あるいは養護教諭として学校での実務経験、看護師は病院での実務経験がある。

授業計画

授業計画	
1. 事前指導（3年次～4年次実習前）	教育実習の意義・心得、実習の内容や過程の理解、教育現場の事前理解、指導案の作成、実習に必要な知識・技術・技能の獲得、及び実習校の確定とその手続き、実習校との打ち合わせにかかわる実際的な指導
2. 教育実習（4年次、2週間）	実習校の指導のもとで実習を行う
3. 事後指導（4年次、実習後）	実習に関する反省と指導 体験内容の相互共有により実習経験の充実・深化をはかる。また終了レポートの作成、自己評価、体験発表、討論会等を行う。 * なお、事前事後指導については、別途指導計画表を配布する。とくに3年次は専門の実習の関係で、事前指導の日程は、変則的に組まれるので注意すること。初回のガイダンスで詳細に説明する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	公衆衛生看護活動展開論
時間割コード	0124810101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	中川 武子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
古賀 由紀子、福本 久美子、中川 武子、未定	

詳細情報

授業の目的・到達目標	【科目目的】ライフステージごとの健康課題を明らかにし、対象に応じた人権尊重を基盤とした保健活動ができる能力を養う。 【到達目標】母子・成人・高齢者・学校・産業等の対象者の現状と課題が理解できる。個人、家族、集団の支援を結び付ける見方を理解できる。社会問題化しているテーマを取り上げ、問題の構造化と分析、支援活動の提案ができる。
履修上の注意事項	母子・成人・高齢者・学校・産業保健対策等、メディア・新聞等から健康に関する情報を収集すること。 事前学習：教科書の該当範囲を読み、不明な用語を調べて講義に臨むこと（120分以上）。 事後学習：講義の内容を教科書や配布資料などで確認整理すること（120分以上）。
評価方法	定期試験 40% 課題レポート40% 発表20% 講義後の質問への回答、発表のまとめなどフードバックを行う。 課題レポートはコメントして返却します。
テキスト	標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 医学書院 2021年度版 公衆衛生看護学概論及び国民衛生の動向 2020/2021（公衆衛生看護概論にて購入したテキスト）
参考文献	新版 保健師業務要覧（第4版） 日本看護協会出版会
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	中川：保健師として保健センター勤務経験 看護師として病院勤務経験 福本：保健師としての保健所等勤務経験 看護師として病院勤務経験 古賀：養護教諭として学校勤務経験 外部講師：保健師として町役場勤務経験 看護師として病院経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	講義）対象者の理解：生活者としての個人・家族・グループの理解（中川・福本・未定）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
2	講義）母子保健：母子保健医療福祉の動向と母子保健及び子どもの健康課題と支援（中川）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
3	講義）母子保健：支援ニーズが高い対象と虐待防止における保健活動と支援（中川）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
4	講義）母子保健：女性のライフステージと子育てリスクを持つ親子への保健指導（中川・外部講師）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
5	講義）成人保健：成人保健医療福祉の動向（中川）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること 講義資料を踏まえてまとめておくこと	
6	講義）成人保健：成人保健における健康課題と支援（中川）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	講義）成人保健：成人保健の保健活動（中川）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
8	講義）高齢者保健：高齢者の保健医療福祉の動向（福本）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
9	講義）高齢者保健：高齢者の健康課題と支援（福本）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
10	講義）学校保健：学校保健の動向及び制度と仕組み（古賀）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
11	講義）学校保健：学校保健における対象者の健康課題への対策と支援（古賀）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
12	講義）産業保健：産業保健の動向及び制度と仕組み（福本）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
13	講義）産業保健：産業保健における健康課題及び産業保健活動の実際（福本）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
14	演習）母性・成人・高齢者・学校・産業保健に関するテーマ学習の発表（中川・福本・未定）	事前：テーマ毎にまとめた発表資料を読みそれぞれの健康課題を明らかにしておくこと 事後：発表資料を踏まえまとめること	
15	講義）ライフステージをつなげて考える保健活動の組み立て（中川・福本・未定）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	

基本情報

科目名	公衆衛生看護活動展開論
時間割コード	0124810201
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	中川 武子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

詳細情報

授業の目的・到達目標	【科目目的】健康に障がいを抱える対象者の健康課題を明らかにしその解決に必要な基礎的能力を養う。 【到達目標】障がい者（児）および感染症・結核、精神、難病、歯科等の対象者の現状と課題が理解できる。それぞれの対象者に応じた支援方法が理解できる。広域的に保健活動を展開する実践方法が理解できる。
履修上の注意事項	公衆衛生看護活動展開論 を履修しておくことが望ましい。 障害者・精神・難病・感染症・口腔保健対策等、メディア・新聞等から健康に関する情報収集を収集すること。 事前学習：教科書の該当範囲を読み、不明な用語を調べておくこと（120分以上）。 事後学習：講義内容を元に配布資料の確認整理をすること（120分以上）。
評価方法	定期試験 40% 課題レポート 40% 発表 20% 課題レポートはコメントして返却します。
テキスト	標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 医学書院（公衆衛生看護活動展開論 にて使用したテキスト） 公衆衛生看護学概論および国民衛生の動向（公衆衛生看護学概論にて使用したテキスト）
参考文献	新版 保健師業務要覧 第4版 日本看護協会出版会 宮本ふみ著 無名の語り 医学書院 第1版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	中川 保健師として保健センター勤務経験 看護師として病院勤務経験 福本 保健師として保健所等勤務経験 看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	講義）障害者（児）保健福祉活動：障害者（児）の保健医療福祉の動向（中川）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
2	講義）障害者（児）保健福祉活動：障害者（児）の健康課題と保健指導（中川）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
3	講義）精神保健活動：精神保健医療福祉の動向（福本）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
4	講義）精神保健活動：精神保健医の健康課題と支援（福本）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
5	講義）精神保健活動：地域における支援が必要な精神疾患と支援の特徴（福本）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
6	講義）難病保健活動：難病保健医療福祉の動向（中川）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
7	講義）難病保健活動：難病患者の健康課題と支援（中川）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	講義）難病保健対策：難病療養者の生活と保健指導の実際（中川）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
9	講義）感染症の保健活動：感染症対策の動向と感染症対策（中川）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
10	講義）感染症の保健活動：感染症対策における疾病管理と支援の特徴（中川）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
11	講義）感染症の保健活動：予防接種と学校における感染症対策（中川）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
12	講義）感染症の保健活動：結核発生における保健指導の実際（中川・外部講師）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
13	講義）歯科保健：歯科保健の動向および口腔保健の維持と歯科保健活動（未定）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
14	演習）障害者・精神・難病・感染症・結核・歯科に関するテーマ学習の発表（中川・福本・未定）	事前：テーマ毎にまとめた発表資料を読みそれぞれの健康課題を明らかにしておくこと 事後：発表資料を踏まえまとめること	
15	講義）健康課題別健康保健指導のまとめ（中川・福本・未定）	講事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	

基本情報

科目名	公衆衛生看護活動展開論
時間割コード	0124810301
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	中川 武子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

詳細情報

授業の目的・到達目標	【科目目的】個人・家族の健康増進を図るための健康課題を明らかにしその解決に必要な基礎的能力を養う。 【到達目標】個人・家族・改善するための計画立案、支援方法、展開方法、評価方法が理解できる。健康相談、健康診査・健診、家庭訪問等における基本的支援技術を身につけることができる。
履修上の注意事項	事前学習：教科書の該当範囲を読むこと。(120分以上) 事後学習：講義・演習内容を基に配布資料を確認整理すること。(120分以上) 学生主体で演習ができるよう計画性をもって臨むこと。
評価方法	課題レポート50%、演習50% レポートはコメントして返却します。
テキスト	1)標準保健師講座2 公衆衛生看護技術 医学書院 2021年度版 2)国民衛生の動向 2021/2022 3)福岡地区小児科医会乳幼児保健委員会編、乳幼児健診マニュアル、医学書院、第6版
参考文献	新版 保健師業務要覧 第4版 日本看護協会出版会
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	中川 保健師として保健センター勤務経験 看護師として病院勤務経験 福本 保健師として保健所等勤務経験 看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	講義)保健行動と保健指導(中川・福本)	事前:該当部分のテキストを読んでおくこと 事後:講義資料を踏まえまとめること	
2	講義)健康相談:健康相談の目的・対象・方法、健康相談援助の基本姿勢(中川)	事前:該当部分のテキストを読んでおくこと 事後:講義資料を踏まえまとめること	
3	講義)健康相談:健康相談援助(中川)	事前:該当部分のテキストを読んでおくこと 事後:講義資料を踏まえまとめること	
4	演習)健康相談:健康相談事例の検討(中川・福本)	事前:健康相談に必要な資料を読んでおくこと 事後:講義資料を踏まえまとめること	
5	講義)健康診査:健康診査の目的・対象・種類・方法(中川)	事前:該当部分のテキストを読んでおくこと 事後:講義資料を踏まえまとめること	
6	演習)健康診査:乳幼児・成人に対する健康診査事業における保健指導(中川・福本・未定)	事前:健康診査に必要な資料を読んでおくこと 事後:講義資料を踏まえまとめること	
7	講義)家庭訪問:家庭訪問の特徴、根拠法令(中川)	事前:該当部分のテキストを読んでおくこと 事後:講義資料を踏まえまとめること	
8	講義)家庭訪問:家庭訪問の優先順位受け入れ困難なケースの対応(中川)	事前:該当部分のテキストを読んでおくこと 事後:講義資料を踏まえまとめること	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
9	演習)家庭訪問:事例の訪問計画作成(新生児・成人・高齢者・精神・結核)(中川・福本・未定)	事前:訪問計画作成に必要な資料を読む しておくこと 事後:講義資料を踏まえまとめること	
10	演習)家庭訪問:事例の訪問計画作成(新生児・成人・高齢者・精神・結核)(中川・福本・未定)	事前:訪問計画作成に必要な資料を読む しておくこと 事後:講義資料を踏まえまとめること	
11	演習)家庭訪問:事例のアセスメント・訪問事例の計画発表(中川・福本・未定)	事前:事例発表の資料を準備し練習をし ておくこと 事後:講義資料を踏まえまとめること	
12	演習)家庭訪問:事例のアセスメント・訪問事例の計画発表(中川・福本・未定)	事前:事例発表の資料を準備し練習をし ておくこと 事後:講義資料を踏まえまとめること	
13	演習)家庭訪問:新生児家庭訪問のロールプレイ(中川・福本・未定)	事前:ロールプレイの練習をしておくこ と 事後:講義資料を踏まえまとめること	
14	演習)家庭訪問:新生児家庭訪問のロールプレイ(中川・福本・未定)	事前:ロールプレイの練習をしておくこ と 事後:講義資料を踏まえまとめること	
15	講義)まとめ 既存資料による実習地区の特徴把握(中川・福本・未定)	事前:該当部分のテキストを読んでおく こと 事後:講義資料を踏まえまとめること	

基本情報

科目名	公衆衛生看護活動展開論
時間割コード	0124810401
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	中川 武子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
福本 久美子、中川 武子、未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>【科目目的】グループ・集団の健康増進を図るための健康課題を明らかにしその解決に必要な基礎的能力を養う。</p> <p>【到達目標】地域にあるグループ・集団が抱える健康課題を明らかにできる。対象者の健康課題を改善するための計画立案、支援方法、展開方法、評価方法が理解できる。健康教育における一連のプロセスと基本的支援技術を身につけることができる。</p>
履修上の注意事項	<p>事前学習：教科書の該当範囲を読むこと。(120分以上)</p> <p>事後学習：講義内容を基に配布資料を確認整理すること。(120分以上)</p> <p>健康に関する情報を常に入手し、講義・演習に積極的に参加すること。</p>
評価方法	<p>定期試験(20%) 実技演習(50%) 課題レポート(30%)</p> <p>課題レポートはコメントして返却します。</p>
テキスト	最新 保健学講座<別巻1> 健康教育論、メヂカルフレンド社 2021年度版
参考文献	福留スミ子著、レッツ・トライ健康学習 幸せな健康教育実践一、やどかり出版 2007年出版 井伊久美子他編集 保健師業務要覧 日本看護協会出版会 第4版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>中川 保健師として保健センター勤務経験 看護師として病院勤務経験</p> <p>福本 保健師として保健所等勤務経験 看護師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	講義)健康教育の特徴と方法(中川・福本・未定)	事前:該当部分のテキストを読んでおくこと 事後:講義資料を踏まえまとめること	
2	講義)健康教育の展開技術(中川・福本)	事前:該当部分のテキストを読んでおくこと 事後:講義資料を踏まえまとめること	
3	講義)健康教育の展開技術(中川・福本)	事前:該当部分のテキストを読んでおくこと 事後:講義資料を踏まえまとめること	
4	講義)地区特性の理解と健康課題の明確化(中川・福本)	事前:該当部分のテキストを読んでおくこと 事後:講義資料を踏まえまとめること	
5	講義)地区特性の理解と健康課題の明確化(中川)	事前:該当部分のテキストを読んでおくこと 事後:講義資料を踏まえまとめること	
6	演習)対象の選定・参加者の勧奨(中川・福本・未定)	健康教育対象者の特徴と地区の地域特性を理解しておくこと	
7	演習)健康教育計画(企画・指導案)の作成(中川・福本・未定)	テキスト及び講義資料を踏まえ健康教育指導案の立案に必要な資料を確認しておくこと 指導案の見直しを行うこと	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	演習）健康教育計画（企画・指導案）の作成（中川・福本・未定）	テキスト及び講義資料を踏まえ健康教育指導案の立案に必要な資料を確認しておくこと 指導案の見直しを行うこと	
9	演習）健康教育の実施準備（中川・福本・未定）	健康教育実施に必要な資料を準備すること デモンストレーションを行うこと	
10	演習）健康教育の実施準備（中川・福本・未定）	健デモンストレーションを行うこと康教育実施に必要な資料を準備すること	
11	演習）健康教育の実施（高齢者サロン・育児サークル等にて）（中川・福本・未定）	デモンストレーションを実施して臨むこと 健康教育実施後の振り返りを行うこと	
12	演習）健康教育の実施（高齢者サロン・育児サークル等にて）（中川・福本・未定）	デモンストレーションを実施して臨むこと 健康教育実施後の振り返りを行うこと	
13	演習）健康教育後の評価（中川・福本）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること 講義資料を踏まえてまとめておくこと	
14	講義）グループ支援の特徴・方法（中川・福本）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	
15	講義）グループ支援、組織育成、地区活動への反映（中川・福本）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえまとめること	

基本情報

科目名	公衆衛生看護管理論
時間割コード	0124810501
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 3, 木 4
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	福本 久美子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
福本 久美子、中川 武子、未定	

詳細情報

授業の目的・到達目標	地域診断に基づく保健医療福祉計画と、計画を実現するための事業計画の策定方法が理解できる。 保健福祉活動を円滑に進める上で必要な地域ケアシステムの形成過程、社会資源の公平な分配が理解できる。 健康危機管理の理念と目的、制度とシステム、健康課題と展開方法に関する基本が理解できる。 公衆衛生看護管理の構成要素、専門的自立と人材育成に関する基本が理解できる。
履修上の注意事項	1) 実習フィールドを基に、公衆衛生看護管理に関する理解を深めるため、実習フィールドに出向くことがある。実習フィールドに関する情報は、自治体のホームページや既存の統計資料などから事前学習を行い、授業に参加すること。日々の実習が終了後、復習を行い学びを深めること。 2) グループワークや討論など参加型の手法を取り入れるため、授業以外の学習時間を活用し課題を整理することが必要となるため、学生間で調整を行い、グループ学習を進めること。
評価方法	GW発表及び成果資料50点、レポート20点、ミニテスト30点(15点×2回) フィードバックはGW発表や成果物についてその都度指導を行う。
テキスト	最新保健学講座5「公衆衛生看護管理論」メヂカルフレンド社、平野かよ子編集、2015
参考文献	「新版保健師業務要覧」日本看護協会出版会、他、適宜紹介
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	福本久美子:保健師としての実務経験 中川武子:保健師としての実務経験 未定

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	公衆衛生看護管理の特色と基本となるもの(福本)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
2	公衆衛生看護管理の構成要素(福本)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
3	地域診断の概念・方法、地域集団特性の把握など(福本・中川・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
4	地域診断の方法の実践(福本・中川・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
5	地区把握と地区診断の実践1(福本・中川・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	実習市町村を例に地区踏査・地区把握の方法について、検討(GW)
6	地区把握と地区診断の実践2(福本・中川・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	実習市町村を例に地区踏査・地区把握の方法について、検討(GW)
7	地区診断に基づく事業計画と保健師の役割(福本)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
8	社会資源とは、地域の社会資源の実際(未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
9	自治体の保健統計の見方、医療費分析(中川)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	実習市町村を例に
10	保健医療福祉計画の策定と予算(未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
11	地区把握・地区診断の実際3(福本・中川・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	実習市町村を例に地区踏査
12	地区把握・地区診断の実際4(福本・中川・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	実習市町村を例に地区踏査
13	地区把握・地区診断の実際5(福本・中川・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	実習市町村を例に地区踏査
14	地区把握・地区診断の実際6(福本・中川・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	実習市町村の地区踏査・地区把握結果の報告(GW発表)
15	地区把握・地区診断の実際7(福本・中川・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	実習市町村の地区踏査・地区把握結果の報告(GW発表)
16	地域組織活動の考え方、活動の種類(未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
17	地域包括ケアシステムの構築(中川・福本・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
18	地域包括ケアシステムの構築の実際(中川・福本・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	GW
19	健康危機管理対策の概要(中川・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
20	健康危機管理対策の実際(例:感染症対策)(中川・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
21	健康危機管理対策の実際(例:地震)(中川・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
22	健康危機管理対策(感染・災害) クロスロード演習1(中川・福本・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	GW
23	健康危機管理対策(感染・災害) クロスロード演習2(中川・福本・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	GW発表
24	健康危機管理対策における保健師活動(中川・福本・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
25	地区把握・地区診断の実際8(福本・中川・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	実習市町村を例に地区把握情報に関する要因分析の発表(GW)
26	地区把握・地区診断の実際9(福本・中川・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	実習市町村を例に地区把握情報に関する要因分析の発表(GW)と助言
27	事例検討会の意義と方法(福本・中川・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
28	事例検討会の実際(福本・中川・未定)	テキストを事前学習のこと（2時間）、事後はテキストなどを振り返りノートをし っかり整理すること（2時間）	GW
29	地区把握・地区診断の実際10(福本・中川・未定)	テキストを事前学習のこと（2時間）、事後はテキストなどを振り返りノートをし っかり整理すること（2時間）	実習市町村を例に地域診断(仮説の設定)結果の発表（GW発表）
30	専門的自立と人材育成、公衆衛生看護倫理(福本・中川・未定)	テキストを事前学習のこと（2時間）、事後はテキストなどを振り返りノートをし っかり整理すること（2時間）	

基本情報

科目名	公衆衛生看護管理論
時間割コード	0124810601
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	福本 久美子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
福本 久美子、中川 武子、未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>実習フィールドを事例とし、公衆衛生看護管理の模擬体験ができる。</p> <p>実習フィールドを事例とし、地域診断に基づく保健福祉計画と、計画を実現するための各種事業計画の策定方法、保健活動の評価について理解できる。</p> <p>働く人の健康管理について理解できる。</p> <p>保健師に求められる公衆衛生看護管理責任、管理能力が理解できる。</p>
履修上の注意事項	<p>1) 実習フィールドや産業保健フィールドに関する情報は、自治体や企業のホームページや既存の統計資料などから事前学習を行い、授業に参加すること(事前学習2時間以上)。</p> <p>2) グループワークや討論など参加型の手法を取り入れるため、授業以外の学習時間を活用し課題を整理することが必要になるため、学生間で調整を行い、グループ学習を進めること(事後学習各コマ2時間以上)。</p>
評価方法	<p>GWとその発表50%、レポート(働く人の健康管理)20%、実習最終レポート10%、公衆衛生看護管理テスト20点、</p> <p>フィードバックはGW発表会や報告書作成時等にコメントを行う。</p>
テキスト	最新保健学講座5「公衆衛生看護管理論」メヂカルフレンド社、平野かよ子編集、2015
参考文献	「新版保健師業務要覧」日本看護協会出版会、他
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>福本：保健師として県保健所等勤務経験</p> <p>中川：保健師として保健センター勤務経験</p> <p>未定</p>

授業計画

授業計画
<p>1 (福本、中川、未定) 地域保健活動の実際(フィールド自治体の紹介、オリエンテーション)</p> <p>2 (福本、中川、未定) 実習自治体(行政機関)の地区把握の実際(保健師インタビュー)</p> <p>3 (福本、中川、未定) 働く人の健康管理(産業保健)について(事業所実習を例に)</p> <p>4 (福本、中川、未定) 地区活動計画(事業計画・健康教育計画等)立案</p> <p>5 (福本、中川、未定) 実習自治体の地区診断結果に関する発表</p> <p>6~8 (福本、中川、未定) 地域保健活動の実践の振り返り (実習フィールドを例に)</p> <p>9~12 (福本、中川、未定) 地域保健活動の実践の振り返り (実習フィールドを例に)</p> <p>13・14 (福本、中川、未定) 地域保健活動の実践の振り返り (実習フィールドの指導者を対象にした発表)</p> <p>15 (福本、中川、未定) まとめ(公衆衛生看護管理責任と能力について: 報告書作成の意義と実際)</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	疫学
時間割コード	0124810701
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3, 火 4, 水 3, 水 4, 水 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	森 美穂子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
森松 嘉孝、森 美穂子

詳細情報

授業の目的・到達目標	目的：人集団における疾病などの健康事象の分布と規定要因を解明し、健康の保持増進を疫学の観点から理解し、説明できることを目的とする。
履修上の注意事項	テキストを読むこと。予習と復習をおこなうこと。 講義中の疑問点があれば、講義前後に質問を受け付ける。 小テストを行った場合は、採点し返却する。
評価方法	15回の講義後、森担当の11回分の内容は別日程で試験を行います。 森担当（70点）試験70%、出席、授業態度、小テストなど30%の割合で評価します 森松担当（30点）レポート、出席、授業態度から総合的に評価します
テキスト	標準保健師講座2 疫学・保健統計学 配布プリント
参考文献	厚生労働統計協会篇、「国民衛生の動向」
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	疫学とは何か		森
2	疫学で用いられる指標		森
3	産業保健の実践 1		森松
4	産業保健の実践 2		森松
5	疫学研究の分類		森
6	疫学研究の効果指標		森
7	誤差、バイアス、交絡		森
8	標準化		森
9	産業保健関連法規 1		森松
10	産業保健関連法規 2		森松
11	疫学におけるスクリーニング		森
12	疫学におけるスクリーニング		森
13	疾病の疫学		森
14	保健統計、統計学の基礎		森
15	まとめ		森

基本情報

科目名	保健統計学
時間割コード	0124810801
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	福本 久美子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

詳細情報

授業の目的・到達目標	目的) 集団や地域の顕在的・潜在的な健康課題を明らかにし、解決策を計画立案するための情報を収集・分析する手法を理解し、実践できる。 目標) 保健統計に関する資料の所在と収集過程、統計を読む際の諸注意を理解し活用できる。 統計調査法と記述的解析方法・統計的推論の方法を理解でき、活用できる。
履修上の注意事項	1) 計算機、定規等を使用するので、準備すること。 2) 本科目は、公衆衛生看護活動(保健師活動)の基礎となる技術である。本科目を基に、公衆衛生看護学実習における実践場面につながるものである。情報リテラシーや統計学の復習を行い、授業に臨むこと。 3) 授業の予習復習を行うこと(180分以上)。地域の実際のデータを収集分析をグループで行うこと(180分以上)。
評価方法	ミニテスト30点×2回=60点、 グループによる課題レポート40点 フィードバック: ミニテストの回答は解説。課題レポートの添削指導実施。
テキスト	1) .[標準保健師講座別巻2 疫学・保健統計]牧本清子他、医学書院 第3版 2) .[国民衛生の動向2020/2021]厚生統計協会
参考文献	適宜、紹介。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	福本: 保健師として県(保健所等)勤務経験 中川: 保健師として保健センター勤務経験 未定:

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	公衆衛生看護学における保健統計を学ぶ意義・根拠法令(福本・中川・未定)	テキスト第8章からを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
2	保健統計の見方1:年次推移・地域分布(未定)	テキスト等を事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理するとともに、GWによる課題を行うこと(2時間)	
3	保健統計の見方2:疾病・障害の定義と分類(未定)	テキスト等を事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理するとともに、GWによる課題を行うこと(2時間)	
4	保健統計の見方3:関連要因別の比較(未定)	テキスト等を事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理するとともに、GWによる課題を行うこと(2時間)	
5	保健統計の見方4:将来予測(中川)	テキスト等を事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理するとともに、GWによる課題を行うこと(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	保健統計の見方5：医療経済統計（中川）	テキスト等を事前学習のこと（2時間）、 事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理するとともに、GWによる課題を行うこと（2時間）	
7	保健統計の見方6：データの表現（中川）	テキスト等を事前学習のこと（2時間）、 事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理するとともに、GWによる課題を行うこと（2時間）	ミニテスト実施
8	保健統計学の基礎1（データの種類と分布）（森、中川・未定・福本）	テキスト等を事前学習のこと（2時間）、 事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理するとともに、GWによる課題を行うこと（2時間）	
9	保健統計学の基礎2（関連の指標）（森、中川・未定・福本）	テキスト等を事前学習のこと（2時間）、 事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理するとともに、GWによる課題を行うこと（2時間）	
10	統計的推論1（点推定と区間推定）（森、中川・未定・福本）	テキスト等を事前学習のこと（2時間）、 事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理するとともに、GWによる課題を行うこと（2時間）	
11	統計的推論2（検定、帰無仮説、統計学的有意性）（森、中川・未定・福本）	テキスト等を事前学習のこと（2時間）、 事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理するとともに、GWによる課題を行うこと（2時間）	
12	統計的推論3（割合に関する推定と検定）（森、中川・未定・福本）	テキスト等を事前学習のこと（2時間）、 事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理するとともに、GWによる課題を行うこと（2時間）	
13	統計的推論4（平均に関する推定と検定）（森、中川・未定・福本）	テキスト等を事前学習のこと（2時間）、 事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理するとともに、GWによる課題を行うこと（2時間）	
14	生命表（平均寿命と健康寿命）（森、中川・未定・福本）	テキスト等を事前学習のこと（2時間）、 事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理するとともに、GWによる課題を行うこと（2時間）	
15	情報の管理、まとめ（福本・中川・未定）	テキスト等を事前学習のこと（2時間）、 事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理するとともに、GWによる課題を行うこと（2時間）	ミニテスト実施

基本情報

科目名	保健福祉行政論
時間割コード	0124810901
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	福本 久美子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
福本 久美子、中川 武子、隈 直子、未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 地域の人々の健康を保障するため、生活と健康に関する社会資源の公平な利用と分配を促進する必要性について理解できる。 2. 保健医療福祉行政の仕組み、地域の健康課題に必要な社会資源の開発、評価等の基礎となる法律・制度・政策について理解できる。
履修上の注意事項	1) 予習復習を行い、講義に積極的に参加すること(90分以上)。 2) 日頃から、保健医療福祉行政に関する新聞報道などに関心を持ち、情報収集に努めること。
評価方法	課題レポート2回(50点 2回=100点) レポートテーマ等は、Campus Squareで指示。 レポート提出先: Campus Square。フィードバックは質問者に対応。
テキスト	『これからの保健医療福祉行政論 第2版』日本看護協会
参考文献	『国民衛生の動向2020/2021』厚生統計協会、他適時紹介
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	福本久美子: 行政保健師としての実務経験 中川武子: 保健師としての実務経験 未定

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	保健医療福祉行政の理念(福本・中川・未定)	テキスト第1章を事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
2	保健医療福祉行政の組織(しくみ)と役割(福本)	テキスト第3章を事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
3	保健医療福祉行政の財政(福本)	テキスト第3章を事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
4	保健医療福祉行政の計画と評価(福本)	テキスト第3・4章を事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
5	保健医療福祉行政の歴史的変遷とその背景(中川)	テキスト第3章を事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
6	保健医療福祉行政の新たな課題への対応(福本)	1コマから5コマまでと現在の行政課題を事前学習のこと(2時間)、事後はノートをしっかり整理すること(2時間)	
7	社会保障制度と公衆衛生行政(中川)	事前は国民衛生の動向や新聞報道等で情報収集のこと(2時間)、事後はノートをしっかり整理すること(2時間)	
8	社会保障制度と社会福祉(隈)	事前は国民衛生の動向や新聞報道等で情報収集のこと(2時間)、事後はノートをしっかり整理すること(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	地域保健の制度(未定)	事前は国民衛生の動向や新聞報道等で情報収集のこと(2時間)、事後はノートをしっかり整理すること(2時間)	
10	医療保険制度(未定)	事前は国民衛生の動向や新聞報道等で情報収集のこと(2時間)、事後はノートをしっかり整理すること(2時間)	
11	医療制度とその医療提供体制の実際(福本:外部特別講師)	事前は国民衛生の動向や新聞報道等で情報収集のこと(2時間)、事後はノートをしっかり整理すること(2時間)	
12	母子保健制度(未定)	事前は国民衛生の動向や新聞報道等で情報収集のこと(2時間)、事後はノートをしっかり整理すること(2時間)	
13	介護保険制度と実際の運用(福本:外部特別講師)	事前は国民衛生の動向や新聞報道等で情報収集のこと(2時間)、事後はノートをしっかり整理すること(2時間)	
14	世界の公衆衛生と理念(中川)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
15	まとめ(福本・中川・未定)	テキストやこれまでの授業資料を事前学習(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	

基本情報

科目名	保健福祉行政論演習
時間割コード	0124811001
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	福本 久美子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

詳細情報

授業の目的・到達目標	保健医療福祉行政に関する基礎的知識を深め、健康関連施策等の社会資源の開発とその質を保証していく活動展 開方法について、関連施設の見学や課題事例の検討等を通して、学ぶ。
履修上の注意事項	施設見学の内容・注意点については講義の中で説明するので、施設見学前後の課題について学習をすること(90分以上) 読み込んだ実践事例はグループで要約し考えたことを発表するので、その資料を事前に作成すること(90分以上) 講義終了後、実習地域の特徴を調べ、実習に備える(60分以上)
評価方法	GW発表30点、施設演習レポート40点(1施設10点×4)、最終レポート30点 フィードバックはレポートを添削指導。
テキスト	[これからの保健医療福祉行政論 第2版] 日本看護協会(2年次科目で使用) [公衆衛生がみえる2021/2022] MEDIC MEDIA、
参考文献	[国民衛生の動向]厚生統計協会(1・2年次科目で使用) [新版保健師業務要覧第4班] 日本看護協会、 「沢内村」 奮闘記」あけび書房、1983 そよ風と暮らしと健康」熊本日日出版社 2013 その他、適時紹介
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	福本：保健師として県(保健所等)勤務経験 中川：保健師として保健センター勤務経験 未定

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	公衆衛生看護学における保健医療福祉行政の理念・役割・法的な意味(福本)	関連事項の事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
2	社会資源の利用と分配・保健福祉医療行政の実践事例の説明、GWの進め方(福本・中川・未定)	関連事項の事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
3	行政の実践事例を読み解き、社会資源の利用と分配・行政計画について考える(福本・中川・未定)	関連事項の事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	グループワーク(GW)
4	保健医療福祉行政の対人保健サービス実践業務1(中川・福本・未定)	関連事項の事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	熊本県精神保健福祉センターにて
5	保健医療福祉行政の対人保健サービスを利用する人々への支援(中川・福本・未定)	関連事項の事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	熊本県精神保健福祉センターを利用する当事者の話(精神保健福祉センターにて)
6	保健医療福祉行政の対人保健サービス実践業務2(中川・福本・未定)	関連事項の事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	熊本県中央児童相談所にて
7	保健医療福祉行政の対人保健サービスを利用する人々への支援2(中川・福本・未定)	関連事項の事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	熊本県中央児童相談所の保健師活動(現地)

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	保健医療福祉行政の対人保健サービス実践について考える（中川・福本・未定）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	GW
9	保健医療福祉行政の対物保健サービス実践業務（中川・福本・未定）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	保健環境研究センターの業務見学
10	保健医療福祉行政の対物保健サービス実践業務の役割（中川・福本・未定）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	保健環境研究センターの業務と役割見学
11	保健医療福祉行政の対物保健サービス実践業務（中川・福本・未定）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	食肉衛生検査所の業務見学
12	保健医療福祉行政の対物保健サービス実践業務の役割（中川・福本・未定）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	食肉衛生検査所の業務と役割見学
13	保健医療福祉行政の対人・対物サービス（社会資源）について考える（中川・福本・未定）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	GW
14	健康関連施策に関する社会資源の開発について（福本・中川・未定）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	GWと発表
15	まとめ（福本・中川・未定）	テキストやこれまでの授業資料を事前学習（2時間）、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	

基本情報

科目名	公衆衛生看護学実習
時間割コード	0124811101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	5.0
学年	4
主担当教員	福本 久美子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
福本 久美子、中川 武子、未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	(1)地域で生活している個人・家族の生活背景・家族関係・社会的立場や環境を含めて人々を深く理解し、支援するために、集団や地域を対象として保健師が行う公衆衛生看護活動の基本的な知識・技術・態度について体験を通して習得する。 (2)公衆衛生看護の特徴、行政保健師及び地域包括支援センター、産業保健の保健師に求められる役割について学ぶ。
履修上の注意事項	実習要綱を活用し、予習復習を行うこと(実習日は毎日60分以上) カンファレンスは毎日行い、情報の共有や問題解決の場とし、中間カンファレンスや最終カンファレンスで実習目的目標と照らし学習成果の確認を行うこと 実習記録は要綱の様式に従うこと。その様式は大学ホームページからダウンロードすること 実習現場までの交通手段、緊急連絡方法等は事前に確認し、指導教員に報告・連絡をすること
評価方法	実習の到達目標にそって、実習内容(実習記録・レポート60%、事業参加状況・カンファレンス・実習態度40%)を自己評価を基に面接を行い総合的に評価する。評価のフィードバックは終了後面接で行う。
テキスト	1. 最新保健学講座「公衆衛生看護管理論」平野かよこ編集 メヂカルフレンド社 2. 「国民衛生の動向」厚生統計協会 3. 「公衆衛生がみえる」メディック・メディカ
参考文献	1. 「新版保健師業務要覧」日本看護協会出版会、 2. 「公衆衛生がみえる」メディック・メディカ 他、適宜紹介
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	福本：保健師として県(保健所等)勤務経験 中川：保健師として保健センター勤務経験 未定

授業計画

授業計画

1. 実習期間：県型保健所1週間及び市町村(地域包括支援センター含む)事業場1日で4週間
2. 実習場所：熊本県内自治体(具体的な施設名は年度当初紹介)、事業所。なお、実習期間中に地域包括支援センター等保健活動を学ぶ機会を含む。
3. 実習内容
 - (1)学内事前学習(公衆衛生看護管理論にて地区活動の具体的な展開方法を学ぶ)
 - 実習フィールドの既存資料などから情報収集・分析をし、健康課題の仮説を立案
 - 実習目的目標の明確化、行動計画や健康教育計画・訪問計画等の策定。
 - (2)市町村実習(4週間：地域包括支援センター見学実習、学内まとめを含む)
 - 実習市町村及び保健事業の概要に関するオリエンテーション
 - インタビューや地区踏査と既存資料の情報から地域特性や生活実態等の地区把握と地区診断
 - 住民や関係機関と連携・協働 保健活動に参加し、個別支援と集団アプローチの保健事業の実習
 - 継続的な家庭訪問の実施(1事例以上継続訪問・2例以上訪問実習：母子、高齢者等)
 - 地区の健康課題に即した健康教育の実施(必ず1回)
 - 健康をつくる活動の企画から評価までの流れを学ぶ(施策化の流れ)
 - 地域包括支援センターの見学実習等
 - 実習自治体内の学校・事業所に対するインタビューを行い、行政・学校・事業所の連携を学ぶ
 - (3)保健所実習(1週間)
 - 専門的知識・技術が求められる相談や訪問の体験
 - 広域における健康危機(感染症、食中毒、自殺、DV、虐待、災害等)の実践事例の検討、健康危機管理マニュアルの理解
 - 広域的な社会資源の実際を把握し、見学体験する
 - 広域行政としての計画の策定、施策化について、保健医療計画等の記述内容・策定過程から学ぶ
 - 既存の保健・医療・福祉分野の包括的ネットワークの一つを取り上げ、背景にある法律や条令、地域の健康課題との関連、ネットワークができた過程や関係者・関係機関の連携を学ぶ
 - (4)産業保健実習(1日)
 - 事業所実習を通して、働く人々への産業保健活動とその保健師活動の実際を学ぶ

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	心理学
時間割コード	0124110201
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	山住 賢司
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
山住 賢司

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、心の働き・仕組みを科学的に探究していく学問である心理学の基礎について学んでゆく。 人の心の基本的な仕組みと機能、発達段階における心理的課題、日常生活と心の健康との関係、心理学理論を基礎とするアセスメントの方法と支援、等について理解することを目的とする。 本講義を通じて受講者は、心理学の基本知識について自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。 テキストは毎回必ず持参すること。 理解度を確保するための確認課題を各回の講義で実施する。
評価方法	定期試験の得点100%で成績を評価する。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	「最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座2 心理学と心理的支援」 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編） 中央法規 2021
参考文献	「心理学概論[第2版]」 岡市廣成・鈴木直人（監修） ナカニシヤ出版 2014
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス：「心理学」について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
2	心理学の歴史と方法について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
3	心の生物学的基礎の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	感情・動機づけ・欲求の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
5	感覚と知覚の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
6	学習・行動の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
7	認知：記憶・注意・言語・思考の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
8	知能・パーソナリティの心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
9	社会のなかでの心理：自己概念・対人認知・集団の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
10	心の発達の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
11	心の健康：ストレス理論と対処行動の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
12	心理アセスメントの理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	心理療法と介入技法の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
14	心理的支援の基本的技法の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
15	まとめ：振り返り・心理学と対人援助職との交点	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

基本情報

科目名	心理学
時間割コード	0124110303
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	山住 賢司
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
山住 賢司

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、心理学という学問分野の全体像とその広がりについて学んでゆく。心理学は実証科学であり、様々なエビデンスに基づいて「人の心」を明らかにすることを目指している。そのような学問背景を持つ心理学が人間の多種多様な側面をどのように説明しているかを古典的研究から最新研究まで幅広く概観することで、心理学がどのような学問であるかについての理解を深めることを目的とする。 本講義を通じて受講者は、心理学とはどのような学問であるのかを理解し、自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。 理解度を確保するための確認課題を各回の講義で実施する。
評価方法	定期試験の得点100%で成績を評価する。 再試験は実施しない。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	使用せず、講義中に随時資料を配布する。
参考文献	「心理学ビジュアル百科 基本から研究の最前線まで」 越智啓太（編） 創元社 2016 「カラー版 マイヤーズ心理学」 D・マイヤーズ（著） 西村書店 2015
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス：心理学のこれまでとこれから	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
2	感情と心理学：単純接触効果、情動の二要因説、ソマティック・マーカー仮説	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
3	社会の中の心理学：対人魅力、認知的不協和、傍観者効果、フレーミング効果	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
4	パーソナリティと心理学：Big Five理論、権威主義的パーソナリティ、アイヒマン実験	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
5	心の病と健康の心理学：精神疾患、向精神薬、レジリエンス	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
6	脳と心の関係：脳損傷、機能局在、ミラーニューロン	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
7	進化と心理学：利己的な遺伝子、囚人のジレンマとシッペ返し戦略、ソーシャルブレインズ	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
8	こころの発達：ピアジェの認知発達、心の理論、新生児模倣、アタッチメント	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
9	学習と心理学：条件づけ、観察学習、社会的学習理論	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
10	感覚の心理学：感覚モダリティ、共感覚、ラバーハンド錯覚	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
11	音の世界の心理学：音の性質、メロディらしさの認知、心を動かす音楽	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
12	音声とコミュニケーションの心理学：印象伝達、非言語コミュニケーション、声を操る	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
13	記憶・注意の心理学：記憶の再構成、プライミング効果、チェンジブラインドネス	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
14	意識・認識と心理学：因果関係の知覚、AIとニューラルネットワーク、意識の神経相関説	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
15	まとめ	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	

基本情報

科目名	法学
時間割コード	0124110601
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	今日の社会で要求される法感覚、さらに私たちが日常生活を送る上で必要な法知識を身につけることを目標とする。具体的には、以下の事項についての理解を目指す。 社会生活における法の作用および役割、民法の財産法および家族法の基本的な考え方、医療・福祉サービス利用者の権利とその救済方法、成年後見制度および日常生活自立支援事業、医療・福祉職の専門性と法的責任
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	野崎和義著『医療・福祉のための法学入門』2013年、ミネルヴァ書房。 野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房。
参考文献	各回の講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	法と日常生活 講義計画の紹介、何をどこまで学ぶか、法というものの考え方		
2	家庭生活と法（1） 親族の範囲・効果		
3	家庭生活と法（2） 婚姻・離婚とその効果		
4	家庭生活と法（3） 相続の一般原則、法定相続と遺言相続、相続をめぐる諸問題		
5	消費生活と人権（1） 悪質商法の法的問題点、物権と債権の基本的異同		
6	消費生活と人権（2） クレジット取引の仕組み、契約の拘束力・相対性		
7	刑事手続きと人権（1） 法的責任、犯罪と刑罰、刑務所と前科		
8	刑事手続きと人権（2） 不法行為責任と刑事責任の異同、行政上の処分の独自性		
9	医療・福祉サービスに関わる法（成年後見制度と日常生活自立支援事業、行政行為と行政争訟）		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	医療・福祉専門職の根拠法（医療・福祉職の専門性および資格、社会福祉各法の適用対象者）		
11	医療・福祉職の連携（看護・介護事故、看護と介護の関係、職務の専門性と就業問題）		
12	病院・施設の設置基準と法律問題（医療・福祉サービスの公共性、設置基準の法的拘束力）		
13	障害者の雇用・就労支援（障害者雇用促進法、法定雇用率、勤労の権利と義務）		
14	ふたたび人権を考える（雇用対策と差別の禁止、労働市場における公正、人権の普遍性）		
15	医療・福祉職と法（高齢社会における課題と役割分担、行為準則としての法）		

基本情報

科目名	法学（日本国憲法）
時間割コード	0124110701
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	医療・福祉さらには教育の実践にあたって必要な憲法感覚を身につけることを目標とする。具体的には、以下の事項についての理解を目指す。 日本国憲法の基本原理、基本的人権の意義および機能、基本的人権を保障するための仕組み（国および地方公共団体の組織・権能、財政）、行政情報へのアクセス（情報公開）、行政の役割と法治国家原理（行政行為、行政手続き、行政不服審査・行政訴訟）
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	野崎和義著『医療・福祉のための法学入門』2013年、ミネルヴァ書房。 野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房。
参考文献	各回の講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	取引社会と医療・福祉の権利（取引社会のルール、契約原理の修正、国家と個人）		
2	日本国憲法の考え方（人権規定の私人間効力、裁判例の分析、人権という思想）		
3	日本国憲法の構成（三つの基本原理、基本的人権のカatalog、人権保障の仕組み、特別条項）		
4	基本的人権と公共の福祉、基本的人権の主体（内在的制約と外在的制約、外国人・法人の人権）		
5	プライバシーの権利と個人情報の保護、情報公開制度（行政情報へのアクセス）		
6	自己決定権の尊重と医療・介護（インフォームドコンセント、身体拘束の禁止）		
7	自由権（とくに人身の自由、少年の刑事手続き、資格制限と社会復帰）		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	法の下での平等と合理的差別（男女共同参画、セクハラと男女雇用機会均等法）		
9	家族生活における平等（介護と扶養、介護保険制度導入の背景）		
10	社会権の思想（平等権から社会権へ、生活保護法の基本原理と裁判例）		
11	高齢社会における社会保障（社会保障の法体系、高齢者と住居、看護・福祉の労働）		
12	その他の基本権 参政权、受益権（施設入所高齢者・障害者の参政权保障、国家賠償請求権）		
13	国家の機構（三権の抑制と均衡、裁判所の仕組み）		
14	財政、地方自治（財政の基本原則、自治体の行政権・立法権、行政争訟）		
15	医療・福祉と日本国憲法（民主主義と少数者の人権、統治機構の役割）		

基本情報

科目名	経済学
時間割コード	0124110901
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	松尾 隆
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
松尾 隆

詳細情報

授業の目的・到達目標	講義は、空気、森林、水、土地、海、企業、人、お金などに絡めて、話をします。世界が抱える様々な経済問題も実は身近な問題であるのだということを理解してもらい、今後の思考の素材にしてもらいたいとおもいます。
履修上の注意事項	配付する資料を参考にして、知らない経済用語等について調べ、復習では、内容で解らなかった点を理解し、さらには視野を広げるために、図書館などを利用してください。
評価方法	期末試験100%
テキスト	特に使用せず、講義の際にプリントを配布する。
参考文献	講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	プロローグ：講義内容および講義目標		
2	基礎知識：現代における貨幣と金融の関係		
3	空気：環境問題と各国の経済的利害		
4	森林：世界の木材貿易と日本の林業		
5	水：世界の水問題と水ビジネス市場の拡大		
6	土地：世界の食糧生産の現状と農業問題		
7	海：世界の漁業生産の実情と「コモンズ」概念		
8	石油：原油生産と脱炭素社会への動き		
9	貿易：市場を巡る競争とルール（WTO, FTA）		
10	企業：中国, ASEAN諸国と日本の経済的結びつき		
11	人：国際的な人の大移動と問題点		
12	援助：日本のODA制度と企業の連携		
13	お金：年金基金と投機		
14	国連：SDGsとESG		
15	エピローグ：講義の総括		

基本情報

科目名	英語 (医療英語)
時間割コード	0124120201
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	後藤 隆昭
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
後藤 隆昭

詳細情報

授業の目的・到達目標	4年制の大卒者として最低限求められる英語力の養成を目的とし、英語による情報の受信と発信が可能となることを目指す。これから必要となる医療英語を扱うテキストを使用し、英語の読解、語彙、作文を包括した学習を行い、会話、聞き取り練習も取り入れ、コミュニケーション能力の基礎を向上させる。更に、語学が教養・全人教育の一部であることから、英語圏の国々の文化への知識と関心を深める。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・講義は予習が行われていることを前提として行います。 ・辞書（紙または電子）は必携です。 ・授業計画等は一部変更することがあります。
評価方法	授業態度 15%、授業における課題 25%、定期試験 60%
テキスト	Vivian Morooka (他) 著「Vital Signs -revised edition-」(株)南雲堂
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
学則に基づき、事前・事後学修として、予習（2時間）と復習（2時間）が必要となります。

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、 Unit 1: Hospital Departments		
2	Unit 1: Hospital Departments		
3	Unit 2: Application Forms		
4	Unit 3: Parts of the Body		
5	Unit 3: Parts of the Body		
6	Unit 4: Illness		
7	Unit 4: Illness		
8	Unit 5: Daily Routine		
9	Unit 6: Hospital Objects		
10	Unit 7: Locations of Hospital Objects		
11	Unit 8: Hospital Directions and Instructions		
12	Unit 9: Directions (Outside the Hospital)		
13	Unit 10: Chatting with a Patient		
14	Unit 11: Taking a Medical History		
15	Unit 12: Hospital Procedures		

基本情報

科目名	ドイツ語
時間割コード	0124121401
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	竹中 健
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名	
竹中 健	

詳細情報

授業の目的・到達目標	ドイツの文化を、ドイツ語学習を通じて学ぶことを本講義の目的とする。ドイツ語それ自体をも対象としながら、特定の言語構造のなかで思考をおこなうとき、言語が思考に影響をおよぼすという事実を知ることがをねらいとする。講義を通じて、学修者はドイツ語の言語としての構造的特性を理解できるようになる。
履修上の注意事項	独和辞典の購入と教室必携は、早い時期にすること。ドイツ語学習は、辞書の引き方それ自体が学習内容である。辞書による予習・復習を心掛けてください。
評価方法	講義内で合計10回のミニテストを実施し、それらを総合的に評価して最終評価とする。
テキスト	プリントを配布する。テキストは用いない。
参考文献	岡本和子『30日で話せるドイツ語会話』ナツメ社 橋本政義『あなただけのドイツ語家庭教師』国際語学社
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
毎回の事前学習と事後学習を通じて、ドイツ語を学ぶ楽しさを知る。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション	【事前学習】ドイツのことについて、知っていることを書き出してみよう。(2時間) 【事後学習】地上波テレビやBS放送のドイツ語関連のテレビ番組をチェックしてみよう(2時間)	
2	ドイツ語の文字と発音	【事前学習】ドイツ語関連のスマホアプリ(無料版)をいくつかダウンロードして遊んでみよう。(2時間) 【事後学習】You Tubeでドイツ語の歌を聴いてみよう(2時間)	
3	名詞の性と冠詞	【事前学習】大都市の大きな本屋さんに出かけてドイツ語の辞書を買って求めましょう。(2時間) 【事後学習】You Tubeでドイツ語の映画を見てみよう(2時間)	
4	数字	【事前学習】英語の綴りで1から100まで書き出してみよう(2時間) 【事後学習】ドイツ語で0から10まで覚えよう(2時間)	
5	動詞の現在形	【事前学習】ドイツ語で11から100まで覚えよう(2時間) 【事後学習】1本80円セールの特価でゲオのレンタルDVDや動画ダウンロードなどで、日本語字幕付きのドイツ語の映画を一本借りて見てみよう(2時間)	

授業計画

毎回の事前学習と事後学習を通じて、ドイツ語を学ぶ楽しさを知る。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
6	冠詞と名詞の格変化	【事前学習】ドイツ語のテレビ番組をチェックして録画か視聴してみよう(2時間) 【事後学習】1本80円セールの特価で買ったDVDや動画ダウンロードなどで、日本語字幕付きのドイツ語の映画を一本借りて見てみよう(2時間)。	
7	疑問代名詞	【事前学習】小さめの単語用ノートを購入し、定冠詞付きで名詞を整理していこう(2時間) 【事後学習】単語ノートに動詞を不定形で整理していこう(2時間)	
8	人称代名詞	【事前学習】人称代名詞を覚えよう(2時間) 【事後学習】人称代名詞の格変化を覚えよう(2時間)	
9	不定冠詞類(mein型)	【事前学習】定冠詞を覚えよう(2時間) 【事後学習】定冠詞の格変化を覚えよう(2時間)	
10	分離動詞(1)	【事前学習】不定冠詞を覚えよう(2時間) 【事後学習】不定冠詞の格変化を覚えよう(2時間)	
11	疑問文	【事前学習】動詞を5個覚えよう(2時間) 【事後学習】動詞5個の人称変化を覚えよう(2時間)	
12	否定文	【事前学習】動詞を5個覚えよう(2時間) 【事後学習】動詞5個の人称変化を覚えよう(2時間)	
13	語順	【事前学習】ドイツ語の歌をダウンロードし、歌詞を書き出してみよう(2時間) 【事後学習】書き出した歌詞を暗記しよう(2時間)	
14	分離動詞(2)	【事前学習】動詞5個を辞書で調べて読んでみよう(2時間) 【事後学習】動詞5個を単語ノートに不定形で書いて覚えよう(2時間)	
15	まとめ	【事前学習】スマホの地図ナビ機能にドイツ語版をダウンロードして使ってみよう(2時間) 【事後学習】大学の帰り道、ドイツ語版のスマホナビを聞いて、方角を表すドイツ語をマスターしよう(2時間)	

基本情報

科目名	ドイツ語
時間割コード	0124121501
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	竹中 健
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
竹中 健

詳細情報

授業の目的・到達目標	ドイツの文化を、ドイツ語学習を通じて学ぶことを本講義の目的とする。ドイツ語圏の映画を見て、ドイツ語を部分的にでも聞き取れるようになることを目指す。戦争の歴史とナチス政権樹立のプロセスについても、映画を通じて考察を深める。
履修上の注意事項	独和辞典を引きまくるという態勢を築いて欲しい。 またYou TubeやBS放送でドイツ語圏の音楽番組やニュース番組を楽しむ習慣をもつとよい。 テレビ番組「旅するドイツ語」を録画して、絶えずドイツ語を耳で拾って生の言葉と文化に触れて欲しい。
評価方法	講義内で合計4回のミニレポートを実施し、それらを総合的に判断して最終評価とする。
テキスト	テキストはとくに指定しない。
参考文献	清水紀子著『すてきなドイツ語』白水社 岡本和子著『30日で話せるドイツ語会話』ナツメ社
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション：何を学ぶか？	【事前学習】気になっているドイツの文化や暮らしについて、自分が今知っていることを書き出してみよう（2時間） 【事後学習】講義を聞いて自分が興味を持ったことについて、少し調べてみよう（2時間）	
2	映画 "Die Bucherdiebin"を見る（前半）	【事前学習】ナチス政権について、自分が今知っていることを書き出してみよう（2時間） 【事後学習】ナチス政権について、少し調べてみよう（2時間）	
3	映画 "Die Bucherdiebin"を見る（後半）	【事前学習】映画を見て、理解できなかったところ、気になったことを書き出してみよう（2時間） 【事後学習】映画を見て、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください（2時間）	
4	映画を見て考え、議論する（1）どのような人たちがナチス政権に排除されたのか？	【事前学習】ナチス親衛隊の構成員はどのような人たちだったのかを調べてみよう（2時間） 【事後学習】日本の憲兵について、調べてみよう（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
5	映画「帰ってきたヒトラー」を見る (前半)	【事前学習】アドルフ・ヒトラーについて、自分が今知っていることを書き出してみよう (2時間) 【事後学習】映画を見て、わからなかったこと、不思議に思ったことがあれば、書き出してみよう (2時間)	
6	映画「帰ってきたヒトラー」を見る (後半)	【事前学習】アドルフ・ヒトラーは、どのような人たちに支持されたのかを調べてみよう (2時間) 【事後学習】映画を見て、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください (2時間)	
7	映画を見て考え議論する (2) どのような人たちがナチス政権を支持したのか?	【事前学習】アドルフ・ヒトラーの実際の演説をYouTubeなどでいくつか見てみよう (2時間) 【事後学習】ヒトラーは、なぜ多くの人に支持されたのかを論じてください (A4の用紙2枚程度) (2時間)	
8	映像「ヒトラーの演説」を見る (前半)	【事前学習】アドルフ・ヒトラーは、どのような人たちに支持されたのかを調べてみよう (2時間) 【事後学習】ドナルド・トランプ氏の演説を動画で見てみよう (2時間)	
9	映像「ヒトラーの演説」を見る (後半)	【事前学習】ドナルド・トランプ氏は、どのような人たちに支持されていたのかを調べてみよう (2時間) 【事後学習】映像を見て、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください (2時間)	
10	映像を見て考え議論する (3) なぜヒトラーは支持されたのか?	【事前学習】ドナルド・トランプ氏の演説を動画で見てみよう (2時間) 【事後学習】講義を聞いて、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください (2時間)	
11	映像を見て考え議論する (4) ネオナチズムとティーパーティー	【事前学習】ティー・パーティーについて調べてみよう (2時間) 【事後学習】ネオナチズムとティーパーティーの共通点、違いについて、調べたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください (2時間)	
12	ドイツ語の童話を読む	【事前学習】好きなグリム童話をひとつ日本語訳で読んでみてください (2時間) 【事後学習】その童話について、少し調べてみよう (2時間)	
13	ドイツ語の歌を聞く	【事前学習】あなたが好きなドイツ語の歌をひとつ、YouTubeやCDなどで聴いてみてください (2時間) 【事後学習】その歌詞を調べて書き出してみよう。できれば暗唱しよう。 (2時間)	
14	ドイツ語のパズルを解く	【事前学習】スマホに無料のドイツ語のゲームアプリを一つダウンロードして遊んでみましょう (2時間) 【事後学習】ゲームに出てきた単語を3つ、単語ノートに書きだして覚えましょう (2時間)	
15	まとめ	【事前学習】日本語字幕のついたドイツ語の映画をレンタルまたはダウンロードして鑑賞しよう (2時間) 【事後学習】映画を見て、思ったこと、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください (2時間)	

基本情報

科目名	中国事情
時間割コード	0124121601
開講所属	看護福祉学部看護学科
チーム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	中国語の文書を読むことによって中国の古代の文化や現代の中国事情について理解することができる。 古代の文化は論語について学ぶこともできる。 現代の中国事情については中国の人口地理民族習慣文化などについて理解することができる。
履修上の注意事項	事前に授業の内容を予習をすること、毎回授業が終わった後復習すること。
評価方法	レポート 40% 小テスト 20 試験 40%
テキスト	講義時プリント配布
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	全体オリエンテーション		
2	中国の概況		
3	中国の電子決済事情		
4	中国の習慣		
5	中国人の礼儀作法		
6	論語		
7	論語		
8	中間復習まとめ		
9	中国の観光		
10	中国の飲食習慣		
11	中国の節日		
12	中国の交際礼儀		
13	中国の現代の大学生		
14	現代中国の抱える問題		
15	総括まとめ		

基本情報

科目名	中国事情
時間割コード	0124121701
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	主として中国の現代事情を理解しつつ、その事象について分析考察します。伝統文化と現代文化の関連性や、中国特有の事情と日本お違いに注目します。
履修上の注意事項	事前に授業内容を予習してくることで事後授業内容を復習してくることができれば授業がスムーズに進みます。
評価方法	レポート 40% 小テスト 20% テスト 40%
テキスト	講義時随時プリント配布
参考文献	適宜紹介
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		
2	中国の消費観念		
3	中国の就職事情		
4	中国の婚姻		
5	中国の教育事情		
6	中国の健康概念		
7	中国の定年後の娯楽		
8	今までの振り返り		
9	中国の医療事情		
10	中国の観光事情		
11	中国の伝統休日		
12	中国の世界遺産		
13	中国の伝統習慣		
14	中国の伝統礼節		
15	総括		

基本情報

科目名	アジア文化
時間割コード	0124121801
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
安藤 学、李 玄玉、高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	アジアの国々と地域の文化形成過程(文化史)を学修し、それぞれの文化における共通性と異質性を認識すること によって異文化への理解を深めることをねらいとする。
履修上の注意事項	アジア文化の関連する本を事前に読んでいただくとスムーズに受講できます。
評価方法	レポート 20% 小テスト 40% 試験 40%
テキスト	講義時プリント配布
参考文献	適宜に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	タイの文化(その歴史と現在)(安藤)		
2	韓国と日本の違い(未定)		
3	日韓文化の遠近(未定)		
4	韓国から日本へ伝えられた様々な文化について(李)		
5	「飛鳥」という地名の意味、由来...(李)		
6	日本語の「鳥・とり」と韓国語の「Dori」について(李)		
7	台湾の文化について(高)		
8	日中の歴史について(高)		
9	日中旅遊観光の文化について(高)		
10	日中教育の文化について(高)		
11	日中文化における共通性と異質性 漢字の比較(高)		
12	日中文化における共通性と異質性 論語について(高)		
13	日中文化における共通性と異質性 衣食住の比較(高)		
14	日本の文化を知る(高)		
15	文化についてのディスカッション(担当者全員)		

基本情報

科目名	基礎生物科学
時間割コード	0124130101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
檜枝 洋記

詳細情報

授業の目的・到達目標	現代の先端医療には、生命科学の基礎研究成果（とくに分子・細胞レベルでの研究成果）が応用され始めている。 本科目では、生命科学の基礎研究が先端医療にどのように活かされているについて学び、知的探求心を涵養する。
履修上の注意事項	積極的に取り組む姿勢があれば、楽しみながら参加できる。 授業での活動は、いくつかの課題について資料・文献を調査すること、および、発表スライドを作成して発表することである。
評価方法	レポート50%、発表50%
テキスト	とくになし。
参考文献	とくになし。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		自己紹介、グループ分け、課題決定
2	課題1の資料・文献調査		課題について図書館やインターネットを利用して調査する。
3	課題1の調査内容の概要整理		調査して得られた知見を文書にする。また、新たな疑問等について調査する。
4	課題1の調査内容の詳細整理		調査して得られた知見を文書にする。
5	課題1の発表スライドの概要作成（グループワーク）		調査して得られた知見をもとに、課題についての発表スライドを作成する。
6	課題1の発表スライドの詳細作成（グループワーク）		発表スライドの内容や体裁について精査する。
7	課題1の発表スライドの最終チェック（グループワーク）		発表スライドを完成させる。
8	課題1の発表スライドのプレゼンテーション（グループワーク）		課題についてスライドを使って発表する。
9	課題2の資料・文献調査		課題について図書館やインターネットを利用して調査する。

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
10	課題2の調査内容の概要整理		調査して得られた知見を文書にする。また、新たな疑問等について調査する。
11	課題2の調査内容の詳細整理		調査して得られた知見を文書にする。
12	課題2の発表スライドの概要作成(グループワーク)		調査して得られた知見をもとに、課題についての発表スライドを作成する。
13	課題2の発表スライドの詳細作成(グループワーク)		発表スライドの内容や体裁について精査する。
14	課題2の発表スライドの最終チェック(グループワーク)		発表スライドを完成させる。
15	課題2の発表スライドのプレゼンテーション(グループワーク)		課題についてスライドを使って発表する。

基本情報

科目名	環境生物学
時間割コード	0124130201
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	松岡 正佳
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
松岡 正佳

詳細情報

授業の目的・到達目標	微生物は私達の世界の一員として、多くは生命の維持に必要であり、また食品製造に使われているものもある。 しかし少数の微生物は人間に病気を引き起こす病原菌であり、この授業では病原性微生物に焦点を当て、それらが人間との摩擦を起こす原因や環境要因について学ぶ。 学修者は微生物の正確な知識を習得し、伝染病の防御の方法や、どのようにして微生物とうまく付き合っていくかについて知識を深めることができる。
履修上の注意事項	Power Pointを使った説明の後、設問が与えられる。次回までに解答しておいてください。
評価方法	3回のテストの合計点で評価します。
テキスト	プリントを配布します。
参考文献	The Microbial Challenge第2版、Jones and Bartlett Learning (2010年、英文) Krasner's Microbial Challenge第4版、Jones and Bartlett Learning (2020年、英文)
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	松岡正佳：応用微生物工学の実験を大学にて指導

授業計画

授業計画
毎回の授業で配布するプリントの内容を、授業後によく読み、授業中に下線を引くように指示されたキーワードについて説明ができるようにする（復習、2時間）。各章末にある自己評価の問題（選択式）を解いてみる。分からないときは、プリントを参照し、どの部分に説明が書いてあるかをチェックする（2時間）。次回の授業で自己評価問題の解答が示されるので、間違った問題については再度、内容を確認しておく。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	微生物の挑戦とはどういうものか。伝染病の引き起こされる要因について考察する。		
2	微生物の世界。微生物界を形成する多様な微生物種とその性質について学ぶ。		
3	微生物の有益な側面。コインのもう一つの面。		
4	細菌（バクテリア）。		
5	ウイルス。		
6	細菌の遺伝学。細菌における遺伝的交雑の機構について概観する。		
7	微生物病の概念。微生物とその宿主の出会いには偶然であるという事実を認識する。		
8	疫学と微生物病の周期および院内感染。		
9	細菌による病気と感染経路。		
10	ウイルスによる病気と感染経路。		
11	原生動物および寄生虫による病気と感染経路。		

授業計画

毎回の授業で配布するプリントの内容を、授業後によく読み、授業中に下線を引くように指示されたキーワードについて説明ができるようにする（復習、2時間）。各章末にある自己評価の問題（選択式）を解いてみる。分からないときは、プリントを参照し、どの部分に説明が書いてあるかをチェックする（2時間）。次回の授業で自己評価問題の解答が示されるので、間違った問題については再度、内容を確認しておく。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	免疫反応。免疫系により微生物由来の外来分子が認識・排除される機構について学ぶ。		
13	微生物病の管理。対処方法について知る。		
14	伝染病の管理における協力。伝染を防ぐ効果的な協力体制について知る。		
15	生物兵器や現代の伝染病。この授業のまとめ。		

基本情報

科目名	物理学
時間割コード	0124130801
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

詳細情報

授業の目的・到達目標	物理学は、自然界のあらゆる出来事に対し、科学的思考によってその本質を明らかにしようという学問です。本講義は、医療・福祉分野において必要となるであろう項目を取上げますが、その学修により、観察事実に基づく科学的思考、分析的思考を身に付けることも目指します。
履修上の注意事項	黒板に書かれたことをただ写すだけでなく、講義を聞いて、なぜそうなのかを考えながら、要点をまとめてノートするようにしてください。自分の頭で考えることなしに、物理学や科学的思考を理解することはできないからです。
評価方法	筆記試験を行ない、その結果のみで評価します。
テキスト	使用しません。適宜、プリントを配布します。
参考文献	必要に応じ、講義中に示します。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	力とベクトル、力の合成・分解、作用反作用、力のつり合い		
2	力のモーメント、槌子(てこ)の原理、モーメントのつり合い		
3	身体の構造と槌子、重心と安定性		
4	圧力、サイフォン、ドレナージ(吸引)		
5	速度、加速度、ニュートンの運動の法則		
6	重力と重力加速度、一様重力による運動		
7	等速円運動、単振動、波		
8	運動量と運動量保存則、はね返り係数		
9	仕事と力学的エネルギー		
10	種々のエネルギーとエネルギー保存則		
11	電場、静電気力; 磁場、磁力		
12	電流、電位差、オームの法則		
13	電磁波、光		
14	直流回路、交流回路		
15	原子核と放射線、半減期		

基本情報

科目名	数学
時間割コード	0124130901
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名	
森 信之	

詳細情報

授業の目的・到達目標	この講義では、数学の基礎を理解し、問題演習を通して「論理的思考」や「数学的思考」ができるようになることを目指します。
履修上の注意事項	テキストを使用しないので、講義中のノートをしっかり取るだけでなく、事前学習が必要になる。また毎回、前の週の確認テストを行なうので、復習をし、特に授業中の演習問題は、もう一度解いてみて、その考え方のプロセスを学ぶこと。 「数理的な思考」を身に着けるには、自分の頭で考えてみるのが大切です。
評価方法	定期試験のみで評価します。 毎回行なう小テストは、理解度を確認するためのものなので、評価には入れませんが、定期試験の問題として出題します（問題文や数字は変更します）。
テキスト	テキストは使わず、必要に応じてプリントを配布します。
参考文献	講義中に、適宜、指示配布します。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	数と演算		
2	度数と分布		
3	算術平均，加重平均；幾何平均		
4	比・連比，比率（静的・動的）		
5	リスク比，オッズ比		
6	様々な関数，逆関数		
7	累乗関数とその性質		
8	指数関数とその性質		
9	対数関数とその性質		
10	グラフの描き方・読み方		
11	経験的確率と理論的確率		
12	根元事象と場合の数，順列・組合せ		
13	2項分布とポアソン分布		
14	条件付き確率，期待値		
15	ベイズの定理		

基本情報

科目名	化学
時間割コード	0124131001
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
檜枝 洋記

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、専門科目（生化学、薬理学、栄養学、医用工学など）の土台となっている化学の基礎的な知識について学ぶ。また、食品をはじめ身の回りにある物質について科学的に考え、正しく理解できるようになる。
履修上の注意事項	高校で化学を履修しなかった、化学を苦手としていた、履修したがもう一度学び直したい学生を対象にする。「わかること」を「楽しめる」ように丁寧な講義を行う。
評価方法	中間試験 50%、単位習得試験 50%
テキスト	特になし。プリントを配布。
参考文献	看護系で役立つ化学の基本（有本淳一・西沢いずみ、化学同人） コ・メディカル化学 医療系・看護系のための基礎化学（齋藤勝裕ら、裳華房） 生理学・生化学につながるていねいな化学（白戸亮吉ら、羊土社）
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	人体を構成する元素	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
2	原子の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
3	イオンと分子	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
4	化学結合	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
5	原子の質量	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
6	物質の質量とモル	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
7	水溶液の%濃度とモル濃度	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
8	中間テスト	これまでの授業内容をしっかりと復習しておくこと	
9	浸透圧	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
10	酸・塩基と中和	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
11	pHと酸性・中性・塩基性	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
12	緩衝液	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
13	酸化と還元	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
14	化学反応と酵素	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
15	有機化合物	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	

基本情報

科目名	生物学
時間割コード	0124131101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名	
檜枝 洋記	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では「細胞」を軸にして、生物（とくにヒト）のからだの構造とはたらきについて学ぶ。専門科目（解剖学、生理学、生化学、微生物学など）のより深い理解に役立てる。
履修上の注意事項	高校で生物を履修しなかった、生物を苦手としていた、履修したがもう一度学び直したい学生を対象にする。「わかること」を「楽しめる」ように丁寧な講義を行う。 ただ暗記するのではなく、考えて理解すること。
評価方法	中間試験 50%、単位修得試験 50%
テキスト	プリント配布
参考文献	1. わかる！身につく！生物・生化学・分子生物学、第2版（田村隆明、南山堂） 2. 基礎から学ぶ生物学・細胞生物学、第3版（和田勝、羊土社）
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	生物の多様性と共通性	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
2	環境と生命	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
3	細胞の構造とはたらき	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
4	生体構成物質	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
5	代謝	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
6	エネルギーの獲得と利用	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
7	酵素のはたらき	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
8	中間試験	これまでの内容をしっかりと復習しておくこと	
9	遺伝子DNAと染色体	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
10	遺伝子のはたらき	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
11	細胞分裂	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
12	遺伝	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
13	生殖と発生	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
14	組織と器官	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	生体防御	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	

基本情報

科目名	社会福祉原論
時間割コード	0124200301
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	村本 浄司
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名	
村本 浄司	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 社会福祉の固有の視点である政策の実践の歴史、相互作用の変遷について説明できる。</p> <p>2. 社会福祉の思想と哲学及び理論の基本事項について説明できる。</p> <p>3. 現代の社会問題と社会構造の概要について説明できる。</p> <p>4. 福祉政策の基本的な視点や概念、理念について、説明できる。</p> <p>5. ニーズという言葉の意味や必要原則、貢献原則、資源の性質や種類について説明できる</p>
履修上の注意事項	本講義は5名の教員によるオムニバスによって実施する。講義にあたっては、各先生の指示に従い、積極的に参加することを望む。
評価方法	定期試験60%、課題レポート40%で評価する。
テキスト	最新・社会福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編、中央法規、2021年。
参考文献	オムニバスを担当した各教員が適宜資料を配布する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	研究員として障害者支援施設に勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、社会福祉の原理とは何かについて理解する(村本)	(事前)教科書P2-P5を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の原理についてノートにまとめる(2時間)。	
2	社会福祉の原理と様々な理論について理解する(村本)	(事前)教科書P6-P13を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の様々な理論についてノートにまとめる(2時間)。	
3	社会福祉の歴史を学ぶ意義と英国と米国における福祉の歴史的展開について理解する(村本)	(事前)教科書P16-P33を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)英国と米国の福祉の歴史についてノートにまとめる(2時間)。	
4	日本の社会福祉の歴史的天下について理解する(村本)	(事前)教科書P34-P45を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)日本における社会福祉の歩みについてノートにまとめる(2時間)。	
5	自由主義イデオロギーとフェミニズムについて理解する(増田)	(事前)教科書P48-P59を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)イデオロギー、自由主義、新自由主義についてノートにまとめる(2時間)。	
6	社会福祉の理論について理解する(増田)	(事前)教科書P60-P69を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の理論についてノートにまとめる(2時間)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	社会福祉の論点を把握し、公私関係、普遍主義と選別主義について理解する（増田）	（事前）教科書P70-P79を読み、わからない語句について調べておく。 （事後）様々な社会福祉論点について、ノートにまとめる（2時間）。	
8	社会福祉の対象とニーズについて理解する（増田）	（事前）教科書P80-P88を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）社会福祉における対象の捉え方についてノートにまとめる（2時間）。	
9	現代における社会問題について理解する（阿部）	（事前）教科書P90-P99を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）現代の様々な社会問題についてノートにまとめる（2時間）。	
10	社会問題が生じている構造的背景について理解する（阿部）	（事前）教科書P100-P108を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）社会問題の構造的背景について、ノートにまとめる（2時間）。	
11	福祉政策とニーズの概念について理解する（橋本）	（事前）教科書P110-118を読み、わからない語句について調べる（2時間）。 （事後）福祉政策とニーズについてノートにまとめる（2時間）。	
12	自由と平等、自由主義と新自由主義が福祉に与える影響について理解する（橋本）	（事前）教科書P119-P131を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）新自由主義が福祉政策に与える影響についてノートにまとめる（2時間）。	
13	福祉におけるニーズの概念について学ぶ（ニーズの使われ方、ニーズとデマンド）（平川）	（事前）教科書P134-P143を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）ニーズとデマンドの関係についてノートにまとめる（2時間）。	
14	福祉におけるニーズの概念について学ぶ（行政需要と行政ニーズ、ニーズの把握、ニーズの種類）（平川）	（事前）教科書P143 - P151を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）公正の原理としての必要原則についてノートにまとめる（2時間）。	
15	ニーズを充足するものとしての資源について理解する（村本）	（事前）教科書P152-163を読み、わからない語句について調べる（2時間）。 （事後）福祉政策における資源についてノートにまとめる（2時間）。	

基本情報

科目名	道徳教育論
時間割コード	0124900901
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>この授業では、学校教育において道徳教育をおこなううえでの基本的な知識や考え方を学び、その意義と限界についての理解を深め、道徳教育を実践するための基礎的な力を養うことを目指すとともに、道徳教育のあり方を批判的にとらえ、反省的に実践していく力を涵養することを目指します。</p> <p>そのために、この授業では、以下のことを目標とします。</p> <p>(1) 道徳教育をささえる、道徳・倫理の基礎的なことがらについて理解し説明することができる。</p> <p>(2) 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画などを理解し説明することができる。</p> <p>(3) 教材研究や学習指導案の作成および授業の計画を立て、実施することができる。</p>
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	<p>授業後の小レポート（30%）および学期末レポート（70%）の総合成績で評価する。</p> <p>基礎的なことがらへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。</p> <p>なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。</p>
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス / 授業全体の概要をしめす。		
2	現代日本における道徳教育をめぐる動向		
3	道徳・倫理とはなにか？		
4	近代日本における道徳教育の歴史		
5	戦後日本における道徳教育の歴史		
6	道徳性の発達		
7	近代家族としつけ・道徳		
8	道徳教育と各教科、総合的な学習の時間、特別活動などのかかわり		
9	モラルジレンマなどの読み物資料を活用した授業		
10	構成的グループエンカウンター・ソーシャルスキルトレーニングなどの児童・生徒の活動にもとづく授業		
11	道徳科における評価の諸問題		
12	道徳教育の指導計画と指導案の作成		
13	模擬授業とそのふりかえり（1）		
14	模擬授業とそのふりかえり（2）		
15	授業のまとめと現代における道徳教育の課題		